

リニア時代を見据えた飯田市の効果的な情報発信の在り方について

1 調査の背景・目的

- (1) リニア駅周辺整備計画や関連事業の進捗状況等の情報は、「各種説明会・意見交換会の開催」や「出前講座・ワークショップの開催」、さらには「広報いいだ」等で行ってきたが、地元の気運醸成に至っていない。
- (2) そこで地域全体の気運盛り上げに向けて必要となる効果的な情報発信の在り方を探ることを目的に、地元で
のリニアに関する情報の到達・浸透状況についてアンケート調査を行った。
- (3) 一方、先行き不透明な部分があるとはいえ、リニア開業を見据えると、外部に対しても、効果的な情報発信
を講じていく必要があることから、都市圏の住民にどのように情報発信し魅力向上やイメージアップにつな
げていくかについても併せてアンケート調査を実施し、その結果から今後の指針を得る。

2 調査方法の概要

- (1) 飯田市内： 2021年4月～5月 495件（発送1,500 回答率33%）
（市民向け） 郵送調査（地区別人口構成に沿って抽出。性別・年代を分散（若年層傾斜配分）
- (2) 飯田市外： 2021年6月 800件（首都圏400・中京圏400）
（首都圏・中京圏向け） インターネット調査（首都圏、中京圏別に、性別・年代が均等になるよう実施

3 主な調査項目

- (1) 飯田市内（市民向け）
 - ①飯田市に対する意識（住みやすさ・満足度・魅力・今後の居住意向等・重要施策・方向性等）
 - ②リニアに対する意識（認知度・関心度・期待内容・利用意向・利用目的・開業後の不安等）
 - ③情報に対する意識（欲しい情報・量・頻度・入手経路・入手媒体等）
- (2) 飯田市外（首都圏・中京圏向け）
 - ①コロナ影響（働き方・住まい方・旅行頻度行き先・地方暮らし（関心度・移住先・不安等））
 - ②飯田市に対する意識（認知度・来訪経験・魅力・地方暮らし先や観光先としての関心度）
 - ③リニアに対する意識（関心度・リニア開業に伴う飯田市への興味・関心）
 - ④地方情報に対する意識（入手経路・種類・満足度・欲しい情報・入手媒体等）

4 市民向けアンケート調査結果概要（資料No2（P13～17））に対する考察

- (1) 調査結果（概要）に対する考察①（現状の把握と課題の所在）（資料No2（P11））

現 状

- a リニアに関する基礎的情報の一部は、一定程度の認知がされているとは考えられる
※所要時間、運賃、開業予定等の情報は、「自分事の情報」として関心が高い
- b リニア関連事業の進捗状況が、市民に広く伝わっている状況にはない
※リニア駅周辺整備をはじめとする関連道路の多くが計画段階であったため、関係エリア外
多くの市民にとっては、実感を伴わない情報である場合が多かった。
※開業に関し不透明な部分があり、コロナの影響等もあって、関心度が高まらない

課 題

- a 基礎的情報以外の多くのリニア関連情報を「自分事」として捉えてもらえていない
- b 「情報の受け手の属性を踏まえた分析」や「情報特性や媒体手段等に対する理解不足」が一因
- c 上記bの観点は、都市圏居住者への情報発信においても、大切な要件
- d 地元への情報発信と外部への情報発信が、相互に好影響を及ぼす仕組みの検討も必要

- (2) 調査結果（概要）に対する考察②（市民向け情報発信の今後の方向性）（資料No2（P33））

①「知る」と「考える」ことの2本立てでの情報発信

- ・情報を「知って」、自分事として捉え、夢の実現や課題解決を「考えて」いくきっかけとなるような情報発信

②「情報の受け手の属性」、「情報の種類」、「情報の質」を踏まえての情報発信

- ・受け手の世代特性や関心事に合わせた情報を提供する

③情報発信媒体の整理と新しい手法の導入による情報発信

- ・Webサイト及び広報紙を中心とした発信に加え、地元民間メディアやSNS等の活用を強化

④情報発信の総体をキャンペーン仕立てにすることで情報発信の効果を高める

- ・情報発信活動の総体を、継続的なキャンペーン活動＝運動ととらえ、これによりインパクトを高めるとともに、
情報の伝達・浸透のスピードを早め、理解と共感に支えられての事業推進と気運醸成に結びつけていく

5 首都圏・中京圏向けアンケート調査結果概要（資料 No 2（P 19～28））に対する考察

（1）調査結果（概要）に対する考察①（現状の把握と課題の所在）（資料 No 2（P 18））

現状

- a 移住への関心はあっても、5年以内の実践意向等の関心が強い人は1割前後
- b 田舎過ぎない、住みやすい気候、低廉な生活コスト、仕事・サポートがある等の視点が重要
- c 移住先の選定に当たっては、「訪問経験がある」ことが大切な要素
- d 首都圏・中京圏全体で過半数が飯田への関心を示し、駅設置を認知している人も4割超
- e 中京圏の方が飯田への認知度・理解度・訪問経験率が高く、身近に認識されている
- f 「飯田に魅力がない」「飯田の魅力がわからない」とした人が首都圏では中京圏の倍
- g 飯田の「自然」・「食」・「観光地」に対する関心度が高い
- h 主要な情報源は、年代により大きく異なる

課題

- a 観光・移住とも、他の地域と比較した場合の優位点を明確化する必要がある
- b 移住先を検討する前提として、観光・仕事などで“行ったことがある”ことが大きな動機
- c 中京圏と首都圏の居住者の各々の特性を掴んだターゲットを明確にした情報発信が必要
- d 地方暮らし先としてアピールをしていくのに、首都圏の方が効果が高いと思われる
- e 仕事の確保をはじめ、暮らしの豊かさを視点に置いた情報発信と具体的な政策が重要
- f 20～30代における主要な情報源としてのSNSの活用が重要

（2）調査結果（概要）に対する考察②（首都圏・中京圏居住者向け情報発信の今後の方向性）（資料 No 2（P 34））

①（人・食・自然）×リニアで新・飯田市の魅力を情報発信

- ◆リニア開通が、観光、移住、ワーケーション等の動機づけとなることを具体例と共にアピール。
- ◆食や自然は、その魅力の高さを十分に想定してもらうことができるような内容とする。
- ◆「人とのつながりを大切にする風土」の上にリニアをトッピングし情報発信→ブランド形成、イメージアップ

②（人・食・自然）×リニア＝”地元の盛り上がり”を情報発信

- ◆地元の農産物・料理や豊かな自然・景観、魅力的な人々等の地域資源を、地元のライブ感が伝わるよう、祭りやイベント、さらにはリニアのNews…などに併せて、キャンペーン仕立てでライブ感をもって情報発信

③ターミナル駅である品川駅や名古屋駅等を起点とした首都圏、中京圏への情報発信

- ◆首都圏・中京圏への情報発信が外部からの期待感に繋がり、それが地元でのリニアによる地域活性化に繋がるような情報の相乗効果を高める取り組みが重要。
- ◆ターミナル駅は集中的に人が集まることから、効率的な情報発信、提供が期待できる
- ◆駅を起点に、Off Line(まちなかでの活動)、On Line(SNS サイト)へと情報発信の裾野を広くして展開

6 令和4年度以降のリニア推進部としての情報発信の取り組みについて

（1）「リニア駅周辺整備実施設計に関する市民との情報共有」を令和4年度以降の新たな情報発信の取り組みの出発点と位置づける。

（2）まずは、地域内の気運醸成に向けて、「市民向け情報発信の今後の方向性」に力点を置く。

（3）具体的には、上記「市民向け情報発信の今後の方向性」を踏まえて対応する。（別紙「リニア駅周辺整備の実実施設計に係る検討状況及び報告会について」参照）

①「知る」と「考える」ことの2本立てでの情報発信

- ・「市民向け検討内容説明の場」及び「意見交換の場」の2階建てで臨む

②「情報の受け手の属性」、「情報の種類」、「情報の質」を踏まえての情報発信

- ・一定期間の意見聴取を行った上で、「意見交換の場」を改めて設定する

③情報発信媒体の整理と新しい手法の導入による情報発信

- ・事前に発表内容を動画収録し、その動画をYouTube及びケーブルTVで配信する
- ・多様な方法（サイト・メール・出前講座等）で意見聴取する
- ・ネット環境が整っていない市民を考慮しての説明会の開催（印刷物の資料も用意）

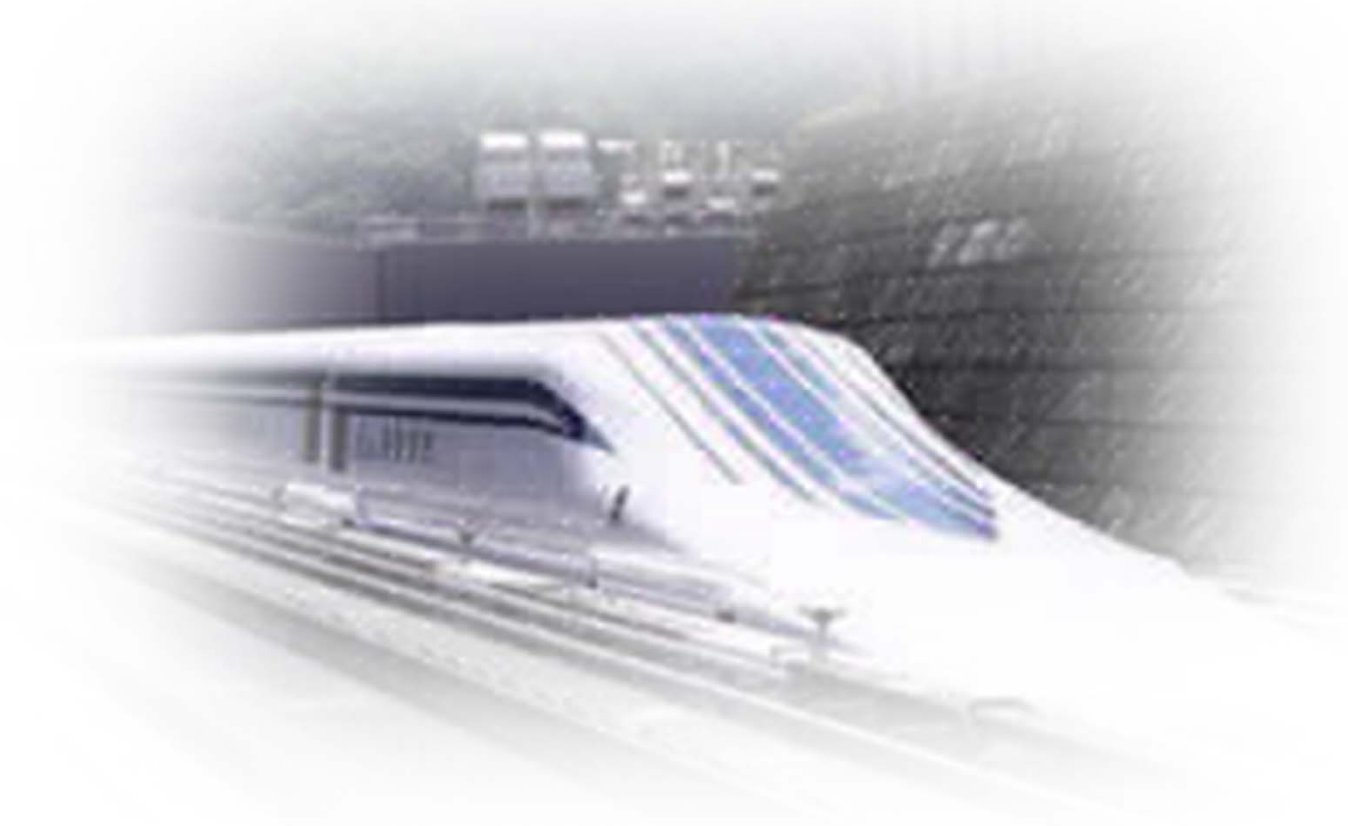
④情報発信の総体をキャンペーン仕立てにすることで情報発信の効果を高める

- ・説明会（コロナの状況にもよる）の内容をネット配信する
- ・意見聴取の手段として、出前講座やワークショップ等の実施も想定する

（4）上記5の「首都圏・中京圏向けの情報発信」に関する内容については、その方向性を庁内で共有し、対外的なアプローチにおいて活用していく。

リニア時代を見据えた飯田市の効果的な情報発信のあり方

～ 調査結果からの考察と今後の方向性 ～



目 次

1.背景・目的	・・・ 2
2.市民を対象とした情報発信の課題（仮説の設定）	・・・ 4
3. 調査の目標・ターゲット別の調査の着眼点	・・・ 5
4. 市民向けアンケート調査の結果を踏まえた仮説の検証	・・・ 7
5. 市民向けアンケート調査結果からの考察	・・・11
【補足資料】市民向けアンケート調査結果(概要)	・・・13
6. 首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果からの考察	・・・18
【補足資料】首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果(概要)	・・・20
7. 情報発信のあり方	・・・29
8. 情報発信の今後の方向性	・・・33
【補足資料】情報発信とは・具体的な展開例・発信方法のプラン研究	・・・35
【調査結果概略】 調査結果の概略	・・・57

1. 背景・目的

背景

- ◆ 首都圏・中京圏への時間距離を劇的に短縮するリニア中央新幹線(以下「リニア」と記載)の開通は、飯伊地域にとって、その将来に大きな影響を及ぼす国家的プロジェクトである。

- ◆ リニア駅及びその周辺の整備計画の概要、あるいは関連事業の進捗状況は、これまでも、主に地元を対象に、様々な情報発信(ワークショップ、説明会、まちづくり委員会や商工会等の各種団体との意見交換、小学校・中学校・高校への出前講座、広報いいだでのお知らせ等)を行ってきたが、現段階では気運の醸成までには至っていない状況である。



議案第27号

「令和2年度一般会計予算案」に対する附帯決議

リニア推進事業費については、今日的状況として、事業の進捗状況が必ずしも市民に広く伝わっている状況にないことから、これを解消すべく取組を研究するとともに、リニア関連事業を広く市民へ広報するため、財政の投入を含め検討されたい。

- ◆ 一方、コロナ禍や静岡工区の水問題等の課題により、リニア事業の進捗には先行き不透明な部分はあるものの、リニア開業を見据える上では、地元はもちろんのこと、首都圏や中京圏等の外部に対しても、効果的な情報発信を行っていく必要がある。

→ 庁内関係部課と共に検討する必要性と、専門業者による調査研究の必要性がある

1. 背景・目的

目的

- ◆ 地元でのリニアに関する情報の到達、浸透状況（認知、理解のされ方等の実情）を調査することで、これまで発信してきた情報の内容と対象者（情報の受け手）との間の課題を明らかにし、地域全体の気運の盛り上げに向けた効果的な情報発信のあり方等を探る。

- ◆ 同時に、観光集客・移住促進その他の施策を念頭に、首都圏・中京圏の居住者に対して、どう情報を発信することが魅力向上やイメージアップに有効に結びつくのかについて、各々の圏域の居住者に対する調査を通じて今後の指針を得る。

2. 市民を対象とした情報発信の課題（仮説の設定）

- ◆ 市議会からの「リニア駅周辺整備事業をはじめとするリニア関連事業の進捗状況が、市民に広く伝わっている状況にない」という指摘を踏まえ、背景にある課題を明確化するため、以下の2つの仮説を設定し、検証を行った。

仮説

①「『知りたい情報』と『伝えたい情報』のギャップ」の存在

市がこれまで発信してきた情報に対して、受け手側である市民が何を求め、どう到達しているのか、その実態と諸相を明らかにすることが、ギャップの補正をはじめ今後の情報発信の適切なあり方を講じる上での参考となる

② 無関心層またはサイレントマジョリティの存在（若者世代の認知度・関心度が低い）

「無関心の人々が多数存在」しているのか、あるいは「関心が無いわけではないが、声を挙げない多数派（サイレントマジョリティ）が存在」するのか。その層（対象者、特に若者世代の現況）の存在を確認することが、今後の効果的な情報発信はもとより、市民の潜在的な不安の解消や気運向上に向けても重要

3. 調査の目標・ターゲット別の調査の着眼点

- ◆ 仮説を踏まえ、情報の発信をより効果的に行う上で必要な基礎データの収集・分析を行うとともに、次年度以降の情報発信の在り方について、そのプランを研究する業務を委託により実施。

目 標

- 世代・性別・職業等、個別の生活環境の差異を踏まえた上で、リニアを見据えた飯田の将来像や飯田の魅力に対する住民の認識を確認するとともに、情報発信の手段・内容の在り方等について分析・把握を行う。
- 地域別・ターゲット属性別の興味・関心テーマについて、その”ちがい”や特徴の分析・把握を行う。
(指向性・ニーズ・モチベーション・情報接触状況・「高・好反応」コンテンツ・「構想・計画等」の評価等)

調 査 の 着 眼 点

【市民向けアンケート調査の着眼点】

- リニア開業に向けた地域づくりの取り組みに対し、市民が何を要望し期待しているのか、その内容を明らかにし、リニア時代への気運を醸成するためにあるべき情報の内容について把握する。
- 併せて、飯田市の施策や地域の魅力・資源に対する市民の認知度を確認し、リニアに対してポジティブな感情を抱いていただくために必要な情報の内容や、求められる発信方法について明らかにする。

【首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査の着眼点】

- 新型コロナウイルスによる生活様式や価値観の変化、あるいはデジタル化による社会変化といった背景を踏まえ、首都圏・中京圏の人々にリニア開通をきっかけとして飯田への関心を高めてもらい、飯田の定住人口・関係人口を増やしていくことができるようにするために必要となる情報発信方法を考察する。

3. 調査の目標・ターゲット別の調査の着眼点

【市民向けアンケート調査の概要】

- ◆ 調査対象 495件(発送1,500 回答率33%)
- ◆ 調査方法 郵送調査(地区別人口構成に沿って抽出。性別・年代が分散するよう配慮。若年層を多めに発送。)
- ◆ 調査時期 2021年4月～5月
- ◆ 調査項目
 - ①属性(居住地区・性別・年齢・未婚既婚・職業・業種・家族構成・居住年数等)
 - ②飯田市に対する意識(住みやすさ・満足度・魅力・今後の居住意向等・重要施策・方向性等)
 - ③リニアに対する意識(認知度・関心度・期待内容・利用意向・利用目的・開業後の不安等)
 - ④情報に対する意識(欲しい情報・量・頻度・入手経路・入手媒体等)
 - ⑤その他(飯田市に対する意見・要望)

【首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査の概要】

- ◆ 調査対象 800件(首都圏400・中京圏400)
- ◆ 調査方法 インターネット調査(首都圏、中京圏別に、性別・年代が均等になるよう実施)
- ◆ 調査時期 2021年6月
- ◆ 調査項目
 - ①属性(居住地区・性別・年齢・未婚既婚・家族構成・居住年数・世帯年収・出身地・職業等)
 - ②現在の居住地に対する評価
 - ③コロナの影響(働き方・住まい方・旅行頻度行き先・地方暮らし(関心度・移住先・不安等))
 - ④飯田市に対する意識(認知度・来訪経験・魅力・地方暮らし先や観光先としての関心度)
 - ⑤リニアに対する意識(関心度・リニア開業に伴う飯田市への興味・関心)
 - ⑥地方情報に対する意識(入手経路・種類・満足度・欲しい情報・入手媒体等)

4. 市民向けアンケート調査の結果を踏まえた仮説の検証①

仮説の検証①

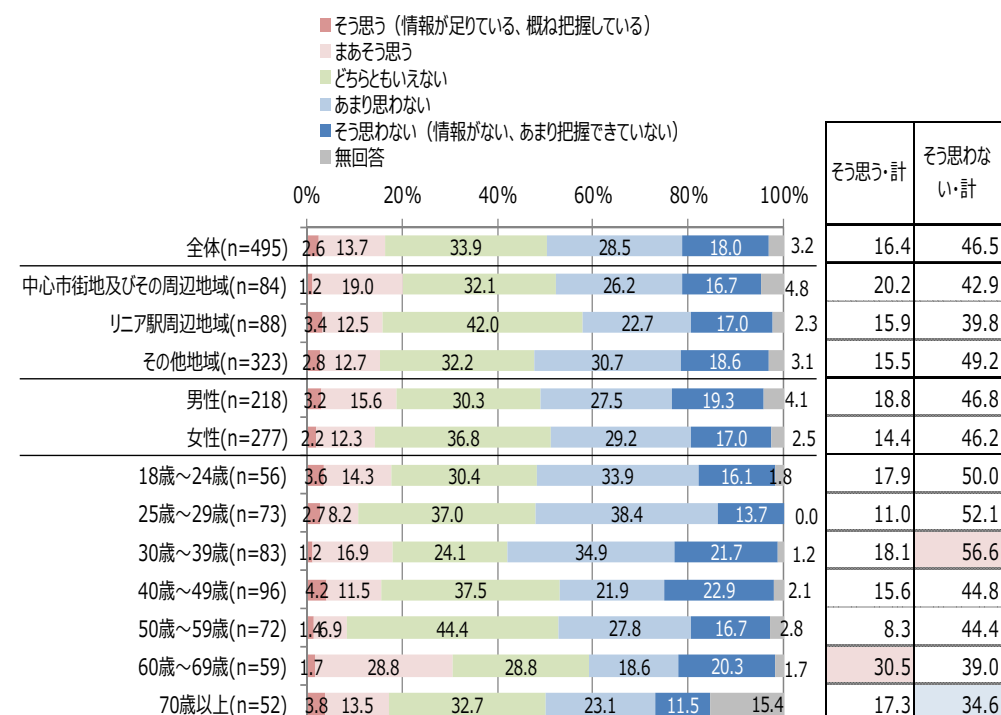
仮説1 「『知りたい情報』と『伝えたい情報』のギャップ」の存在

- ◆受信者(住民)が知りたい情報と、発信者(市)が発信している情報に、特段の齟齬が指摘がされることは無いものの、具体的な情報を求める意見が見られた。(問26※自由記述)
- ◆また、情報が足りているとの評価は16%に留まり、情報量が不十分との評価は47%に上っている。
- ◆以上から、情報の量はもとより、情報の質や伝達方法にも課題があると推察される。

※ アンケート調査報告書 問26(P40～42)、問30(P47)参照

問30

リニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの「情報」についてお伺いします。「情報量」「情報提供の頻度」は十分だと思いますか。



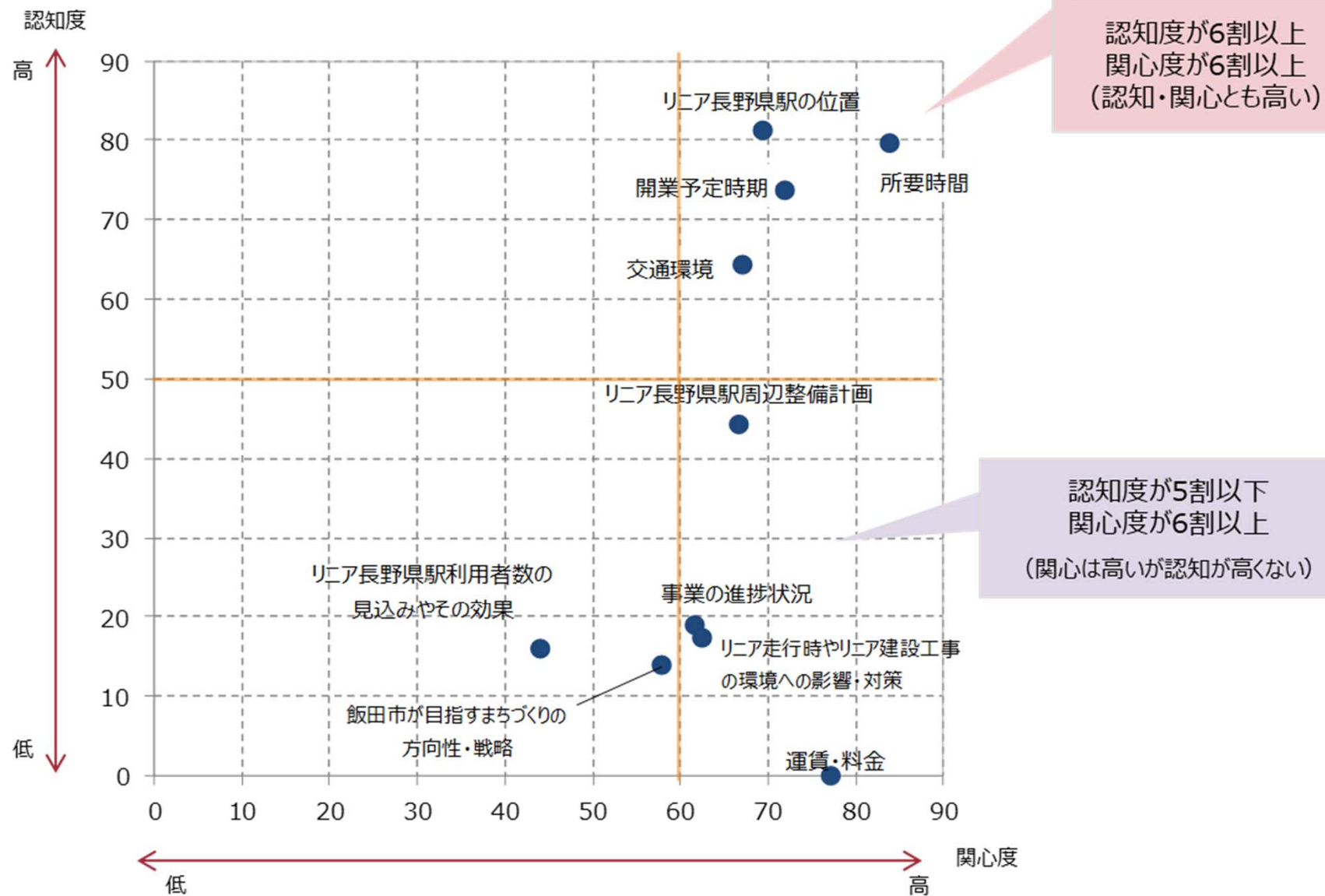
4. 市民向けアンケート調査の結果を踏まえた仮説の検証①

問26. その他、リニア中央新幹線の計画・事業の進捗、まちづくりの計画などで知りたい情報はありますか。（抜粋）

知りたい情報（自由記述）	
事業の進捗状況	工事の残土の処理、活用
具体的な全体計画・全体像・スケジュール・完成図	産業の無い飯田市においてストロー現象の可能性は
具体的な場所、停車本数・ダイヤ・駅名	こまめな情報発信→LINEなどのSNSを通じて。情報格差がありすぎる
駅周辺の整備計画・状況	三遠南信道はいつ開通するのか？
開通時期、開業予定に間に合うのか ※静岡県関係含む	税金の使い道（どんな風に、どんな所で使われているか分かりやすく）をSNS発信等
自然・環境への影響	飯田に移住してもらええる為の環境整備やアピール内容について
居住地区やリニア駅から離れた地域への影響や対策（中心市街地・県）	どう地元の観光と結びつけるのか、発展させるのか、観光客向けの施設など
飯田市の方向性、考え方、戦略 ※リニアの活用・産業・大学等	自分で調べないと分からないのもっと発信して欲しい。
市長はリニアの駅をどうしたいのか？	何一つ目玉がない。6800人/日の利用用途がない
市民との対話など市長選挙時の公約はどうなったのか？	早く工事を進める為、南信州市町村全体がもっと積極的に協力するべき。
県全域の交通、観光をどのように整備していくかといったビジョン	文化会館みたいなものはできるのか
周辺道路の整備期間、工事用道路の整備、交通量に影響が出るか	リニアを作る目的をもっと詳しく発信して欲しい
企業誘致の具体案等や産業	万が一リニアが開業しなかった場合の計画は考えてあるのか？
誰でも分かるような現状の説明、若い方が関心を持てるようなパンフレット等	人口が増え、地域住民が多様化したら、地域コミュニティのあり方はどう変わっていくことが考えられるのか。市全体としての方向性や支援の方法はどのようなものか？
全体像が絵、写真でわかるパンフレット等、見て分かる資料を今配布するのは義務	
難色を示している地域住民の理解は得られるのか	
騒音、環境、健康問題などクリアにできるのか	より良いまちづくりをしてほしい。子ども老人に優しいまちづくりを

4. 市民向けアンケート調査の結果を踏まえた仮説の検証①

リニア中央新幹線及び関連事業に対する認知度×関心度



4. 市民向けアンケート調査の結果を踏まえた仮説の検証②

仮説の検証②

仮説2 無関心層またはサイレントマジョリティの存在(若者世代の認知度・関心度が低い)

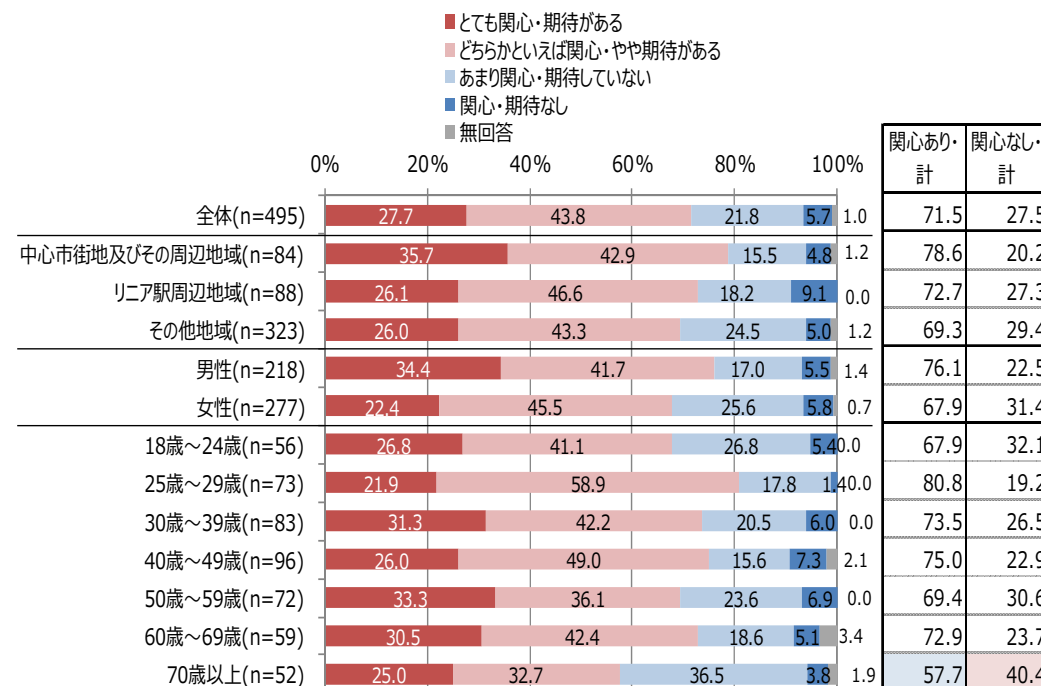
◆70歳以上を除く年代では、性を問わず6～7割(25～29歳では8割以上)の人がリニアに対し否定的ではない関心を示していることが確認され、「大多数の無関心層」ではなく、「声を上げない多数派(サイレントマジョリティ)」の存在を伺わせるものであった。

◆リニアに関する認知水準や関心度は、70歳以上を除き、世代間で大きな違いはないと言える結果であった。

※ アンケート調査報告書 問17・18・19(P25～29)参照

問17

あなたは、飯田市にリニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)が整備されることに関心がありますか。
(リニア開業に向けたまちづくりの推進を含む)



5. 市民向けアンケート調査結果からの考察①

現状の把握と課題の所在

現状

- ◆ これまでの市民に対する情報発信は期間の長さとそれに伴う量もあって、リニアに関する基礎的情報の一部は、一定程度の認知がされているとは考えられる。
※ 所要時間、運賃、開業予定等の情報は、「自分事の情報」として関心が高い。
- ◆ 「気運高揚」を情報発信の目的としていることから考えると、「リニア関連事業の進捗状況が、必ずしも市民に広く伝わっている状況にない」との問題意識を覆すまでには至っていない。
※ リニア駅周辺整備をはじめとする関連道路の多くが計画段階であったため、関係エリア外多くの市民にとっては、実感を伴わない情報である場合が多かった。
※ 開業に関し不透明な部分があり、コロナの影響等もあって、関心度が高まらない

課題

- ◆ 基礎的情報以外の多くのリニア関連情報を「自分事」として捉えてもらえていない
- ◆ 多くの情報を発信・提供しながらそれらが有効的に市民に届いていないのは、対象である「情報の受け手の属性を踏まえた分析」や「発信するに当たって必要となる情報特性や、媒体手段等に対する理解の不足」も一因
- ◆ こうした課題は、都市圏居住者への情報発信においても、対象者の興味・関心を引き出し、情報を自分事として受け止めて行動を促すうえで、大切な要件となってくる。
- ◆ また地元への情報発信と外部への情報発信が、相互に好影響を及ぼし合うような仕組みについても検討が必要となる。

5. 市民向けアンケート調査結果からの考察②

市民向け情報発信展開の基本的考え方

◆ 情報を発信する側は、情報を受信する側の視点を常に意識しながら、各種の情報を「自分事」として捉えてもらえるよう取り組むことが必要不可欠

【情報の内容】

- ★ 市民の属性に応じた関心テーマ(子育て等)を設定し、それをリニア事業に関連付けづけることにより、自分の生活への影響や効果について考えてもらえるような情報とする
- ★ 人口減少・若者流出・高齢化・税収確保等の課題が存在することを認知してもらい、こうした課題を解決するための地域活性化への取組の重要性を理解してもらうことが重要
- ★ 「どうせ通過するだけ」等、効果に対する疑念から、リニアを活用して地域の活性化に結びつけようとする思考への転換を促す

【発信する際の留意点】

- ★ 情報を発信する側として、今後本格化することになるリニア関連事業の進捗状況をはじめとするリニアに関する情報を可能な限りオープンにする
- ★ 考えられ得る様々な機会・手段・媒体を多面的に活用・駆使(Web・SNS等を用いての参加しやすい、意見を言いやすい環境の整備等)して、市民との情報共有を図っていくことが重要

【補足資料】市民向けアンケート調査結果（概要）①

リニアができることの認知度・関心度

★考察にあたっては、大まかな傾向を見るために、以下の3つのエリアに分類した。

【中心市街地及びその周辺地域】

橋北・橋南・羽場・丸山・東野

【リニア駅周辺地域エリア】

座光寺・上郷

【その他地域エリア】

松尾・下久堅・上久堅・千代・龍江・竜丘・川路

三穂・山本・伊賀良・鼎・上村・南信濃

◆飯田市民のリニアの認知度は「何となく知っている」を含めて85%（問16）で、関心度も72%と高い（問17）。

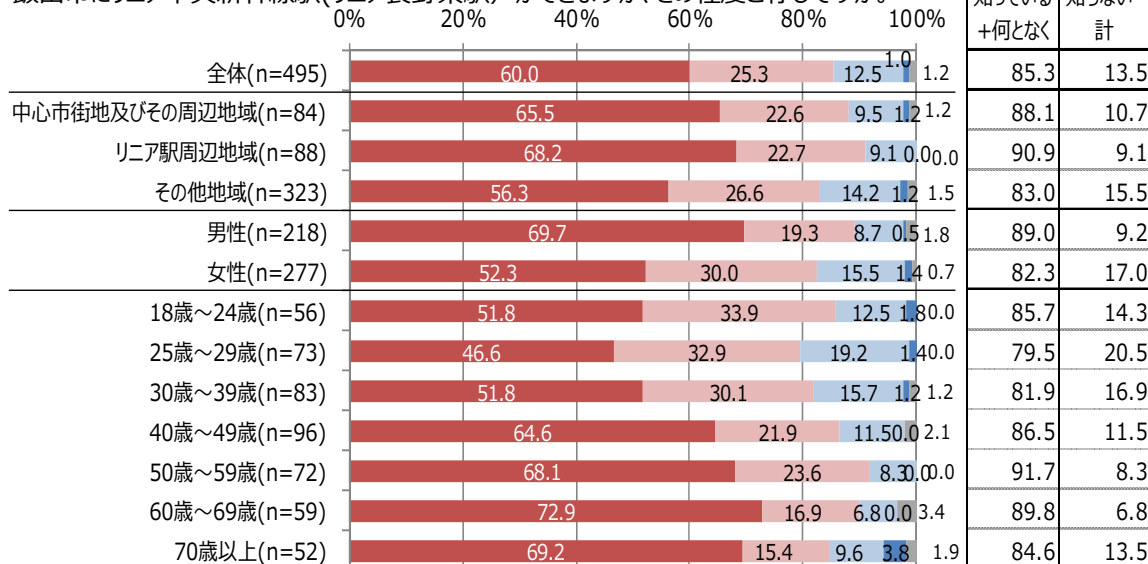
◆エリア別の傾向において、地域による差はあるものの、駅からの距離などによる関心度の高低を特徴づける差は見られなかった。

◆しかし、関連事業の認知や関心となると、リニア駅周辺地域で高くなっている。（問23・24 参照）

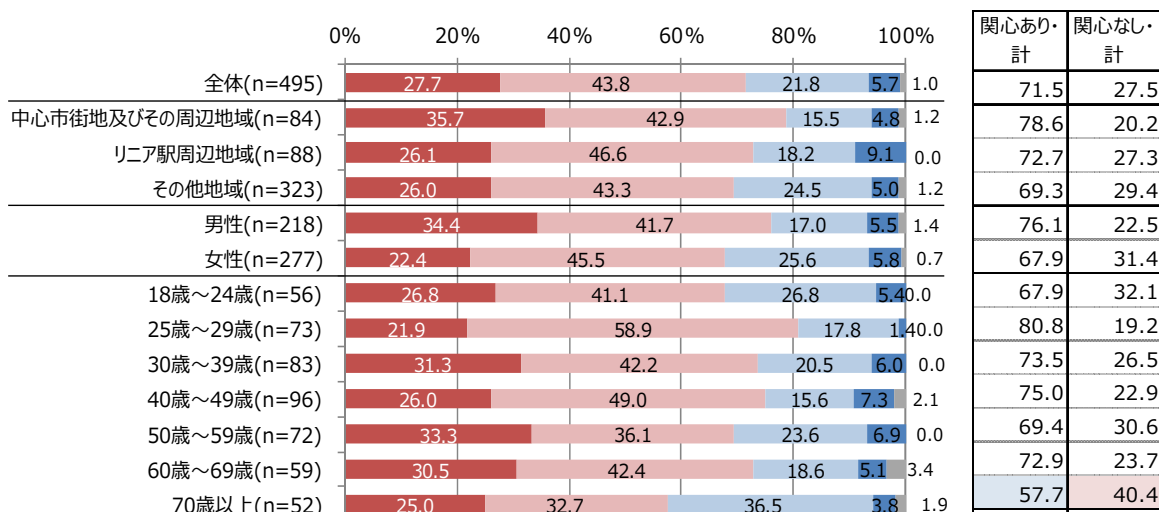
※ アンケート調査報告書 問16(P23)・問17(P25)・問23・24(P33～37)参照

問16

飯田市にリニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)ができますが、どの程度ご存じですか。



問17.あなたは、飯田市にリニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)が整備されることに関心がありますか。（リニア開業に向けたまちづくりの推進を含む）



【補足資料】市民向けアンケート調査結果（概要）②

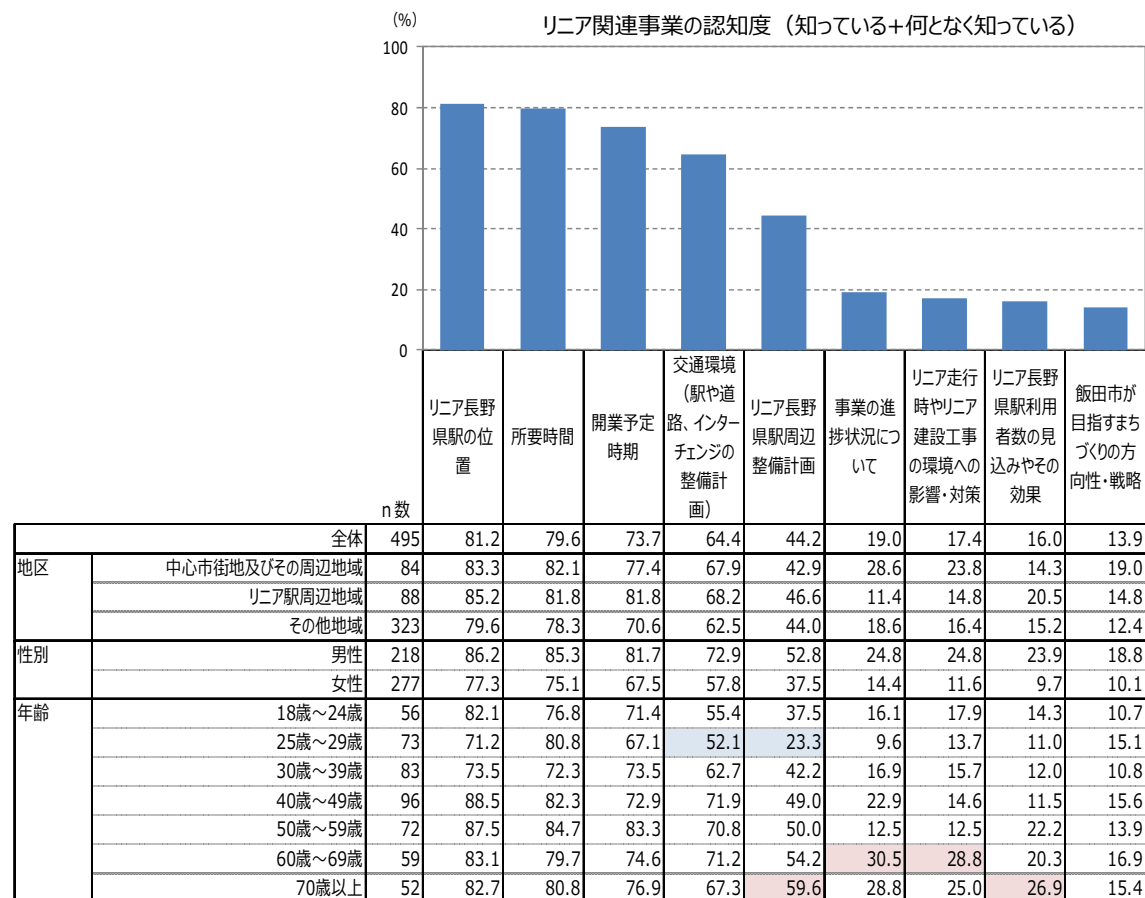
認知度・関心度の高い項目

- ◆ 認知している、関心がある情報は、「駅の位置」「所要時間」「開業予定時期」等の基礎情報。
- ◆ 「利用見込」（10～20%台）、「まちづくりの方向性」（10%台）、「環境への影響・対策」（10%台）、「事業進捗」（30代を除き10～20%台）等の認知は極めて少ない。（問23）

※ アンケート調査報告書 問23(P33～34)、問24(P35～37)参照

問23

飯田市は、リニア中央新幹線の開業を見据えて、リニア将来ビジョンを策定し、目指すべき地域像を示し、まちづくりを推進しています。リニア中央新幹線及び関連事業について、以下の点をご存じですか。



【補足資料】市民向けアンケート調査結果（概要）③

リニアへ期待すること・期待しない理由

◆期待では、10・20代が外への関心や行動力から「東京等へ行きやすくなる」の割合が高い

◆「企業進出（雇用創出）」「産業活性化」「U・Iターン」等市全体の活性化と結びつけた期待が多いのは50代男性で、他の層は自身の利用や生活に直接関係する視点以外の関心は高くない。

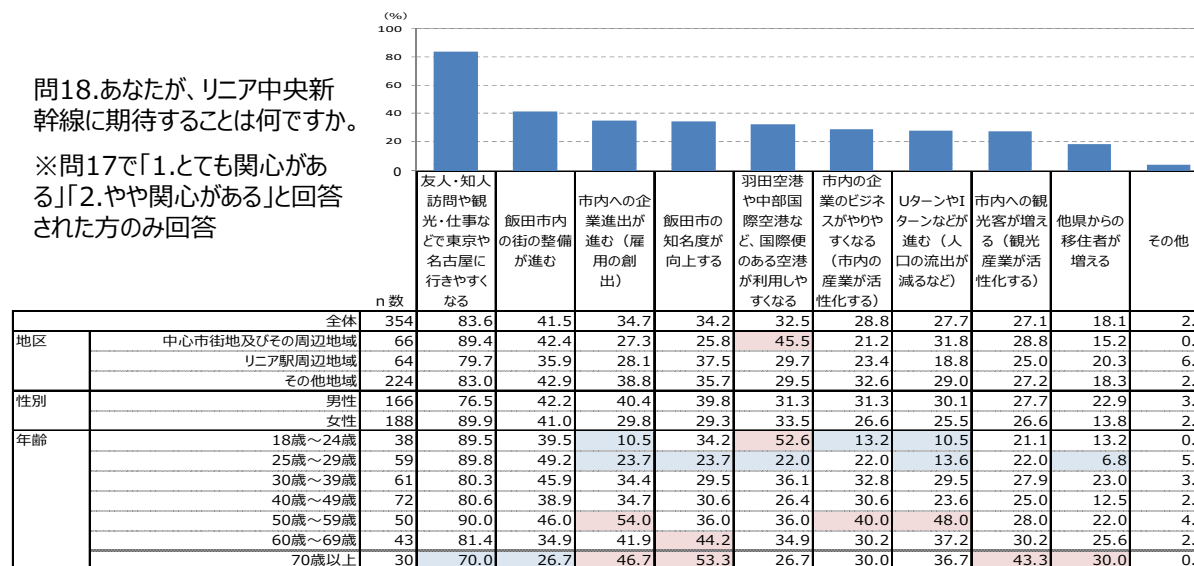
◆期待しない理由からは、リニア周辺地域では「悪影響への心配」「整備計画の遅れ」等、現実的かつ具体的であり、別の意味でリニアに対する関心の高さがうかがえる。

◆また、「市にはあまり効果がない」が62%もあることは、関係する情報が行き届いていないことの現れといえる。

※ アンケート調査報告書 問18(P28)・問19(29)参照

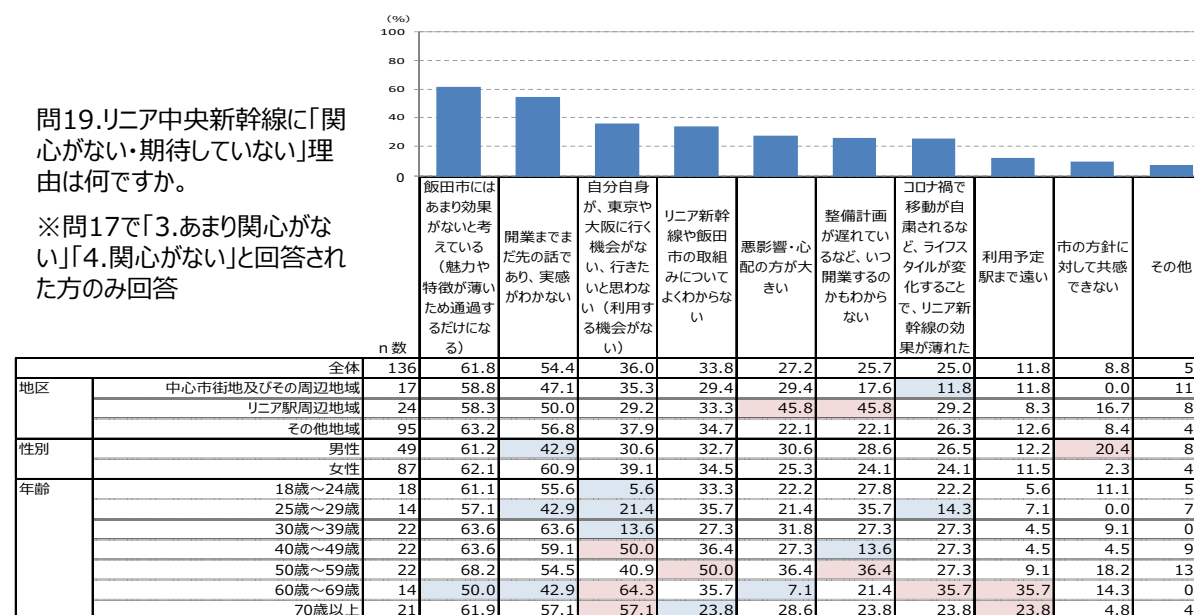
問18.あなたが、リニア中央新幹線に期待することは何ですか。

※問17で「1.とても関心がある」「2.やや関心がある」と回答された方のみ回答



問19.リニア中央新幹線に「関心がない・期待していない」理由は何ですか。

※問17で「3.あまり関心がない」「4.関心がない」と回答された方のみ回答

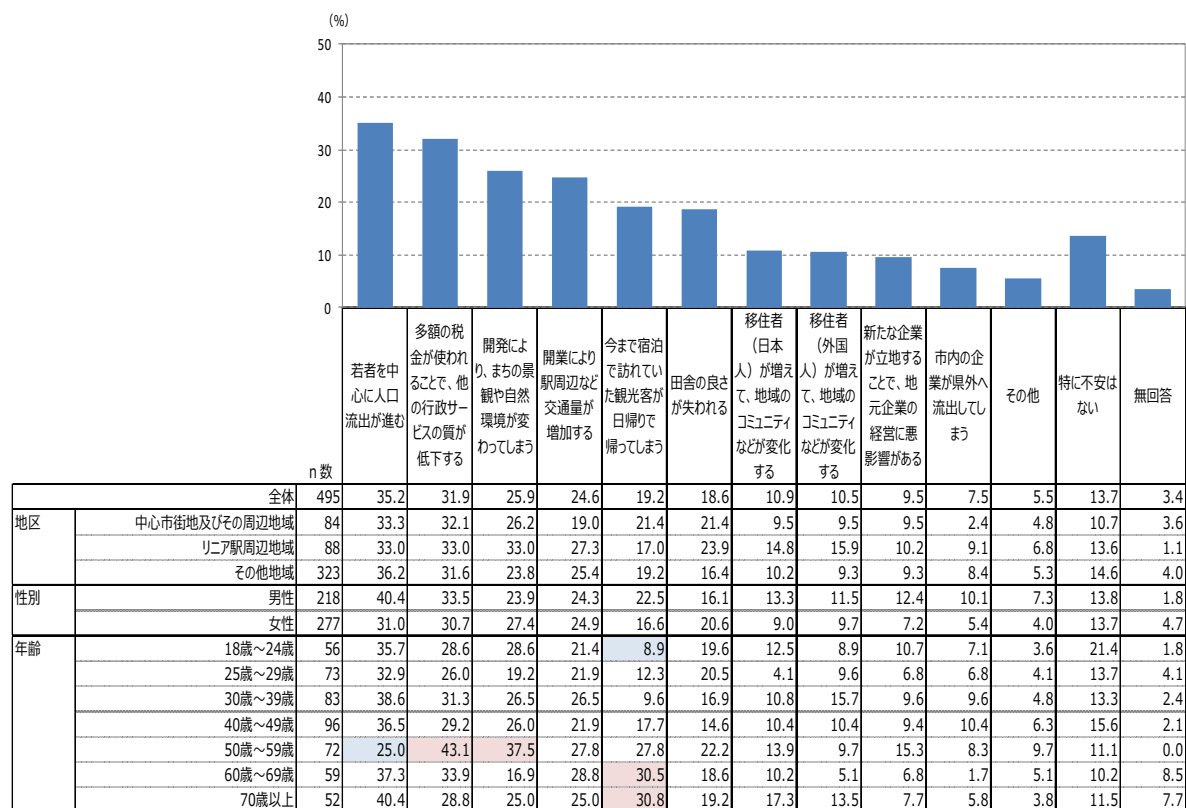


【補足資料】市民向けアンケート調査結果（概要）④

リニアへの不安（エリア別傾向）

- ◆市内においては、リニアに対する関心レベルのエリア差は見られない。（問17）
- ◆その一方、関心の内容やリニア事業に対する考え、意向・意識には、リニア駅周辺や中心市街地とその他地域エリア（特に遠隔エリア）で二分される傾向が見られる。（問18・19）
- ◆市全体をひとまとめのエリアとする扱いでは、リニアに対する期待を高めることは困難と思われる。（問22）

問22.リニア中央新幹線が開業した後のことに対する不安はありますか。開業するかどうかではなく、開業したと仮定した場合についてお答えください。



※ アンケート調査報告書 問17(P25)・問18(P28)・問19(P29)・問22(P32)参照

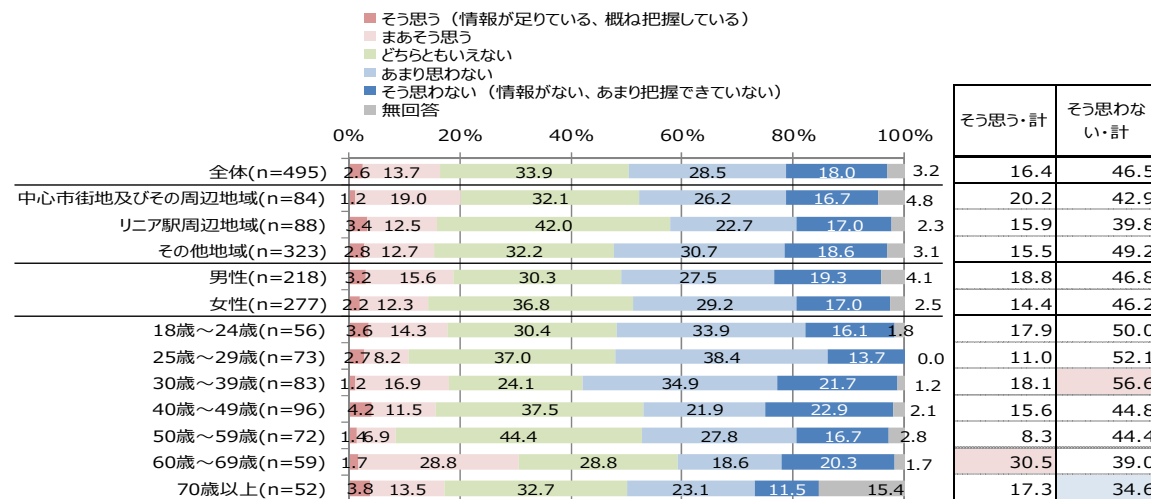
【補足資料】市民向けアンケート調査結果（概要）⑤

情報量・情報頻度・情報入手経路

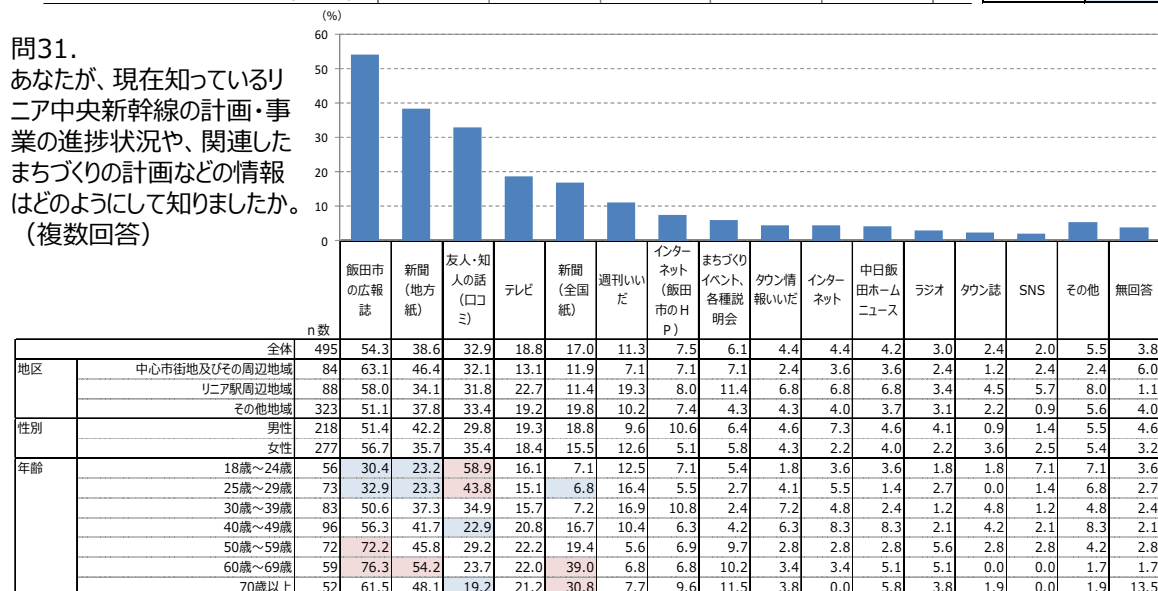
- ◆リニア関連の情報量に対して、「足りている」「まあそう思う」は2.6%、13.7%でしかなく、情報が不足しているとの認識を大多数の市民が抱いている。
- ◆かつその多くが市の広報（54.3%）からであることは課題。（情報が一方的にならざるを得ない）
- ◆SNSを利用していない人は、全世代を通して13.3%でしかなく、積極的な活用が必要である。
- ◆また、若者のほとんどが利用しているSNSだが、SNSによるリニア情報の取得はわずか2.0%にとどまっている。友人・知人の口コミが32.9%と高いのにもかかわらずこの数字は今後の課題。

※ アンケート調査報告書 問30・31(P47・48)参照

問30.リニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの「情報」についてお伺いします。「情報量」「情報提供の頻度」は十分だと思いますか。



問31.
あなたが、現在知っているリニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの情報はどのようにして知りましたか。（複数回答）



6.首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果からの考察①

現状の把握と課題の所在

現状

- ◆ 移住への関心はあっても、5年以内に実践に移す意向がある等の関心が強い人は1割前後
- ◆ 田舎過ぎない、住みやすい気候、低廉な生活コスト、仕事・サポートがある等の視点が重要
- ◆ 移住先の選定に当たっては、「訪問経験がある」ことが大切な要素
- ◆ 首都圏・中京圏全体で過半数が飯田への関心を示し、駅設置を認知している人も4割超
- ◆ 中京圏の方が飯田への認知度・理解度・訪問経験率が高く、身近に認識されている
- ◆ 「飯田に魅力がない」「飯田の魅力がわからない」とした人が首都圏では中京圏の倍
- ◆ 飯田の「自然」「食」「観光地」に対する関心度が高い
- ◆ 主要な情報源は、年代により大きく異なる

課題

- ★観光・移住とも、他の地域と比較した場合の優位点を明確化する必要がある
- ★移住先を検討する前提として、観光・仕事などで“行ったことがある”ことが大きな動機
- ★中京圏と首都圏の居住者の各々の特性を掴んだターゲットを明確にした情報発信が必要
- ★地方暮らしの市場としては、首都圏の方が取り組むのに効果が高いと考えられる
- ★仕事の確保をはじめ、暮らしの豊かさを視点に置いた情報発信と具体的な政策が重要
- ★20～30代における主要な情報源としてのSNSの活用が重要

6.首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果からの考察②

首都圏・中京圏居住者向け情報発信展開の基本的考え方

- ◆「観光地としての訪問先」あるいは「地方暮らし(移住・二地域居住・ワーケーション等)の候補先」としては、他の地域との比較の中で相対的に検討・評価されることから、「訴求ポイント」を明確化することが重要

◆飯田市の魅力は、「自然」「食」

他地域との相対的な評価といった観点も踏まえた“強い魅力”“強い印象”を持ってもらうことが重要
特に20代など若者視点での検討が必要

◆実際に来訪してもらい、飯田の魅力を体感・理解してもらう

「移住先を検討」⇒「飯田市に行ってみる」⇒「決定」ではなく
「飯田に行ったことがある」⇒「移住先として良いかも」⇒「関わりが生まれる」⇒「具体的に検討」⇒「決定」
※観光への関心度が高く、「観光促進」のプロモーションが「移住促進」に繋がることが期待される

◆地方暮らしを打ち出す上で、ターゲットを明確にして、「暮らしの豊かさ」に関する情報を提供する

「田舎過ぎない」「気候」「家賃・物価」「仕事の有無」は重要な観点
特に「仕事の創出」(企業誘致・起業促進)が若者への訴求ポイントとなる可能性が高い

◆SNS等の媒体を駆使して、リニア開業と飯田へのリニア駅の設置を、飯田へ関心を高める契機にする

リニア開業に向けたタイミングを考慮した情報発信策が、飯田の知名度向上、イメージアップ、さらには様々な誘致、誘客等施策事業にとって有効と考えられ、それに叶った計画の全体像が望まれる

【補足資料】首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果（概要）①

地方暮らしへの関心と検討時期

◆ 移住への関心度では、「関心がある」と回答した人が3～4割を占める。

◆ しかし、「5年以内」など「関心が強い人」に限定すると1割前後

【エリア】 首都圏＞中京圏

【性別】 男性＞女性

【年代】 若年層＞年配者層

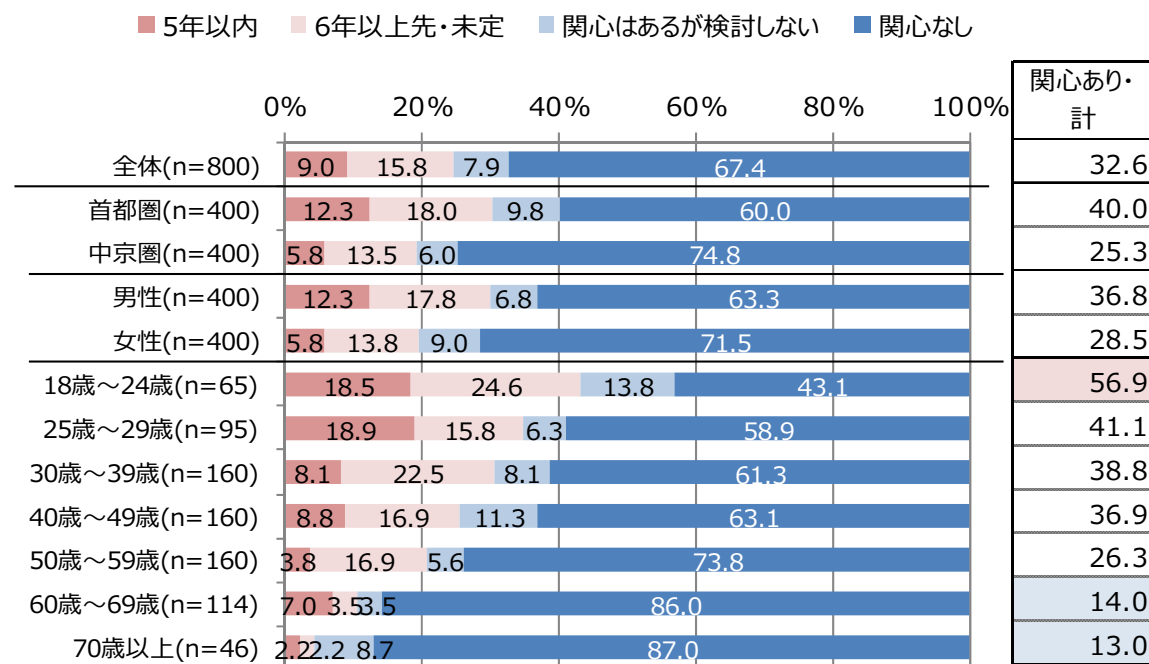
もしくは年収1,000万円以上の高所得者

問16.

あなたは地方で暮らすことに関心がありますか。（地方移住や、二地域居住、ワーケーションなど）将来的な可能性を含めてお答えください。

問17. ※問16で関心があると回答した人

地方移住や二地域居住、ワーケーションを具体的に検討するタイミングはいつくらいだと思いますか。



※ アンケート調査報告書 問16・17(P78～80)参照

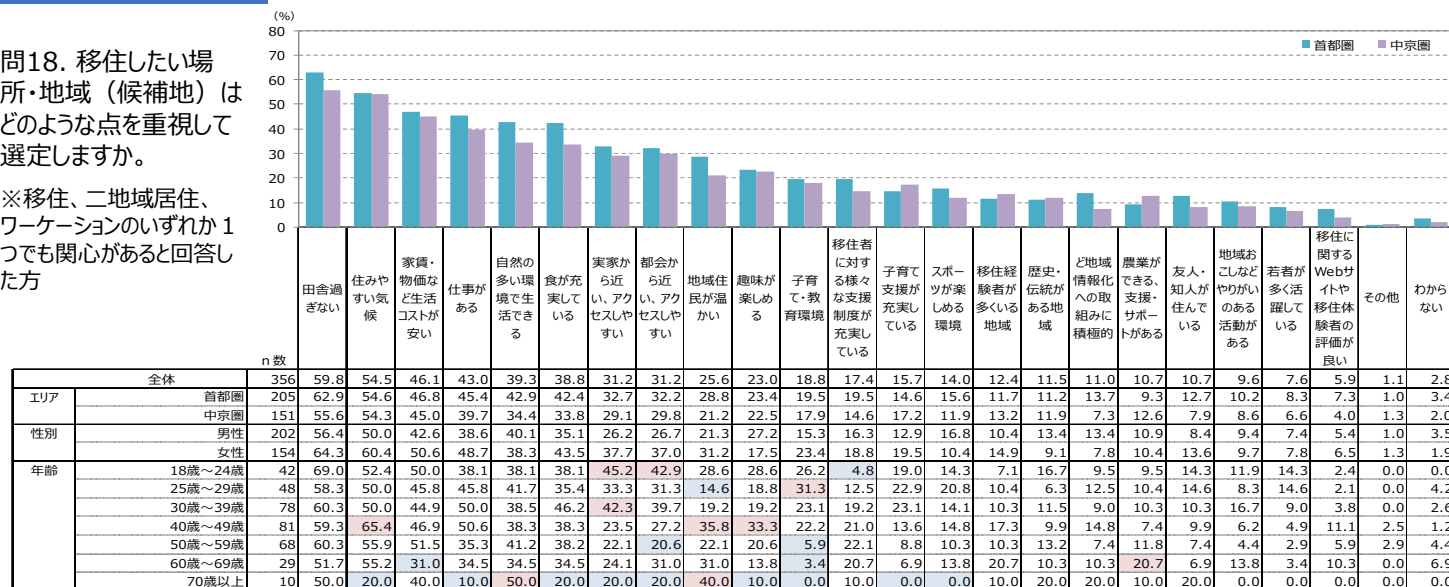
【補足資料】首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果（概要）②

移住先選定時に重視する点・不安材料

- ◆田舎過ぎないこと（60%）
- ◆住みやすい気候（55%）
- ◆低廉な生活コスト（46%）
- ◆仕事がある（43%）
- ◆テレワークでの働き方が増えているが、移住先に「仕事があること」は重要視されている。
- ◆若者が関心を示すといった視点からは、「仕事の創出」が移住促進と相関する可能性が大きい（企業誘致・起業促進策）

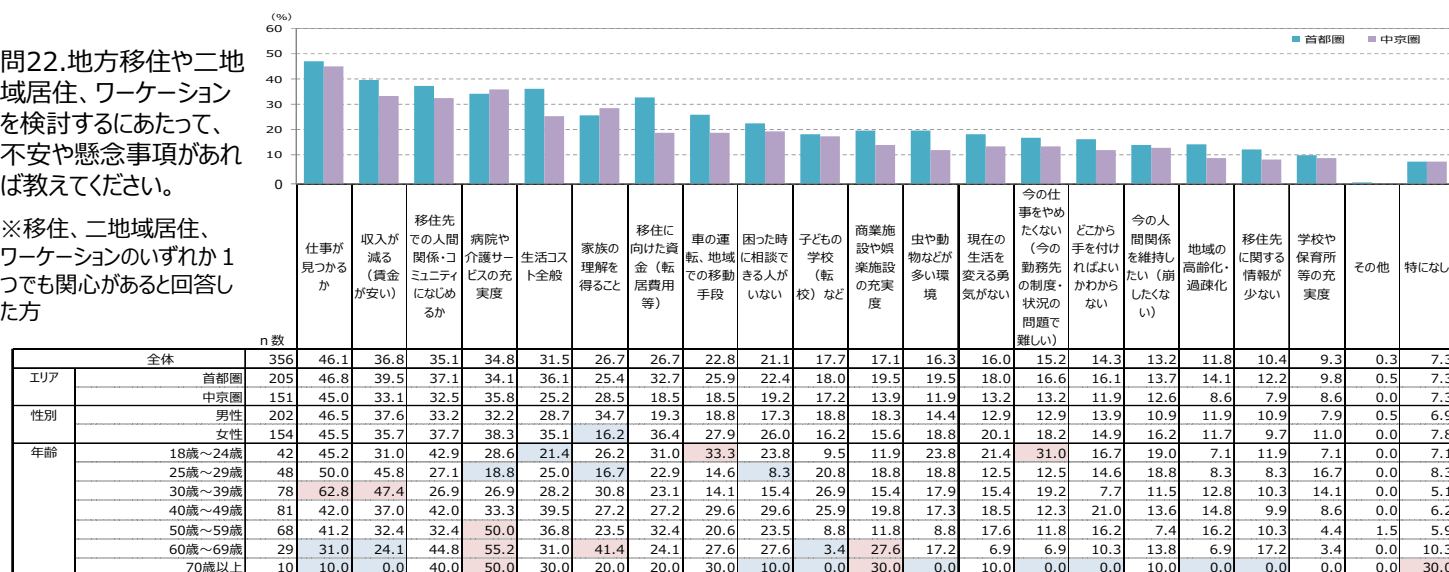
※ アンケート調査報告書 問18(P81)
問22(P85) 参照

問18. 移住したい場所・地域（候補地）はどのような点を重視して選定しますか。
※移住、二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があると回答した方



問22. 地方移住や二地域居住、ワーケーションを検討するにあたって、不安や懸念事項があれば教えてください。

※移住、二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があると回答した方



【補足資料】首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果（概要）③

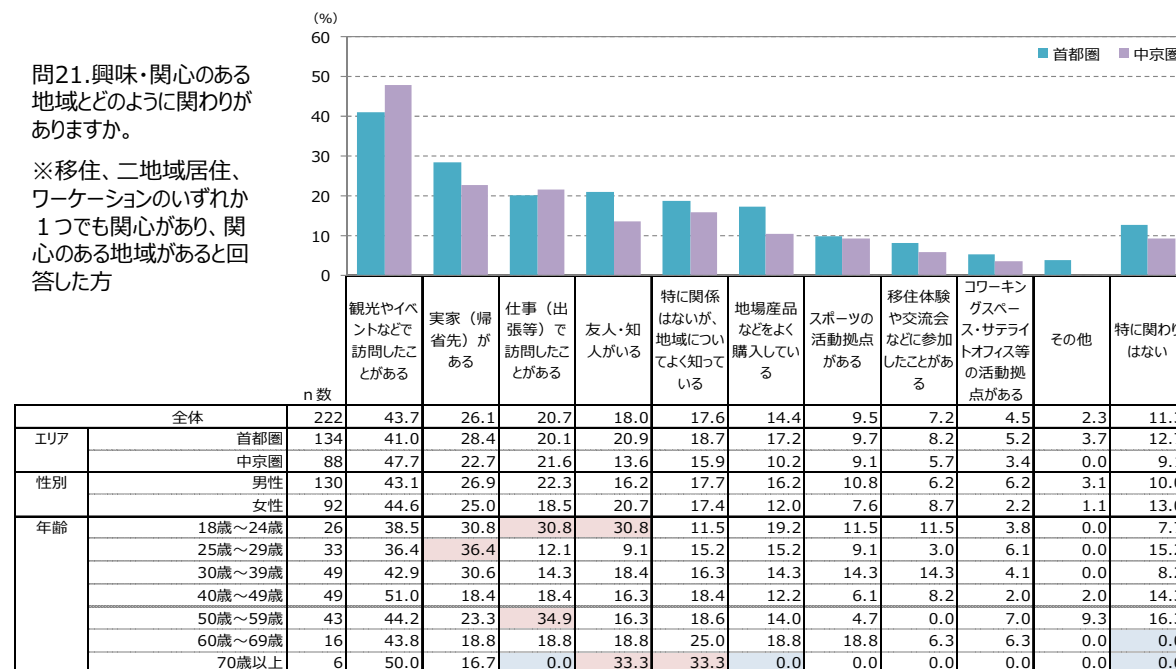
地方暮らし先として 関心がある地域との関係

- ◆ 移住先の選定においては、観光・仕事等で「訪問経験がある」ことが影響している。
- ◆ 故に、まずは飯田市に来て見てもらい、飯田の良さを実感してもらうことが、候補先になるための取り組みとして重要
- ◆ 飯田市の認知度について、「どのような地域か知っている」は、首都圏15%、中京圏21%
- ◆ 「何県にあるか知っている（首都圏33%、中京圏43%）」程度の認知レベルでは、飯田市の良さを理解してもらえず、観光・移住につながりにくい。
- ◆ 飯田市がどのような地域なのか、どのような魅力があるのか、具体的に理解してもらうことが今後にわたる大きな課題

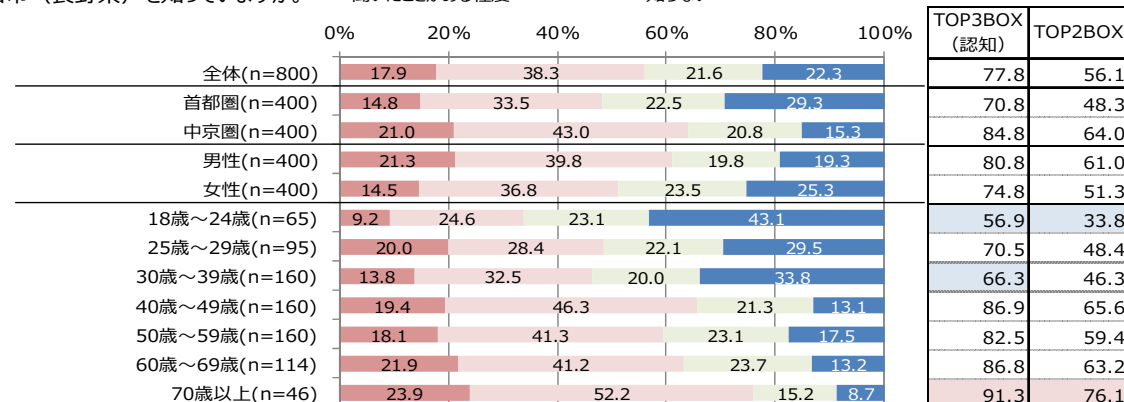
※ アンケート調査報告書 問21(P84)問23(P86)参照

問21.興味・関心のある地域とどのように関わりがありますか。

※移住、二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があり、関心のある地域があると回答した方



問23. 飯田市（長野県）を知っていますか。



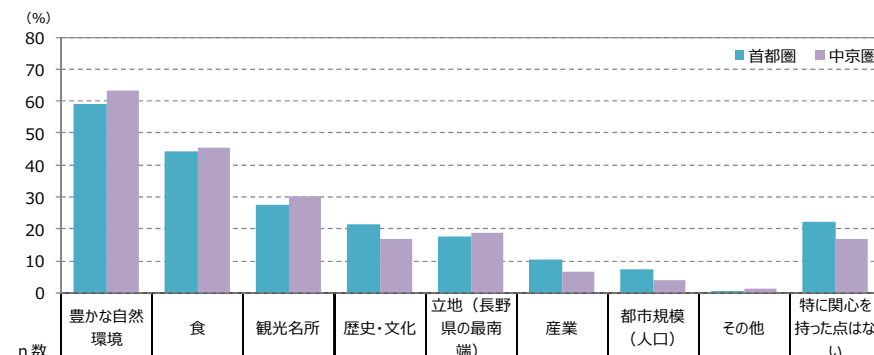
【補足資料】首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果（概要）④

飯田の概要・魅力への関心

- ◆飯田に対し、「自然」(61%)・「食」(45%)「観光地」(29%)等の観点からの関心度が高い。
- ◆ただし、概要や魅力の説明文を提示した上での設問であり、自分の視点で具体的にイメージした上での評価ではない可能性が高い。
- ◆観光・移住とも、他の地域と相対的な比較の中で検討されやすい側面がある。
- ◆「自然」や「食」といっても他との違い（比較優位点）は明確なのか、情報発信の際には掘り下げる必要がある。

※ アンケート調査報告書 問27(P91・92)参照

問27.
飯田市の概要・魅力について関心を持った点がありますか。



全体		800	61.1	44.8	28.9	19.0	18.1	8.5	5.5	0.9	19.6
エリア	首都圏	400	59.0	44.3	27.5	21.3	17.5	10.5	7.3	0.5	22.3
	中京圏	400	63.3	45.3	30.3	16.8	18.8	6.5	3.8	1.3	17.0
性別	男性	400	61.0	36.0	27.0	21.8	21.8	8.3	8.0	0.8	22.0
	女性	400	61.3	53.5	30.8	16.3	14.5	8.8	3.0	1.0	17.3
年齢	18歳～24歳	65	58.5	50.8	27.7	21.5	21.5	12.3	7.7	1.5	18.5
	25歳～29歳	95	56.8	46.3	18.9	9.5	16.8	7.4	5.3	0.0	18.9
	30歳～39歳	160	58.1	48.1	26.9	16.3	16.9	8.8	5.0	0.6	18.1
	40歳～49歳	160	66.3	49.4	26.9	21.3	18.8	10.0	6.9	1.3	16.9
	50歳～59歳	160	61.9	41.9	31.9	19.4	18.8	8.8	5.0	1.3	22.5
	60歳～69歳	114	63.2	40.4	39.5	24.6	17.5	6.1	4.4	0.9	21.1
	70歳以上	46	58.7	26.1	28.3	21.7	17.4	4.3	4.3	0.0	23.9

アンケート設問で提示した概要や魅力の説明文

	%
自然環境 東に南アルプス、西に中央アルプスがそびえ、南北に天竜川が貫く豊かな自然環境 四季がはっきりしており、長野県内では温暖な気候	61.1
環境政策 「環境モデル都市」に認定されており、地産地消のグリーン電力を利用した先進的な取り組みを実施	—
立地 長野県の最南端（首都圏と中京圏の中間に位置）	18.1
観光名所 天龍峡、遠山郷、下栗の里などの観光名所 天竜川の川下り しらび高原 りんご並木 元善光寺 JR飯田線秘境駅	28.9
歴史・文化 人形劇のまちと知られるなど歴史・伝統 飯田市独自の観光提案（農家民泊、体験教育旅行、リンゴのお酒・シールドにちなんだ旅行）	19.0
食 そば、漬物、みそ・しょうゆ、果物（りんご、なし、もも、ぶどう、市田柿など） 人口1万人あたりの焼肉店舗数日本一	44.8
産業 精密機械、電子、光学のハイテク産業をはじめ、半生菓子、漬物、味噌、酒などの食品産業、市田柿、りんご、なしなどの果物を中心とする農業が盛ん	8.5
総人口 約99,000人	5.5

【補足資料】首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果（概要）⑤

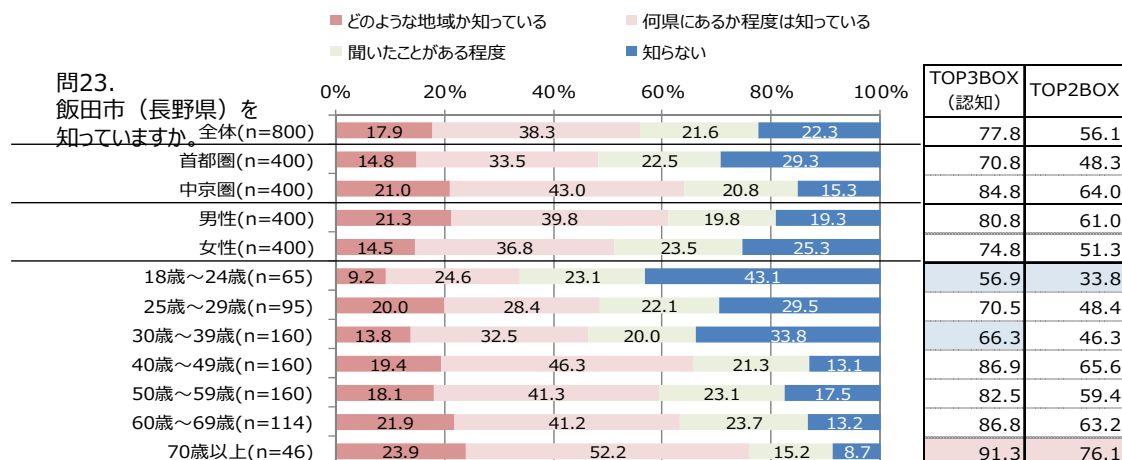
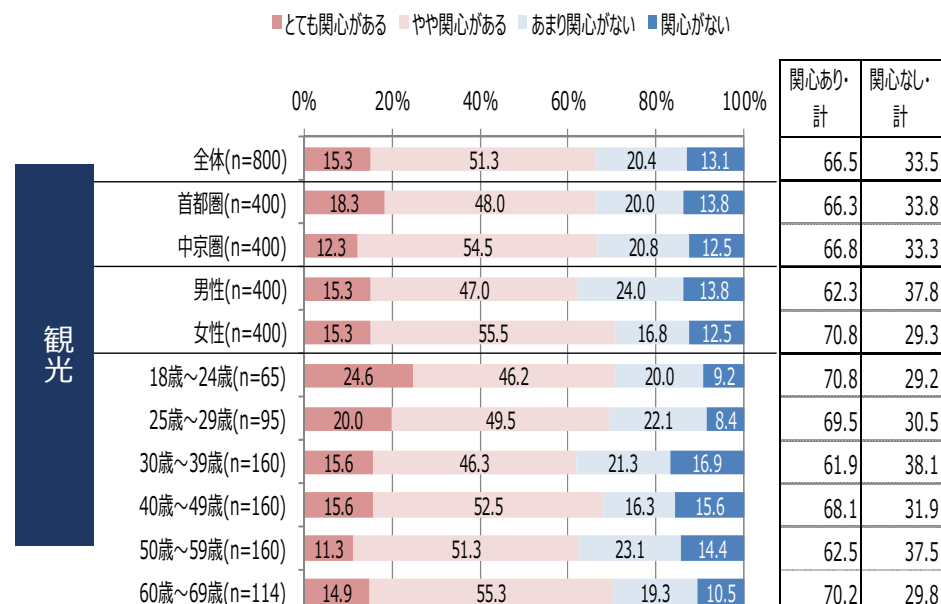
観光目的や地方暮らし先としての飯田への関心度

- ◆ 観光目的あるいは地方暮らし先としては、首都圏(66%)・中京圏(67%)とも、同様の関心度である。（問28）
- ◆ 中京圏居住者の方が飯田市への認知・理解度・訪問経験率が高く、観光地としては身近なエリアとして認識されていると思われる。（問23）
- ◆ 実際の行動(観光)に心理的・物理的に近い中京圏居住者や、相対的には遠いが地方暮らし先として関心の高い首都圏居住者のそれぞれの特性を掴んだ情報発信が必要。

※ アンケート調査報告書 問23(P86)・問28(P93・94)参照

問28.

飯田市の概要・魅力をご覧になった上でお答えください。飯田市について、観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場所としてどのように思いますか。



【補足資料】首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果（概要）⑥

観光目的や地方暮らし先としての飯田の可能性

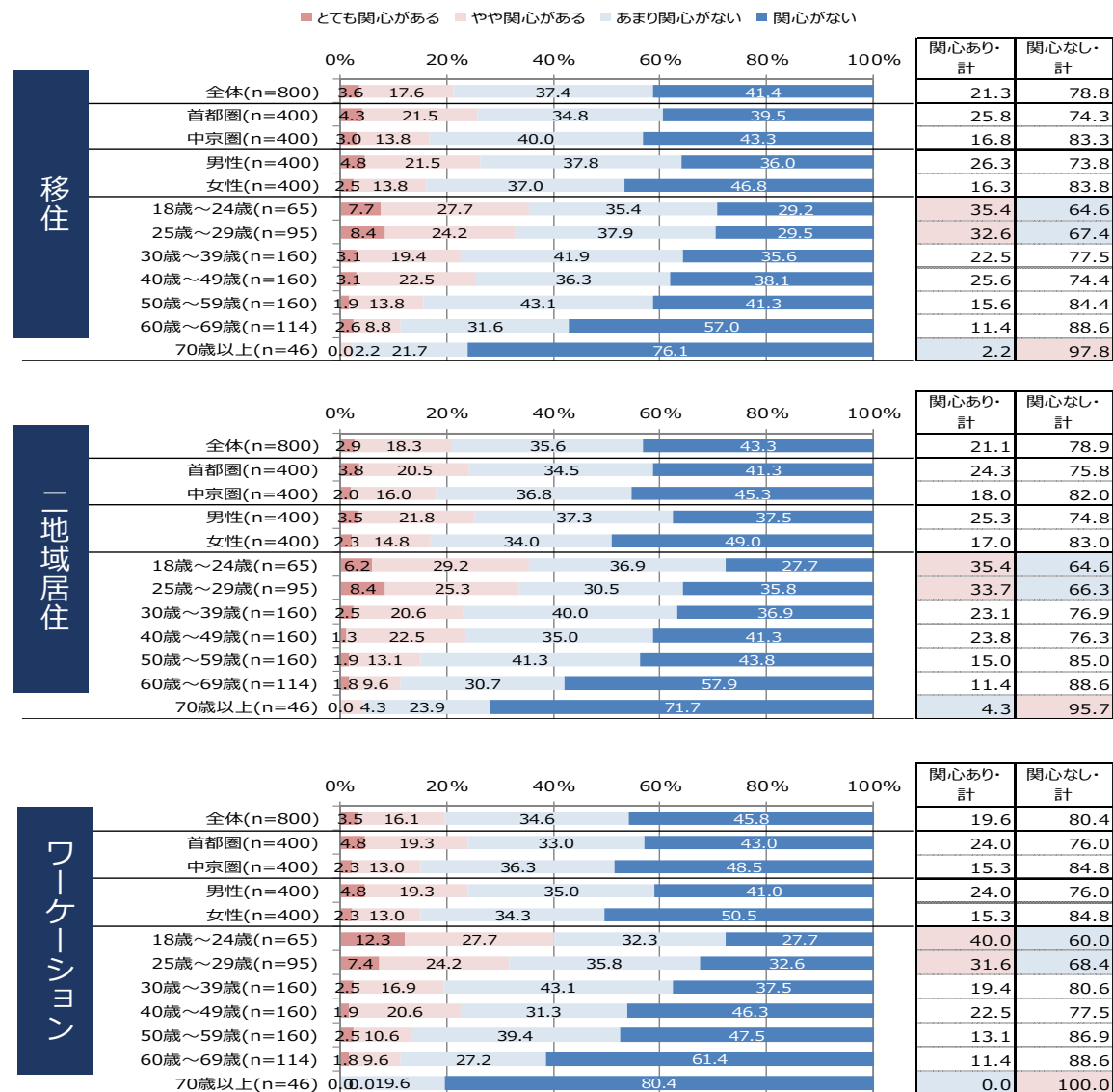
◆ 移住、二地域居住、ワーケーションとも、首都圏居住者、男性、20代、未婚、ひとり暮らしの関心度が高い（問28）

◆ これらの層をターゲットとしてイメージした上で、「仕事があるか」「生活していける収入を確保できるか」といった点（問22）を兼ね合わせて、情報発信ができるかいなかかが重要な要素。

※ アンケート調査報告書 問22(P85)問28(P93～97)参照

問28.

飯田市の概要・魅力をご覧になった上でお答えください。飯田市について、観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場所としてどのように思いますか。



【補足資料】首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果（概要）⑦

飯田にリニア駅ができることの認知度 リニア開業を契機とした飯田への関心

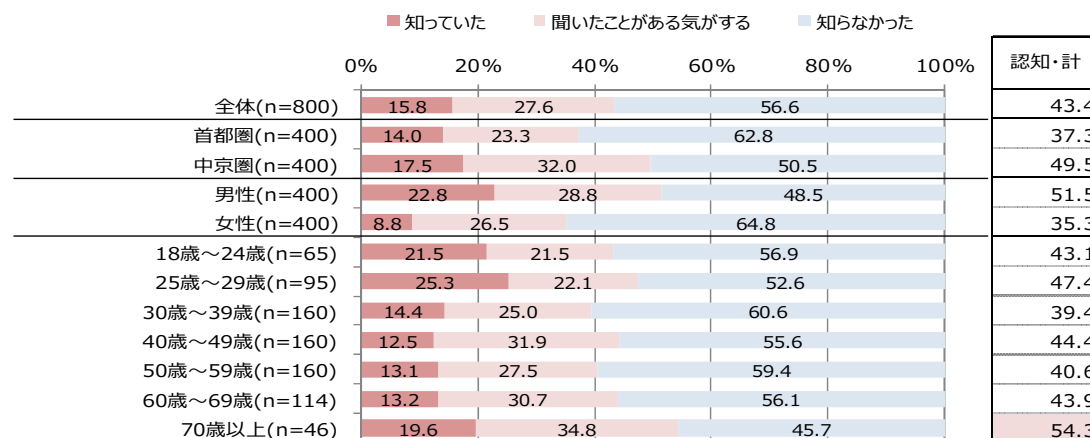
◆リニアに関しては、首都圏/中京圏全体で過半数の人が関心を示し(問29)、飯田市に駅が予定されていることを知っている人も「なんとなく」を含め4割を超えている(問30)

◆リニア効果が最もあらわれるのは観光で、これに対して移住、二拠点居住、ワーケーションの対象地としての浮上はそれぞれ10%台にとどまっている。しかし、中京圏に対して首都圏の方が「関心あり」とした回答が約10%ほど多い(問28)

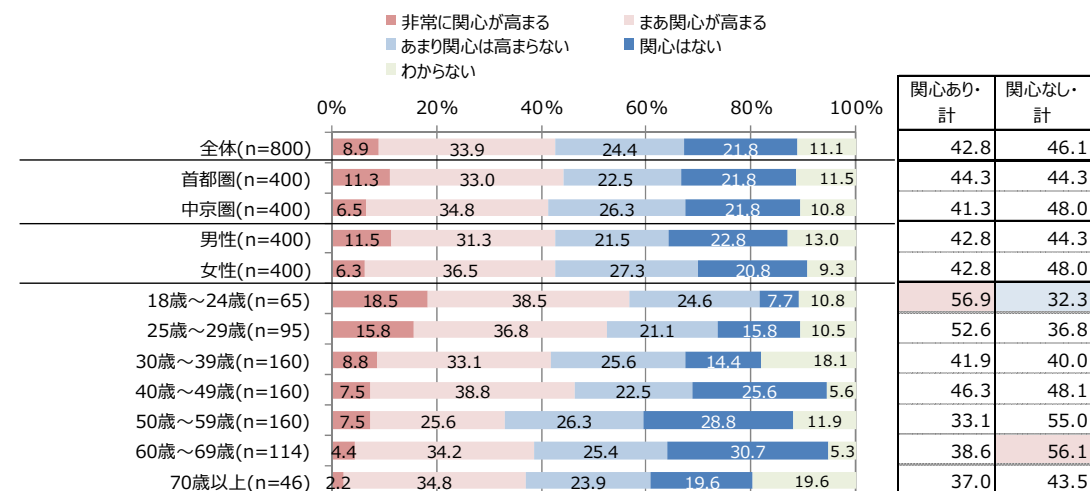
◆「リニアによって関心が高まった」とした人も、中京圏の6.5%に対し首都圏は11.3%と倍近く、地方暮らし先としてアピールをしていくのに、首都圏の方が効果が高いと思われる(問31)

※ アンケート調査報告書 問28～30(P93～100)参照

問30.飯田市には、リニア中央新幹線長野県駅が開設される予定があります。(東京-飯田4時間⇒40分／名古屋-飯田 約2時間⇒20分) ご存じでしたか。



問31.リニア中央新幹線長野県駅の開業（予定）は、飯田市に対する興味・関心が高まるきっかけとなりますか。



【補足資料】首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果（概要）⑧

リニア開業により飯田市への関心が高まる理由・高まらない理由

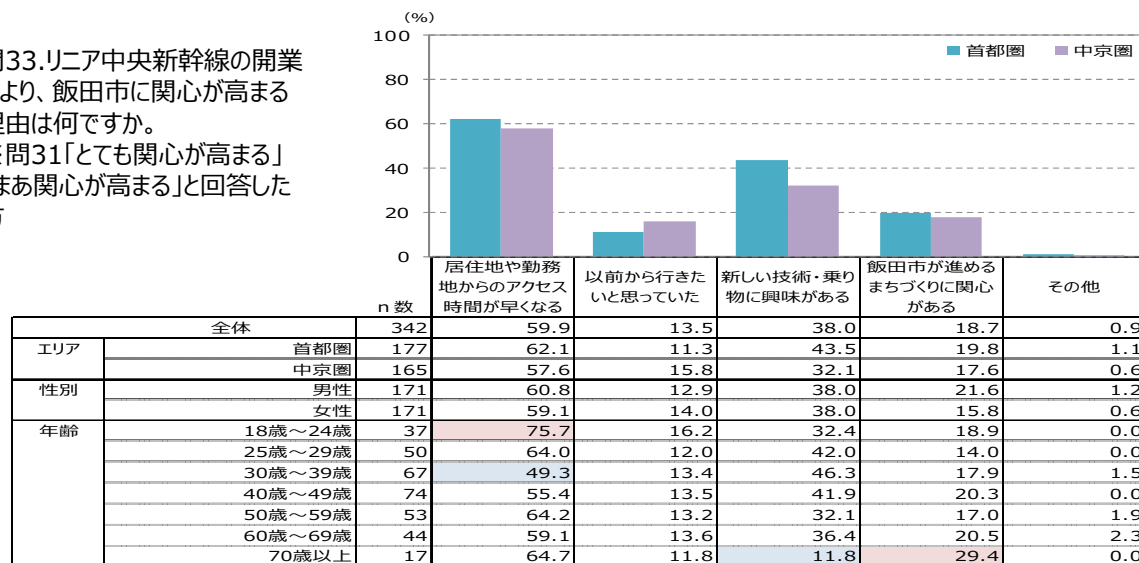
◆リニア開業により飯田市への興味や関心が高まると回答した人の理由として、「居住地や勤務地からのアクセス時間が早くなる」が、首都圏で69%、中京圏で58%(全体60%)

◆一方、「関心が高まらなかった」とした人で「飯田に魅力を感じない」「飯田の魅力がわからない」とした人が首都圏で29%で、中京圏の倍

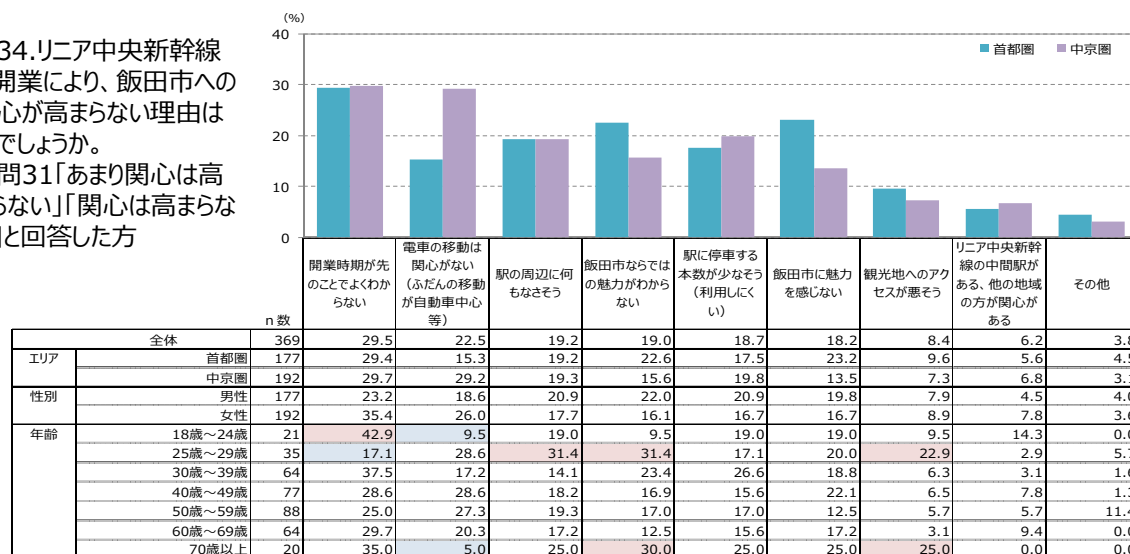
◆現段階での飯田市との物理的距離の差や地方暮らしに対する関心度から、首都圏に対しては、まずはこの地を訪れてもらい、その上で地方暮らしを視野に入れてもらうような政策と、それに沿った情報発信が重要であることがうかがわれる。

※ アンケート調査報告書 問33・34(P103～106)参照

問33.リニア中央新幹線の開業により、飯田市に関心が高まる理由は何ですか。
※問31「とても関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した方



問34.リニア中央新幹線の開業により、飯田市への関心が高まらない理由は何でしょうか。
※問31「あまり関心は高まらない」「関心は高まらない」と回答した方



【補足資料】首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査結果（概要）⑨

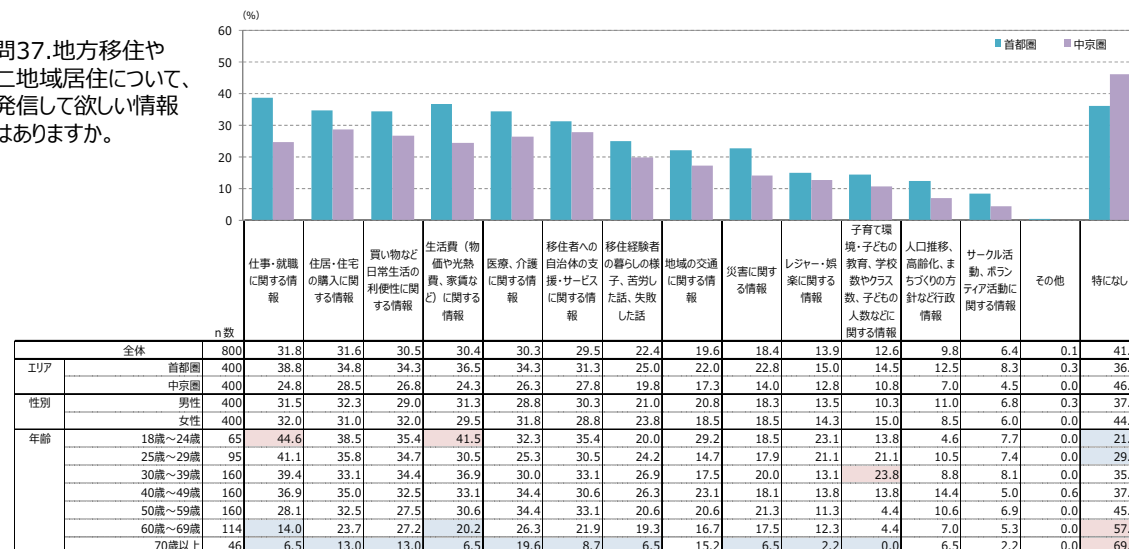
地方暮らしに向け発信して欲しい情報 と普段利用する情報媒体

◆「仕事・就職」(32%)・「住居・住宅」(32%)・
「買い物等の日常生活の利便性」(31%)・
「生活費」(30%)・「医療・介護」(30%)・
「移住者への自治体の支援・サービス」(30%)
等が3割程度で分散（問37）

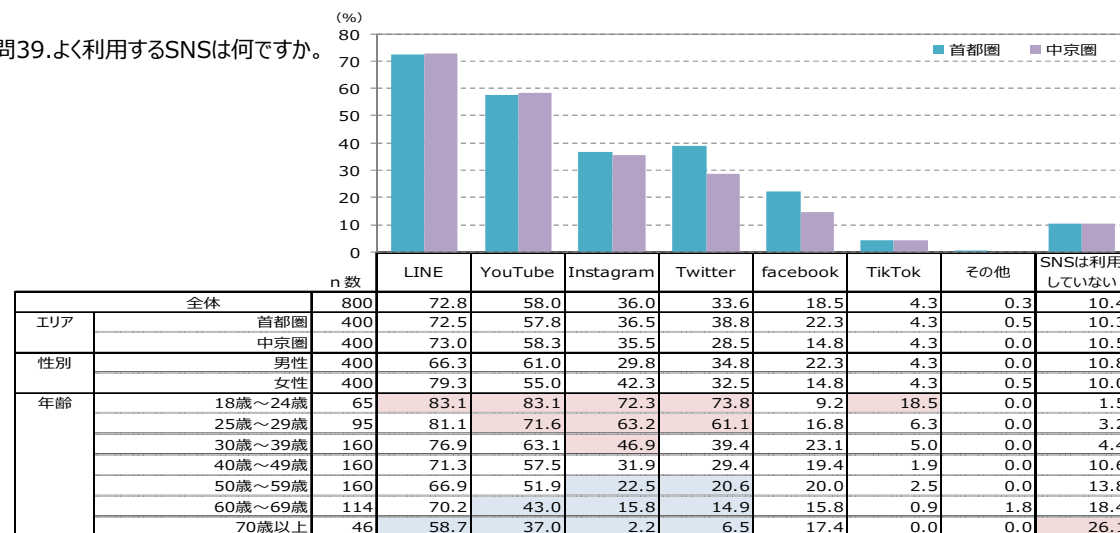
◆日常よく接触するメディア・情報源は、年齢による傾向の違いが大きく、20～30代においては、SNS、Webサイト、テレビの利用が顕著で、特にSNSが主要な情報源となっている。（問38）

◆市のHPやSNSとの接触、イベントへの参加なども首都圏住民の方が積極的であり、情報への要求も全内容にわたって中京圏を5～10%上回っている。

問37.地方移住や
二地域居住について、
発信して欲しい情報は
ありますか。



問39.よく利用するSNSは何ですか。



7. 情報発信のあり方①

アンケート結果

地元の状況

- ◆ リニアに関しては、世代を問わず多くの人が一定程度の知識を有し、それなりの関心を寄せている

首都圏・中京圏の状況

- ◆ 「飯田」は一定程度認知がされている
- ◆ リニアに関しても前向きで好意的な捉え方が全体を占める



ここから先の課題

- ◆ 対象者ごとの区分に応じたきめ細かな「情報の種類」「情報の質的階層」を捉え、それぞれに合ったコンテンツを丁寧に用意すること
- ◆ 相乗効果を最大限創出できるよう、媒体や手法を立体的に組み合わせて、段階的な目標設定のもとに情報発信を展開していくこと

7. 情報発信のあり方②・・・地元住民

市民向け情報発信

性・年齢別

リニアがもつ”アクティビティ・イメージ(移動やコミュニケーションが活発化する)”からか、「10代や社会に出る前の世代」と「仕事を通して活動的な日々を送っている現役世代」「高齢世代」「専業・子育て主婦」との間で、リニアに関する知識や関心の程度や内容、及びまちづくりや暮らし全般との関連づけでの捉え方や評価に差が見られた

リニアをテーマにした情報発信では、こうした対象となる情報の受け手の区分を踏まえて、情報提供する内容を検討することが重要

地域別

関心や期待内容については、ポジティブな評価(まちの整備、知名度向上、ビジネスがしやすくなる等)が多いものの、傾向としてはリニア駅周辺地域が低く、リニア駅から離れるほど高くなる

リニア駅周辺地域では環境影響や渋滞などネガティブな評価が高いが、影響を受けやすい地域だけに、それだけ意識が高いとも言える。理解を得るためには、用地買収への理解や進捗度等を十分に踏まえ、その上でネガティブ情報に対して、正確・的確・丁寧であり、且つ質的にも量的にも勝るポジティブな情報の発信、提供が、他地域に優先して、集中投下される必要がある

7. 情報発信のあり方③・・・首都圏・中京圏

首都圏・中京圏居住者向け情報発信

- ◆ 首都圏の居住者は、一定の情報・知識はあるものの訪問経験が少ないため、リニアという(好)刺激情報による観光や移住等の動機の喚起や高揚が、中京圏より目立って認められる



リニアにより時間距離が短くなる飯田市の魅力を、さまざまな情報を盛り込みながら最大限にアピールすることが効果的

- ◆ 中京圏の居住者は比較的冷静な受け止め方であり、飯田市は身近な観光・行楽地と受け止められているようであり、それに応じて情報、知識も相対的に広く住民の中に行き渡っている



リニアによって何が、どこが、どう変わるのか？また変わったのかを、例えば駅前整備の具体的な内容などを、地道に発信し、ビフォー・アフターの比較に人々が興味・関心が向くようにすることが有効

- ◆ 首都圏及び中京圏の居住者への情報発信としては、ニュース性のある情報をタイミング良く展開することをベースに、品川(首都圏)・名古屋(中京圏)の各駅を起点に、各圏域の中に徐々に認知度や関心度が高まっていくような施策(地上戦)を、ネット(空中戦)と併行して絡めながら進めていくことが肝要である

7. 情報発信のあり方④・・・市内×首都圏・中京圏

区 分		リニアの知識・情報の到達 及び認知・理解状況	リニアへの関心のレベル 及びポジ／ネガ評価内容			情報発信の課題	
市民	性・年齢別	10代～若者世代 (エントリー世代)	所要時間・料金等のファクト情報がほとんどであり、その人にとっての関心事に併せた情報や、まちづくり等の将来の暮らしに関する情報はほとんど届いていない。従って、世代間に際立った情報評価への差異は見られない		入手情報のレベルに応じて、自分や地域の将来について計画したり夢を抱くような形でリニアに対する関心が醸成されているレベルにはない	A	A リニアが持つアクティブな要素やイメージ（スピード・時間・移動・外との交流）等を前面に出した情報発信 B リニアがもたらす新しい価値観による情報発信
		20代現役世代				A	
		子育て現役世代 (前半／後半)				B/A	
		熟年世代 (50～60代)				A/B	
		リタイア世代				B	
	地域別	駅立地周辺地域 (上郷・座光寺)	性・年齢別で、大きな差はない 地域別にも目立った差はない	Positive な関心 (低) ↓ (高)	Negative な関心 (高) ↑ (低)	全般的 な意識 (高) ↑ (低)	地域別の実情に合わせたきめ細かな情報の分けと発信 ⇒話し合いの場や印刷物等をはじめとする説明媒体の充実が必要
		中心市街地 及び周辺地域					
		その他地域					
首都圏 中京圏 居住者							
	首都圏居住者	大まかではあるが、飯田に関して一定の認知はある	観光や移住等の動機が端的に喚起され、関連付けが効果的に認められることから、リニアに関する情報は有効性が高い				
	中京圏居住者	飯田には親近感を持っており、それ故認知もされている	動機付けには冷静さが求められる。リニアによる具体的な変化をイメージした上で訴求することで、納得感を丁寧に創っていく必要がある				

8. 情報発信の今後の方向性①・・・市民向け

知ることと考えることの2本立てで 情報を発信・提供する

一方的に情報や知識を発信するだけでなく、受信者が情報を「知って」、それを自分事として捉え、ともに夢の実現や課題解決を「考えて」いくきっかけとなるような情報発信とする

(例: 情報をキャッチし、様々な面から考えることを可能にする「語り場」の設置等)

1

「情報の受け手の属性」、「情報の種類」、 「情報の質」を踏まえての情報発信

受け手の世代や関心に合わせた情報の提供とともに、

- ・リニアとまちづくりに関する事実情報(DATA)
- ・関係者へのお知らせ(INFORMATION)
- ・将来に向けての行動を促し支える知識(KNOWLEDGE)
- ・飯田市の未来ビジョン(INTELLIGENCE)

という情報を、秩序立てて複合的に提供する

2

情報発信媒体の整理と 新しい手法の導入による情報発信

- ◆ 市の広報紙及びWebサイトは、現状では市民がリニア情報に接するメイン媒体であることから、引き続き情報発信の核となるツールと位置付ける
- ◆ それだけでは、情報の受け手が片寄ったり情報が一方的になりがちであることから、地元民間のメディアを活用したり、SNS等の媒体を活用しての補完策を強化する

3

情報発信の総体をキャンペーン仕立て にすることで情報発信の効果を高める

- ◆ 情報発信活動の総体を、継続的なキャンペーン活動＝運動ととらえ、リニア開通に向け、全市域、全市民をあげての市民運動につなげていく
- ◆ これによって、情報発信のインパクトを高めるとともに、情報の伝達・浸透のスピードを早め、理解と共感に支えられての事業推進と気運醸成に結びつけていく

4

8. 情報発信の今後の方向性②・・・首都圏・中京圏居住者向け

(人・食・自然)×リニアで 新・飯田市の魅力を情報発信

- ◆ リニア開通及びリニア駅整備は、首都圏中京圏共に、観光、移住、ワーケーション等の動機づけとなることを具体例と共にアピールする
- ◆ 食や自然は、その魅力の高さを十分に想定してもらうことができるような内容とする
- ◆ 「人とのつながりを大切にする風土」は特筆される地域資源。その上に新たな魅力要素としてリニアをトッピングし情報発信することで、飯田市の新たなブランド形成、イメージアップを目指す

(人・食・自然)×リニア＝ ”地元の盛り上がり”を情報発信

地元の農産物・料理や豊かな自然・景観、魅力的な人々などの地域資源を、地元のライブ感が伝わるよう、祭りやイベント、さらにはリニアのNews...などに併せて、キャンペーン仕立てでライブ感をもって情報発信する

1

2

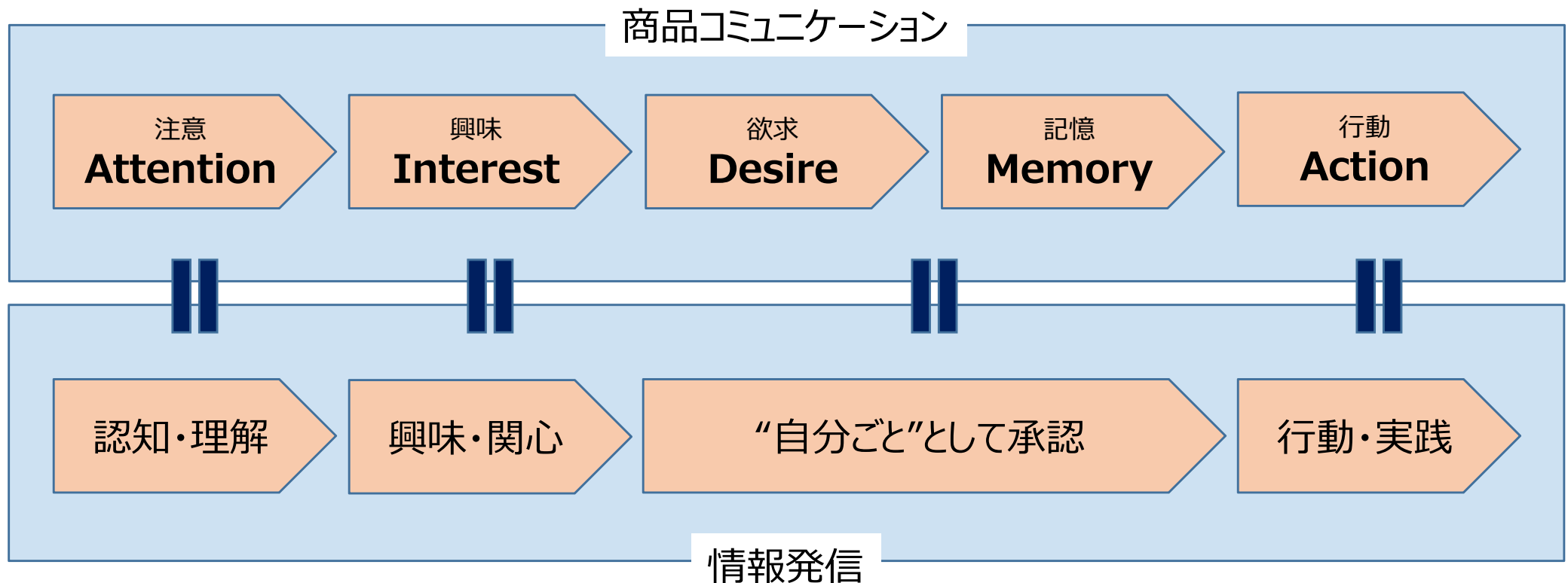
3

リニアのターミナル駅である品川駅や名古屋駅等を起点とした 首都圏、中京圏への情報発信

- ◆ 地元から首都圏・中京圏への情報発信が、外部から地元への期待感に繋がり、さらにそれが地元でのリニアによる地域活性化に繋がっていくような「情報の相乗効果を高める取り組み」が重要
- ◆ 大都市の人が集中的に集まるJRターミナル駅は、リニアとの相性も当然によく、効率的な情報発信・提供を行うに当たって特別な地点として位置づけることが重要
- ◆ これらのターミナル駅を起点とし、Off Line(まちなかでの活動)・On Line(SNSサイトでのやり取り)の双方で、多面的な内容と手段で情報発信を展開していく

【補足資料】情報発信とは①（情報発信の達成度指標）

- ★情報発信においても、ゴールとそこに行きつくマイルストーンの設定は有効かつ不可欠でもある。
- ★商品情報(広告)の場合には達成度の指標として「AIDMAの法則」と呼ばれる考え方があるが、これを参考に、情報の達成(到達)状況を対象者の属性や居住地ごとの違いのなかで分析し、対象者別の効果的な情報発信施策を講じていくものとする。



【補足資料】情報発信とは②（情報の種類・情報の質（階層））

①情報の種類・優先度

- 対象別に「知りたい情報」が的確に「伝わっている」ことが大事な要件

（例）育児中の主婦→親身になった子育て情報、田舎暮らしを考える人→詳細な空き家情報等

- 情報の種類・プライオリティは、人それぞれに異なる

⇒ リニアに関しては、コロナや静岡工区の水問題等もあって、先行き不透明感が漂っており、時期を明確にした上で行動を起こすために入手が必要となる情報の具体的なイメージができないのが実情

- 従って情報の分野・種類も限定されているフェーズにある

②情報の質（階層）

- 今回のリニア情報のようなフェーズにおいて、情報の質（階層）を認識することが特に重要
- 日本語では「情報」はひと言だが、英語ではいくつかの階層に分けられる
- 情報の質（階層）は、情報に興味・関心を持ってもらい、「自分事」としてとらえ、自発的なアクションにつなげていくことを計画的に誘導していくうえで、情報発信にとって重要な要件
- ◎ 特にさまざまな属性に加え、複雑な意識階層に分かれるであろう地元に対して、情報の質（階層）は情報発信の重要な視点

【補足資料】具体的な情報発信の展開例①

①基礎情報の整理と発信

目的

リニアによって何がどう変わるのかを考えるための基礎知識を、全ての人がいつでも得られる環境を整える。

内容

- 基礎情報・・・所要時間・運賃(想定)・リニア関連事業の計画・全体像・進捗状況など
- 市Webサイト「リニアのまちづくり・いいだ」を見やすく改修し、必要な情報にアクセスしやすいよう、項目等を再整理する。
- Webサイトへの掲載は、スマートフォンやタブレットでの閲覧にも配慮すると共に、可能なかぎり分かりやすく、速やかに、多くの情報を掲載する。
- インターネットでの情報取得が不得手な方のために、紙媒体で配布できる広報資料・パンフレット等も作成し、適時改定する。

補足

- リニア開通による首都圏・中京圏への所要時間・運賃等の基礎情報は、リニアを活用するイメージに不可欠な要素
- 同時に、リニア関連事業の範囲や計画、全体像など、この地域の何がどう変化していくのかを理解する上で必要な知識となる
- 先行き不透明なことによる不安感の軽減に繋がるような情報として位置づけることも必要

【補足資料】具体的な情報発信の展開例②

②情報発信媒体の多様化

目的	市内外問わず多様な人が取得可能な媒体で、進捗状況や生活への影響等の情報が得られ、不安の払拭と気運の向上を図る。
----	---

内容

- 従来から取り組んできている広報いいだや市Webサイトへの進捗状況等の掲載を継続する。
- SNSで、ニュース性のある内容やポジティブな情報を発信する。 ※公開の可否について十分な配慮(チェック機能)が必要
- ケーブルテレビや動画サイトなどによる動画での配信。
- 一定の読者層を有する月刊いいだ等の民間の広報誌で、リニア時代の生活スタイルを、「子育て」「通勤」「買い物」などのテーマごと掲載する。

補足

- どのSNSや動画サイトを活用するかは、対象や内容を踏まえて検討する。

【補足資料】具体的な情報発信の展開例③

③「語り場」(市民セミナー方式)設置による 学習(知る)→テーマ設定(考える)→行動(自分事化)

目的	情報の発信と取得に留まらず、考え、議論を通して自分事化し、リニア時代に向けた新しい取り組みや、価値創造を図る。
----	---

内容	●公民館活動をはじめ、みんなで集い、考え、議論し、行動してきた飯田の特徴(「結い」と「ムトス」の精神)を基盤とした「市民セミナー方式」での開催等を念頭に置いた「語り場」を設置する。 ●様々な分野の事業者や地域での活動者(インフルエンサー)、さらにはこれから一緒に地域の在り方を考えて行こうとする方々に声をかけ、リニア時代に向けた学習を重ねる。内容はリニアに関する情報はもとより、さらに広く経済も含めた社会情勢等、参加者の関心などを踏まえ検討する。 ●課題や関心毎にテーマを設定する。 ※複数のテーマとグループが形成される可能性がある テーマ案: 「環境」「自然」「農業」「食」「産業」「経済」「観光」「教育」「子育て」「伝統文化」「芸術」「福祉」など ●学習を重ねる中で、自分たちにできること、やりたいこと、やらなければいけないことを議論し、具体的な実践につなげる ●上記の学習内容や取り組みを、SNSや動画などで市内外へ発信し、気運向上や首都圏・中京圏への情報発信につなげる。
----	---

補足	●テーマ設定のタイミングや内容は、集まっていただく方々を見据えながら検討が必要。
----	--

【補足資料】具体的な情報発信の展開例④⑤

④SNSや動画を活用した市民による情報発信

目的	市民が「リニア時代」への関心を高め、相互に情報を発信し合うことで、気運高揚とワクワク感の醸成を図る。
----	--

内容	●飯田下伊那在住の様々なクリエイターの方々に、「#リニア駅ができるまち」をキーワードとした創作・発信を行っていただく。 ●ミュージカル、絵画、音楽、写真、書道など、それぞれの感性で捉えた、リニアのイメージや、変わりゆくまちの様子などを表現していただく。 ●首都圏・中京圏への情報発信につなげる。
----	---

補足	●情報発信の内容やタイミングに関しては、移転いただく方々などへの配慮や事業者との調整が必要。
----	--

⑤リニア駅ができるまちフェス

目的	市民が「リニア時代」への関心を高め、相互に情報を発信し合うことで、気運高揚とワクワク感の醸成を図る。
----	--

内容	●リニア関連事業の紹介、超電導の仕組み体験、リニア時代でも魅力的な食や文化などが集まるイベントの開催。 ●様々なイベントにブース等を出展し、リニア時代を身近に感じる機会を数多く設ける。
----	--

【補足資料】具体的な情報発信の展開例⑥⑦

⑥リニアで変わるまち見学ツアー

目的	事業の進捗や工事状況等を見学することで、安全面などの不安払拭と、事業を身近に感じることに よる気運高揚を図る。
----	--

内容	●リニア関連事業の工事区間の見学や、リニア本線が通る場所のウォーキング、関係者の話を聞く 機会の設定など。
----	--

補足	●見学内容などに関しては、移転いただく方々などへの配慮や事業者との調整が必要。
----	---

⑦記録映画制作

目的	変わりゆくまちを記録映像として残すと共に、情報開示による不安払拭と、ひとつの物語にすること による気運高揚を図る。
----	--

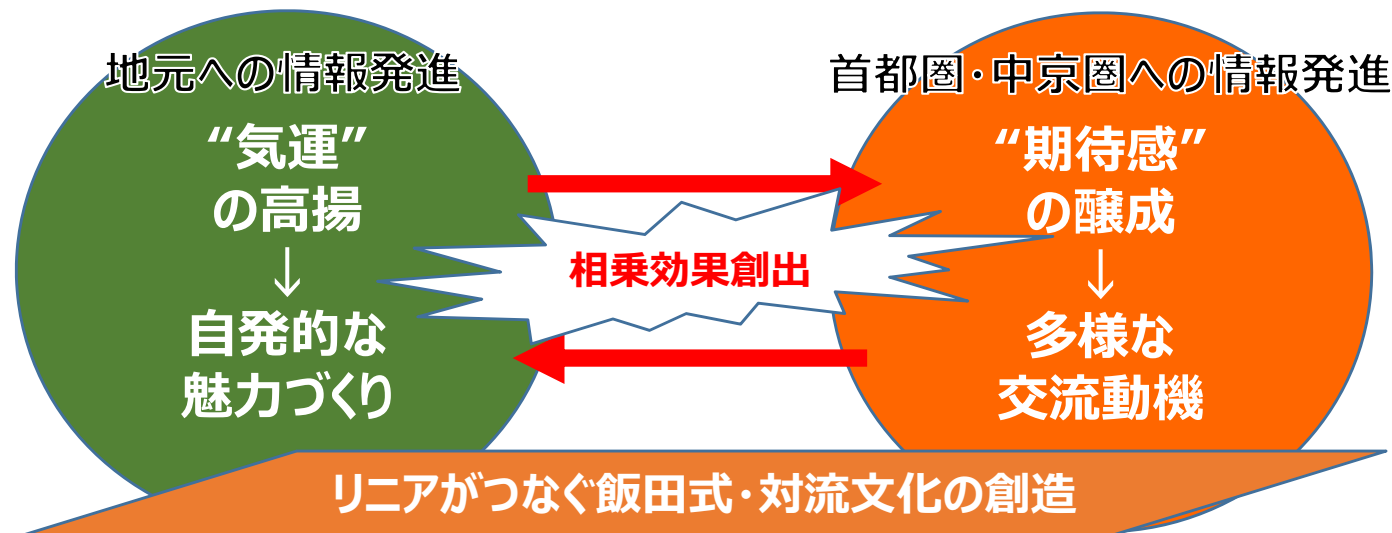
内容	●期待する人、不安を感じる人、移転を余儀なくされた人、リニア時代に向けて行動を起こす人など、 ドキュメンタリー形式で撮影。 ●最終的には本の映画としてまとめることを目指すが、状況に応じてSNSや動画サイト等で随時発 信する。
----	---

補足	●見学内容などに関しては、移転いただく方々などへの配慮や事業者との調整が必要。
----	---

【補足資料】情報発信方法のプラン研究

本調査における情報発信の対象として、「地元（飯田）」と「首都圏・中京圏」の2つを設定

- 地元と首都圏・中京圏をつなぐテーマの共通軸として「近い将来の飯田におけるリニア開通」を据え、これを契機として情報発信の内容を組み立てていく
- 「地元での良質な情報発信により、地元での気運の盛り上がりにつなげていく。これにより、首都圏・中京圏へ発信される情報の内容が充実し、それが外部からの期待感の高まりにつながり、翻って地元でのリニアに向けた気運の更なる向上につながる。」というサイクルを構築していく
- 各々を別にとらえるのではなく、地元への情報発信と外部への情報発信を一体構造のうちに組み立て、相乗効果を生み出す。



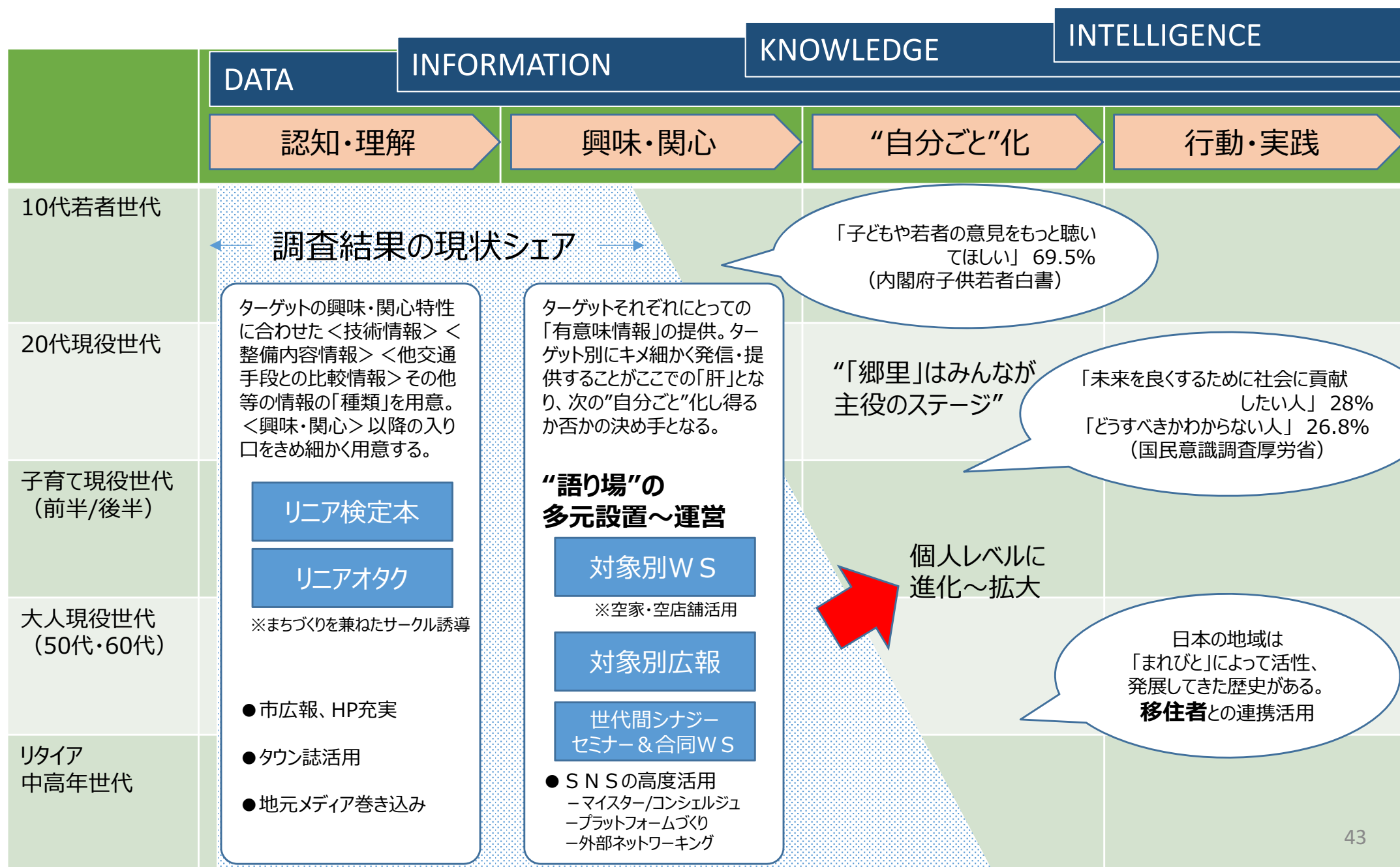
“地元が生き活きとした” 情報発信

- 行政と市民が一体となった“まちづくり”
- 移住者と地元住民が協働でつくる“暮らし”
- その他地元で活躍する企業、起業家、人の情報

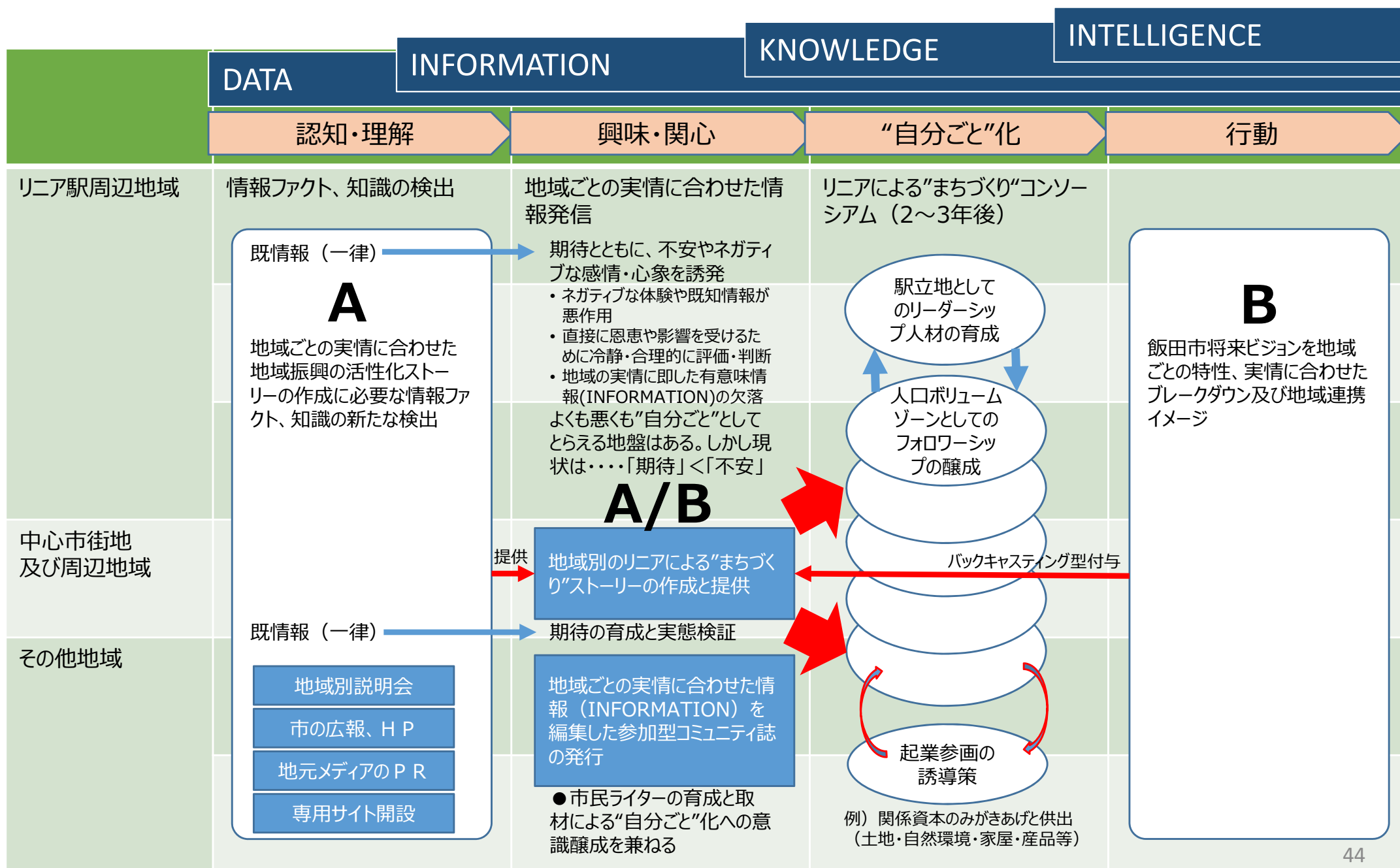
地元の“気運の高まり”が「外」に好影響をもたらす

「外」の人たちは地元の“生の情報”を欲しがっている

【補足資料】情報発信方法のプラン研究①・・・市内世代別

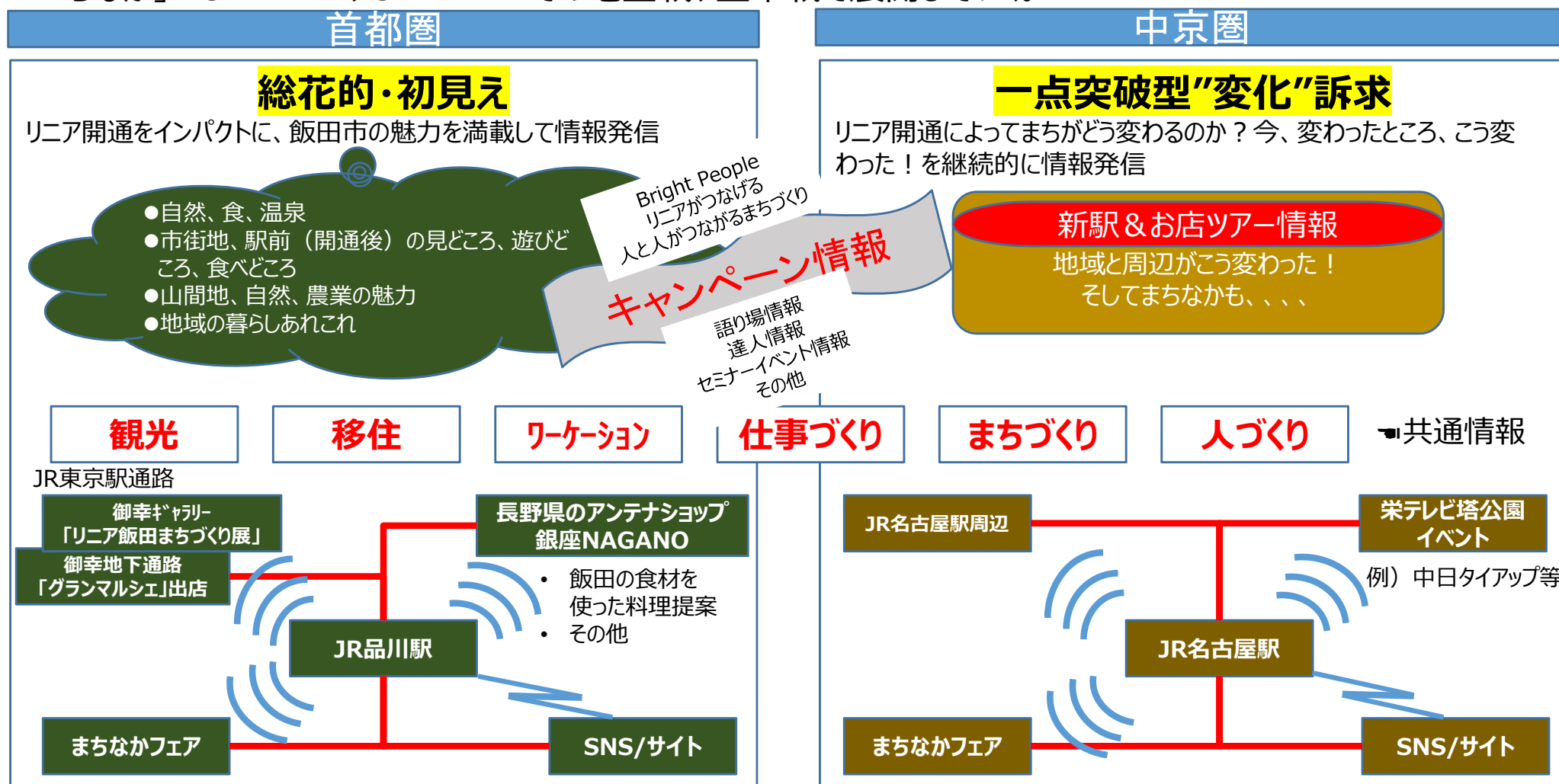


【補足資料】情報発信方法のプラン研究②・・・市内地域別



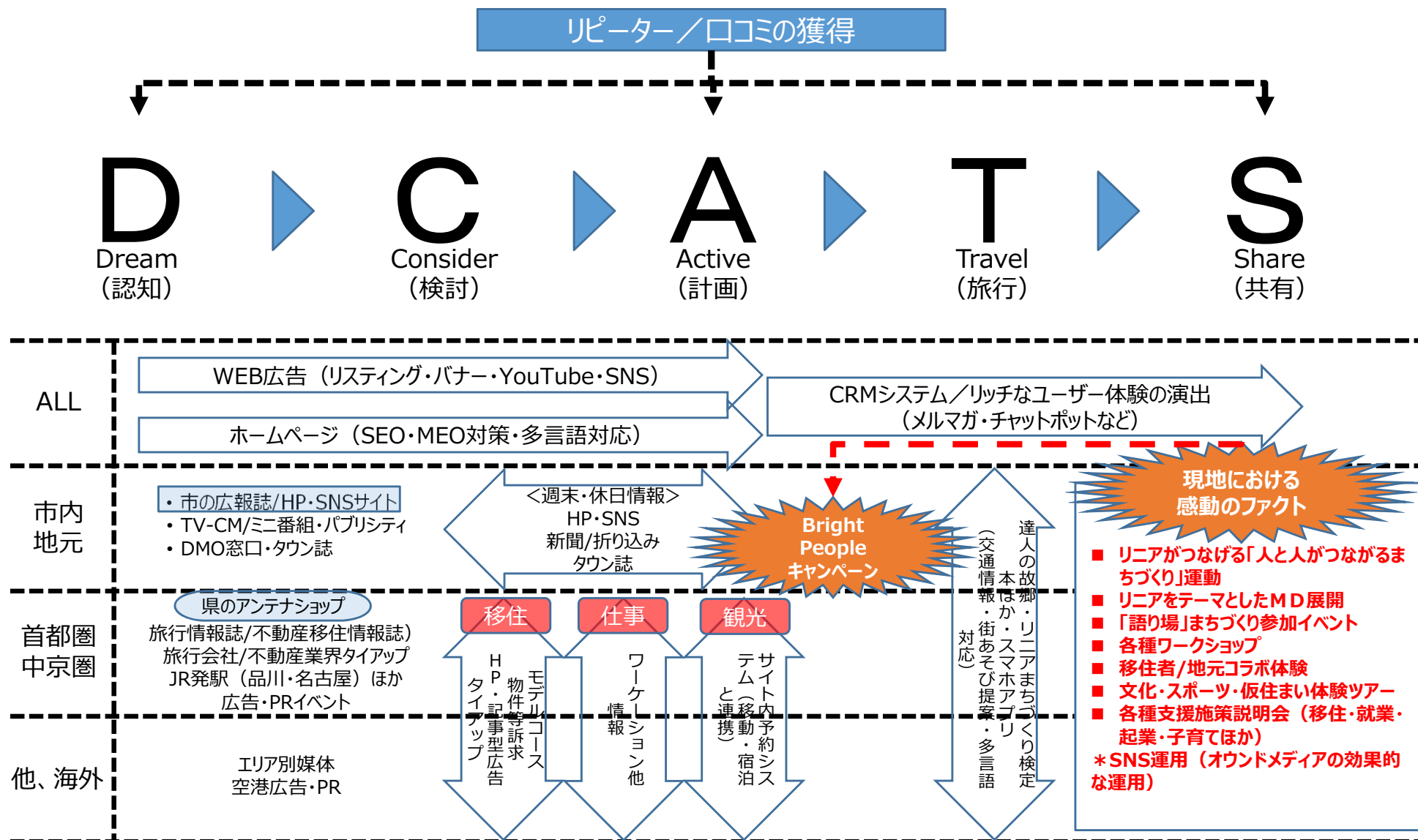
【補足資料】情報発信方法のプラン研究③・・・首都圏・中京圏

首都圏と中京圏では、発信、提供する情報、内容、訴求の仕方を変え、それぞれの発「駅」を起点に「まちなか」へON LINE、OFF LINEでの地上戦、空中戦で展開していく。

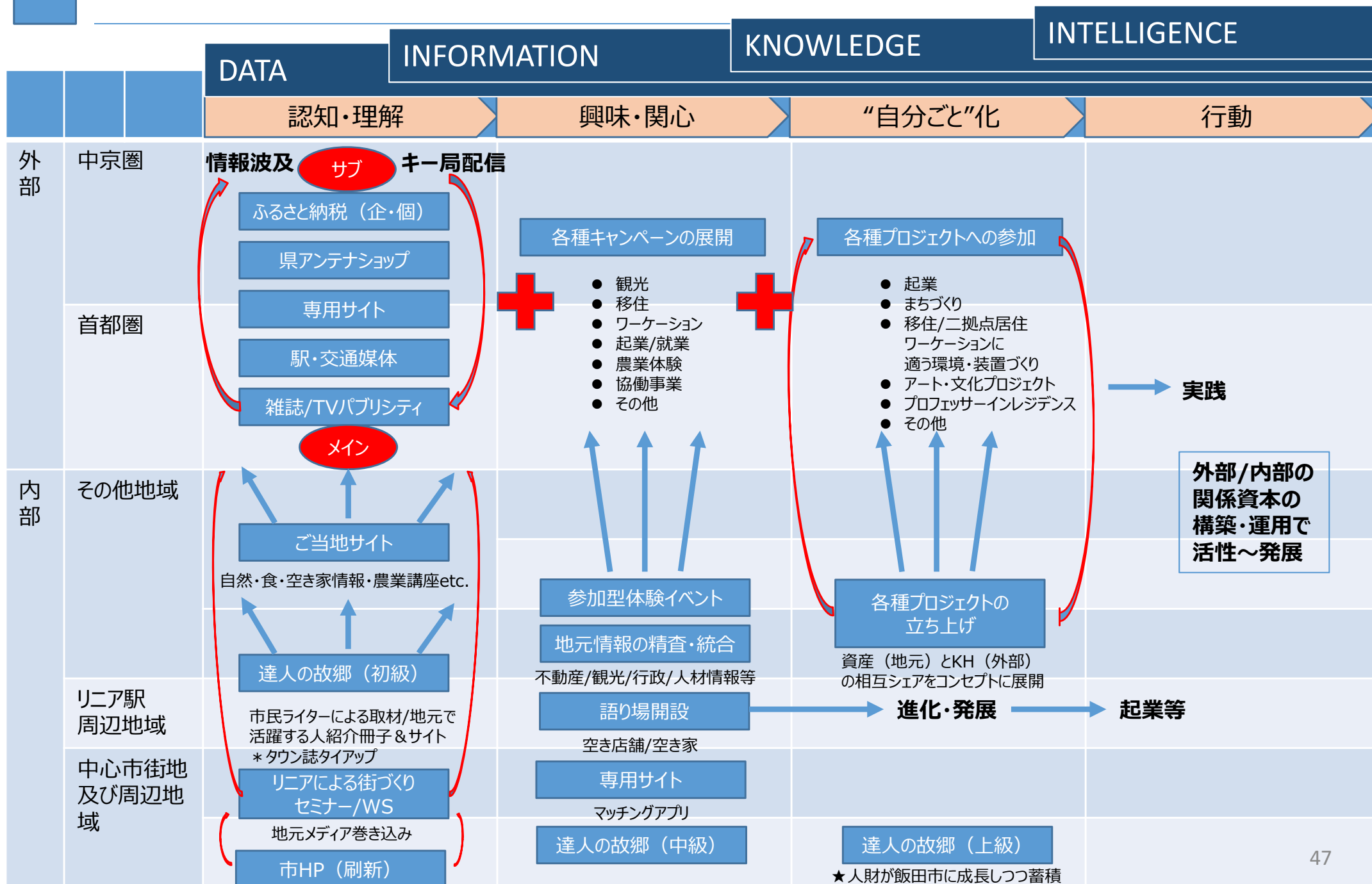


【補足資料】情報発信方法のプラン研究④

観光情報（誘客）をベースに、移住促進、ワーケーション訴求、その他必要コンテンツをのせて情報発信する。



【補足資料】情報発信方法のプラン研究⑤・・・市内×首都圏・中京圏



調查結果 概略

飯田市民向けアンケート結果

リニア中央新幹線・関心度

72%

とても（28%）
+
どちらかといえば（44%）

- ・20～60代の幅広い年齢層で関心。
- ・ただし、女性/70代/生まれてからずっと飯田市に住んでいる方の関心度がやや低い。
- ・飯田市の住みやすさ、今後の居住意向など飯田市に対して愛着を持っている人ほどリニアに対する関心度も高い。（20代など若者は今後飯田市から移りたいとする層が2割強と高い）

リニア中央新幹線・利用意向

61%

積極的（17%）
+
たまに（44%）

- ・20代の利用意向度が高い（7割超）
- ・年代が高くなるほど利用意向度は低い

情報量・情報提供頻度

足りている（十分）

16%

十分ではない

47%

- ・広報誌が突出。地方紙、口コミが続く

リニア中央新幹線に対する期待

東京・名古屋へ行きやすくなる **84%**

市内の整備が進む 42%

企業進出が進む 35%

飯田市の知名度向上 34%

U・Iターン 28%

自分利用への期待が突出。企業進出、知名度、Uターンなど飯田市活性化の視点は年配者層ほど高い（若者は自分利用中心）

関心・期待していない理由

効果がない（通過）

開業までまだ先・実感なし

リニア中央新幹線・関心

所要時間 84%

運賃・料金 77%

開業予定時期 72%

駅の位置 69%

駅・道路の整備計画 67%

駅周辺の整備計画 67%

環境への影響・対策 62%

事業の進捗 62%

まちづくりの方向性 58%

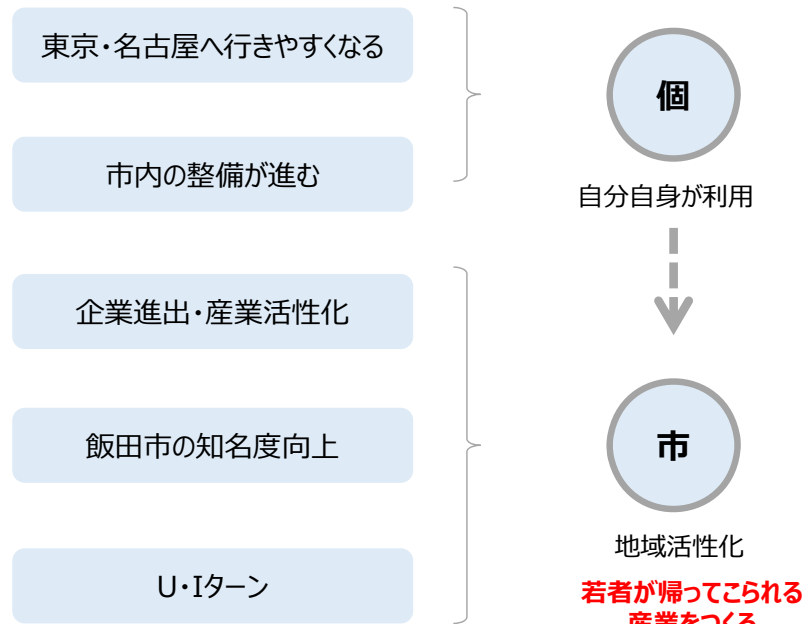
利用者数・効果 44%

自分が利用するために必要な情報に対する関心が高い。

Findings

- ★飯田市民のリニアへの関心度は7割超と高い。関心者層は下記のような方が多い。
リニア中央新幹線を利用して東京・名古屋に行きたい。そのために必要な情報として「所要時間」「運賃・料金」「開業予定時期」などの情報に関心（全世代で高いが、特に20代など年代が若い層ほどこの傾向が強い）
- ★企業進出（雇用創出）、産業活性化、U・Iターンなど、リニア中央新幹線の開業を飯田市全体の活性化と結び付けて期待している層が多いのは男性50代。それ以外の層は、自分が利用するため、自分の生活に直接関係する視点以外では関心はあまり高くない。
- ★リニア中央新幹線に関心を持てもらう活動と、飯田市の住みやすさを向上させる取り組みは表裏一体（飯田市に愛着がある人ほどリニアに対する関心も高くなる）。
- ★リニア関連の情報は、主に「広報誌」から得ている。「地方紙」、「口コミ」が続く。ターゲットを意識した広報誌の新たな役割、あり方は課題である

市民向けアンケート結果



サイレントマジョリティ像

リニア中央新幹線への関心は、自分が利用すること、街が整備されることに限定される。
どの地区・世代ともこのような層が多いが、特に以下のような人に多い。

- ・女性20代など若者層
- ・無職の方
- ・飯田市への居住年数が短い方（9年以下）

関心テーマを“個”から“全体”へ拡大
地域全体の視点で関心を持ってもらうことが重要

- ・飯田市の自然環境・街並み・景観は魅力であり、多くの人が飯田市に愛着がある。
～住みやすい（64%）、住み続けたい（65%）～
- ・飯田市の活性化には、子育て環境、商業、医療・福祉、公共交通機関、地場産業、企業誘致などが重要との見解。

Findings

自分事としてもらうためには（考察）

リニア中央新幹線に対しては自分自身が利用するといった視点で関心はある。
現状はこの視点が“自分ごと”であり、関心のある情報も、所要時間、運賃・料金、開業予定など利用を前提としたものとなっている。
ただし、開業まで先の話でもあり、関心度は強くない。飯田市全体でリニア中央新幹線開業の機運を高めていくためには、市民の方が飯田市の活性化など、地域全体の視点で、“自分ごと”として捉えてもらうことが重要であると考えられる。

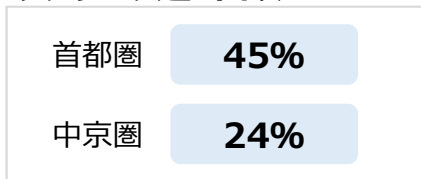
例)

- ・市民の属性に応じた関心テーマ（子育てなど）とリニア関連事業の関連付け（リニア開業によってどのような効果があるのか？自分の生活にどう影響するのか？）
- ・地域振興・活性化の取り組みの重要性の訴求
（市に愛着はある。今後もよりよい地元でありつづけるためには、人口減、若者流出、高齢化、税収確保などに対する対策・協力が重要ではないか）
（“どうせ通過するだけ”など、振興策の効果に対する疑念をいかに払拭するかも検討課題の1つではないか。コロナ禍前の乗降者数予測の見直しなど）
- ・街づくりや活性化のための取り組みに対して、参加しやすい、意見を言いやすい環境の整備（Web・SNS等）。
（地域が発展して欲しい、課題解決に協力したいけど、どうすればよいかわからない、気軽に意見をいえない ⇒ 検討）
- ・市への愛着心を高めるためのシンボリックな取り組み（何か面白いことをやっている、有名人が市を絶賛.etc）
特に、“若者がいきいき活躍する姿”が重要な視点になるのではないかな？

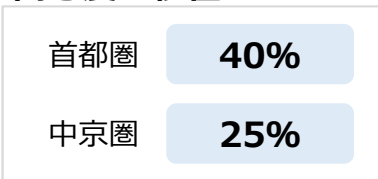
⇒広報誌や市の担当者の方からの説明のあり方の工夫と共に情報発信においてはこれらを補完する立体的な取り組み策が必要とされよう

首都圏・中京圏居住者向けアンケート結果①

テレワーク週1回以上



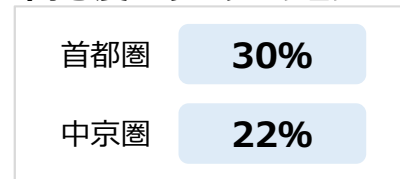
関心度：移住



関心度：二地域居住



関心度：ワーケーション

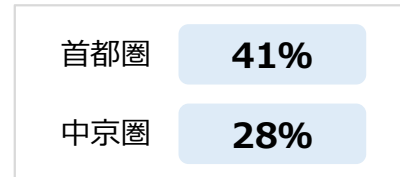
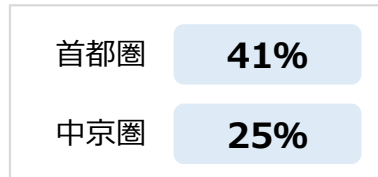
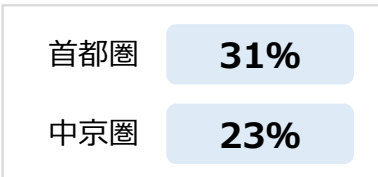


・20代前半など年代が若い層ほど関心度が高い。（男性、未婚、ひとり暮らし）

旅行先重視点

- ①温泉（59%）
- ②自然（43%）
- ③食材（39%）
- ④歴史・伝統（32%）
- ⑤自動車で行ける（29%）
- ⑥リゾート（22%）
- ⑦ショッピング（22%）
- ⑧芸術・文化（21%）

タイミング：5年以内（関心者ベース）



移住したい場所（候補地）（関心者ベース）

- ・はっきりと決まっている（12%）
 - ・いくつか候補地がある（18%）
 - ・何となく興味のある地域がある（32%）
- 合計62%が何等か関心のある地域あり
実家、観光、仕事で訪問したことがある地域

移住先選定時の重視点／移住に対する不安・懸念

- 重視点
 - ①田舎過ぎない（60%）、②気候（55%）、③家賃・物価（46%）、④仕事（43%）、⑤自然が多い（39%）
- 不安・懸念
 - ①仕事が見つかるか（46%）、②収入（37%）、③人間関係（35%）、④病院・介護（35%）、⑤生活コスト（32%）

Findings

★移住への関心度

関心度は3～4割を占めるが、「5年以内」など“関心が強い”人に限定すると1割前後

エリア：首都圏＞中京圏 ／ 性別：男性＞女性 ／ 年代：若年層＞年配者層 もしくは年収1,000万円以上の高所得者

★移住先の選定

・観光・仕事などでの“訪問経験がある”ことが影響（まずは飯田市に来て見て良さを感じてもらうことが、候補先になるための取り組みの1つ）

・コロナ禍によりテレワークでの働き方が増えているが、それでも移住先で“仕事がある”ことは重要視されている

⇒ 若者が関心を示すといった視点では、“仕事の創出”が移住促進と関連する可能性が大きい（企業誘致・起業促進策）

首都圏・中京圏居住者向けアンケート結果②

飯田市の認知度

首都圏	48%	どのような地域か知っている（15%）、何県にあるか知っている（34%）
中京圏	64%	どのような地域か知っている（21%）、何県にあるか知っている（43%）

飯田市への来訪経験

27%
41%

・認知度、来訪経験とも年代が高い層ほど高い。

飯田市関心度：観光

首都圏	66%
中京圏	67%

飯田市関心度：移住

首都圏	26%
中京圏	17%

飯田市関心度：二地域居住

首都圏	24%
中京圏	18%

飯田市関心度：ワーケーション

首都圏	24%
中京圏	15%

・いずれも年代が低い層ほど関心度が高い。

飯田市の魅力

①豊かな自然	(61%)
②食	(45%)
③観光名所	(29%)
④歴史・文化	(19%)

リニア中央新幹線・関心度

首都圏	51%
中京圏	54%

・いずれも年代が低い層ほど関心度が高い。

リニア長野県駅・認知度

首都圏	37%
中京圏	50%

リニアが飯田市に関心が高まるきっかけ

首都圏	44%
中京圏	41%

Findings

- ★飯田市の認知度について、「どのような地域か知っている」は、首都圏15%、中京圏21%。
⇒「何県にあるか知っている」程度の認知レベルでは、飯田市の良さを理解しておらず、観光・移住につながりにくい。
飯田市がどのような地域なのか？どのような魅力があるのか？具体的に理解してもらうことが今後にわたる大きな課題となろう
- ★飯田市の魅力は、「自然」・「食」。「観光地」としての関心度が特に高い。
⇒ただし、助成想起による設問。どのような魅力なのか？を具体的にイメージした上での評価ではない可能性が高い。
⇒観光・移住とも、他の地域と相対的に比較・検討されやすい側面がある。「自然」や「食」といっても他との違いは明確なのか？など、情報発信の際にはさらに掘り下げる必要があろう
- ★リニア中央新幹線開業の情報発信は、飯田市に関心を持つ大きなきっかけとなる

飯田市民向けアンケート調査

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問1	居住地区	お住まいの地区はどちらですか。 ①橋北 ②橋南 ③羽場 ④丸山 ⑤東野 ⑥座光寺 ⑦松尾 ⑧下久堅 ⑨上久堅 ⑩千代 ⑪龍江 ⑫竜丘 ⑬川路 ⑭三穂 ⑮山本 ⑯伊賀良 ⑰鼎 ⑱上郷 ⑲上村 ⑳南信濃	○中心市街地及びその周辺①②③④⑤17% ○リニア駅周辺⑥⑬18% ○その他地域65%
問2	性別	性別(①男性 ②女性)	○男44% 女56%
問3	年齢	年齢 ①18～24歳 ②25～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤5～59歳 ⑥60～69歳 ⑦70歳以上	○回答数多い順 01:④40歳代19% 02:③30歳代17% 03:②20後半15% 04:⑤50歳代15% 05:⑥60歳代12% 06:①24歳以下11% 07:⑦70歳以上11%
問4	婚姻の有無	未既婚(①未婚 ②既婚 ③その他)	○未婚32% 既婚64% その他3%
問5	職業	職業 ①経営者・役員 ②会社員 ③公務員・団体職員 ④自営業・フリーランス ⑤専門職(弁護士・医師・会計士等) ⑥派遣・契約社員 ⑦アルバイト・パート ⑧専業主婦・主夫 ⑨学生 ⑩無職 ⑪年金生活 ⑫その他	○高い順 01:②会社員36% 02:⑦アルバイト・パート13% 03:③⑧9% 05:④7% 06:⑪6% 07:⑨6% 08:⑤3% 09:⑥⑩3% 11:①2%
問6	業種	【経営者・役員、会社員、自営業・フリーランスの方】 お仕事の業種は何ですか ①農業・林業 ②製造業 ③住宅・建設業 ④小売業・卸売業 ⑤飲食業 ⑥不動産業 ⑦運輸業(旅客運送) ⑧運輸業(貨物運送他) ⑨金融・保険業 ⑩宿泊業 ⑪旅行業 ⑫その他サービス業 ⑬その他	○高い順 01:②製造業 25% 02:⑫その他サービス業16% 03:⑬その他13% 04:③住宅・建設業13% 05:①8% 06:④5% 07:⑧4% 08:⑤⑨2% 10:⑦2% 11:⑥0.4% ※⑩⑪0%
問7	同居家族の家族構成	同居している方の家族構成 ①一人暮らし ②夫婦のみ ③親と子(2世代) ④祖父母と親と子(3世代) ⑤その他	○高い順 01:③親と子(2世代)50% 02:②夫婦のみ19% 03:④祖父母と親と子(3世代)18% 04:①一人暮らし9% 05:⑤その他3%
問8	同居の子どもの有無 (最年少者の年齢)	同居しているお子さんはいらっしゃいますか。 同居しているお子さんのうち「一番年齢が若いお子さん」の学齢を教えてください。 ①未就学児 ②小学生 ③中学生 ④高校生 ⑤短大・大学・専門学校 ⑥社会人 ⑦その他 ⑧同居している子どもはいない	○高い順 01:⑧同居している子どもはいない49% 02:①未就学児15% 03:②小学生10% 04:⑥社会人10% 05:③中学生6% 06:④高校生4% 07:⑤短大・大学・専門学校2% 08:⑦その他1%

飯田市民向けアンケート調査

質問 番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問9	居住年数	飯田市に住み始めて何年になりますか。一時的に離れた方は通算年数をお答えください。 ①1年未満 ②1～4年 ③5～9年 ④10～19年 ⑤20年以上	○高い順 01:⑤20年以上73% 02:④10～19年14% 03:②1～4年 6% 04:③5～9年 4% 05:①1年未満 1%
問10	出身地	あなたの地元(生まれ育った地域、20歳になるまでに長く住んだ地域)はどちらですか。 ①生まれてからずっと飯田市に住んでいる ②飯田市で生まれ育ち、他市町村に住んだこともあるが、現在は飯田市に住んでいる ③長野県内の他市町村出身 ④長野県以外の都道府県出身 ⑤海外出身	○①40% ②27% → 飯田市出身者67% ・飯田出身者の割合:男>女 ・「リニア関心なし」生来飯田在住者の割合多 ○③19% ④11% 50.4% ・問12で「住みにくい」→2割は県外出身者
問11	移住のきっかけ	【長野県以外の都道府県出身、海外出身の方】 飯田市に移住されたきっかけは何ですか。 ①結婚 ②仕事の都合(転勤・転職・就職など) ③子育て(子どもを育てる環境がよいと思った) ④移住に関する情報(webやイベントなど)に触れて、飯田市に魅力を感じた ⑤過去に仕事や観光などで訪れたことがあり、飯田市に魅力を感じて移住を決めた ⑥その他	○高い順 01:②仕事の都合39% 02:①結婚 ⑥その他28% 04:③子育て4% ※④・⑤は回答なし ○「その他」では親の転勤が多
問12	住みやすさ (全般的な暮らしやすさ)	飯田市の「住みやすさ」についてどのように感じていますか。 (生活・仕事・地域・住環境など全般的な暮らしやすさ) ①住みやすい ②どちらかといえば住みやすい ③どちらともいえない ④どちらかといえば住みにくい ⑤住みにくい	○①「住みやすい」30%(40代以上が高い) ○②「どちらかと言えば住みやすい」34% ○リニアに関心がない人は、住みやすさ評価低
問13	住民視点からの感覚	現在、飯田市にお住まいになられて、以下の点にどのように感じていますか。 ①自然環境 ②街並み・景観 ③文化・スポーツ施設・余暇活動のしやすさ ④街の賑わい・活気 ⑤通勤・通学・買物などの利便性(生活利便性) ⑥住居(居住)条件(家賃や住宅価格、広さ) ⑦子育てのしやすさ(保育所・公園等) ⑧学校などの教育環境 ⑨介護・福祉の環境 ⑩病院などの医療の環境 ⑪地域の人との交流・コミュニティ ⑫災害リスクに対する備え	※「満足」・「どちらかと言えば満足」の計 ○肯定的30%以上 01①自然環境87% 02②街並み・景観59% 03⑧教育環境37% 04⑦子育てしやすさ34% 05⑩医療環境33% 06⑪交流・コミュ33% 07⑤生活利便性31% ○満足度合計値<不満足度合計値 01④街賑わい50% 02⑤通勤利便性42% 03③文化余暇41% 04⑫災害リスク22%
問14	飯田市の良さ・魅力(いいところ)	飯田市ならではの良さ・魅力はどのようなところにあると思いますか。飯田のいいところ(自慢できること、誇りに思うこと、魅力を感じること等)についてご記入下さい。(自由回答)	○自然・山・川等に対する意見多 ○「人が温かい」が2番目に多い ○伝統文化・イベント、食、焼き肉、気候温暖
問15	居住希望	飯田市にこれからも住み続けたいと思いますか ①これからも住み続けたい ②できれば長野県内の他市町村に移りたい ③できれば県外に移りたい ④わからない	○①「これからも住み続けたい」65% ○「市外に移りたい」計12%(②4% ③7%) ○低年齢層ほど継続居住意向が低

飯田市民向けアンケート調査

質問 番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問16	リニア駅設置認知度	飯田市にリニア中央新幹線駅(リニア駅)ができますが、どの程度ご存じですか。 ①知っている ②何となく知っている ③聞いたことがある程度(余り知らない) ④知らない	○認知計85%(①60% ②25%)
問17	リニア駅設置への関心度	あなたは、飯田市にリニア駅が整備されることに関心がありますか。 (リニア開業に向けたまちづくりの推進を含む) ①とても関心がある・とても期待している ②やや関心がある・やや期待している ③あまり関心はない・あまり期待していない ④関心がない・期待していない	○「関心・期待がある」計72%(①28% ②44%) ○70歳以上、居住年数9年以下等が無関心多 ○住みやすさ、居住意向で高評価ほど関心高 ○地域活動参加者・人口減認知者の関心高
問18	リニアに期待すること	【問17で「1. とても関心がある」「2. やや関心がある」と回答された方】 あなたが、リニア中央新幹線に期待することは何ですか ①友人・知人訪問や観光・仕事などで東京や名古屋に行きやすくなる ②羽田空港や中部国際空港など、国際便のある空港が利用しやすくなる ③飯田市内の街の整備が進む ④市内への企業進出が進む(雇用の創出) ⑤市内の企業のビジネスがやりやすくなる(市内の産業が活性化する) ⑥市内への観光客が増える(観光産業が活性化する) ⑦UターンやIターンなどが進む(人口の流出が減るなど) ⑧他県からの移住者が増える ⑨飯田市の知名度が向上する ⑩その他	○高い順(3割以上) 01:①東京・名古屋へ行きやすくなる84% 02:③市内の街の整備が進む42% 03:④企業進出が進む(雇用創出)35% 04:⑨飯田市の知名度向上34% 05:②国際空港が利用しやすくなる33%
問19	リニアに期待しない理由	【問17で「3. あまり関心がない」「4. 関心がない」と回答された方】 リニア中央新幹線に「関心がない・期待していない」理由は何ですか ①リニア中央新幹線への飯田市の取組みについてよくわからない ②飯田市にはあまり効果がないと考えている(魅力や特徴が薄いため通過するだけ) ③東京や大阪に行く機会がない、行きたいと思わない(利用する機会がない) ④市の方針に対して共感できない ⑤悪影響・心配の方が大きい ⑥整備計画が遅れているなど、いつ開業するのかもわからない ⑦コロナ禍で移動が自粛されるなど、ライフスタイルが変化する ⑧利用予定駅まで遠い ⑨開業までまだ先の話であり、実感がわかない ⑩その他	○高い順(3割以上) 01:②通過するだけで効果微少62% 02:⑨開業がまだ先で実感わかない54% 03:③利用する機会がない36% 04:①飯田市の取組がよくわからない34%
問20	リニアの利用意向	あなたは、リニア中央新幹線を利用したいと思いますか。 ①積極的に利用したい ②たまに利用したい ③記念に利用してみたい程度 ④あまり利用したいとは思わない ⑤わからない	○①17% ②44%→利用意向ポジティブ61% ○利用意向:20代70%、70歳以上4割
問21	リニアの利用目的	あなたにとって、リニア中央新幹線はどのような使い方(利用目的)が考えられますか ①買い物・レジャー・食事など都市部への訪問 ②東京・名古屋方面以外の観光地へ訪問するための移動手段 ③海外旅行(国際空港までの利用) ④家族・親戚・友人・知人と会う ⑤通学(飯田市に住みながら、東京や名古屋の大学・専門学校などに通う) ⑥仕事(出張やイベント参加など ⑦通院 ⑧冠婚葬祭 ⑨その他 ⑩特になし	○東京名古屋以外の観光地への移動60% ○買物レジャー等での都市部訪問58% ○都市部訪問は20代・積極的利用意向者に多

飯田市民向けアンケート調査

質問 番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問22	リニア開業後の不安要素	リニア中央新幹線が開業した後のことに対する不安はありますか。 開業するかどうかではなく、開業したと仮定した場合についてお答えください。 ①開発により、まちの景観や自然環境が変わってしまう ②田舎の良さが失われる ③若者を中心に人口流出が進む ④市内の企業が県外へ流出してしまう ⑤新たな企業が立地することで、地元企業の経営に悪影響がある ⑥今まで宿泊で訪れていた観光客が日帰りで帰ってしまう ⑦移住者(日本人)が増えて、地域のコミュニティなどが変化する ⑧移住者(外国人)が増えて、地域のコミュニティなどが変化する ⑨多額の税金が使われることで、他の行政サービスの質が低下する ⑩開業により駅周辺など交通量が増加する ⑪その他 ⑫特に不安はない	○高い順 01:③35% 02:⑨32% 03:①26% 04:⑩25% 05:⑥19% 06:②19% 07:⑦11% 08:⑧11% 09:⑤10% 10:④8% ○「特に不安なし」は14% ○他の行政サービスの質の低下32% ○開発に伴う景観や自然環境の変化26% ○駅周辺等の交通量の増加25%
問23	リニア関連事業の認知度	飯田市は、リニア中央新幹線の開業を見据えて、リニア将来ビジョンを策定し、目指すべき地域像を示し、まちづくりを推進しています。リニア中央新幹線及び関連事業について、以下の点をご存じですか。 ①所要時間 ②開業予定時期 ③リニア駅の位置 ④リニア駅周辺整備計画 ⑤リニア関連道路整備事業 ⑥リニア駅利用者数見込・効果 ⑦飯田市のまちづくりの方向性・戦略 ⑧工事中及び開業後の環境への影響・対策 ⑨事業進捗状況	○「知っている」「なんとなく知っている」計 ①80% ②74% ③81% ④44% ⑤64% ⑥16% ⑦14% ⑧17% ⑨19%
問24	リニア関連情報の関心度	リニア中央新幹線及び関連事業について、下記の情報に関心はありますか ①所要時間 ②開業予定時期 ③リニア駅の位置 ④リニア駅周辺整備計画 ⑤リニア関連道路整備事業 ⑥リニア駅利用者数見込・効果 ⑦飯田市のまちづくりの方向性・戦略 ⑧工事中及び開業後の環境への影響・対策 ⑨事業進捗状況 ⑩運賃・料金	○「関心あり」「どちらかと言えば関心あり」計 ①84% ②72% ③69% ④67% ⑤67% ⑥44% ⑦58% ⑧62% ⑨62% ⑩77%
問25	市の施策・方向性についての関心度	飯田市の施策・方向性について、関心はありますか ①若者が帰って来ることができる産業づくり ②自然と歴史を守り、活かし、新たな文化をつくる ③観光・交流の促進 ④移住・定住・二地域居住の促進 ⑤リニア駅周辺の整備	○「関心あり」「どちらかと言えば関心あり」計 ①81% ②73% ③71% ④61% ⑤68% ○50～60代では②の比率が8割前後 ○高校生以下の子どもがいる世帯では①が86%
問26	リニア関連で知りたい情報	その他、リニアの計画・事業の進捗、まちづくりの計画などで知りたい情報はありますか。 (自由回答)	★別添資料01
問27	市の人口減少の認知度	飯田市人口は2020年末現在99,256人です。2020年度に10万人を割り込む等全国傾向と同様に人口減少が進んでいます。飯田市で人口減少が進んでいることを知っていましたか。 ①知っている ②なんとなく知っている ③知らなかった	○「知っている」「なんとなく知っている」計68% ○「知らなかった」30% ○20代後半層の認知度低、60代以上認知度高

飯田市民向けアンケート調査

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問28	地域振興・活性化に必要な取組	飯田市の振興・活性化を図るために、どのような取り組みが重要だと思いますか。重要だと思うことを3つまでお選びください。 ①商業活性化等、街の賑わいの創出 ②中小企業・地場産業の育成・振興 ③企業誘致の促進 ④新規産業の創出・育成(起業の活性化) ⑤農業の促進、農産品ブランドの開発・生産拡大 ⑥芸術・文化・スポーツの振興 ⑦観光情報の発信、観光客の誘致促進 ⑧移住者の積極的な受け入れ促進 ⑨公共交通機関の充実 ⑩教育環境の充実 ⑪子育て環境の充実 ⑫医療・福祉面の充実 ⑬道路等都市基盤の整備 ⑭防犯・防災等安全・安心の充実 ⑮自然環境の保全 ⑯地域コミュニティ活動の創出・活性化 ⑰IT化、デジタル化の推進、通信環境の整備	○高い順(2割以上であったもの) 01:⑪子育て環境の充実42%、 02:①商業活性化等、街の賑わいの創出37% 03:⑫医療・福祉面の充実33% 04:⑨公共交通期間の充実27% 05:②中小企業・地場産業の育成・振興26% 06:③企業誘致の促進24% ○20～30代:子育て環境の充実多 ○20代前半:商業活性化等、街の賑わい創出多 ○人口減認知者ほど企業誘致促進比率高
問29	コロナ後の飯田市の方向性	新型コロナウイルス感染拡大は、在宅勤務、出張や観光減少、外出自粛等ライフスタイル全般に大きく影響を及ぼすことが今後とも予想されます。このような社会環境を踏まえ、飯田市に住むことや飯田市の今後の方向性について、お気持ちやお考えをお聞きます。 ①都会にはない自然に囲まれた飯田市の良さや魅力を再認識し、地域への愛着や価値意識が高まる ②整備内容に優先して、飯田市と大都市を結ぶリニアを活用した市独自の活性策が重要テーマになる ③リニアによる時短で移住熱が高まり、交流をはじめとした地域づくりに積極的に取り組む必要が出る ④市独自の資源やリニア開通に着目した新たな経済復興策に街ぐるみで取り組むことが求められる	○「そう思う」「まあそう思う」の計 ①73% ②63% ③60% ④51% ※20代前半層で①と回答した率は57% ※他の年代層で①と回答した率は7割超 ○「そう思わない」「あまり思わない」の計 ①10% ②9% ③11% ④14%
問30	リニア関連情報の提供量・頻度	リニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの「情報」についてお伺いします。「情報量」「情報提供の頻度」は十分だと思いますか。 ①そう思う(情報が足りている、概ね把握している) ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない(情報がない、あまり把握できていない)	○①3% ②14% →「情報足りているとの評価」は16% ○③29% ④18% →「情報量不十分」との評価は47% ○30代以下では「情報量不十分」が5割以上 ○リニア関心なしが情報不十分とする比率59%
問31	リニア関連情報の取得手段	<u>あなたが、現在知っているリニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの情報はどのようにして知りましたか。</u> ①飯田市の広報紙 ②新聞(全国紙) ③新聞(地方紙) ④週刊いいだ ⑤中日いいだホームニュース ⑥タウン情報いいだ ⑦タウン紙 ⑧テレビ ⑨ラジオ ⑩インターネット(飯田市のHP) ⑪インターネット ⑫SNS ⑬友人・知人の話(口コミ) ⑭まちづくりイベント、各種説明会 ⑮その他	○高い順(5位まで) 01:①飯田市の広報紙54%(←突出) 02:③新聞(地方紙)39% 03:⑬友人・知人の話(口コミ)33% 04:⑧テレビ19% 05:②新聞(全国紙)17% ○①③は高年代層ほど比率高。年代による差大 ○20代以下では⑬の比率高 ○リニア関心度別 ※①③⑧②について、関心の有無で差が大 →関心なし層には、これら以外の手段必要

飯田市民向けアンケート調査

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問32	リニア関連説明会・イベントへの参加意向	今後、 <u>リニア中央新幹線に関連したまちづくり・施策について、飯田市が各種説明会やイベントなどを開催した場合、参加してみたいと思いますか。</u> ①ぜひ参加したい ②機会があれば参加したい ③参加したいとは思わない ④わからない	○「ぜひ参加したい」5% ○「機会があれば参加したい」45% <u>○高年代ほど参加意向度大(60代以上6割超)</u> <u>○20代は3割台に留まる</u> <u>○リニア関心なしでも26%が参加意向あり</u>
問33	市ホームページ閲覧経験	飯田市のホームページは見たことがありますか。 ①定期的に見ている ②たまに見ている ③見たことがある程度 ④見たことがない	○閲覧経験率 ①7% ②24% ③40% ④27% ○20代前半の閲覧率低
問34	市ホームページの閲覧内容	【 <u>飯田市のホームページを見たことがある方</u> 】 飯田市のホームページではどのようなページ・情報を見たことがありますか。 ①戸籍・住民票 ②税・保険・国民年金 ③健康・医療・生活 ④上下水道 ⑤ごみ・リサイクル ⑥交通情報 ⑦教育 ⑧子育て ⑨入札情報 ⑩産業 ⑪各種計画 ⑫申請書ダウンロード ⑬募集・採用 ⑭相談窓口 ⑮市内施設案内 ⑯UIターン相談窓口 ⑰防災情報 ⑱休日夜間当番医 ⑲市役所の案内 ⑳飯田市の紹介 ㉑市長の部屋 ㉒飯田市議会 ㉓広報いいだ ㉔プレリリース ㉕市政への声 ㉖便利なサービス ㉗ふるさと納税 <u>㉘リニアのまちづくり・いいだ</u> ㉙その他	○高い順(10%以上) 01:⑤ごみ・リサイクル44% 02:⑱休日夜間当番医32% 03:⑧子育て21% 04:①戸籍・住民票 ⑰防災情報18% 06:⑫申請書ダウンロード17% 07:③健康・医療・生活16% 08:⑲市役所の案内15.6% 09:②税・保険・国民年金15% 10:⑮市内施設案内14% 11:⑳飯田市の紹介10.7% <u>○17:㉘リニアのまちづくり・いいだ7%</u>
問35	参加している地域活動の内容	あなたは、次にあげるような地域の活動に参加していますか。 ①町会・自治会等の活動や行事(祭りや一斉清掃、防災訓練など) ②教育や子育てに関する団体やサークルの活動 ③趣味や習い事の会、健康やスポーツの団体などやサークルの活動 ④上記以外のボランティア、NPO、市民活動などの団体やサークルの活動 ⑤青年商工会議所やライオンズクラブ等、地域の産業振興、活性化等の活動	○「積極的に参加している」「参加している」計 ①54% ②16% ③22% ④12% ⑤4% ○いずれか1つに参加している人:全体の63% ○20代の参加率が全般的に低い <u>○リニアに関心のある人が参加率高い</u>
問36	主に利用するメディア・情報源	日常でよく見たり、聞いたりするメディア・情報源は何ですか。 ①テレビ ②webサイト(スマートフォン、PC) ③SNS ④ラジオ ⑤メルマガ ⑥ダイレクトメール ⑦新聞(全国紙) ⑧新聞(地方紙) ⑨タウン誌 ⑩飯田市の広報紙・HP ⑪その他 ⑫特になし	○高い順(2割以上であったもの) 01:①テレビ81% 02:②webサイト57% 03:⑧新聞(地方紙)36% 04:③SNS34% 05:⑦新聞(全国紙)32% 06:⑨タウン誌28% 07:⑩飯田市の広報紙・HP27% <u>○50代以上は新聞(地方紙)5割以上</u> <u>○60代以上は新聞(全国紙)6割以上</u> <u>飯田市の広報紙・HP4割以上</u> <u>○20代はSNSが6割以上</u> <u>○30～40代はwebサイトが7割以上</u>

飯田市民向けアンケート調査

質問 番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問37	主に利用するSNS	ふだん、よく利用するSNSは何ですか。 ①LINE ②YouTube ③Twitter ④Instagram ⑤facebook ⑥TikTok ⑦その他 ⑧SNSは利用していない	○高い順 01:①LINE73% 02:②YouTube54% 03:④Instagram28% 04:③Twitter21% 05:⑤facebook12% 06:⑥TikTok 7% ※⑧SNSは利用していない13% <u>○年代が若い層ほど全般的な利用率高い</u> <u>○リニアに関心のある人の方がSNS利用度高い</u>
問38	飯田市に対する意見・要望	飯田市に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。(自由記入)	★別添資料02

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
	性別	性別(①男性 ②女性)	○男50% 女50%
	年齢	年齢 ①18～24歳 ②25～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤5～59歳 ⑥60～69歳 ⑦70歳以上	○回答数多い順 01:③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 20% 04:⑥60歳代14% 05:②20後半12% 06:①24歳以下8% 07:⑦70歳以上6%
	居住地	居住地(都道府県) ①東京都 ②千葉県 ③埼玉県 ④神奈川県 ⑤愛知県 ⑥岐阜県 ⑦三重県	○回答数多い順 01:⑤愛知県37% 02:①東京都20% 03:④神奈川県13% 04:③埼玉県10% 05:②千葉県 8 % 06:⑦三重県 7% 07:⑥岐阜県 6%
問1	婚姻の有無	未婚(①未婚 ②既婚 ③その他)	○未婚34% 既婚64% その他2%
問2	同居家族の家族構成	同居している方の家族構成 ①一人暮らし ②夫婦のみ ③親と子(2世代) ④祖父母と親と子(3世代) ⑤その他	○高い順 01:③親と子(2世代)47% 02:②夫婦のみ25% 03:①一人暮らし20% 04:④祖父母と親と子(3世代) 5 % 05:⑤その他 3 % ○一人暮らしの比率 (首都圏>中京圏) ○親と子(2世代)の比率 (首都圏<中京圏)
問3	同居の子の有無 (最年少者年齢)	同居しているお子さんはいらっしゃいますか。 同居しているお子さんのうち「一番年齢が若いお子さん」の学齢を教えてください。 ①未就学児 ②小学生 ③中学生 ④高校生 ⑤短大・大学・専門学校 ⑥社会人 ⑦その他	○高い順 01:⑥社会人37% 02:①未就学児25% 03:②小学生13% 04:⑤短大・大学・専門学校11% 05:④高校生 8 % 06:③中学生 4 % 07:⑦その他 1 %
問4	居住年数	現在お住まいの地域(都道府県)には、どのくらいの期間住んでいますか。(居住年数) ①1年未満 ②1～4年 ③5～9年 ④10～19年 ⑤20年以上	○高い順 01:⑤20年以上55% 02:④10～19年17% 03:②1～4年13% 04:③5～9年10% 05:①1年未満 5 % ○居住20年以上 (首都圏46%<中京圏64%)
問5	出身地	あなたの地元(生まれ育った地域、20歳になるまでに長く住んだ地域)はどちらですか 47都道府県+海外	○高い順(10%以上) 01:東海43% 02:南関東37% ※長野県 1 % (8県)

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問 番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問6	出身地(長野県)	【出身地が「長野県」と回答】 出身地(長野県内)について、具体的な地域を教えてください。 ①北信 ②東信 ③中信 ④諏訪地域 ⑤上伊那地域 ⑥飯田市 ⑦下伊那地域	○内訳 ①北信4件 ③中信2件 ②東信⑥飯田市1件
問7	年収	世帯年収について教えてください ①200万円未満 ②200～400万円未満 ③400～600万円未満 ④600～800万円未満 ⑤800～1000万円未満 ⑥1000～1500万円未満 ⑦1500万円以上 ⑧わからない	○高い順 01:③400～600万円未満19% 02:②200～400万円未満19% 03:④600～800万円未満17% 04:⑤800～1000万円未満11% 05:⑥1000～1500万円未満10% 06:①200万円未満 7 % 07:⑦1500万円以上 3 % ※⑧わからない14% ○首都圏は中京圏に比し400万円未満、1000万円以上の比率が高い
問8	職業	職業 ①経営者・役員 ②会社員 ③公務員・団体職員 ④自営業・フリーランス ⑤専門職(弁護士・医師・会計士等) ⑥派遣・契約社員 ⑦アルバイト・パート ⑧専業主婦・主夫 ⑨学生 ⑩無職 ⑪年金生活 ⑫その他	○高い順 01:②会社員42% 02:⑦アルバイト・パート⑧専業主婦・主夫12% 04:⑪ 7 % 05:④ 6 % 06:③ 5 % 07:⑤⑥ 4 % 09:⑩ 4 % 10:⑨ 3 % 11:① 2 % 12:⑫0.3% ○有職者は全体の63%(アルバイト除く) ○テレワークと関係性のある①②③⑥は53% ○首都圏と中京圏で大きな差はなし
問9	仕事上の活用制度	【経営者・役員、会社員・公務員・団体職員、派遣・契約社員】 所属する企業や団体で、導入されている制度、利用可能な制度をすべてお選びください。 ①時短勤務制度 ②フレックスタイム制度 ③時差出勤制度 ④副業・兼業が可能 ⑤在宅勤務 ⑥リモートワーク ⑦ワーケーション ⑧上記のいずれも導入されていない	○高い順 01:⑤在宅勤務42% 02:導入なし34% 03:②フレックスタイム33% 04:⑥リモートワーク33% 05:③時差出勤32% 06:①時短勤務30% 07:④副業兼業14% 08:⑦ワーケーション4% ○在宅勤務・リモートワーク・時短勤務は首都圏高い
問10	所属企業等テレワーク取組状況	【在宅勤務・リモートワーク利用可能者】 所属する企業や団体のテレワークに対する取り組み状況を教えてください。 ①基本的にテレワーク(週4～5回) ②テレワークが週2～3回程度 ③テレワークは週1回程度 ④テレワークは月1～2回程度 ⑤制度としてはあるが、テレワークはほとんど行っていない ⑥その他	○高い順 01:⑥未導入51% 02:①週4～5回15% 03:②週2～3回14% 04:⑤未実施11% 05:③週1回程度6% 06:④月1～2回 3 % ○週1回以上比率(首都圏45%>中京圏24%)

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問11	テレワークの期限設定の有無	【在宅勤務・リモートワーク利用可能者】 所属する企業や団体で、テレワークを導入していると回答された方にお伺いいたします。 <u>テレワークは、コロナ禍の期間限定の制度ですか。(コロナ終息後も利用可能ですか)</u> 決定していない場合、見通しでも構いませんのでお答えください。 ①コロナ禍終息後も利用可能 ②コロナ禍の期間限定の制度 ③コロナ禍終息後も利用可能かはわからない・未定	○高い順 01:①コロナ禍終息後も利用可能55% (首都圏59%＞中京圏49%) 02:③利用可能か否か未定33% 03:②期間限定12% <u>○コロナ禍終息後もテレワークによる働き方が一定の割合を占める見込み</u>
問12	コロナによる働き方・居住地に対する考えの変化	【有職者】 <u>コロナ禍によって、ご自身の今後の働き方・居住地に対する考えに変化</u>はありましたか。最も当てはまるものを1つお選びください。 ①転職して地方に移住したい ②転職はせずに地方に移住したい ③現在の居住地と地方の二地域に住みながら、仕事をしたい(二地域居住) ④引越はせず、時々好きな地域に滞在して勤務するスタイルがよい(ワーケーション) (近場のホテルやリゾート地などの休暇先でテレワークで仕事をする) ⑤現在のエリアの中で在宅勤務に適した住居(マンションなど)に引越したい ⑥現在の住居・働き方を継続したい	○高い順 01:⑥現住居・働き方継続66%(首59・中73) 02:④ワーケーション 8%(首10・中7) 03:①転職して地方移住 7%(首8・中6) 04:⑤現エリアで在宅勤務 7%(首8・中6) 05:⑤二地域居住6%(首8・中3) 05:④転職せず地方移住6%(首7・中4) <u>○移住・ワーケーション意向計27%(首33・中20)</u> <u>○低年代ほど移住・ワーケーション意向高</u> <u>○高校生以下子どもありは②現状継続71%</u> <u>○年収1000万円超は移住・ワーケーション意向41%</u> <u>○テレワーク週4～5回は、ワーケーション19%</u>
問13	居住地に対する思い	現在の居住地(生活環境・仕事環境・ライフスタイル)に対してどのように感じていますか。 ①自然環境 ②街並み・景観 ③文化・スポーツ施設・余暇活動のしやすさ ④街の賑わい・活気 ⑤通勤・通学・買物などの利便性(生活利便性) ⑥住居(居住)条件(家賃や住宅価格、広さ) ⑦子育てのしやすさ(保育所・公園等) ⑧学校などの教育環境 ⑨介護・福祉の環境 ⑩病院などの医療の環境 ⑪地域の人との交流・コミュニティ ⑫災害リスクに対する備え	○「満足」・「どちらかと言えば満足」の計 01⑤生活利便性61% 02①自然環境61% 03②街並み景観58% 04⑥住居条件58% 05⑩医療環境50% 06④街賑わい49% 07⑦子育てしやすさ45% 08⑧教育環境45% 09③文化余暇45% 10⑪交流コミュ33% 11⑨介護福祉31% 12⑫災害リスク31% ○飯田市民に対するアンケートとの比較 ④街賑わい△39% ⑤生活利便性△30% ③文化余暇△24% ⑩医療環境△17%
問14	(コロナ禍前)国内旅行の頻度(宿泊・日帰り)	<u>コロナ禍前の国内旅行の頻度</u>を教えてください。 【宿泊を伴う国内旅行】 ①1ヵ月に1回以上 ②2～3ヵ月に1回程度 ③半年に1回程度 ④1年に1回程度 ⑤それ以下 【日帰り国内旅行】 ①1ヵ月に1回以上 ②2～3ヵ月に1回程度 ③半年に1回程度 ④1年に1回程度 ⑤それ以下	【国内宿泊旅行】(年1回以上の割合69%) ①月1回以上5% ②2～3ヵ月に1回程度16% ③半年1回程度26% ④年1回程度23% ○首都圏・中京圏の傾向に違いなし ○60代の旅行頻度低い(一般的状況と異質) 【国内日帰り旅行】(年1回以上の割合69%) ①月1回以上14% ②2～3ヵ月に1回程度24% ③半年1回程度19% ④年1回程度12% ○首都圏より中京圏の方が頻度がやや多い ○20代の旅行頻度高い(一般的状況と異質)

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問15	(コロナ禍前)国内旅行先選定時の重視項目	コロナ禍前の国内旅行についてお伺いいたします。<u>国内旅行の行き先を決める際に重視すること</u>は何ですか。 ①歴史・伝統 ②芸術・文化 ③自然が豊か ④都会的な賑わい ⑤魅力的な食材 ⑥ショッピング ⑦海・マリンレジャー ⑧スキー等ウインターレジャー ⑨アミューズメント施設 ⑩温泉 ⑪祭り・イベント ⑫自動車で行ける ⑬バス・電車で行ける ⑭リゾート地 ⑮農業、酒造り、果物狩り、スポーツ等体験型観光 ⑯地域の人との交流 ⑰その他	○高い順(20%以上) 01:⑩温泉59%(首63・中56) 02:③自然が豊か43%(首47・中39) 03:⑤魅力的な食材39%(首40・中38) 04:①歴史・伝統32%(首33・中30) 05:⑫自動車で行ける29%(首23・中34) 06:⑭リゾート地22%(首24・中21) 07:⑥ショッピング22%(首19・中24) 08:②芸術・文化21%(首23・中19) 09:⑨アミューズメント施設20%(首18・中23) <u>○20代は、⑭リゾート地、⑥ショッピング、⑪祭りイベント⑨アミューズメント施設等のアクティブ系の要素に対する比率高い</u>
問16	地方での暮らしに対する関心	あなたは<u>地方で暮らすことに関心</u>がありますか。(地方移住や、二地域居住、ワーケーションなど)将来的な可能性を含めてお答えください ①移住 ②二地域居住 ③ワーケーション	<u>○移住(首都圏40%＞中京圏25%)</u> ・うちタイミング5年以内(首31% 中23%) ・低年代ほど相対的に関心度高い ・未婚・一人暮らしの関心度高い ・5年以内に関し、年収1000万円以上20% 200万未満13%、600～800万円未満11% ・テレワーク週4～5日は、5年以内19%と高い <u>○二地域居住(首都圏36%＞中京圏26%)</u> ・うちタイミング5年以内(首41% 中25%) ・5年以内20代15%前後、60代相対的に低い ・年収1000万以上で5年以内が28%と高い ・テレワーク週4～5日は、週2～3日の5年以内が2割強と高い <u>○ワーケーション(首都圏30%＞中京圏22%)</u> ・うちタイミング5年以内(首41% 中28%) ・5年以内20代15%前後、60代相対的に低い ・年収1000万以上で5年以内が比較的高い ○関心ある人 検討しない25% 時期未定30～40%
問17	地方暮らしを検討するタイミング	【Q16でいずれかで関心があると回答】 <u>地方移住や二地域居住、ワーケーションを具体的に検討するタイミング</u>はいつくらいだと思いますか。 ①すぐにでも(1年以内) ②そう遠くない将来(2～3年以内) ③4～5年後 ④6年以上先 ⑤時期は決めていない、わからない ⑥関心はあるが検討はしないと思う	

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問18	移住先選定時重視項目	【Q16でいずれかで関心があると回答】 <u>移住したい場所・地域(候補地)はどのような点を重視して選定</u>しますか。 ①実家から近い、アクセスしやすい(自分や配偶者) ②都会(現在の居住地)から近い、アクセスしやすい ③自然の多い環境で生活できる ④田舎過ぎない(自然と利便性のバランスがよい) ⑤住みやすい気候(温暖な気候) ⑥歴史・伝統がある地域 ⑦食が充実している(新鮮な魚、野菜等) ⑧仕事がある ⑨地域おこしなどやりがいのある活動がある ⑩農業(就農・家庭菜園等)ができる、支援・サポートがある ⑪スポーツが楽しめる環境 ⑫趣味が楽しめる(登山・キャンプ、サーフィン、ウインタースポーツなど) ⑬家賃・物価など生活コストが安い ⑭子育て・教育環境(自然と触れ合う等子どもがのびのび育つ環境) ⑮保育、就学、医療など子育て支援が充実している ⑯友人・知人が住んでいる ⑰地域住民が温かい ⑱IT環境、コワーキングスペース等地域情報化への取組に積極的 ⑲若者が多く活躍している(先進的な産業振興など) ⑳移住経験者が多くいる地域 ㉑住者に対する様々な支援制度が充実している ㉒移住に関するWebサイト(ランキング等)や移住体験者の評価が良い ㉓その他 ㉔わからない	○高い順(20%以上) 01:④田舎過ぎない60%(首63・中56) 02:⑤住みやすい気候55%(首55・中54) 03:⑬生活コストが安い46%(首47・中45) 04:⑧仕事がある43%(首45・中40) 05:③自然多い環境39%(首43・中34) 06:⑦食が充実39%(首42・中34) 07:①実家から近い31%(首33・中29) 08:②都会から近い31%(首32・中30) 09:⑰地域住民が温かい26%(首29・中21) 10:⑫趣味が楽しめる23%(首23・中23) ○首都圏は中京に比し田舎過ぎない、自然の多い環境で生活、食の充実を重視する人多い ○30代以下は、実家・都会から近いの比率高い
問19	コロナが地方暮らしを考える契機となったか否か	【Q16でいずれかで関心があると回答】 <u>新型コロナウイルスは、地方で暮らすことに関心を持つきっかけ</u>の1つになりましたか。 ①とても影響した ②まあ影響した ③あまり影響していない ④影響していない ⑤わからない	○コロナが影響した42%(とても12% まあ30%) (首都圏51%>中京圏29%) ○低年代ほど「影響した」との比率高い (20代では5割程度)
問20	移住先決定状況	【Q16でいずれかで関心があると回答】 <u>移住したい場所・地域(候補地)は決まっていますか。</u> ①はっきりと決まっている(長野県) ②はっきりと決まっている(長野県以外) ③いくつか具体的な候補がある ④何となく興味のある地域がある ⑤特にない	○高い順(20%以上) 01:⑤特にない38%(首35・中42) 02:④興味のある地域あり32%(首28・中38) 03:③具体的候補あり18%(首23・中11) 04:②決定済(長野県以外)8%(首9・中7) 05:②決定済(長野県)4%(首5・中2) ○関心者のうち6割橋は何らかの関心あり ○特にない(強い関心なし)の比率中京圏高い
問21	関心ある地域との関わり	【Q20で「はっきりと決まっている」～「何となく興味のある地域がある」と回答】 興味・関心のある地域とどのように関わりがありますか。 ①実家(帰省先)がある ②観光やイベントなどで訪問したことがある ③仕事(出張等)で訪問したことがある ④移住体験や交流会などに参加したことがある ⑤コワーキングスペース・サテライトオフィス等の活動拠点がある ⑥スポーツの活動拠点がある ⑦友人・知人がいる ⑧地場産品などをよく購入している ⑨特に関係はないが、地域についてよく知っている ⑩その他 ⑪特に関わりはない	○高い順(10%以上) 01:②観光イベント訪問44%(首41・中48) 02:①実家(帰省先)あり26%(首28・中23) 03:③仕事訪問21%(首20・中22) 04:⑦友人・知人あり18%(首21・中14) 05:⑨関係ないが地域熟知18%(首19・中16) 06:⑧地場産品購入14%(首17・中10)い

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問22	地方暮らしを検討時不安や懸念事項	【Q16でいずれかで関心があると回答】 地方移住や二地域居住、ワーケーションを検討するにあたって、不安や懸念事項があれば教えてください。 ①家族の理解を得ること ②子どもの学校(転校)など ③仕事が見つかるか ④収入が減る(賃金が安い) ⑤今の仕事をやめたくない(今の勤務先の制度・状況の問題で難しい) ⑥今の人間関係を維持したい(崩したくない) ⑦移住先での人間関係・コミュニティになじめるか ⑧困った時に相談できる人がいない ⑨病院や介護サービスの充実度 ⑩商業施設や娯楽施設の充実度 ⑪学校や保育所等の充実度 ⑫車の運転、地域での移動手段 ⑬移住に向けた資金(転居費用等) ⑭生活コスト全般 ⑮地域の高齢化・過疎化 ⑯虫や動物などが多い環境 ⑰現在の生活を変える勇気がない ⑱移住先に関する情報が少ない ⑲どこから手を付ければよいかわからない ⑳その他	○高い順(20%以上) 01:③仕事が見つかるか46%(首47・中45) 02:④収入の減(低賃金)37%(首40・中33) 03:⑦人間関係・コミュニティ35%(首37・中33) 04:⑨病院介護サービス充実35%(首34・中36) 05:⑭生活コスト全般32%(首36・中25) 06:①家族の理解27%(首25・中29) 06:⑬移住に向けた資金27%(首33・中19) 08:⑫地域での移動手段23%(首26・中19) 09:⑧相談者の不在21%(首22・中19) ○首都圏は中京圏に比し、収入減、生活コスト全般、移住資金等金銭面の比率高い
問23	飯田市の認知度	飯田市(長野県)を知っていますか。 ①どのような地域か知っている ②何県にあるか程度は知っている ③聞いたことがある程度 ④知らない	○高い順 01:②何県にあるか程度38%(首34・中43) 02:④知らない22%(首29・中15) 03:③聞いたことがある22%(首23・中21) 04:①どのような地域か承知18%(首15・中21)
問24	飯田市訪問の有無	【Q23で「どのような地域か知っている」「何県にあるか程度は知っている」と回答】 飯田市に行ったことはありますか。 ①住んでいたことがある ②旅行で行ったことがある ③仕事で行ったことがある ④その他の目的で行ったことがある ⑤行ったことはない	○高い順 01:②旅行で行った41%(首34・中47) 02:⑤行ったことはない40%(首45・中37) 03:③仕事で行った13%(首12・中13) 04:④その他目的で行った12%(首13・中11) 05:①住んでいた2%(首3・中1) ○飯田市来訪率(全体)34%(首27・中41) ○移住・二地域居住・ワーケーション等に関心がある人のうち、来訪者の比率が4割前後
問25	飯田市への訪問回数	【Q24で飯田市に行ったことがあると回答】 今までに何回くらい飯田市に行ったことがありますか。 ①1回 ②2回 ③3回 ④4回 ⑤5回以上	○高い順 01:①1回36%(首47・中29) 02:②2回29%(首33・中26) 03:③3回18%(首12・中22) 04:⑤5回以上16%(首9・中21) 05:④4回1%(首0・中2)

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問 番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問26	直近の飯田市訪問時期	【Q24で飯田市に行ったことがあると回答】 直近で飯田市に行ったのは、どのくらい前ですか。 ①1年以内 ②2～3年前 ③4～5年前 ④5～10年前 ⑤11年以上前	○高い順 01:⑤11年以上前31%(首34・中28) 02:③4～5年前23%(首25・中22) 03:②2～3年前20%(首15・中24) 04:④5～10年前19%(首20・中19) 05:①1年以内7%(首7・中7) ○中京圏の方が首都圏より5年以内比率多い
問27	飯田市の概要・魅力に関する関心度	飯田市の概要・魅力について関心を持った点がありますか。 ①豊かな自然環境 ②立地(長野県の最南端) ③観光名所 ④歴史・文化 ⑤食 ⑥産業 ⑦都市規模(人口) ⑧その他 ⑨特に関心を持った点はない	○高い順 01:①豊かな自然環境61%(首59・中63) 02:⑤食45%(首44・中45) 03:③観光名所29%(首28・中30) 04:⑨特に関心点なし20%(首22・中17) 05:④歴史・文化19%(首21・中17) 06:②立地(県最南端)18%(首18・中19) 07:⑥産業9%(首11・中7) 08:⑦都市規模6%(首7・中4) 09:⑧その他1%(首0.5・中1.3)
問28	地方暮らしの対象として飯田市をどう思うか	飯田市の概要・魅力をご覧になった上でお答えください。飯田市について、観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場所としてどのように思いますか。 ①観光 ②移住 ③二地域居住 ④ワーケーション	○関心あり(とても＋ややの計)の高い順 01:①観光67%(首66・中67) 02:②移住21%(首26・中17) 03:③二地域居住21%(首24・中18) 04:④ワーケーション20%(首24・中15) ○観光以外の関心度 首都圏＞中京圏 ○全項目で低年代ほど関心のある比率高い
問29	リニア開業に対する関心度	2027年にリニア中央新幹線が開業すること(予定)に関心はありますか。 ①関心がある ②まあ関心がある ③あまり関心はない ④関心はない	○高い順 01:②まあ関心がある34%(首33・中35) 02:③あまり関心はない30%(首29・中31) 03:①関心がある19%(首19・中19) 04:④関心はない17%(首20・中15) ○関心あり53%(飯田市民との比較△19%) ○男性・20代の関心度が相対的に高い ○年収600万円以上の関心高い ○地方暮らしに関心ありの方がリニアの関心高い

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問 番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問30	飯田市にリニア駅ができることの 認知度	<u>飯田市には、リニア中央新幹線長野県駅が開設</u>される予定があります。(東京-飯田4時間⇒45分／名古屋-飯田 約2時間⇒25分)ご存じでしたか。 ①知っていた ②聞いたことがある気がする ③知らなかった	○高い順 01:③知らなかった57%(首63・中51) 02:②聞いたことがある28%(首24・中32) 03:①知っていた16%(首14・中18) ○飯田にリニア駅設置の認知度43% ※飯田市民85% ※首都圏37%＜中京圏50% ○20代、70代が2割前後で相対的に高い ○年収1000万円以上で認知度50%以上で高い ○地方暮らしに関心の方が関心なしより高い
問31	リニア開業が飯田市への関心を 高める契機となる可能性	<u>リニア中央新幹線長野県駅の開業(予定)は、飯田市に対する興味・関心が高まるきっかけ</u>となりますか。(あなたご自身の関心が高まるかといった視点でお答えください) ①とても関心が高まる ②まあ関心が高まる ③あまり関心は高まらない ④関心は高まらない ⑤わからない	○高い順 01:②まあ関心が高まる34%(首33・中35) 02:③あまり関心高まらない24%(首23・中26) 03:④関心は高まらない22%(首22・中22) 04:⑤わからない11%(首12・中11) 05:①とても関心が高まる9%(首11・中7) ○関心高まる43% ○低年代ほど高く20代は5割超 ○居住期間が4年未満で関心高まる比率高い ○地方暮らしに関心ありの方が比率高い
問32	リニア開業により飯田市に関心 が高まる場合の観点	【Q31で「とても関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した方】 <u>リニア中央新幹線の開業により、飯田市に対する興味・関心が高まるのは、どのような点</u> <u>ですか。</u> ①観光で行ってみたい ②移住に関心がある ③二地域居住に関心がある ④ワーケーションをする場所として関心がある (リゾート地や近場のホテルなどの休暇先でテレワークで仕事をする) ⑤飯田市で働きたい・起業したい ⑥飯田市について詳しく知りたい(リニア中央新幹線の中継駅のある他地域との違い等) ⑦その他	○高い順 01:①観光で行ってみたい84%(首86・中81) 02:④ワーケーション18%(首25・中11) 03:②移住に関心16%(首22・中9) 04:③二地域居住に関心15%(首18・中13) 05:⑥飯田を詳しく知りたい13%(首15・中12) 06:⑤飯田で就業・起業6%(首9・中3) 07:⑧その他0%(首0・中0) ○高校生以下の子どもがいる人の方が移住・二 地域居住・ワーケーション等の比率高い ○年収1000万円超の人はワーケーション28%と高い ○移住・二地域居住・ワーケーション関心ありの人にと って、飯田へのリニア駅設置が興味関心の高 まるきっかけとなるのは30～35%

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問33	リニア開業により飯田市に関心が高まる理由	【Q31で「とても関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した方】 <u>リニア中央新幹線の開業により、飯田市に関心が高まる理由</u>は何ですか。 ①居住地や勤務地からのアクセス時間が早くなる ②以前から行きたいと思っていた ③新しい技術・乗り物に興味がある ④飯田市のまちづくりに関心がある ⑤その他	○高い順 01:①アクセス時間短縮60%(首62・中58) 02:③新技術・乗物に興味38%(首44・中32) 03:④飯田まちづくりに関心19%(首20・中18) 04:②以前から行きたい14%(首11・中16) 05:⑧その他0.9%(首1.1・中0.6) ○高校生以下の子どもがいるは③の比率高い ○全般的にどの理由も、移住・二地域居住・ワーケーション関心ありの人の方が高い
問34	リニアが開業しても飯田市に関心が高まらない理由	【Q31で「あまり関心は高まらない」「関心は高まらない」と回答した方】 <u>リニア中央新幹線の開業により、飯田市への関心が高まらない理由</u>は何でしょうか ①駅に停車する本数が少なそう(利用しにくい) ②飯田市に魅力を感じない ③飯田市ならではの魅力がわからない ④リニア中央新幹線の間駅がある、他の地域の方が関心がある ⑤電車の移動は関心がない(ふだんの移動が自動車中心等) ⑥開業時期が先のことでよくわからない ⑦観光地へのアクセスが悪そう ⑧駅の周辺に何もなさそう ⑨その他	○高い順 01:⑥開業先でわからない30%(首29・中30) 02:⑤電車移動関心なし23%(首15・中29) 03:⑧駅周辺に何もなし19%(首19・中19) 04:③飯田魅力わからない19%(首22・中16) 05:①駅停車本数少なそう19%(首18・中20) 06:②飯田に魅力感じない18%(首23・中14) 07:⑦観光地アクセス悪そう9%(首10・中7) 08:④他地域の方に関心あり6%(首6・中7) 09:⑧その他4%(首5・中3) ○首都圏で②、中京圏で⑤が高い
問35	地方に関する情報の種類及び入手方法	仕事、観光、移住等、地域に関する情報を何で見たまたは入手したことがありますか ①TV番組・新聞・雑誌 ②ホテル・旅館や不動産会社など地元企業のWebサイト ③旅行会社や移住ランキング等、国内大手企業のWebサイト ④地域住民が発信するSNSやブログ・動画等 ⑤地域の自治体のHPなど ⑥地元の企業に電話やメールなどで直接問い合わせる ⑦友人・知人の話(口コミ) ⑧イベント・フェア ⑨地方のタウン誌 ⑩地域への現地訪問視察(移住や企業視察等) ⑪行政の窓口への相談(移住や起業相談など) ⑫その他 ⑬特に見たことはない	○高い順(上位5位) 【仕事に関する情報】 01:⑬特に見たことなし63%(首62・中65) 02:①TV番組・新聞・雑誌19%(首19・中19) 03:②地元企業Webサイト19%(首9・中9) 04:③大手企業Webサイト8%(首9・中7) 05:④地域発信SNS・動画等8%(首9・中6) 【地方の観光に関する情報】 01:⑬特に見たことなし40%(首40・中40) 02:①TV番組・新聞・雑誌38%(首38・中37) 03:③大手企業Webサイト26%(首23・中28) 04:②地元企業Webサイト25%(首24・中25) 05:⑦友人知人の話口コミ16%(首16・中16) 【地方移住に関する情報】 01:⑬特に見たことなし62%(首61・中64) 02:①TV番組・新聞・雑誌18%(首20・中17) 03:⑤地域の自治体のHP9%(首11・中6) 04:③大手企業Webサイト8%(首9・中7) 05:⑦友人知人の話口コミ7%(首7・中7)

飯田市外居住者向けアンケート調査(首都圏・中京圏)

質問番号	質問項目	質問内容	回答結果の概要
問36	地方発信情報の満足度	【地方が発信する情報を見たことがある方】 地方が発信する情報に満足しましたか。 ①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤おぼえていない	○高い順 01:②やや満足44%(首42・中46) 02:⑤おぼえていない31%(首31・中32) 03:③やや不満16%(首17・中15) 04:①満足7%(首8・中6) 05:④不満2%(首3・中2) ○合計51%が満足 ○覚えていない＝印象に残っていないが多い
問37	地域暮らしに関し欲しい情報	地方移住や二地域居住について、発信して欲しい情報 はありますか。 ①仕事・就職に関する情報 ②住居・住宅の購入に関する情報 ③移住者への自治体の支援・サービスに関する情報 ④生活費(物価や光熱費、家賃など)に関する情報 ⑤医療、介護に関する情報 ⑥買い物など日常生活の利便性に関する情報 ⑦移住経験者の暮らしの様子、苦労した話、失敗した話 ⑧地域の交通に関する情報 ⑨災害に関する情報 ⑩子育て環境・子どもの教育、学校数やクラス数、子どもの人数などに関する情報 ⑪レジャー・娯楽に関する情報 ⑫サークル活動、ボランティア活動に関する情報 ⑬人口推移、高齢化、まちづくりの方針など行政情報 ⑭その他 ⑮特になし	○高い順(10%以上であったもの) 01:①仕事・就職32%(首39・中25) 02:②住居・住宅の購入32%(首35・中29) 03:⑥日常生活利便性31%(首34・中27) 04:④生活費(物価等)30%(首37・中24) 05:⑤医療介護30%(首35・中26) 06:③移住者自治体支援30%(首31・中28) 07:⑦移住経験者体験談22%(首25・中20) 08:⑧地域の交通20%(首22・中17) 09:⑨災害18%(首23・中14) 10:⑪レジャー・娯楽14%(首15・中13) 11:⑩子育て環境13%(首15・中11) ○首都圏が中京圏より情報を欲している比率高 ○低年代・移住等関心者ほど、①仕事・就職や ④生活費について高い ○移住等関心者 ○年収1000万円超⑤医療等③自治体支援高い
問38	日常見聞きするメディア・情報源の種類	日常でよく見たり、聞いたりするメディア・情報源は何ですか。 ①テレビ ②webサイト(スマートフォン、PC) ③SNS ④新聞 ⑤雑誌 ⑥タウン誌 ⑦ラジオ ⑧駅のポスターや、電車内の広告 ⑨屋外の看板・広告 ⑩メルマガ ⑪ダイレクトメール ⑫その他	○高い順(10%以上であったもの) 01:①テレビ74% 02:②webサイト67% 03:③SNS41% 04:④新聞26% 05:⑦ラジオ13% 06:⑤雑誌12% 06:⑧駅ポスター電車内広告12% ○20～30代はSNSが主要な情報源
問39	よく利用するSNSの種類	よく利用するSNSは何ですか。 ①LINE ②YouTube ③Twitter ④Instagram ⑤facebook ⑥TikTok ⑦その他 ⑧SNSは利用していない	○高い順 01:①LINE73% 02:②YouTube58% 03:④Instagram36% 04:③Twitter34% 05:⑤facebook19% 06:⑥TikTok 4% ※⑧SNSは利用していない10% ○年代が若い層ほどSNSの比率高い ○地方暮らしに関心ある方がSNS利用率高い

リニア時代を見据えた飯田市の
効果的な情報発信の在り方に関する
調査研究業務

報告書

CONTENTS

調査概要	2	飯田市外居住者向けアンケート調査	
飯田市民向けアンケート調査		回答者属性	63
回答者属性	6	テレワークの状況	68
飯田市の住みやすさ	12	コロナ禍による今後の働き方・居住地に対する考え方（有職者）	70
飯田市についての満足度	13	現在の居住地域に対する評価	71
飯田市ならではの良さ・魅力	15	国内旅行（コロナ禍前）	74
飯田市への居住意向（住み続けたいか）	22	移住・二地域移住・ワーケーションに対する関心度	77
リニア長野県駅ができることの認知度	23	「移住」に対する関心度	78
リニア中央新幹線に対する関心度	25	「二地域居住」に対する関心度	79
リニア中央新幹線に期待すること	28	「ワーケーション」に対する関心度	80
リニア中央新幹線に関心がない・期待していない理由	29	移住先を選定する際の重視点	81
リニア中央新幹線の利用意向	30	新型コロナウイルスが地方で暮らすことに関心を持つきっかけになったか	82
想定されるリニア中央新幹線の利用目的	31	移住したい地域は決まっているか	83
リニア中央新幹線開業後の不安	32	興味・関心のある地域との関係	84
リニア中央新幹線及び関連事業の認知度	33	移住・二地域移住・ワーケーションの不安・懸念事項	85
リニア中央新幹線及び関連事業に対する関心度	35	飯田市の認知度	86
リニア中央新幹線及び関連事業に対する認知度×関心度	37	飯田市への来訪経験	87
飯田市の施策・方向性についての関心度	38	飯田市への来訪回数	89
リニア中央新幹線の計画・事業の進捗・まちづくりの計画などで知りたい情報	40	直近で飯田市に行った時期	90
飯田市で人口減少が進んでいることの認知度	43	飯田市の魅力	91
飯田市の振興・活性化を図るために重要だと思う取組み	44	観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場としての飯田市への関心度	93
飯田市の今後の方向性についての見解	45	リニア中央新幹線が2027年に開業することの関心度	98
リニア中央新幹線に関する情報量・情報提供の頻度について	47	リニア中央新幹線長野県駅が飯田市に開設予定であることの認知度	99
リニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況等に関する情報の認知経路	48	リニア中央新幹線が飯田市に対する興味・関心が高まるきっかけになるか	100
各種説明会・イベントへの参加意向	49	リニア中央新幹線駅の開業で飯田市に興味・関心が高まる点	101
飯田市HPの閲覧経験	50	リニア中央新幹線駅の開業で飯田市に興味・関心が高まる理由	103
飯田市HPで見たことがある情報	51	リニア中央新幹線駅の開業で飯田市に興味・関心が高まらない理由	105
地域の活動への参加状況	52	地方情報の入手経験	107
日常でよく見たり、聞いたりするメディア・情報源	54	地方が発信する情報に対する満足度	111
よく利用するSNS	55	地方移住や二地域居住について、発信して欲しい情報	112
意見・要望	56	日常でよく接触するメディア・情報源	114
		よく利用するSNS	115
		調査結果概略	116

1.調査目的

リニア時代の在り方を個人個人が思い描き、地域全体でもリニアに関する機運を盛り上げていくためには、当地域に現在居住している人やこれから当地域への居住を考える人にとって、「自らの現在の生活や地域がリニアによってどう変わるのか、期待できることは何かということを、自分事として考えることができる有益で具体的な情報」が豊富にあって、常に参考にできる環境を整える必要がある。

また、「リニア時代を見据えて、個人・家族や地域の将来を思い思いに描くために必要な情報」は、世代・性別・職業・家族構成等、各々の立場や環境でそれぞれに異なり、さらに「with コロナ」・「after コロナ」の時代に於いては、社会全体の価値観が大きく変化する可能性もあって、「働き方や住まい方の意識」や「地方に対する意識」も劇的に変わることも想定されることから、今まで以上に地域外、特に東京や名古屋等の都市圏からの視点を踏まえることも重要となってくる。

一方で、現在の本市のリニア事業については、リニア本線の準備工事の一部や座光寺スマートＩＣの整備工事、あるいは代替地の整備工事を除いては、未だ事業調整の途中であり、事業の進捗を目に見える具体的な形で情報発信できる段階には至っていない。だが、「リニア時代を見据えて、個人・家族や地域の将来を思い思いに描くために必要な情報」が充実してくると、これに連動して、リニア駅前空間やリニア本線の整備、さらには建設発生土の運搬等のリニア関連事業全般に対する関心・理解が高まっていくことが期待される。

以上を踏まえ、当「リニア時代を見据えた飯田市の効果的な情報発信の在り方に関する調査研究業務委託」では、本市に関する魅力ある情報の発信をより効果的に行う上で必要となる基礎データの収集・分析を行うとともに、これを実際に次年度以降に事業として展開できるような情報発信の方法について、そのプランを研究することを目的とする。

具体的には、「いいだ未来デザイン2028」が目指す関係人口や交流人口の拡大に繋げていくことができるよう、東京や名古屋等の都市圏からの視点も踏まえつつ、当地域を様々な新たなライフスタイルや自己実現のステージとして位置づけ、暮らしや生活の選択肢が広がることが描けるような情報発信について研究し、それに現在のリニア事業の進捗状況を結びつけることにより、将来像と事業状況が関連して想起できるような内容とすることを目指す。

調査概要

2.調査対象

①飯田市内に居住している方 495サンプル

	発送数	回収数	回収率
18～24歳	280	56	20.0%
25～29歳	280	73	26.1%
30～39歳	280	83	29.6%
40～49歳	280	96	34.3%
50～59歳	180	72	40.0%
60～69歳	100	59	59.0%
70歳以上	100	52	52.0%
不明	-	4	
合計	1,500	495	33.0%

地区名	人口	発送数	抽出率
橋北	2,870	42	1.46%
橋南	2,614	39	1.49%
羽場	4,674	59	1.26%
丸山	3,341	49	1.47%
東野	2,800	44	1.57%
座光寺	4,289	69	1.61%
松尾	12,887	213	1.65%
下久堅	2,742	42	1.53%
上久堅	1,238	24	1.94%
千代	1,596	24	1.50%
龍江	2,677	38	1.42%
竜丘	6,758	100	1.48%
川路	1,973	34	1.72%
三穂	1,374	24	1.75%
山本	4,625	61	1.32%
伊賀良	14,231	210	1.48%
鼎	13,113	191	1.46%
上郷	13,481	201	1.49%
上村	384	15	3.91%
南信濃	1,254	21	1.67%
合計	98,921	1500	1.52%

回収数	回収率
17	40.5%
11	28.2%
22	37.3%
20	40.8%
14	31.8%
27	39.1%
68	31.9%
12	28.6%
3	12.5%
9	37.5%
15	39.5%
31	31.0%
18	52.9%
10	41.7%
18	29.5%
61	29.0%
64	33.5%
61	30.3%
7	46.7%
7	33.3%
495	33.0%

②飯田市外に居住している方 800サンプル

- ・首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県のいずれか）400サンプル
- ・中京圏（愛知県・岐阜県・三重県のいずれか）400サンプル

	合計	首都圏	中京圏
18歳～24歳	65	35	30
25歳～29歳	95	45	50
30歳～39歳	160	80	80
40歳～49歳	160	80	80
50歳～59歳	160	80	80
60歳～69歳	114	56	58
70歳以上	46	24	22
全体	800	400	400

※目標400サンプル以上

3.調査方法

①飯田市民向けアンケート調査

郵送アンケート調査

市内のエリア別の人口構成に沿って抽出し、性別・年代が分散するように配慮。年齢別で若年層を多めに発送し、郵送で回収した

②首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査

インターネットアンケート調査

以下のエリア別に、性別・年代が均等になるようにサンプルを回収

- ・首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県のいずれか）400サンプル
- ・中京圏（愛知県・岐阜県・三重県のいずれか）400サンプル

4.調査実施時期

①飯田市民向けアンケート調査

2021年4月19日（月）～ 2021年5月18日（火）

②首都圏・中京圏居住者向けアンケート調査

2021年5月14日（金）～ 2021年5月19日（水）

◎報告書の記述に関する留意事項

- ・“n”は有効回答を指し、原則としてn数に対する比率を％表示（割合）で記している
- ・（SA）は単一回答（Single Answer）、（MA）は複数回答（Multiple Answer）、（FA）は自由回答（Free Answer）
（数量）は数字回答
- ・集計結果は、原則として小数点第2位以下を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある
- ・クロス集計を実施しているが、表側項目のサンプル数が30サンプル未満の項目については、誤差が大きいため参考とする（コメントしていない）。
- ・クロス集計において、以下のルールでセルを塗りつぶし

- …全体より10%以上高い
- …全体より10%以上低い

◎参考（標本誤差率）
・400サンプル ±5.0%
・495サンプル ±4.5%
・800サンプル ±3.5%

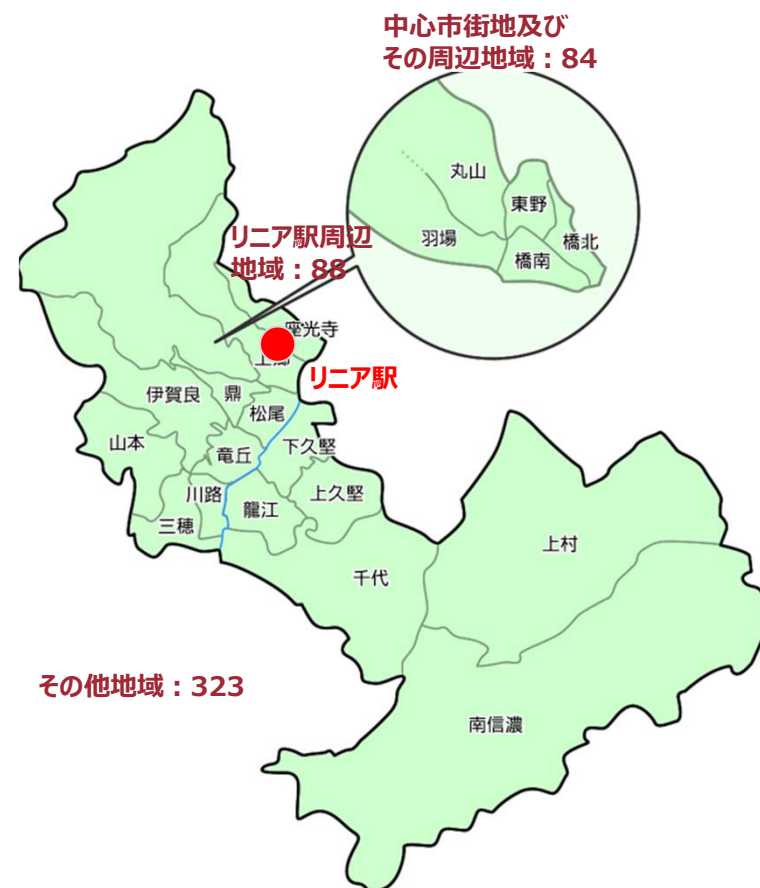
飯田市民向けアンケート調査

回答者属性

問1.お住いの地区はどちらですか。(SA)

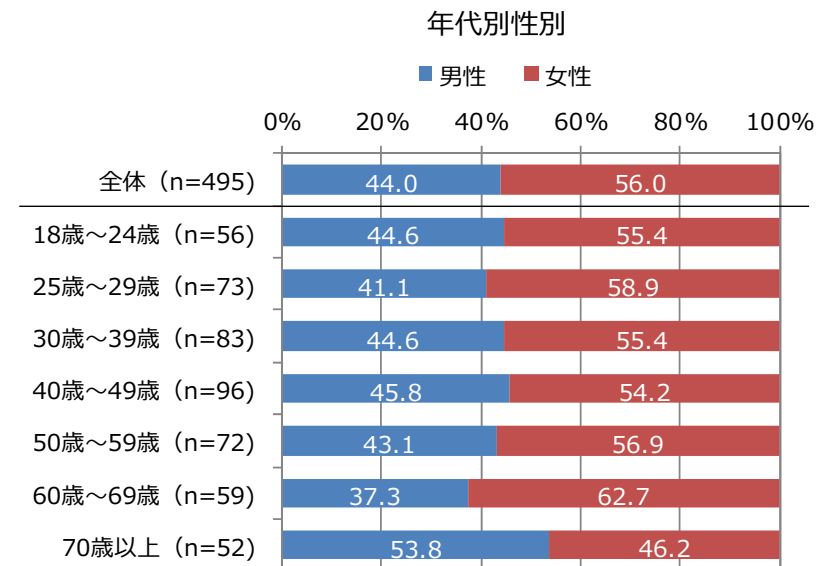
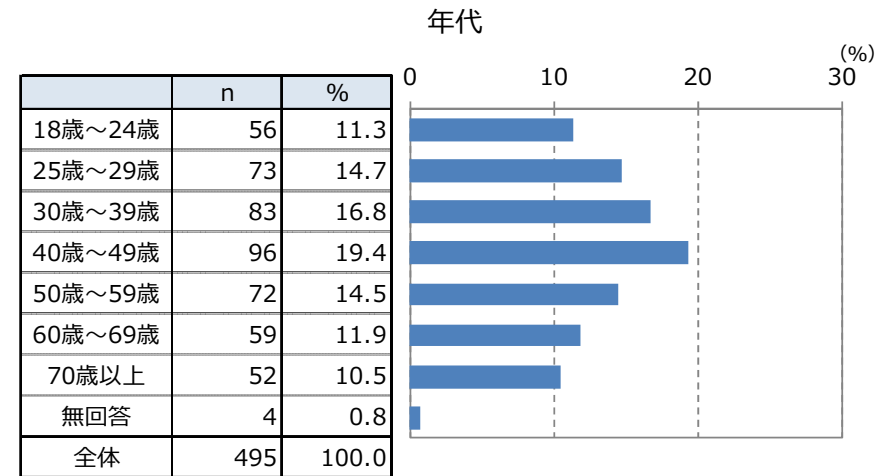
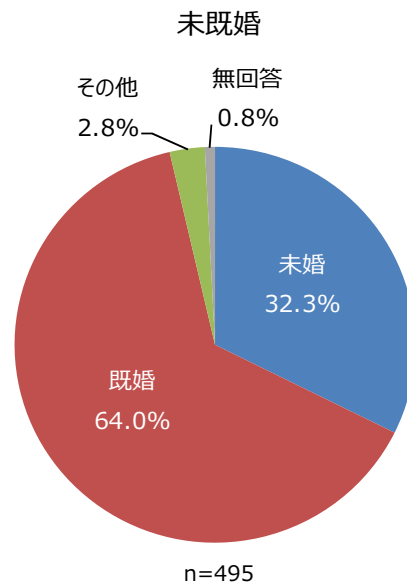
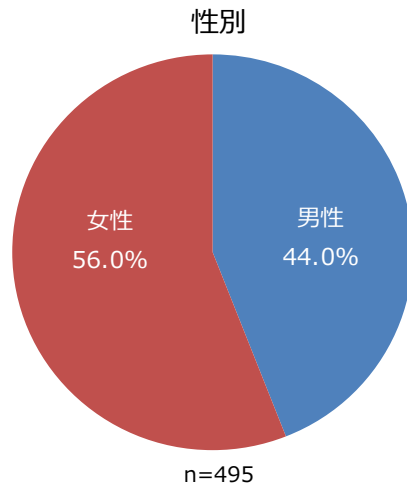
- ・地区別の人口構成に合わせてアンケート票を発送し、回収結果についても人口構成と類似した比率となっている。
- ・本報告書では、飯田市内の地区を、下表の通り、①中心市街地及びその周辺地域、②リニア駅周辺地域、③その他地域の3つに分けて集計・分析を実施した。

エリア	地区	アンケート回答			人口		
		n	%		n	%	
中心市街地及び その周辺地域	橋北	17	3.4	17.0	2,870	2.9	16.5
	橋南	11	2.2		2,614	2.6	
	羽場	22	4.4		4,674	4.7	
	丸山	20	4.0		3,341	3.4	
	東野	14	2.8		2,800	2.8	
リニア駅周辺地域	座光寺	27	5.5	17.8	4,289	4.3	18.0
	上郷	61	12.3		13,481	13.6	
その他地域	伊賀良	61	12.3	65.3	14,231	14.4	65.6
	松尾	68	13.7		12,887	13.0	
	鼎	64	12.9		13,113	13.3	
	竜丘	31	6.3		6,758	6.8	
	川路	18	3.6		1,973	2.0	
	三穂	10	2.0		1,374	1.4	
	山本	18	3.6		4,625	4.7	
	下久堅	12	2.4		2,742	2.8	
	上久堅	3	0.6		1,238	1.3	
	千代	9	1.8		1,596	1.6	
	龍江	15	3.0		2,677	2.7	
	上村	7	1.4		384	0.4	
	南信濃	7	1.4		1,254	1.3	
全体		495	100.0	100.0	98,921	100.0	100.0



回答者属性

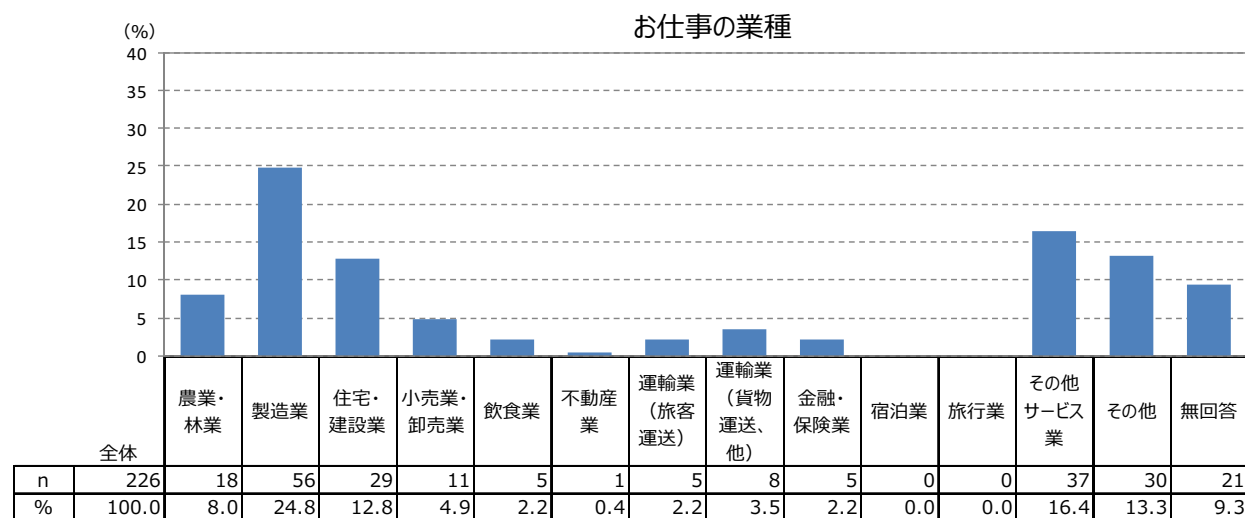
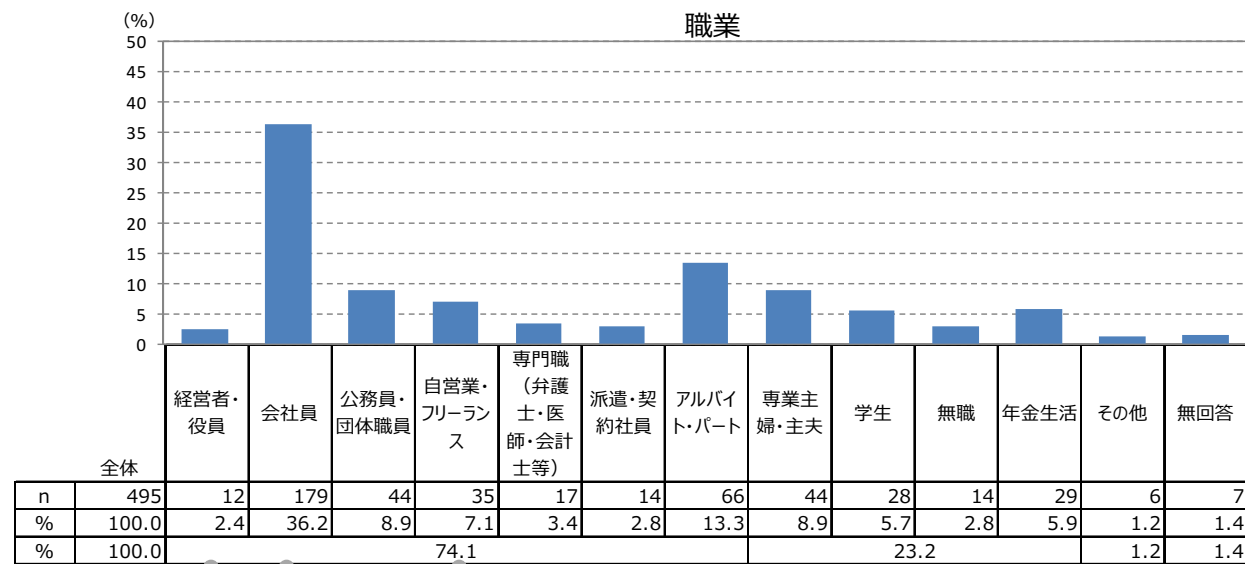
問2.性別 (SA)
問3.年代 (SA)
問4.未既婚 (SA)



回答者属性

問5.職業 (SA)

問6.お仕事の業種は何ですか。(SA) ※経営者・役員、会社員、自営業・フリーランスの方

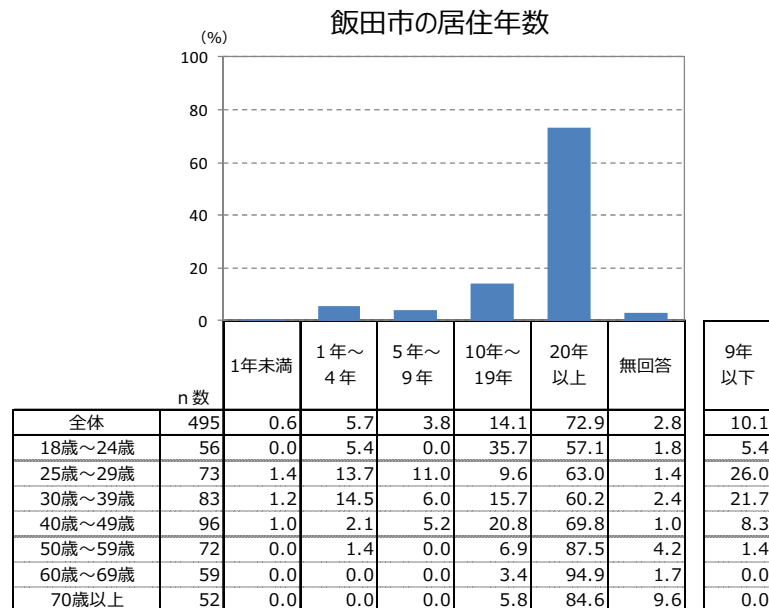
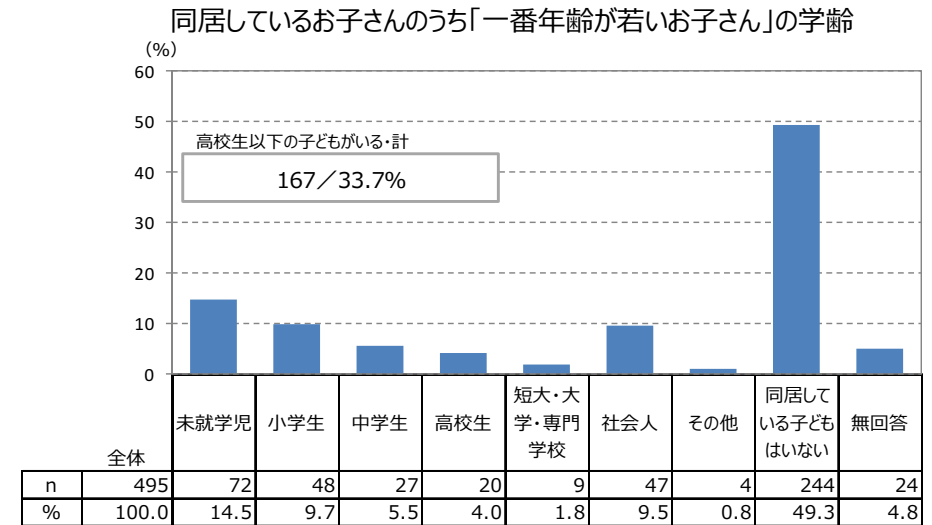
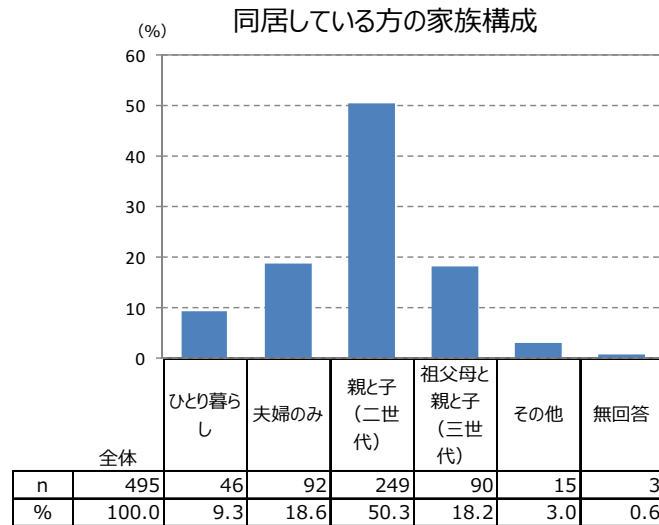


回答者属性

問7.同居している方の家族構成 (SA)

問8.同居しているお子さんはいらっしゃいますか。同居しているお子さんのうち「一番年齢が若いお子さん」の学齢を教えてください。(SA)

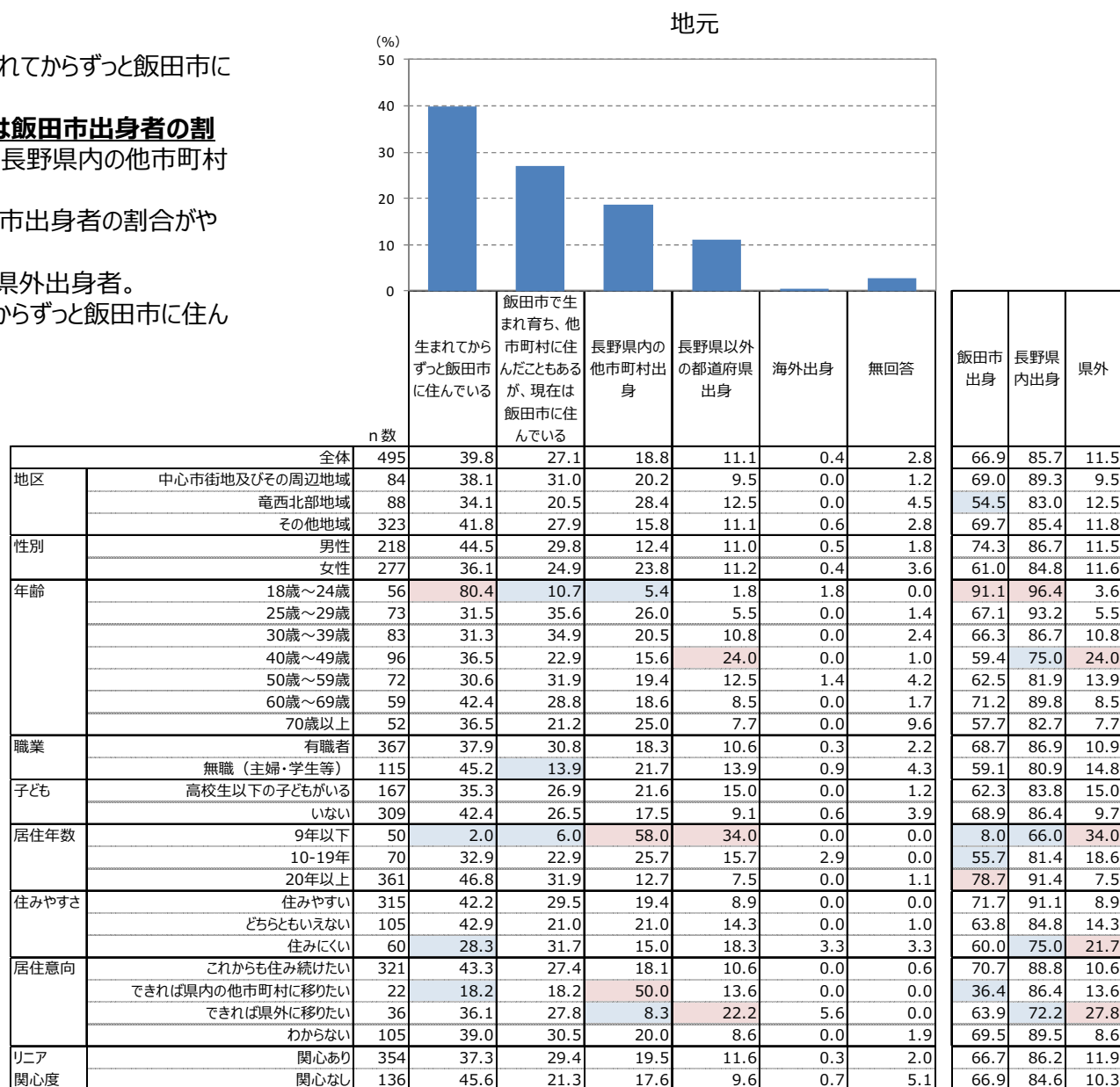
問9.飯田市に住み始めて何年になりますか。一時的に離れた方は、通算の年数をお答えください。(SA)



回答者属性

問10.あなたの地元（生まれ育った地域、20歳になるまでに長く住んだ地域）はどちらですか。（SA）

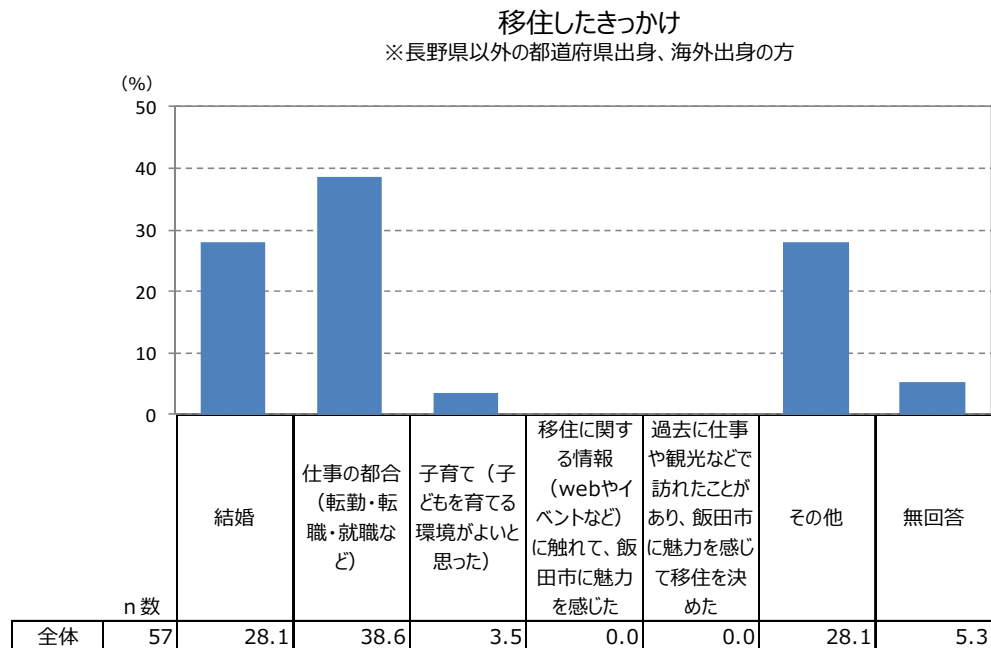
- ・**飯田市出身者は67%。**（その内、「生まれてからずっと飯田市に住んでいる方」が40%）
- ・リニア駅が立地予定の**リニア駅周辺地域は飯田市出身者の割合が55%と他のエリアと比較して低い**（長野県内の他市町村出身者の割合が28%と高い）。
- ・性別では男性の方が女性と比較して飯田市出身者の割合がやや高い。
- ・飯田市が住みにくいと回答した人の2割は県外出身者。
- ・リニア新幹線に関心がない人は「生まれてからずっと飯田市に住んでいる」人の割合がやや高い。



回答者属性

問11.飯田市に移住されたきっかけは何ですか。(MA) 長野県以外の都道府県出身、海外出身の方

- ・長野県以外の都道府県出身、海外出身者（全体の12%）の、移住したきっかけは、**「仕事の都合」(39%)、「結婚」(28%)** が多い。
その他は、**「親の転勤」**等が多くなっている。



<その他の内容>

- ・親の転勤 (4件)
- ・親が移住してきたので
- ・親の出身地
- ・親の家
- ・親のUターン
- ・私が離婚して実母が再婚して住んだのが飯田だった
- ・祖父母宅へ戻る
- ・特になし

飯田市の住みやすさ

問12.飯田市の「住みやすさ」についてどのように感じていますか。生活・仕事・地域・住環境など全般的な暮らしやすさ (SA)

- ・飯田市の住みやすさは、「住みやすい」(30%)、「どちらかといえば住みやすい」(34%)で**合計64%が住みやすい**としている。
- ・一方、「どちらかといえば住みにくい」(10%)、「住みにくい」(2%)で**合計12%が住みにくい**と回答している。

- ・地区別では、リニア駅周辺地域では、**住みやすいの合計が59%、住みにくいが17%と、他のエリアと比較して住みやすさに対する評価が低い。**

- ・年代別でみると、「住みやすい」のTOP BOXの値が、30代以下と40代以上で差が見られ、40代以上がやや高い。

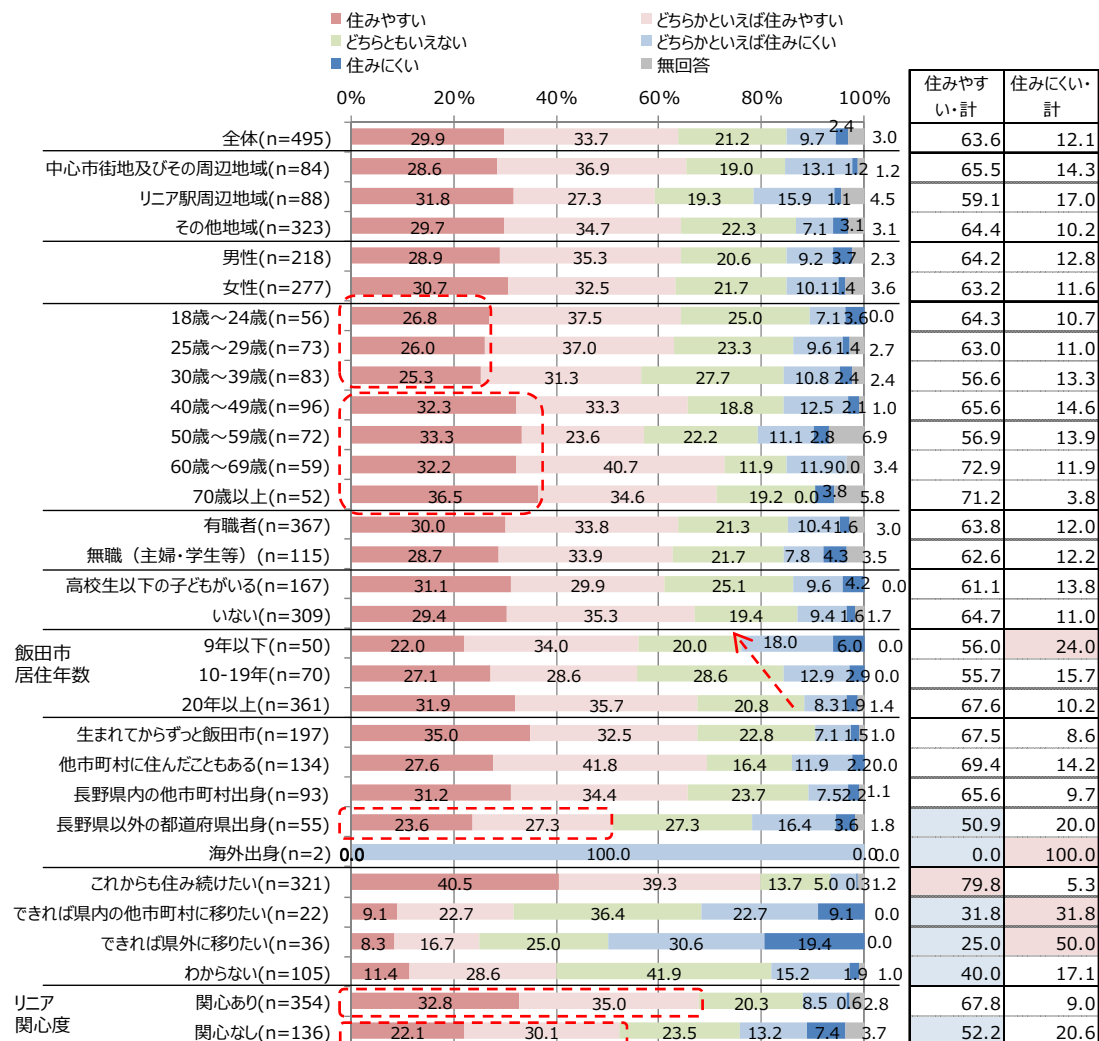
- ・飯田市の居住年数別でみると9年以下など、居住年数が短い人ほど「住みにくい」の比率が高い。

- ・地元が長野県外の方は住みやすいの合計が51%となっており、飯田市出身者、長野県内出身者と比較して低い。

- ・リニア関心度別でみると、リニアに関心がない人は関心がある人と比べて、「住みやすさ」に対する評価が低い傾向が見られる。

- ・性別、有職者か否か、高校生以下の子どもの有無別で住みやすさに対する評価に差異は見られない。

飯田市の住みやすさ

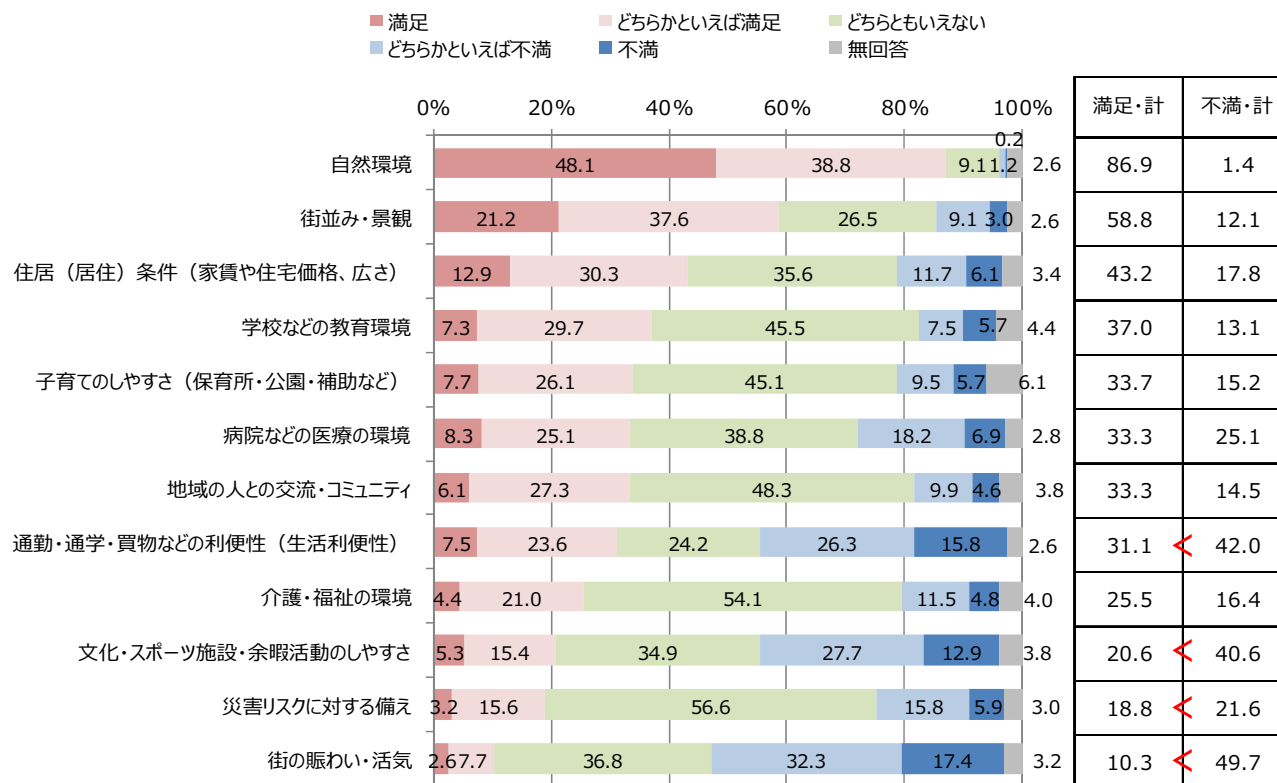


飯田市についての満足度

問13.現在、飯田市にお住まいになられて、以下の点にどのように感じていますか。（SAMT）

- ・飯田市民の飯田市の各要素に対する満足度をみると、**自然環境**が「満足」（48%）、「どちらかといえば満足」（39%）で合計87%が満足としており、突出している。
- ・次いで、**街並み・景観**（59%）、**住居条件**（43%）、**学校などの教育環境**（37%）、**子育てのしやすさ**（34%）、**病院などの医療の環境**（33%）、**地域の人との交流・コミュニティ**（33%）、**通勤・通学・買物などの利便性**（31%）までが3割以上の満足度となっている。
- ・満足度の合計値よりも不満度の合計値の方が高いのは、**災害リスクに対する備え**、**街の賑わい・活気**、**通勤・通学・買物などの利便性**、**文化・スポーツ・余暇活動のしやすさ**。
- ・特に、**街の賑わい・活気**（50%）、**通勤・通学・買物などの利便性**（42%）、**文化・スポーツ・余暇活動のしやすさ**（41%）は不満度が4割を超えている。

飯田市についての満足度

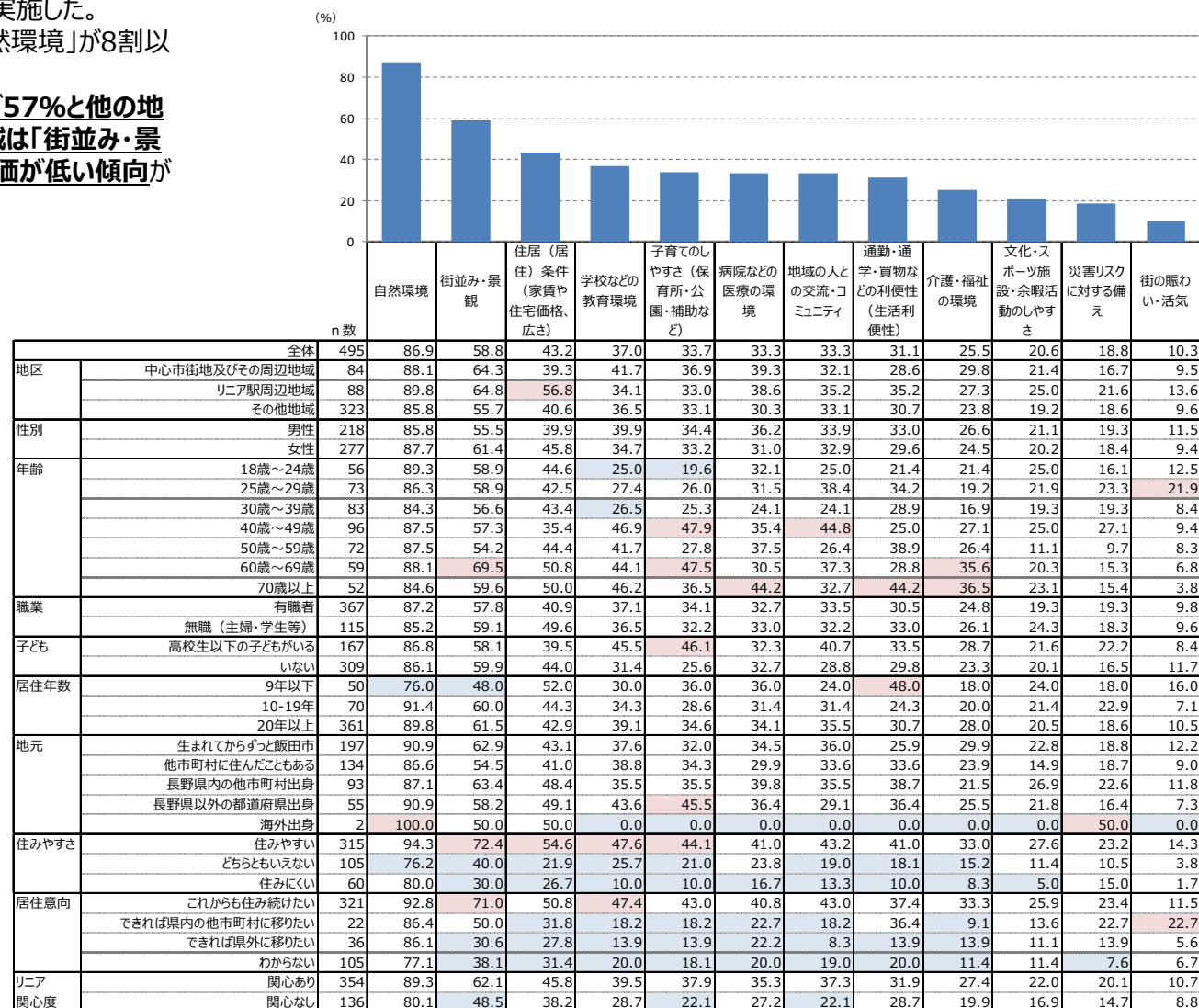


飯田市についての満足度

問13.現在、飯田市にお住まいになられて、以下の点にどのように感じていますか。（SAMT）

- ・飯田市の住みやすさについて「満足」、「どちらかといえば満足」の合計値についてクロス集計を実施した。
- ・地区別でみると、すべての地区で「自然環境」が8割以上となっており高い。
- ・**リニア駅周辺地域では「住居条件」が57%と他の地区と比べて高い。**一方で、**その他地域は「街並み・景観」「病院などの医療環境」などの評価が低い傾向が見られる。**
- ・年代別でみると、30代以下の層では「学校などの教育環境」が3割未満であるのに対して、40代以上は4割以上となっており、年代による差が見られる。
「介護・福祉の環境」は60代以上の3割以上が満足としており、他の年代と比較して高い。
- ・高校生以下の子どもがいる層では「子育てのしやすさ」が46%を占めており高い。
- ・住みやすさ、今後の居住意向別では、住みやすい、住み続けたいなど飯田市に対する評価が高い人ほど、全般的な項目に対する満足度が高い。

飯田市の住みやすさ（満足+どちらかといえば満足）

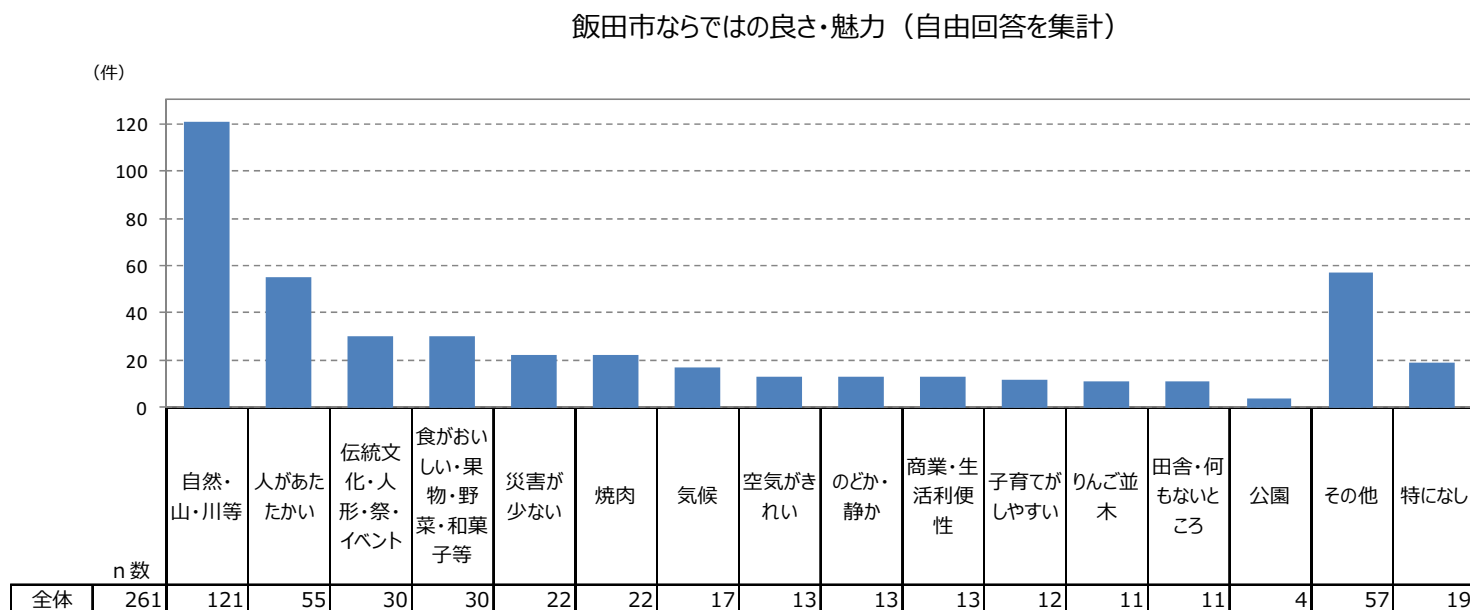


飯田市ならではの良さ・魅力

問14.飯田市ならではの良さ・魅力はどのようなところにあると思いますか。 飯田のいいところ（自慢できること、誇りに思うこと、魅力を感じることなど）についてご記入ください。（FA）

- ・飯田市ならではの良さ・魅力について、自由回答形式で尋ねたところ、261件（全体の52%）の回答があり、「自然・山・川等」に対する意見が最も多かった。
- ・次いで「人があたたかい」「伝統文化・人形・祭・イベント」、「食がおいしい・果物・野菜・和菓子等」、「災害が少ない」「焼肉」「気候（温暖）」などの評価が多くなっている。

→ 市民の評価として、「人があたたかい」が2番目に多い点が注目される。



飯田市ならではの良さ・魅力

問14.飯田市ならではの良さ・魅力はどのようなところにあると思いますか。 飯田のいいところ（自慢できること、誇りに思うこと、魅力を感じるなど）についてご記入ください。（FA）

その他地域	女性	25歳～29歳	あたたかいところ
その他地域	女性	25歳～29歳	あたたかい人が多いと思う。自然も多いし、生活する最低限の店もあって住みやすいと思う。
その他地域	女性	30歳～39歳	あたたかくて、やさしい。
その他地域	女性	40歳～49歳	飯田市に住み、10年以上になります。霜が少なく、大変暖かく、冬でもとても過ごしやすいビックリしました。又、天竜川の景観がとても壮大で、天竜下りも情緒があり、目をひきます。
その他地域	女性	-	飯田市は食べ物美味しい、何より県民性なのか、ステキな人が多い。公園もたくさんあるし、自然豊かです。
中心市街地・周辺	女性	70歳以上	いい所が悪いのかわからないがコロナなどの様子を見ると飯田は少ない反面、外との関わりが少ないのかなと感じる。飯田は見る所がたくさんあれば、観光客が入ってきてもっとコロナが多くなるが、少ないのは喜ばしいが将来的には人が多く集まる様な場所が必要な。
リニア駅周辺地域	男性	70歳以上	一本桜多い 和菓子 果物豊富 家の周りに自然がいっぱい 周りの人が皆親切
その他地域	女性	30歳～39歳	田舎すぎず都会すぎないところ、焼き肉
その他地域	男性	50歳～59歳	田舎でありながら名古屋、東京にそこそこの時間で行ける。人が全体的にのんびりしている（良くも悪くも）
その他地域	女性	25歳～29歳	田舎ならではの、という部分もありますが、のどかで自然にあふれていて空気がきれいだとか、夜星がきれいだなと思います。都会にはない良さだと思います。
その他地域	男性	60歳～69歳	いろんな方が言っていますが、飯田は何もないけど、住みやすい。大きな災害にあった人が少なくなり、何もないけど災害もないという人が多数います。
その他地域	女性	25歳～29歳	飲食店が多い。災害が少ない。
その他地域	男性	50歳～59歳	生まれ育った場所なので。魅力に感じるところ（緑が多く、空気がきれい。気候も住みやすい場所である。人とのコミュニケーションが多いところ） 不満に思っているところ（施設が少ない。産業も少ない。行政サービスが特別に良い所はない）
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	海が近くにないけど、豊かな自然にかこまれている。 ・温泉が多い、宿泊施設も充実している（近隣町村も含め） ・大きな災害は少ない。
リニア駅周辺地域	女性	25歳～29歳	おいしいご飯屋が多い ・野菜が安い
その他地域	女性	40歳～49歳	おいしい焼肉店がいくつもあるところ。少し車で走ると、山の緑が多く景色がいい所がたくさんあるところ。
その他地域	男性	40歳～49歳	おいしい焼肉屋が多い、美しい川がある。つりができる。
中心市街地・周辺	女性	70歳以上	丘の上のりんご並木は魅力がある（田中市長の時、りんご並木の整備に不満を感じていたが今は丘の上の魅力の一つと思える）
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	穏やかな気候、自然災害が少ない、美しい街並み、りんご並木、桜並木等
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	お祭り、花火が盛ん。自然がいっぱい。
その他地域	女性	25歳～29歳	お祭りなどの伝統を大事に守っている地域が多い
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	温泉の施設が身近にあり、金額も高くない。果物野菜が新鮮であり、手軽な場所で手に入る。人、建物などゴミゴミせずにのびのび暮らせる。花、緑に囲まれて一年中楽しむことができる。
その他地域	女性	25歳～29歳	買い物のしやすさ
中心市街地・周辺	男性	18歳～24歳	河川環境、他県よりも釣りのターゲットが多い（バス、溪流魚、コイ、ワカサギ）
その他地域	男性	60歳～69歳	神ノ峰
その他地域	女性	40歳～49歳	上村は自然が豊かであるところ
リニア駅周辺地域	女性	18歳～24歳	川本喜八郎人形美術館 ・川本先生が大切な人形を寄贈したというきっかけになった飯田市の人形劇を愛する心 ・おたぐりが美味 ・丘の上のイベントが多い ・お祭りが好き
中心市街地・周辺	女性	30歳～39歳	川や山に囲まれていて自然豊か。飯田市は広いので南信濃などの自然や、リニアが開通すれば近代的なところも両方あっていいと思う。
リニア駅周辺地域	女性	25歳～29歳	環境がいい
その他地域	男性	30歳～39歳	観光がバツとせず、旅行者が来ない為、静かで良い。
その他地域	男性	70歳以上	気候（気温、災害の少なさ）
その他地域	男性	50歳～59歳	気候、人柄、自然、地場産業、焼き肉、リンゴ並木、リニア駅、飯田線、遠山郷、ご当地グルメ
その他地域	男性	70歳以上	気候と自然の良さ
その他地域	男性	40歳～49歳	居住地には最高だと思う。人口密度はほどほど
その他地域	女性	30歳～39歳	近所づきあいがあるがマメにあって、どんな人が住んでいるのかわかって安心。・買い物しやすい住み良い。・桜の名所が多くて楽しかった。
中心市街地・周辺	女性	18歳～24歳	近所の人が温かい ・だものがおいしい ・無人販売で安く野菜が食べれる
その他地域	女性	25歳～29歳	空気がキレイ、そんなに雪が降らない、焼き肉がおいしい、20地区のまちづくり委員会 新型コロナ感染拡大防止に対する団結力 つどいの広場がたくさんあって嬉しい
その他地域	女性	70歳以上	空気がきれい、水がおいしい、住み良い（冬の雪もさほど多くない）
その他地域	男性	70歳以上	空気が良い。災害が非常に今のところ少ない。

飯田市ならではの良さ・魅力

問14.飯田市ならではの良さ・魅力はどのようなところにあると思いますか。 飯田のいいところ（自慢できること、誇りに思うこと、魅力を感じるなど）についてご記入ください。（FA）

その他地域	女性	60歳～69歳	空気が良く、自然がいっぱい
その他地域	女性	60歳～69歳	空気がよく住みよい
その他地域	男性	70歳以上	空気の良さ ・一年中の天候 ・四季の良さ ・星の見える夜空
その他地域	女性	40歳～49歳	果物がおいしい新鮮
中心市街地・周辺	女性	70歳以上	国県市等の施設が近くにあること。 ・四季折々の景観が楽しめること（りんご並木、桜並、一本桜等） ・歴史的建造物が多くあること ・病院（各個人医院含）が近くにあること ・公民館を利用しやすいこと
中心市街地・周辺	男性	50歳～59歳	車があれば買い物はアップルロードですべてそろう
その他地域	女性	40歳～49歳	車の渋滞がほとんどない
その他地域	女性	50歳～59歳	車の免許があれば動きやすい（ある程度の買い物は困らない）
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	景観
リニア駅周辺地域	女性	40歳～49歳	景色の良さ（山並み、川） 人のあたたかさ、方言の響き
その他地域	女性	30歳～39歳	こじんまりしているわりに便利
その他地域	男性	25歳～29歳	子育てがしやすく、つどいの広場など、親子での交流する場所がもうけられている所です。
その他地域	女性	25歳～29歳	子育て支援が手厚い（つどいの広場が多い）
その他地域	女性	18歳～24歳	子育てしやすいと思う
その他地域	男性	30歳～39歳	子育てするには良い環境かと思えます。治安もいいです。温泉やキャンプをするのに良い土地かと思えます。逆に言えば田舎。
その他地域	女性	30歳～39歳	子供の支援関係の充実（障がい児）
その他地域	女性	60歳～69歳	子どもを遊ばせる自然がある。
その他地域	女性	25歳～29歳	コロナ感染が広まらないようにひとりひとりが気を付けているところ
リニア駅周辺地域	男性	50歳～59歳	災害が少ない
その他地域	女性	60歳～69歳	災害が少ない
その他地域	女性	40歳～49歳	災害が少ない気がする。子育ては十分満足している。
中心市街地・周辺	男性	40歳～49歳	災害につよい、反社会勢力がすくない
その他地域	女性	50歳～59歳	災害も少なく気候も良く住みやすい
その他地域	男性	40歳～49歳	さくらの花が多くて美しい
その他地域	女性	60歳～69歳	産業が遅れている。誘致がされていない。これでは若者が地元に残らない
その他地域	男性	40歳～49歳	事件、事故が少ない
その他地域	女性	60歳～69歳	地震、台風などが少ないこと ・祭り等、伝統行事がまだ残っていること ・山河等の自然環境が良い
その他地域	女性	40歳～49歳	静かで住みやすい 焼肉屋さんが多い
その他地域	男性	30歳～39歳	静かなこと、温泉が近くにあり湯めぐりできること、
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	静かなところ。自然。しかし、リニアにより変わってしまう！
リニア駅周辺地域	男性	30歳～39歳	自然
中心市街地・周辺	女性	18歳～24歳	自然
その他地域	男性	50歳～59歳	自然
その他地域	女性	60歳～69歳	自然
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	自然
その他地域	男性	50歳～59歳	自然
その他地域	男性	30歳～39歳	自然 ・人柄の良さ
その他地域	男性	40歳～49歳	自然、環境問題に取り組んでいるところ
その他地域	男性	70歳以上	自然、景観、春に嶺に白雪 里に花 間を流れる天竜川 ・果物 桃 梨 林檎 柿 等 ・水 河川の水が綺麗 飲料水の味が良い ・観光 下栗の里 花桃 桜 ・災害 地震 水害 風害が少ない
その他地域	女性	50歳～59歳	自然、地域の人の関わり
その他地域	女性	40歳～49歳	自然があり子どもを外で遊ばせられるところ
その他地域	女性	30歳～39歳	自然がある。
その他地域	女性	40歳～49歳	自然がある空気が良い 水がおいしい
その他地域	男性	25歳～29歳	自然がいっぱいあるところ
その他地域	女性	25歳～29歳	しぜんがいっぱいで、子供をのびのびそでたられる
その他地域	男性	40歳～49歳	自然が多い
その他地域	男性	25歳～29歳	自然が多い・飲食店が多い（特に焼肉）
その他地域	女性	18歳～24歳	自然が多いところ ・ご飯がおいしいところ

飯田市ならではの良さ・魅力

問14.飯田市ならではの良さ・魅力はどのようなところにあると思いますか。 飯田のいいところ（自慢できること、誇りに思うこと、魅力を感じるなど）についてご記入ください。（FA）

その他地域	女性	40歳～49歳	自然が多い所。果物などたくさん楽しめるところがある（リンゴ狩り・イチゴ狩り）
その他地域	女性	25歳～29歳	自然が多いところ。しらびそ高原などの山からの景色がとても素敵
中心市街地・周辺	女性	18歳～24歳	自然が多く、空気や水がきれい。・人形劇フェスタ・りんご並木
その他地域	男性	50歳～59歳	自然が大きい！ りんごが美味しい！
その他地域	女性	18歳～24歳	自然がたくさん
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	自然がたくさんあるところ。季節を肌で感じられるところ。しらびそ高原、大好きです。人々も皆さんやわらかいですね。
その他地域	女性	50歳～59歳	自然が身近にあること。焼肉、飲み屋が市の大きさの割に多く、もっと日本中にアピールするべき（このコロナの状況が落ち着けば）もっと飯田市の良さを活用してリニアで人々が多く立ち寄りやすい話題作りも必要だと思う。近所づきあい等、人の良さなど。
その他地域	女性	60歳～69歳	自然が豊か
リニア駅周辺地域	女性	18歳～24歳	自然が豊か 動物園の入園料が無料 りんご並木
リニア駅周辺地域	女性	30歳～39歳	自然が豊か
その他地域	女性	25歳～29歳	自然が豊か
その他地域	女性	50歳～59歳	自然が豊か
その他地域	女性	25歳～29歳	自然が豊か あいさつが返ってくる ゴミ出しがきちんと管理されている
その他地域	女性	40歳～49歳	自然が豊か 東京、名古屋に行きやすい（バスがたくさんあるから）
その他地域	女性	50歳～59歳	自然が豊かで、ある程度の施設が揃っている。気候が涼しい方だ。アルプスに囲まれている。首都圏に近い
その他地域	女性	40歳～49歳	自然がゆたかで暮らしやすい 人がやさしくて親切
その他地域	女性	25歳～29歳	自然が豊かで人々が温かく住みやすい
中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	自然が豊かなところ・新鮮で都会では高価な野菜、果物、山菜がすぐに安価で手に入る場所・人の温かさ、情に厚いところ（地域のつながりが深く、コミュニティも多いので寂しい思いをする人が少ない）・7月頃～10月頃までの花火の多さ（多種多様な花火を何度か場所を変えて楽しめる）・一流の音楽を身近で楽しめるオケ友・獅子舞フェス・和菓子が美しく、おいしい店が多い・日本最大級の人形劇カーニバル・焼肉店が多く、焼肉がおいしい（焼肉文化）
リニア駅周辺地域	男性	25歳～29歳	自然が豊かなところ。
中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	自然が豊かな所・・・と言いたい所ですが、正直自然の豊かさも発展も全て中途半端な気がします……。おそらく住んでいる人間が一番この土地の魅力が分かっているのではないですか？。
中心市街地・周辺	男性	60歳～69歳	自然環境
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	自然環境
その他地域	男性	60歳～69歳	自然環境以外無
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	自然環境がいい所です。
その他地域	女性	40歳～49歳	自然環境が豊かなところ
その他地域	男性	60歳～69歳	自然環境がよい
その他地域	女性	50歳～59歳	自然環境が良く、川、山、花、緑がどこでも見る事が出来て、野菜、果物が新鮮で美味しい。和菓子も焼肉の街としてもメディアで取りあげられる様になりお肉も美味しいと思う。市で健康診断を推進してくれているので検診を受診できることが出来、検診できる環境も整っていると思う。
その他地域	男性	30歳～39歳	自然環境の良さ
中心市街地・周辺	男性	70歳以上	自然環境は気に入っているが、その他社会環境など特別に魅力を感じるところはない
その他地域	女性	40歳～49歳	自然環境はとても良い場所にあると思いますので、住みやすさはNo.1だと思います。
その他地域	男性	30歳～39歳	自然災害が少ない
その他地域	女性	50歳～59歳	自然災害などが少なく、住み易いと思う。厳しさが無い分、おっとりしている人が多いでしょうか？。果物、野菜もとても美味しいと思う。
その他地域	男性	25歳～29歳	自然に囲まれているが、都会（東京や名古屋）へも十分アクセスしやすいところ
リニア駅周辺地域	男性	25歳～29歳	自然の多さ、災害の少なさ
リニア駅周辺地域	男性	50歳～59歳	自然の景観が良い
その他地域	女性	30歳～39歳	自然の豊かさ・人形劇フェスタ・夏の花火の多さ
その他地域	女性	60歳～69歳	自然のゆたかなところ
その他地域	男性	70歳以上	自然の良さ、人情味
その他地域	女性	60歳～69歳	自然の良さがある。人がやさしい
リニア駅周辺地域	女性	30歳～39歳	自然は多いので良いとは思いますが。特に大きく自慢できるところはないと思います。
その他地域	女性	25歳～29歳	自然も人情も豊か
その他地域	女性	40歳～49歳	自然豊か
その他地域	女性	18歳～24歳	自然豊か

飯田市ならではの良さ・魅力

問14.飯田市ならではの良さ・魅力はどのようなところにあると思いますか。 飯田のいいところ（自慢できること、誇りに思うこと、魅力を感じるなど）についてご記入ください。（FA）

リニア駅周辺地域	男性	30歳～39歳	自然豊かなところ 台風被害がないこと
その他地域	女性	40歳～49歳	自然豊かで、食も豊富
中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	自然豊かで子育てをするにはとても良いと思います。欲を言えば都会にあるようなお店がもう少しあるととても良いです。
中心市街地・周辺	女性	50歳～59歳	自然豊かで人々がのんびり生活できる事
その他地域	女性	40歳～49歳	自然豊かなところ、街路樹がきれいなところ（手入れされている事）、人が温かい おだやか 飯田弁が優しさを与える
リニア駅周辺地域	女性	18歳～24歳	自然良い、昔からの地域で良い。ただただのどか、いなかでよい
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	親しみやすい人が多い。食文化の豊富なところ。
中心市街地・周辺	女性	70歳以上	住民が皆、純朴な性格である（特に高齢者は）。若者にはその性格でない人も一部にはある。
中心市街地・周辺	女性	25歳～29歳	商業施設が集まっているエリアと、自然が充実しているエリアの両方が楽しめること
その他地域	女性	40歳～49歳	昭和22の大火や昭和36年三六災害を教訓とした街並みづくりや治水対策が行き届いていること。（安全、安心につながる。）・行政サービスの発信が丁寧なところ。細やかなところ（多くの人が共通の情報を得られる。）・人と人とのつながりを大切にする心を市民の多くがもっているところ。（隣、近所の顔が見えるため、思いやりが育つ）
その他地域	女性	50歳～59歳	食材が豊富であること（魚類以外は）
リニア駅周辺地域	男性	50歳～59歳	食文化のレベルが高い
その他地域	男性	30歳～39歳	人口密度が低く、感染症が流行しにくいこと
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	新鮮野菜がいつでも入手できる
中心市街地・周辺	男性	18歳～24歳	親切な人が多く、環境に優しい場所で生活しやすいところ。
その他地域	女性	30歳～39歳	スーパーやコンビニなどの生活に欠かせない施設が近くにあり便利 ・自然が豊かな所
中心市街地・周辺	男性	50歳～59歳	過ごしやすい地域だと思っています。
その他地域	女性	18歳～24歳	全てにおいて良さをもっている
その他地域	男性	50歳～59歳	住みにくくない ・大きな不満がない
その他地域	女性	30歳～39歳	住みやすい所。友達が側にいる。
その他地域	男性	30歳～39歳	晴天率
中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	相互に協力し合える地域性 人の良さ 子育て福祉に力を入れた対策をとっている
その他地域	男性	50歳～59歳	大都市ではないところ。人と人が身近に感じられる。自然環境も良い。
その他地域	男性	70歳以上	台風、地震災害が少ない。自然が多く環境が良い所。
その他地域	女性	40歳～49歳	台風の被害が少ない
その他地域	女性	40歳～49歳	食べ物おいしい、季節を感じられる
その他地域	女性	18歳～24歳	地域での小さなお祭り等もあり、更にそこでの近所の方々の交流もあり、家の外に出れば、近所の方々が声をかけてくれたりととても良いと思いました。また、最近では更に住宅建築が増えてはきており、畑等は少なくなってきた様な気がしますが、自然は豊かで、とても住みやすい所だと思います。
その他地域	女性	30歳～39歳	地域との関わりが盛んで温かい。自然が身近に感じる（山・川など）
その他地域	男性	70歳以上	地域の人との交流が良い
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	近くに農家も多く、地域で外で活動している人も見かけ、“外”に対する緊張感が少ない。全体的にあまりビビリしていないところ
中心市街地・周辺	男性	40歳～49歳	近くに山がある割に冬があまり厳しくない
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	中央道が通り交通アクセスが良い
その他地域	男性	25歳～29歳	ちょうどよい田舎 ・ツアー・オブジャパン開催地
その他地域	女性	30歳～39歳	つどいの広場（公園）がたくさんあり、子育てがしやすい。たくさんイベントがあり楽しい（朝市、まちバル）
その他地域	男性	60歳～69歳	伝統文化、自然（山・川）
その他地域	男性	30歳～39歳	伝統を大切にしているところ（祭り等）
中心市街地・周辺	男性	25歳～29歳	東海地域のアクセスが良い所
その他地域	男性	25歳～29歳	東京・大阪までの車で移動にかかる時間が同じくらいである。4時間半位で行ける
その他地域	男性	70歳以上	道路の整備をもう少しと思います。
その他地域	男性	70歳以上	都会に比較して人が良い（良い意味で）多数地域間の隣同士又は組合内のコミュニケーションが良くとれている。
リニア駅周辺地域	女性	30歳～39歳	都会のような汚い空気ではなく、空気がきれいで、街並みものどかな感じであるように思います。のどかで静かさがあり、都会から訪れる人たちにとってもいやされるほっとする街並みや人情があると思います。転居してきましたが、市役所の人たちもみなさん親切な方々でびっくりしました。以前いた町は役場の方の対応も違いました。
その他地域	男性	40歳～49歳	特に大きな不満がないところが魅力で、魅力といって思いつくものはない
その他地域	女性	25歳～29歳	どこに行っても知り合いと出会えるところ
その他地域	女性	40歳～49歳	どこの公園にもちゃんとトイレがあります
その他地域	女性	25歳～29歳	土地が広くて安い所、店舗の駐車場が広い所

飯田市ならではの良さ・魅力

問14.飯田市ならではの良さ・魅力はどのようなところにあると思いますか。 飯田のいいところ（自慢できること、誇りに思うこと、魅力を感じるなど）についてご記入ください。（FA）

その他地域	男性	25歳～29歳	なにもないところ
中心市街地・周辺	男性	18歳～24歳	何もなく田舎であるところが良い。
その他地域	女性	30歳～39歳	人形劇フェスタ
リニア駅周辺地域	女性	30歳～39歳	人形劇フェスタがあること。野菜や果物がおいしい
リニア駅周辺地域	女性	40歳～49歳	人形劇フェスティバルで毎年全国各地世界中から集まり、様々なものがみられるところ
その他地域	女性	40歳～49歳	人形のまちであること。移住者に対しても他の地域から比べると全体的に優しいと思います。
中心市街地・周辺	女性	50歳～59歳	のどか 若者が少なくて静か
その他地域	女性	18歳～24歳	のどかな所
その他地域	女性	70歳以上	のどかな所、静かな所
その他地域	女性	25歳～29歳	のんびりしている ・田舎の良さが感じられる ・施設等、新しくできた所も増えたがごちゃごちゃしていない
その他地域	女性	30歳～39歳	のんびりしている ・自然が近くにある ・中学生があいさつをしてくれる ・園庭や工程が広い、プールがある ・お祭りが多くある
その他地域	女性	40歳～49歳	場所…地震がきても津波の心配がない 人…人柄が穏やか
その他地域	女性	18歳～24歳	畑がいっぱいある
その他地域	男性	70歳以上	春と秋の自然と農産物。景色と食べ物を売り物にしたら良い。
中心市街地・周辺	女性	50歳～59歳	春の桜 ・そこそこ田舎なところ
中心市街地・周辺	男性	30歳～39歳	東野大獅子
その他地域	女性	30歳～39歳	人があたたかい
その他地域	女性	25歳～29歳	人が穏やかで優しい。接客態度のいいお店が多く、外出が楽しい。景色がきれい
その他地域	女性	40歳～49歳	人がほんわか暖かいところ。
その他地域	女性	40歳～49歳	人が優しい
リニア駅周辺地域	男性	30歳～39歳	人が優しい、自然が豊か、住みやすい（気候、静か）
その他地域	女性	18歳～24歳	人が優しい。空気がきれい。自然が沢山ある。
その他地域	女性	40歳～49歳	人が優しいところ 自然が豊かなところ
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	人が優しく近所つきあいが良い。自然がある。町並みがきれい。
その他地域	男性	25歳～29歳	人が優しく親切である
その他地域	女性	30歳～39歳	人が良い。地元愛が強い。
その他地域	女性	40歳～49歳	人がよい。わりと穏やかだと思う。少しずつお店が増えて暮らしやすくなってきていると思います。
その他地域	男性	25歳～29歳	人柄が良い人が多い
その他地域	女性	50歳～59歳	人柄の良さ。祭り、花火等の多さ
その他地域	男性	18歳～24歳	人との近さ
その他地域	男性	30歳～39歳	人の温かさ
その他地域	女性	60歳～69歳	人のあたたかさ 親切な人が多い りんご並木 和菓子がおいしい すてきなお菓子屋さんが沢山ある 人形劇（コロナでストップしたが…残念でした！） 水引 おみそ お酒 焼肉 飯田動物園（孫を連れて行くのに一番いい所）
リニア駅周辺地域	女性	18歳～24歳	人のあたたかさ、飯田市民は穏やかな印象が強く、人付き合いも多い所が好きです。景観、落ちているゴミが少なく、緑が多い所。
その他地域	男性	25歳～29歳	人は優しいと思う。人懐っこい
その他地域	女性	25歳～29歳	冬は暖かく過しやすい。都会よりも新鮮な野菜が手に入りやすい。
リニア駅周辺地域	男性	70歳以上	古い伝統文化が残されている。自然
その他地域	男性	25歳～29歳	ほどよい田舎
リニア駅周辺地域	女性	18歳～24歳	程良い田舎感
中心市街地・周辺	女性	18歳～24歳	街中においしい店がある
その他地域	女性	40歳～49歳	祭り、花火の多さ ・しらびそ高原、下栗の里 ・焼肉店の数 ・野菜と果物の美味しさ、安さ ・桜 ・天龍峡 ・渋滞の少なさ（県内の他の主要都市と比較して） ・水引産業 ・伊那谷の眺望 ・ラウンドアバウトの数と歴史 ・元善光寺 ・獅子舞の多さ、大きさ ・人形劇 ・丘フェス（県内最大のサブカルイベントとして） ・裏界線 ・小笠原書院 ・杵原学校、旧木沢小学校 ・羊肉食文化 ・周辺町村を含めたドライブによる自然、温泉巡り
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	緑が多く自然豊かで環境が良い。桜並木、りんご並木等は市街地にあり自慢出来る。
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	南アルプスの景色が良い。お天気も良い日が多いから、観光に生かせたらいいなあと思う
その他地域	女性	30歳～39歳	焼き肉
その他地域	男性	30歳～39歳	焼肉
その他地域	男性	50歳～59歳	焼肉 人形劇 赤石山脈 オケ友、伊那芸 グリムスバンキー
中心市街地・周辺	男性	18歳～24歳	焼肉、水引き

飯田市ならではの良さ・魅力

問14.飯田市ならではの良さ・魅力はどのようなところにあると思いますか。 飯田のいいところ（自慢できること、誇りに思うこと、魅力を感じるなど）についてご記入ください。（FA）

その他地域	女性	18歳～24歳	焼肉がおいしい ・空気がいい
その他地域	男性	30歳～39歳	焼肉の街
その他地域	男性	30歳～39歳	焼肉の町、飯田で肉がおいしい、市街の方にも絶賛の声を頂ける
その他地域	男性	25歳～29歳	焼肉の街等日本一を明確にPRしている
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	焼肉屋が多いところはそのまま維持、ピーアールしていけばいいと思う。四季に応じて桜 はなもも など自然の観光ができるところもいい点だと思っている。
中心市街地・周辺	女性	25歳～29歳	焼肉屋さん多い
その他地域	男性	40歳～49歳	野菜や果物、米、水、空気がおいしい。自然が近くにある。
その他地域	男性	18歳～24歳	優しい人が多い
その他地域	女性	18歳～24歳	優しい人が多い気がする 地域に密着したイベントがけっこう行われている ex)ししまいフェスティバル、やまびこマーチ
その他地域	女性	30歳～39歳	優しい人柄、半生菓子、人形劇フェスティバル
その他地域	男性	40歳～49歳	山
リニア駅周辺地域	女性	30歳～39歳	山と川、空気と水もキレイ
その他地域	男性	40歳～49歳	山に囲まれた自然豊かな景観。
リニア駅周辺地域	男性	30歳～39歳	山に囲まれて自然が豊か
中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	豊かな自然（空気、水、景色の良さ） ・人のあたたかさ ・食べる物（野菜、果物）のおいしさ ・台風の影響が少ない
その他地域	女性	60歳～69歳	豊かな自然。伝統芸能のすばらしさ、少しずつ若い人たちが継承していってくれることがうれしいです。
その他地域	女性	40歳～49歳	りんご並木、アップルロードのりんごの植え込み
リニア駅周辺地域	女性	60歳～69歳	りんご並木、城下町の史跡
その他地域	女性	60歳～69歳	りんご並木は誇りに思います。東中他の方々の手入れにはとても感謝しています。
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	歴史、文学系の深さがあると思う。
その他地域	男性	40歳～49歳	若い方達が増えると人とのコミュニティが良いのでしょうか。学校教育以外人間としての常識が身につくと思います。
その他地域	女性	30歳～39歳	和菓子がおいしいのが良いです。（特に一二三やまんじゅう）
その他地域	男性	50歳～59歳	飯田市ならではの良さと言われても特にない。飯田市ならではの物、事を作った方が良いと思う。
リニア駅周辺地域	男性	30歳～39歳	特にありません。
その他地域	男性	70歳以上	特にありません。
中心市街地・周辺	男性	40歳～49歳	特にない
その他地域	女性	30歳～39歳	特になし
その他地域	男性	30歳～39歳	特になし
中心市街地・周辺	女性	50歳～59歳	特になし
その他地域	男性	18歳～24歳	特になし
中心市街地・周辺	男性	30歳～39歳	特になし
その他地域	男性	25歳～29歳	特になし
その他地域	女性	18歳～24歳	特になし
その他地域	女性	30歳～39歳	ない
その他地域	男性	25歳～29歳	なし
その他地域	男性	40歳～49歳	なし
中心市街地・周辺	男性	30歳～39歳	何も無い
その他地域	女性	25歳～29歳	思いつきません
その他地域	男性	30歳～39歳	特に自慢するようなところはないと思います。
中心市街地・周辺	男性	30歳～39歳	他と比べて圧倒的な強みはまだないと感じる。

飯田市への居住意向（住み続けたいか）

問15.飯田市にこれからも住み続けたいと思いますか。（SA）

・飯田市にこれからも住み続けたいかを尋ねたところ、**「これからも住み続けたい」（65%）**、「できれば長野県内の他市町村に移りたい」（4%）、「できれば県外に移りたい」7%、「わからない」21%となり、**市外に移りたいという人は全体の12%**となった。

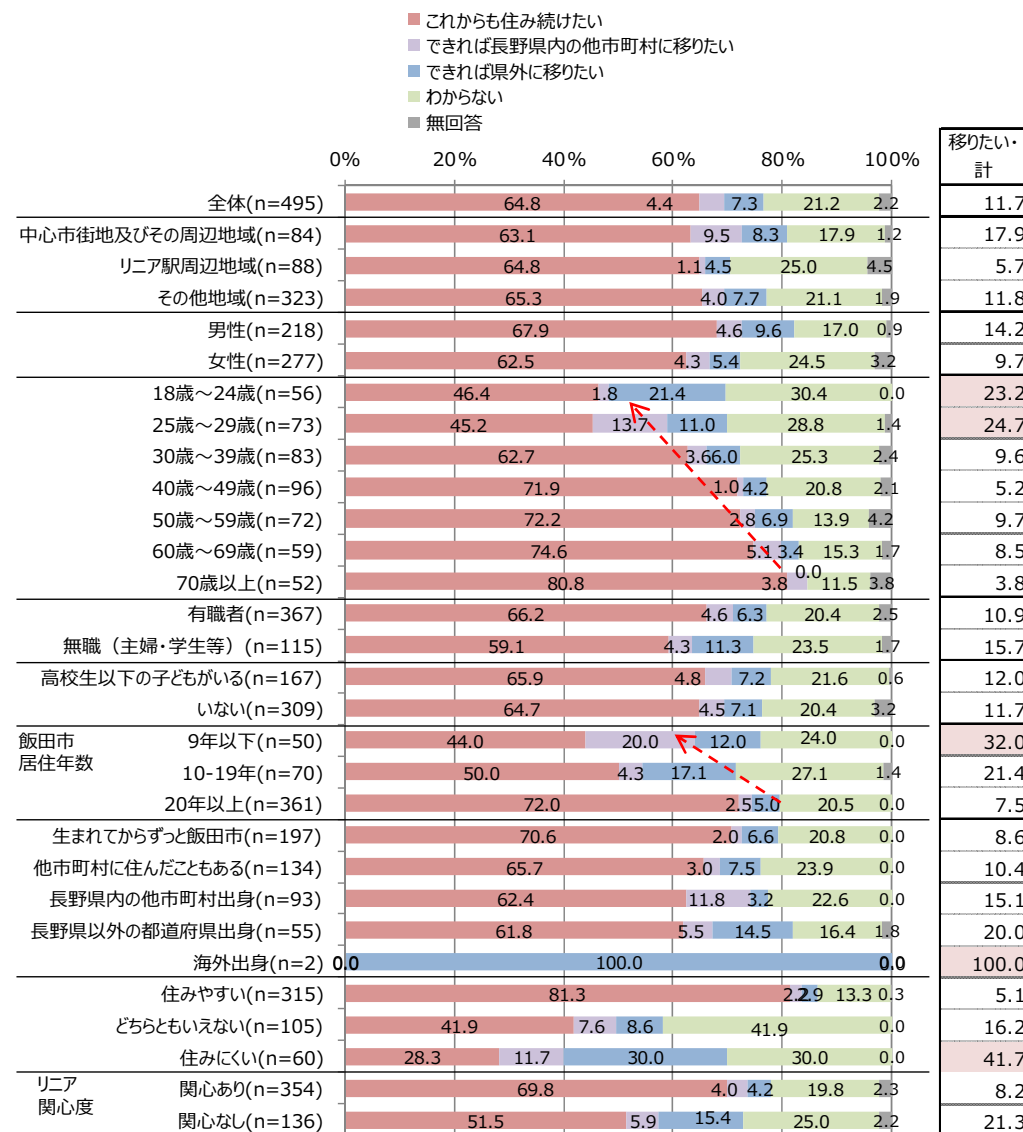
・地区別でみると、リニア周辺駅地域の方は、市外、県外に移りたいの合計（割合）が、他のエリアと比較して低い。

・年代別でみると、20代の人は「これからも住み続けたい」が5割未満となっており、30代が6割以上、40代以上が7割以上であるの比較して低いなど、年代が低い層ほど今後の居住意向度が低い傾向が見られる。

・飯田市の居住年数が短い人ほど、居住意向度が低い傾向が見られる。

・リニアへの関心度別でみると、関心がない人の21%が市外に移りたいとしており、関心がある人が8%であるのと比較すると差が見られる。

※飯田市への居住意向度・満足度などが低いことがリニアへの関心度の低さにも影響している様子が伺える。



リニア長野県駅ができることの認知度

問16.飯田市にリニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)ができますが、どの程度ご存じですか。(SA)

- ・リニア中央新幹線駅(リニア長野県駅) ができることの認知度：「知っている」(60%)、「何となく知っている」(25%)で**合計85%が認知(大半の人が認知している)**。
- ・「聞いたことがある程度(あまり知らない)」「知らない」(1%)で**合計14%が非認知**。

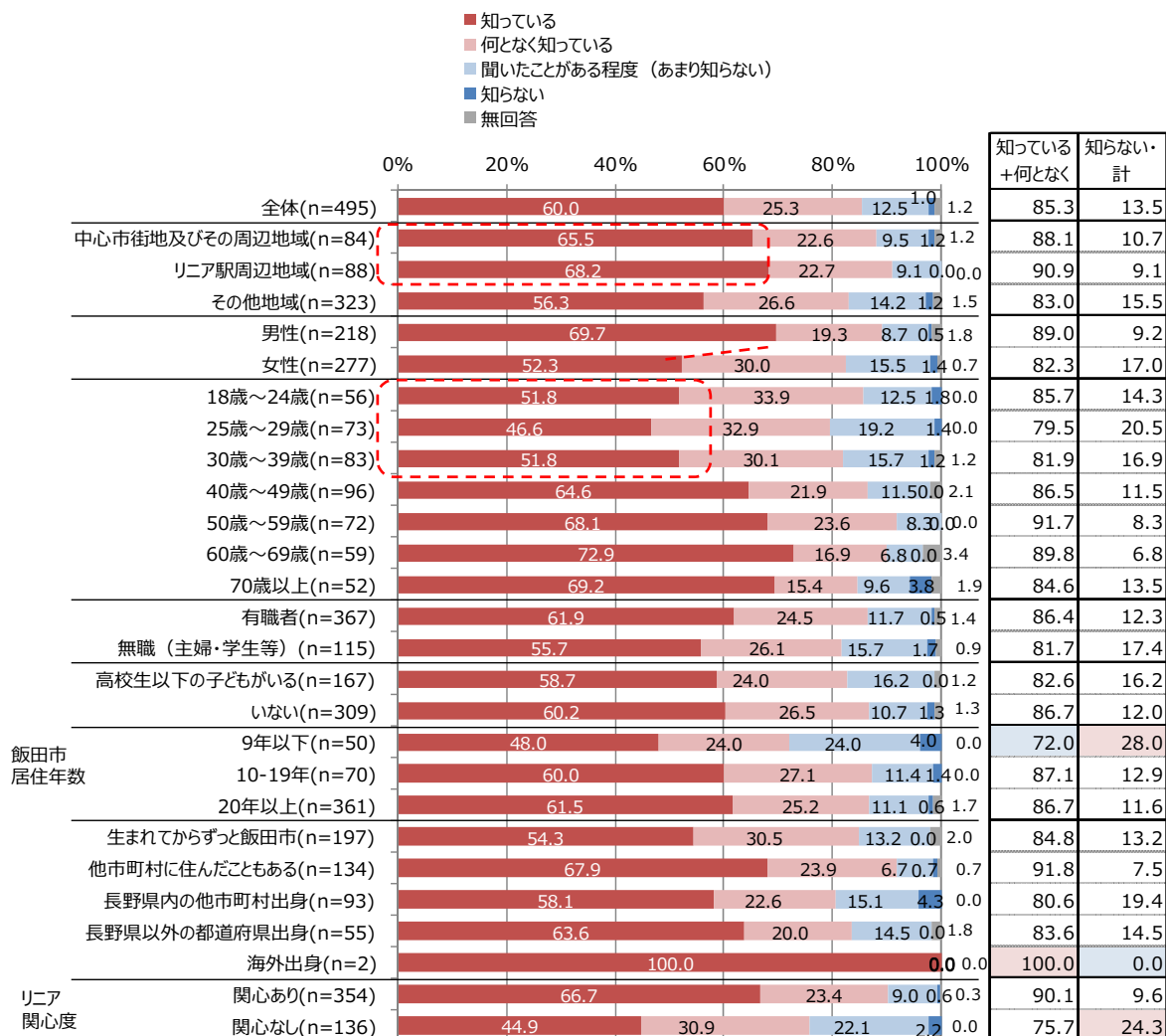
・地区別でみると、中心市街地及びその周辺地域やリニア駅周辺地域では「知っている」(TOP BOX)のスコアが7割弱とその他地域と比較して高い。

・性別でみると、男性の方が女性よりも認知度が高い。特に「知っている」(TOP BOX)のスコアで17ポイントもの差が見られる。

・年代別で「知っている」(TOP BOX)のスコアをみると、30代以下と40代以上で差が見られ、年代が高い層ほど認知度が高い。

・飯田市への居住年数別でみると、居住年数が9年以下の人では「知らない」が28%となっており、認知度が低い。

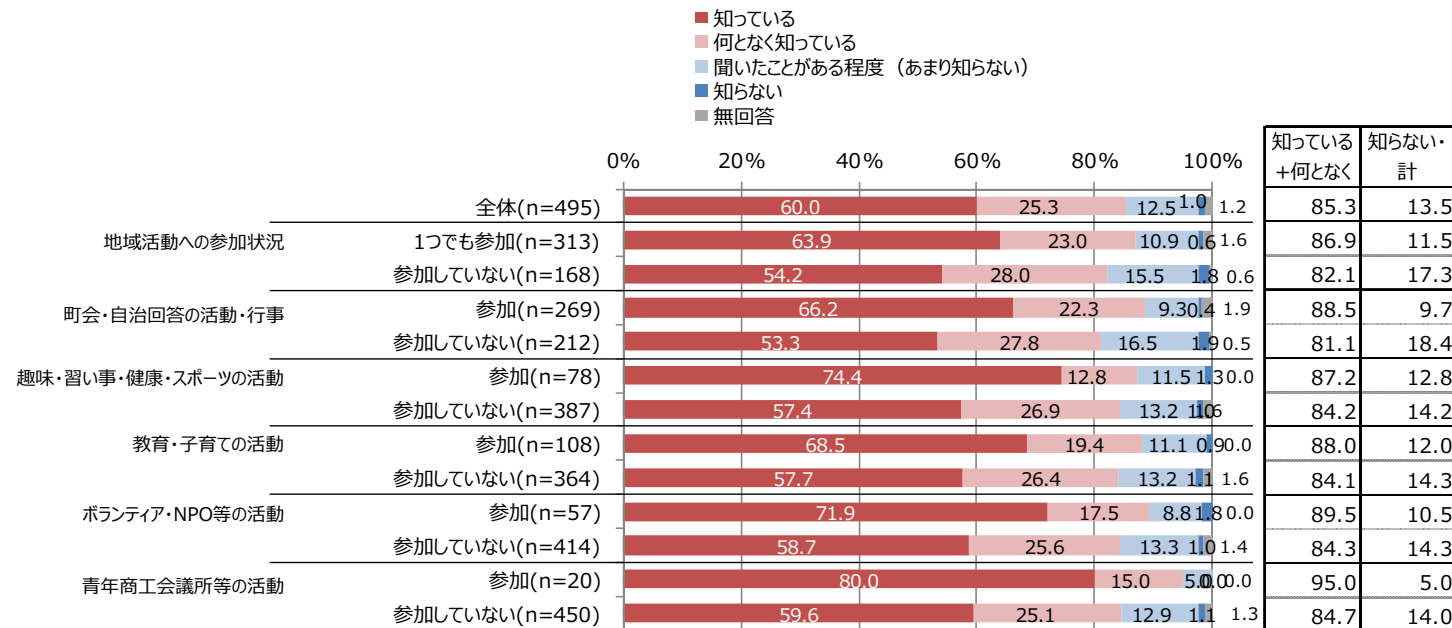
・飯田市で生まれ育ち、他市町村に住んだこともある人の「知っている」(TOP BOX)が68%と特に高い。



リニア長野県駅ができることの認知度

問16.飯田市にリニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)ができますが、どの程度ご存じですか。(SA)

・リニア中央新幹線駅(リニア長野県駅) ができることの認知度について、地域活動への参加状況別でみると、全般的に地域活動へ参加している人の方が認知度が高い。特に「知っている」(TOP BOX) のスコアに大きな差が見られる。



リニア中央新幹線に対する関心度

問17.あなたは、飯田市にリニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)が整備されることに関心がありますか。(リニア開業に向けたまちづくりの推進を含む) (SA)

・リニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)に対する関心度は、「とても関心・期待がある」が28%、「どちらかといえば関心・やや期待がある」が44%で**合計72%が関心がある**。「あまり関心・期待していない」(22%)、「関心・期待なし」(6%)で**合計28%が“無関心”**。

・地区別でみると、**中心市街地及びその周辺地域の関心度が特に高い**。

・性別でみると、男性の方が女性と比較して関心度が高い。

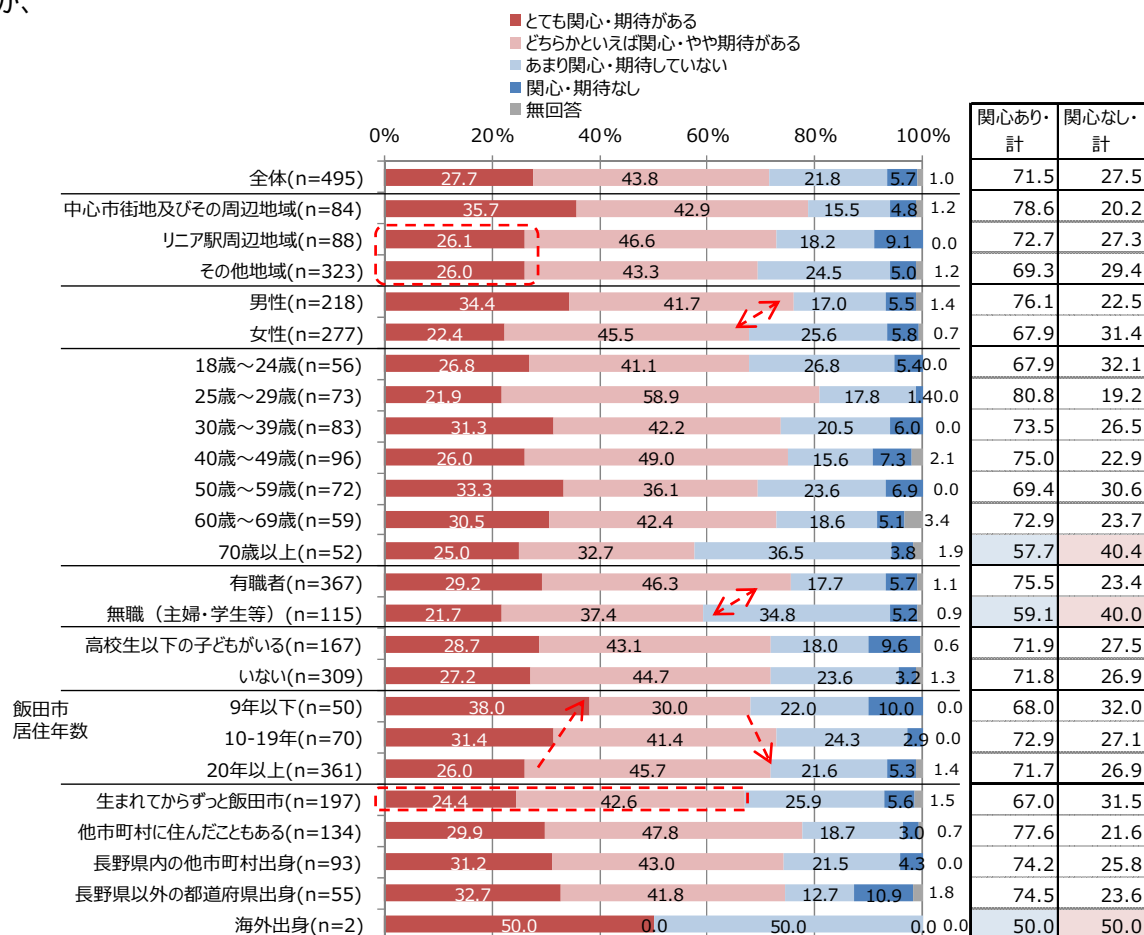
・年代別では70代以上の人の関心度が低い、
その他で大きな傾向の違いは見られない。

・職業(有職者か否か)別でみると、
有職者の方が関心度が高い。

・居住年数別でみると、居住年数が9年以下の人など、居住年数が短いほど、「とても関心・期待がある」(TOP BOX)の値が高い一方で、「関心がない」とする値も高いなど、傾向が分かれている。

・生まれてからずっと飯田市に住んでいる方の関心度が67%と他が7割以上となっているのと比較するとやや低い。

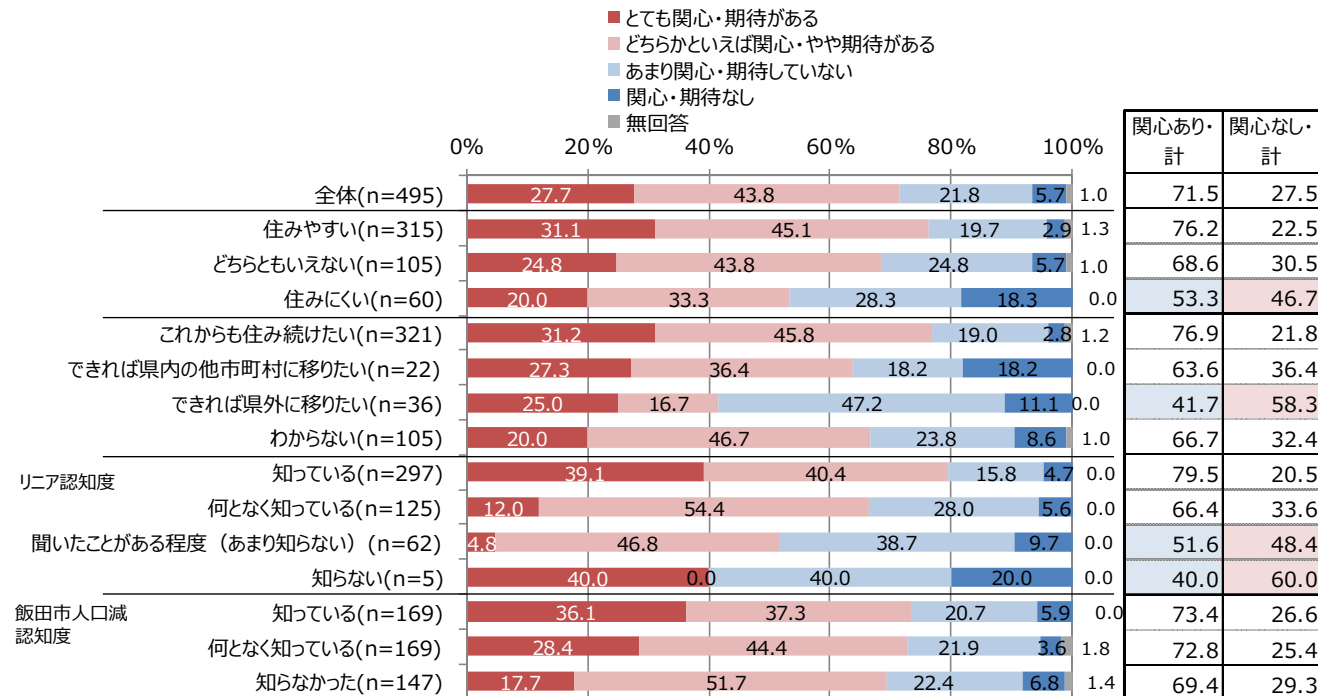
※無関心層(全体の28%)は70歳以上、無職(主婦・年金生活者、学生など)、生まれてからずっと飯田市に住んでいる、もしくは居住年数9年以下の方が多い傾向。



リニア中央新幹線に対する関心度

問17.あなたは、飯田市にリニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)が整備されることに関心がありますか。(リニア開業に向けたまちづくりの推進を含む) (SA)

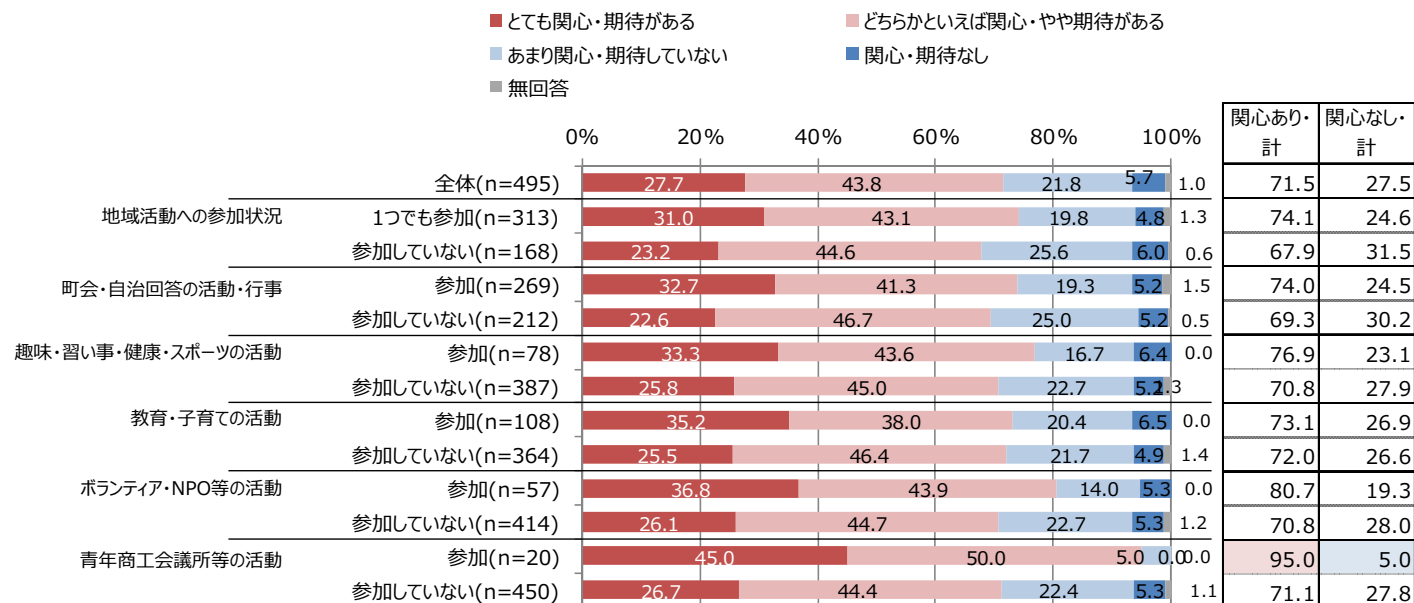
- ・リニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)に対する関心度について、飯田市に対する住みやすさや、今後の居住意向別でみると、住みやすい、住み続けたいなど、飯田市に対する評価が高い人ほど、リニアに対する関心度も高い。
- ・リニアに対する認知度別でみると、知っている人ほど「関心度」が高い傾向が見られる。
- ・同様に、飯田市の人口減の状況を知っている人ほど、「関心度」が高い傾向が見られる。



リニア中央新幹線に対する関心度

問17.あなたは、飯田市にリニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)が整備されることに関心がありますか。(リニア開業に向けたまちづくりの推進を含む) (SA)

・リニア中央新幹線駅(リニア長野県駅)に対する関心度について、地域活動への参加状況別でみると、全般的に地域活動に参加している人の方が関心度が高い。特に「知っている」(TOP BOX)のスコアに大きな差が見られる。



リニア中央新幹線に期待すること

問18.あなたが、リニア中央新幹線に期待することは何ですか。(MA) ※問17で「1.とても関心がある」「2.やや関心がある」と回答された方

・リニア中央新幹線に「関心がある」と回答した人に対して、期待することは何かを尋ねたところ、「友人・知人訪問や観光・仕事などで東京や名古屋に行きやすくなる」が84%で突出している。

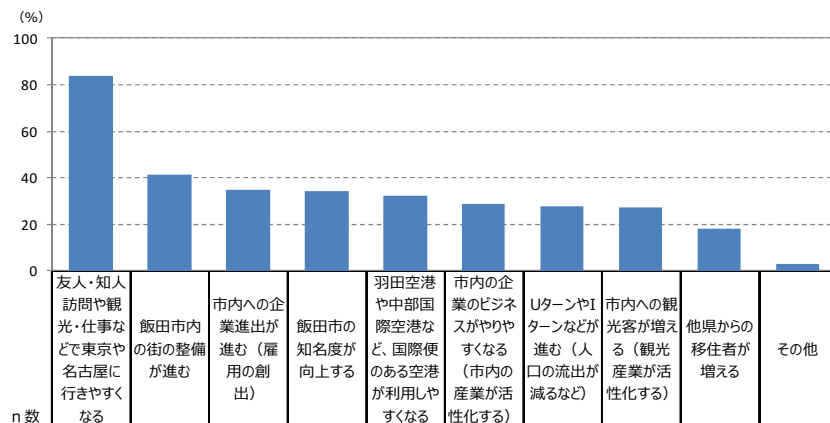
以下、

- 「飯田市内の街の整備が進む」(42%)
- 「市内への企業進出が進む(雇用の創出)」(35%)
- 「飯田市の知名度が向上する」(34%)
- 「羽田空港や中部国際空港など、国際便のある空港が利用しやすくなる」(33%)

までが3割以上で続いている。

- ・地区別でみると、中心市街地及びその周辺地域において、「羽田空港や中部国際空港など、国際便のある空港が利用しやすくなる」の比率が高い。
- ・その他地域では「市内への企業進出が進む」が39%で他の地区と比較して高い。

- ・性別でみると、男性は「市内の街の整備が進む」「飯田市の知名度が向上する」「市内の企業のビジネスがやりやすくなる」「UターンやIターンなどが進む」「他県からの移住者が増える」などの項目で女性よりも高い。一方、女性は「友人・知人訪問や観光・仕事などで東京や名古屋に行きやすくなる」が男性よりも高い。

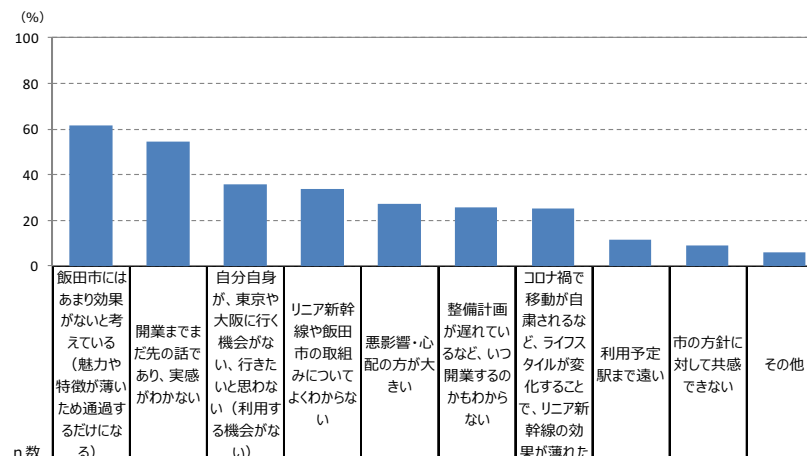


	n 数	全体	飯田市内の街の整備が進む	市内への企業進出が進む(雇用の創出)	飯田市の知名度が向上する	羽田空港や中部国際空港など、国際便のある空港が利用しやすくなる	市内の企業のビジネスがやりやすくなる(市内の産業が活性化)	UターンやIターンなどが進む(人口の流出が減るなど)	市内への観光客が増える(観光産業が活性化)	他県からの移住者が増える	その他
地区		354	83.6	41.5	34.7	34.2	32.5	28.8	27.7	18.1	2.8
		66	89.4	42.4	27.3	25.8	45.5	21.2	31.8	28.8	0.0
		64	79.7	35.9	28.1	37.5	29.7	23.4	18.8	25.0	6.3
		224	83.0	42.9	38.8	35.7	29.5	32.6	29.0	27.2	2.7
性別		166	76.5	42.2	40.4	39.8	31.3	31.3	30.1	27.7	3.6
		188	89.9	41.0	29.8	29.3	33.5	26.6	25.5	26.6	2.1
年齢		38	89.5	39.5	10.5	34.2	52.6	13.2	10.5	21.1	0.0
		59	89.8	49.2	23.7	23.7	22.0	22.0	13.6	22.0	5.1
		61	80.3	45.9	34.4	29.5	36.1	32.8	29.5	27.9	3.3
		72	80.6	38.9	34.7	30.6	26.4	30.6	23.6	25.0	2.8
		50	90.0	46.0	54.0	36.0	40.0	48.0	28.0	22.0	4.0
		43	81.4	34.9	41.9	44.2	34.9	30.2	37.2	30.2	2.3
		30	70.0	26.7	46.7	53.3	26.7	30.0	36.7	43.3	0.0
職業		277	82.7	41.5	36.1	35.0	31.0	31.0	30.3	27.4	2.5
		68	88.2	38.2	27.9	33.8	36.8	20.6	14.7	23.5	4.4
子ども		120	80.0	48.3	37.5	31.7	35.0	35.8	26.7	27.5	4.2
		222	86.0	38.3	32.9	34.2	30.6	24.3	28.8	26.6	2.3
居住年数		34	82.4	44.1	14.7	17.6	20.6	14.7	14.7	17.6	5.9
		51	92.2	39.2	29.4	33.3	33.3	37.3	11.8	23.5	3.9
		259	81.5	42.9	37.8	36.7	34.4	29.0	32.4	28.6	2.3
地元		132	80.3	43.2	31.8	36.4	34.8	26.5	24.2	22.0	2.3
		104	88.5	40.4	39.4	33.7	36.5	30.8	35.6	35.6	2.9
		69	85.5	49.3	31.9	33.3	30.4	31.9	24.6	24.6	2.9
		41	75.6	31.7	34.1	31.7	19.5	24.4	22.0	22.0	4.9
		1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
住みやすさ		240	83.3	40.0	36.3	37.5	31.3	29.2	31.7	28.8	2.5
		72	84.7	48.6	33.3	33.3	34.7	25.0	18.1	22.2	4.2
		32	81.3	46.9	21.9	12.5	37.5	31.3	15.6	21.9	0.0
リニア認知度		236	84.3	41.5	36.4	36.9	35.2	31.8	29.7	28.4	2.1
		83	85.5	41.0	30.1	27.7	28.9	20.5	25.3	22.9	4.8
		32	71.9	43.8	31.3	31.3	18.8	25.0	15.6	25.0	3.1
		2	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0

リニア中央新幹線に関心がない・期待していない理由

問19.リニア中央新幹線に「関心がない・期待していない」理由は何ですか。(MA) ※問17で「3.あまり関心がない」「4.関心がない」と回答された方

- ・リニア中央新幹線に「関心がない」と回答した人に対して、関心がない・期待していない理由を尋ねたところ、
- ・「飯田市にはあまり効果がないと考えている（魅力や特徴が薄いため通過するだけになる）」が62%で最も高い。次いで、「開業までまだ先の話であり、実感がわかない」（54%）、「自分自身が、東京や大阪に行く機会がない、行きたいと思わない（利用する機会がない）」（36%）、「リニア新幹線や飯田市の取組みについてよくわからない」（34%）の順となっている。



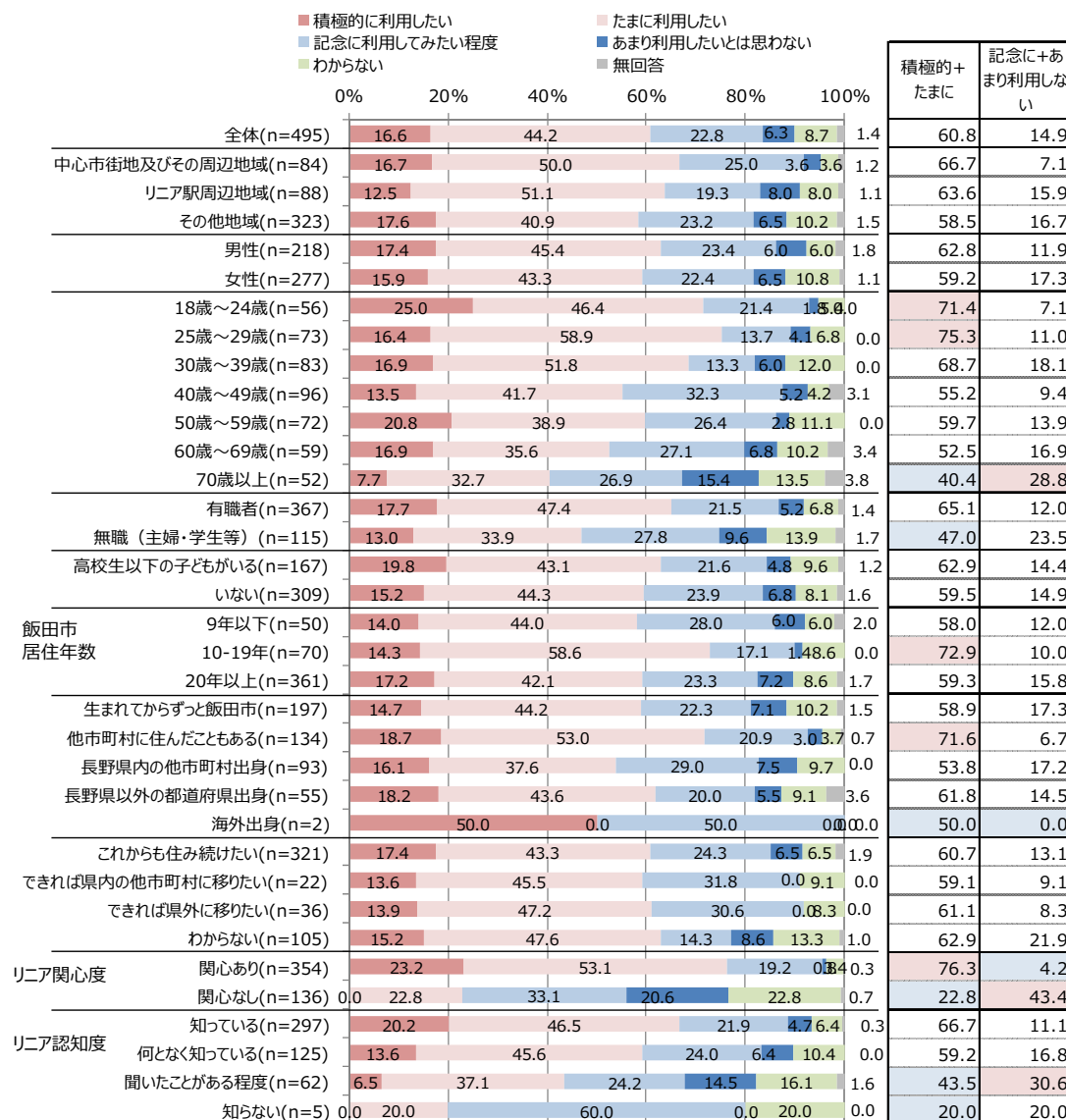
※サンプル数に注意

	n数	飯田市にはあまり効果がないと考える（魅力や特徴が薄いため通過するだけになる）	開業までまだ先の話であり、実感がわかない	自分自身が、東京や大阪に行く機会がない、行きたいと思わない（利用する機会がない）	リニア新幹線や飯田市の取組みについてよくわからない	悪影響・心配の方が大きい	整備計画が遅れているなど、いつ開業するのかわからない	コロナ禍で移動が自粛されるなど、ライフスタイルが変化する中で、リニア新幹線の効果が薄れた	利用予定駅まで遠い	市の方針に対して共感できない	その他
全体	136	61.8	54.4	36.0	33.8	27.2	25.7	25.0	11.8	8.8	5.9
地区											
中心市街地及びその周辺地域	17	58.8	47.1	35.3	29.4	29.4	17.6	11.8	11.8	0.0	11.8
リニア駅周辺地域	24	58.3	50.0	29.2	33.3	45.8	45.8	29.2	8.3	16.7	8.3
その他地域	95	63.2	56.8	37.9	34.7	22.1	22.1	26.3	12.6	8.4	4.2
性別											
男性	49	61.2	42.9	30.6	32.7	30.6	28.6	26.5	12.2	20.4	8.2
女性	87	62.1	60.9	39.1	34.5	25.3	24.1	24.1	11.5	2.3	4.6
年齢											
18歳～24歳	18	61.1	55.6	5.6	33.3	22.2	27.8	22.2	5.6	11.1	5.6
25歳～29歳	14	57.1	42.9	21.4	35.7	21.4	35.7	14.3	7.1	0.0	7.1
30歳～39歳	22	63.6	63.6	13.6	27.3	31.8	27.3	27.3	4.5	9.1	0.0
40歳～49歳	22	63.6	59.1	50.0	36.4	27.3	13.6	27.3	4.5	4.5	9.1
50歳～59歳	22	68.2	54.5	40.9	50.0	36.4	36.4	27.3	9.1	18.2	13.6
60歳～69歳	14	50.0	42.9	64.3	35.7	7.1	21.4	35.7	35.7	14.3	0.0
70歳以上	21	61.9	57.1	57.1	23.8	28.6	23.8	23.8	23.8	4.8	4.8
職業											
有職者	86	62.8	50.0	31.4	36.0	31.4	25.6	27.9	8.1	10.5	7.0
無職（主婦・学生等）	46	60.9	63.0	45.7	30.4	19.6	28.3	21.7	19.6	6.5	4.3
子ども											
高校生以下の子がいる	46	65.2	52.2	37.0	30.4	34.8	21.7	21.7	13.0	13.0	8.7
いない	83	59.0	55.4	36.1	32.5	24.1	24.1	24.1	9.6	4.8	4.8
居住年数											
9年以下	16	62.5	50.0	18.8	25.0	12.5	18.8	12.5	6.3	0.0	0.0
10～19年	19	52.6	63.2	15.8	31.6	36.8	42.1	26.3	5.3	10.5	10.5
20年以上	97	61.9	54.6	42.3	34.0	25.8	24.7	27.8	14.4	10.3	6.2
地元											
生まれてからずっと飯田市	62	77.4	59.7	33.9	35.5	21.0	25.8	27.4	17.7	11.3	6.5
他市町村に住んだこともある	29	55.2	51.7	24.1	37.9	31.0	27.6	17.2	3.4	10.3	3.4
長野県内の他市町村出身	24	33.3	50.0	41.7	33.3	29.2	25.0	25.0	0.0	4.2	8.3
長野県以外の都道府県出身	13	61.5	53.8	46.2	7.7	23.1	30.8	30.8	15.4	7.7	7.7
海外出身	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
住みやすさ											
住みやすい	71	59.2	57.7	39.4	35.2	25.4	22.5	23.9	8.5	4.2	7.0
どちらともいえない	32	56.3	53.1	31.3	28.1	28.1	31.3	25.0	12.5	9.4	6.3
住みにくい	28	75.0	53.6	28.6	35.7	25.0	32.1	28.6	21.4	21.4	3.6
リニア認知度											
知っている	61	60.7	45.9	34.4	31.1	27.9	26.2	21.3	13.1	14.8	8.2
何となく知っている	42	78.6	57.1	28.6	38.1	31.0	26.2	28.6	11.9	2.4	4.8
聞いたことがある程度（あまり知らない）	30	43.3	66.7	46.7	33.3	20.0	23.3	26.7	10.0	6.7	0.0
知らない	3	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3

リニア中央新幹線の利用意向

問20.あなたは、リニア中央新幹線を利用したいと思いますか。(SA)

- ・リニア中央新幹線の利用意向を尋ねたところ、「積極的に利用したい」(17%)、「たまに利用したい」(44%)で**合計61%が利用意向に対してポジティブな見解**を示している。
- ・「記念に利用してみたい程度」(23%)、「あまり利用したいとは思わない」(6%)、「わからない」(9%)となっている。
- ・地区別でみると、その他地域の利用意向度が他の地区と比べるとやや低い。
- ・年代別でみると20代の利用意向(TOP2BOX)が7割を超えており、他の年齢層の人と比べて高い。一方で70歳以上の人の利用意向度は4割に留まる。
- ・有職者の利用意向度(TOP2BOX)は65%で、無職の人(47%)と比べて高い。
- ・リニアに対して認知している人ほど利用意向度も高い。



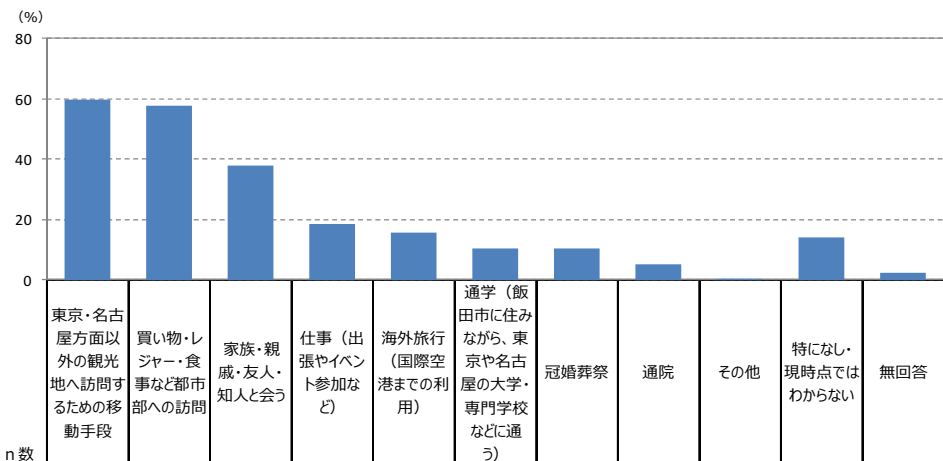
想定されるリニア中央新幹線の利用目的

問21.あなたにとって、リニア中央新幹線はどのような使い方（利用目的）が考えられますか。（MA）

- ・リニア中央新幹線の使い方（利用目的）として考えられる点を尋ねたところ、「**東京・名古屋方面以外の観光地へ訪問するための移動手段**」（60%）、「**買い物・レジャー・食事など都市部への訪問**」（58%）の2項目が突出している。次いで「家族・親戚・友人・知人と会う」が38%、「仕事（出張やイベント参加）」が19%などとなっている。

- ・年代別では、20代は「買い物・レジャー・食事など都市部への訪問」の比率が特に高い。

- ・リニア中央新幹線の利用意向別でみると、積極的に利用したいと回答している人は、観光・買い物・レジャー・仕事・通学など様々な目的で比率が高い。
- ・たまに利用したいとする人は、観光・買い物に特に高いなど、使い方、目的の“幅”が限定される傾向が見られる。



	n 数	全体	東京・名古屋方面以外の観光地へ訪問するための移動手段	買い物・レジャー・食事など都市部への訪問	家族・親戚・友人・知人と会う	仕事（出張やイベント参加など）	海外旅行（国際空港までの利用）	通学（飯田市に住みながら、東京や名古屋の大学・専門学校などに通う）	冠婚葬祭	通院	その他	特になし・現時点ではわからない	無回答
地区													
	全体	495	59.6	57.8	37.8	18.6	15.6	10.3	10.3	5.3	0.2	14.1	2.2
	中心市街地及びその周辺地域	84	60.7	57.1	38.1	19.0	19.0	14.3	9.5	3.6	0.0	11.9	2.4
	リニア駅周辺地域	88	56.8	58.0	47.7	20.5	14.8	10.2	10.2	6.8	0.0	11.4	3.4
	その他地域	323	60.1	57.9	35.0	18.0	14.9	9.3	10.5	5.3	0.3	15.5	1.9
性別													
	男性	218	57.8	58.7	30.3	25.2	16.1	9.2	11.9	3.7	0.5	17.0	1.4
	女性	277	61.0	57.0	43.7	13.4	15.2	11.2	9.0	6.5	0.0	11.9	2.9
年齢													
	18歳～24歳	56	73.2	73.2	39.3	17.9	30.4	10.7	3.6	1.8	0.0	8.9	0.0
	25歳～29歳	73	68.5	75.3	35.6	17.8	6.8	6.8	9.6	6.8	0.0	5.5	0.0
	30歳～39歳	83	68.7	65.1	41.0	26.5	21.7	14.5	8.4	4.8	0.0	9.6	1.2
	40歳～49歳	96	57.3	53.1	36.5	24.0	13.5	15.6	14.6	5.2	0.0	13.5	2.1
	50歳～59歳	72	58.3	65.3	33.3	22.2	12.5	12.5	16.7	8.3	0.0	18.1	0.0
	60歳～69歳	59	47.5	35.6	42.4	11.9	16.9	3.4	5.1	1.7	0.0	15.3	6.8
	70歳以上	52	38.5	32.7	38.5	1.9	9.6	3.8	9.6	7.7	1.9	30.8	7.7
職業													
	有職者	367	62.7	62.1	38.4	22.3	15.8	11.4	10.6	5.4	0.0	12.0	1.4
	無職（主婦・学生等）	115	51.3	45.2	34.8	7.8	14.8	7.0	8.7	5.2	0.9	20.0	4.3
子ども													
	高校生以下の子どもがいる	167	61.7	58.1	34.7	25.1	16.2	20.4	9.6	5.4	0.0	13.8	0.6
	いない	309	57.9	58.3	39.8	16.2	14.9	5.5	10.7	5.5	0.3	14.6	3.2
地元													
	生まれてからずっと飯田市	197	61.9	60.9	32.5	18.3	14.2	8.1	11.2	4.6	0.0	13.2	1.5
	他市町村に住んだこともある	134	66.4	61.9	46.3	18.7	22.4	12.7	10.4	7.5	0.7	9.0	2.2
	長野県内の他市町村出身	93	53.8	53.8	35.5	20.4	10.8	10.8	6.5	6.5	0.0	17.2	3.2
	長野県以外の都道府県出身	55	47.3	47.3	40.0	18.2	10.9	10.9	16.4	0.0	0.0	18.2	3.6
	海外出身	2	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
リニア認知度													
	知っている	297	61.3	59.9	44.1	22.2	17.5	12.8	12.1	5.4	0.3	11.4	1.3
	何となく知っている	125	60.8	60.8	30.4	16.8	16.0	8.0	8.0	5.6	0.0	12.0	1.6
	聞いたことがある程度（あまり知らない）	62	53.2	45.2	25.8	6.5	4.8	4.8	6.5	4.8	0.0	30.6	0.0
	知らない	5	60.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
リニア利用意向													
	積極的に利用したい	82	76.8	85.4	59.8	43.9	43.9	23.2	13.4	9.8	0.0	1.2	0.0
	たまに利用したい	219	71.2	71.7	44.3	16.0	14.2	9.6	11.0	5.0	0.0	1.8	0.5
	記念に利用してみたい程度	113	46.9	35.4	30.1	11.5	5.3	7.1	8.8	3.5	0.0	24.8	0.9
	あまり利用したいとは思わない	31	16.1	19.4	0.0	3.2	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	64.5	9.7
	わからない	43	39.5	30.2	14.0	14.0	9.3	4.7	11.6	4.7	2.3	37.2	2.3

リニア中央新幹線開業後の不安

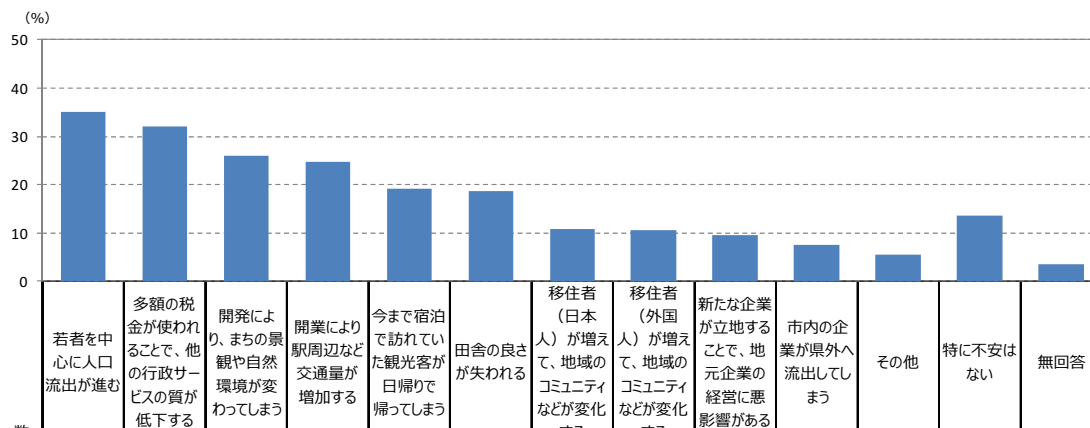
問22.リニア中央新幹線が開業した後のことに対する不安はありますか。開業するかどうかではなく、開業したと仮定した場合についてお答えください。(MA)

・リニア中央新幹線が開業した後のことに対する不安を尋ねたところ、以下が上位となった。

- ①「若者を中心に人口流出が進む」(35%)
- ②「多額の税金が使われることで、他の行政サービスの質が低下する」(32%)
- ③「開発により、まちの景観や自然環境が変わってしまう」(26%)
- ④「開業により駅周辺など交通量が増加する」(25%)

・地区別でみると、リニア駅周辺地域では「開発により、まちの景観や自然環境が変わってしまう」の比率がやや高い。

・リニア認知度別でみると、「知っている」人は「若者を中心に人口流出が進む」の比率が高い。
 ・一方、何となく知っている、聞いたことがある程度の人は、知っている人と比べて、「開発により、まちの景観や自然環境が変わってしまう」の比率が高い。

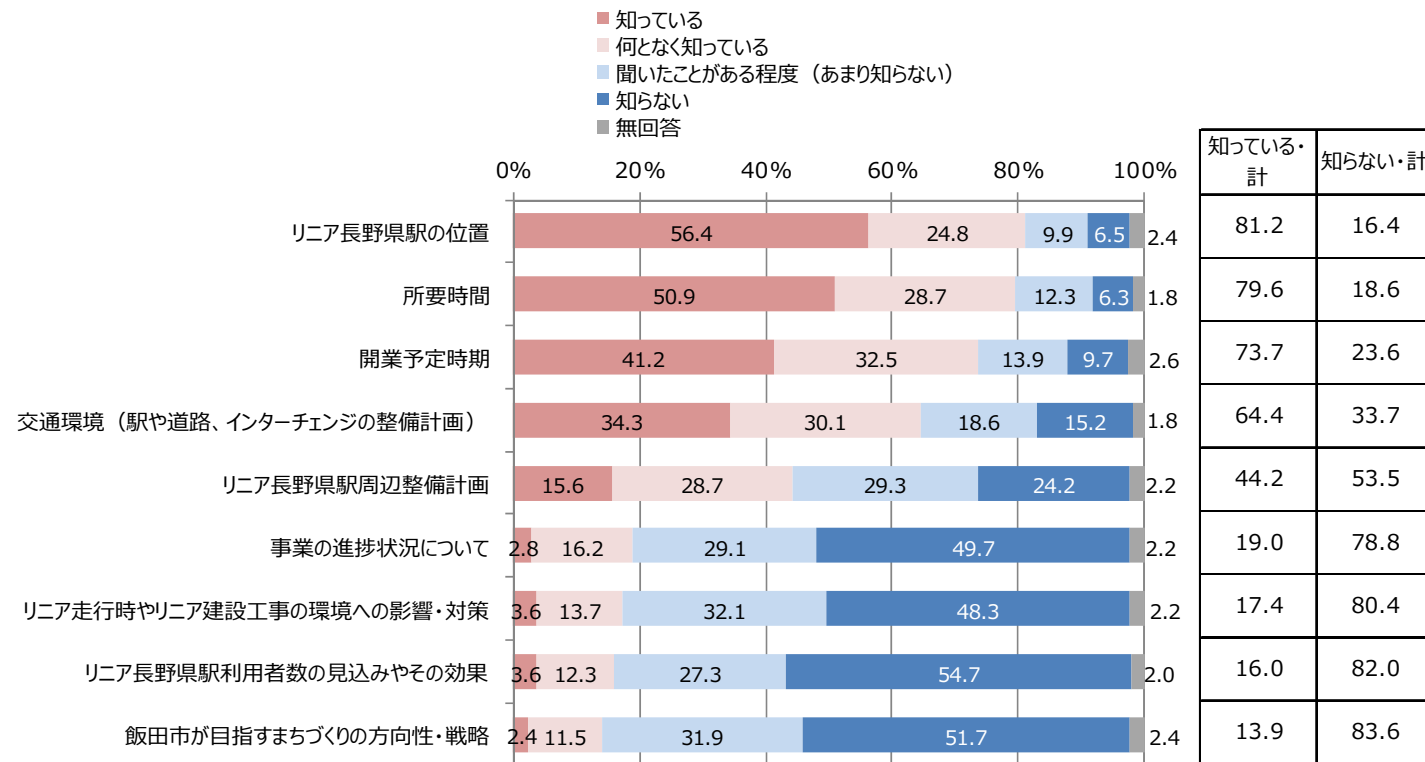


		n 数	若者を中心に人口流出が進む	多額の税金が使われることで、他の行政サービスの質が低下する	開発により、まちの景観や自然環境が変わってしまう	開業により駅周辺など交通量が増加する	今まで宿泊で訪れていた観光客が日帰りで帰ってしまう	田舎の良さが失われる	移住者(日本人)が増えて、地域のコミュニティなどが変化する	移住者(外国人)が増えて、地域のコミュニティなどが変化する	新たな企業が立地することで、地元企業の経営に悪影響がある	市内の企業が県外へ流出してしまう	その他	特に不安はない	無回答
全体		495	35.2	31.9	25.9	24.6	19.2	18.6	10.9	10.5	9.5	7.5	5.5	13.7	3.4
地区	中心市街地及びその周辺地域	84	33.3	32.1	26.2	19.0	21.4	21.4	9.5	9.5	9.5	2.4	4.8	10.7	3.6
	リニア駅周辺地域	88	33.0	33.0	33.0	27.3	17.0	23.9	14.8	15.9	10.2	9.1	6.8	13.6	1.1
	その他地域	323	36.2	31.6	23.8	25.4	19.2	16.4	10.2	9.3	9.3	8.4	5.3	14.6	4.0
性別	男性	218	40.4	33.5	23.9	24.3	22.5	16.1	13.3	11.5	12.4	10.1	7.3	13.8	1.8
	女性	277	31.0	30.7	27.4	24.9	16.6	20.6	9.0	9.7	7.2	5.4	4.0	13.7	4.7
年齢	18歳～24歳	56	35.7	28.6	28.6	21.4	8.9	19.6	12.5	8.9	10.7	7.1	3.6	21.4	1.8
	25歳～29歳	73	32.9	26.0	19.2	21.9	12.3	20.5	4.1	9.6	6.8	6.8	4.1	13.7	4.1
	30歳～39歳	83	38.6	31.3	26.5	26.5	9.6	16.9	10.8	15.7	9.6	9.6	4.8	13.3	2.4
	40歳～49歳	96	36.5	29.2	26.0	21.9	17.7	14.6	10.4	10.4	9.4	10.4	6.3	15.6	2.1
	50歳～59歳	72	25.0	43.1	37.5	27.8	27.8	22.2	13.9	9.7	15.3	8.3	9.7	11.1	0.0
	60歳～69歳	59	37.3	33.9	16.9	28.8	30.5	18.6	10.2	5.1	6.8	1.7	5.1	10.2	8.5
	70歳以上	52	40.4	28.8	25.0	25.0	30.8	19.2	17.3	13.5	7.7	5.8	3.8	11.5	7.7
職業	有職者	367	35.4	33.0	26.2	24.3	18.3	18.0	11.4	9.8	11.4	8.2	6.3	13.4	2.5
	無職(主婦・学生等)	115	33.0	29.6	25.2	24.3	20.9	21.7	7.8	11.3	4.3	5.2	3.5	15.7	5.2
子ども	高校生以下の子どもがいる	167	34.7	32.9	23.4	21.6	15.0	14.4	10.8	8.4	7.8	10.8	5.4	15.6	1.2
	いない	309	34.6	30.7	26.9	25.9	20.4	20.7	11.0	11.7	10.7	5.5	5.5	12.9	4.5
地元	生まれてからずっと飯田市	197	35.0	28.9	27.4	28.4	20.3	21.8	12.7	11.2	10.2	7.6	5.6	14.7	4.1
	他市町村に住んだこともある	134	39.6	31.3	26.9	17.2	19.4	10.4	9.7	8.2	9.0	4.5	7.5	11.9	3.0
	長野県内の他市町村出身	93	35.5	37.6	21.5	26.9	16.1	22.6	9.7	14.0	10.8	9.7	3.2	10.8	3.2
	長野県以外の都道府県出身	55	25.5	32.7	27.3	23.6	21.8	18.2	9.1	5.5	3.6	10.9	3.6	20.0	3.6
	海外出身	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
リニア認知度	知っている	297	40.1	31.0	22.9	22.9	21.9	16.2	14.5	11.4	8.8	8.1	6.1	13.8	1.7
	何となく知っている	125	28.0	36.0	30.4	25.6	13.6	23.2	4.8	8.0	12.0	9.6	5.6	12.0	2.4
	聞いたことがある程度(あまり知らない)	62	27.4	29.0	32.3	33.9	17.7	22.6	6.5	9.7	9.7	1.6	3.2	17.7	4.8
	知らない	5	60.0	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

リニア中央新幹線及び関連事業の認知度

問23.飯田市は、リニア中央新幹線の開業を見据えて、リニア将来ビジョンを策定し、目指すべき地域像を示し、まちづくりを推進しています。
リニア中央新幹線及び関連事業について、以下の点をご存じですか。（SAMT）

- ・リニア中央新幹線及び関連事業に関する認知度をそれぞれ尋ねたところ、**リニア長野県駅の位置**は、「知っている」が56%、「何となく知っている」が25%で合計81%が認知しており、認知度が最も高い。以下、**所要時間**、**開業予定時期**は、認知度の合計が7割を超えている。
- ・一方で、認知度が2割を下回っているのは、**事業の進捗状況**、**リニア走行時やリニア建設工事の環境への影響・対策**、**リニア長野県駅利用者数の見込みやその効果**、**飯田市が目指すまちづくりの方向性・戦略**などとなっている。

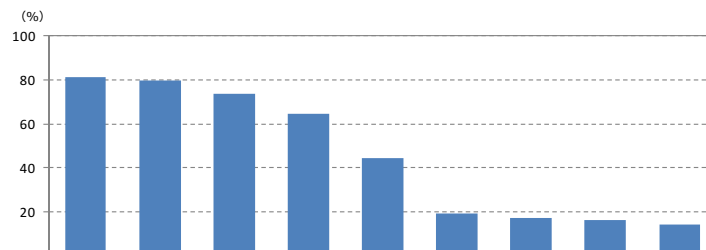


リニア中央新幹線及び関連事業の認知度

問23.飯田市は、リニア中央新幹線の開業を見据えて、リニア将来ビジョンを策定し、目指すべき地域像を示し、まちづくりを推進しています。
リニア中央新幹線及び関連事業について、以下の点をご存じですか。（SAMT）

- ・リニア中央新幹線及び関連事業に関する認知度について、「知っている」、「何となく知っている」の合計値についてクロス集計を実施した。
- ・地区別でみると、その他地域は全般的認知度が低い傾向が見られる。
- ・年代別でみると、20代前半の層の認知度が全般的に低い傾向が見られる。
- ・今後の居住意向別でみると、できれば県外に移りたい人では「リニア走行時やリニア建設工事の環境への影響・対策」の認知度が31%と他の層が2割以下であるのと比較して高い。
- ・リニアへの関心度別でみると、関心がある人の方が全般的に認知度が高い。

リニア関連事業の認知度（知っている+何となく知っている）

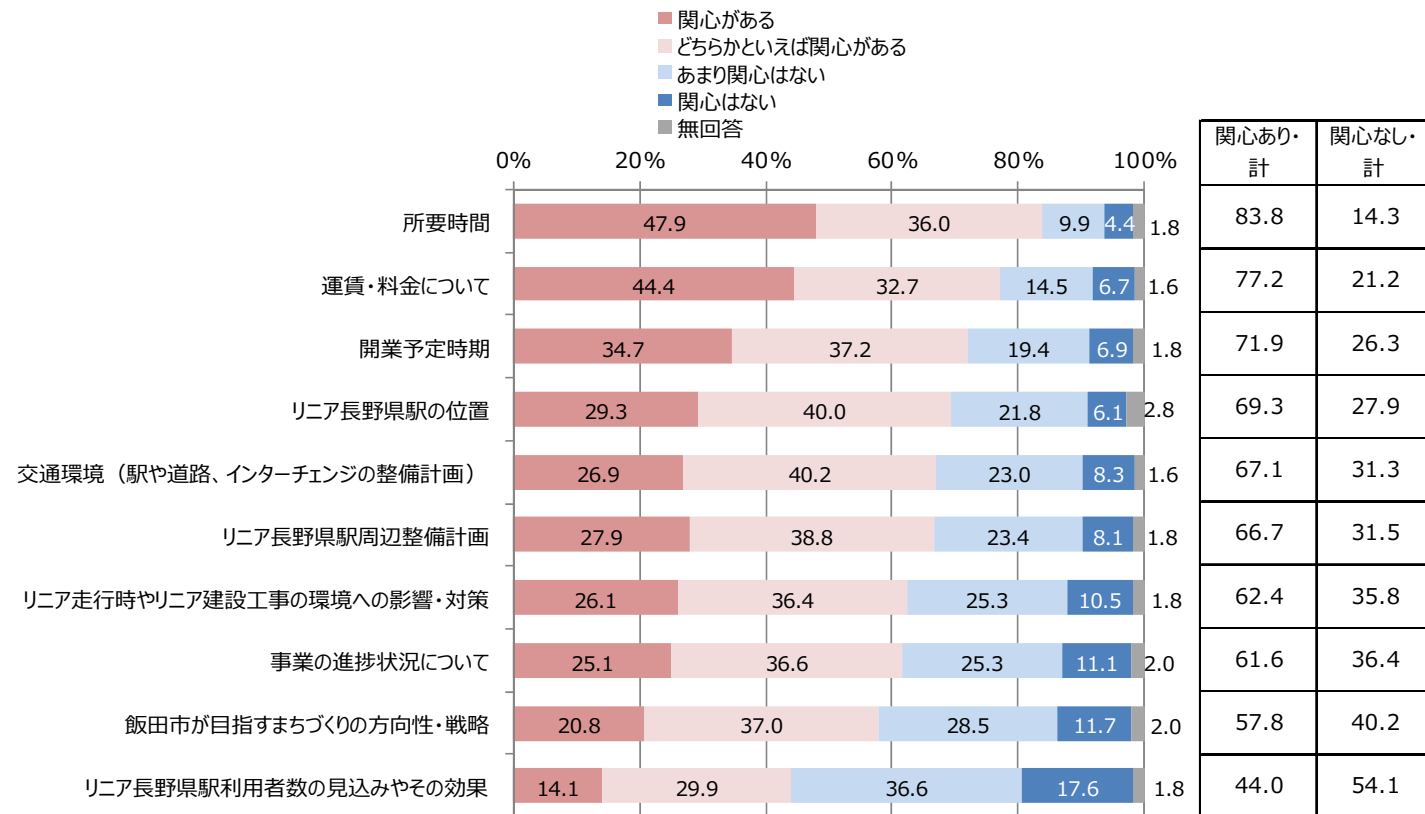


		n 数	81.2	79.6	73.7	64.4	44.2	19.0	17.4	16.0	13.9
地区	全体	495	81.2	79.6	73.7	64.4	44.2	19.0	17.4	16.0	13.9
	中心市街地及びその周辺地域	84	83.3	82.1	77.4	67.9	42.9	28.6	23.8	14.3	19.0
	リニア駅周辺地域	88	85.2	81.8	81.8	68.2	46.6	11.4	14.8	20.5	14.8
	その他地域	323	79.6	78.3	70.6	62.5	44.0	18.6	16.4	15.2	12.4
性別	男性	218	86.2	85.3	81.7	72.9	52.8	24.8	24.8	23.9	18.8
	女性	277	77.3	75.1	67.5	57.8	37.5	14.4	11.6	9.7	10.1
年齢	18歳～24歳	56	82.1	76.8	71.4	55.4	37.5	16.1	17.9	14.3	10.7
	25歳～29歳	73	71.2	80.8	67.1	52.1	23.3	9.6	13.7	11.0	15.1
	30歳～39歳	83	73.5	72.3	73.5	62.7	42.2	16.9	15.7	12.0	10.8
	40歳～49歳	96	88.5	82.3	72.9	71.9	49.0	22.9	14.6	11.5	15.6
	50歳～59歳	72	87.5	84.7	83.3	70.8	50.0	12.5	12.5	22.2	13.9
	60歳～69歳	59	83.1	79.7	74.6	71.2	54.2	30.5	28.8	20.3	16.9
	70歳以上	52	82.7	80.8	76.9	67.3	59.6	28.8	25.0	26.9	15.4
職業	有職者	367	81.5	81.7	76.3	66.8	45.2	19.3	17.7	16.3	15.0
	無職（主婦・学生等）	115	82.6	73.9	67.0	57.4	40.9	18.3	16.5	15.7	10.4
子ども	高校生以下の子どもがいる	167	79.6	77.2	71.3	65.3	46.7	19.2	13.2	13.2	10.8
	いない	309	81.2	79.9	74.4	64.1	42.1	17.8	18.8	16.8	15.5
居住年数	9年以下	50	60.0	72.0	62.0	56.0	28.0	16.0	16.0	16.0	12.0
	10-19年	70	80.0	75.7	72.9	60.0	44.3	18.6	14.3	15.7	12.9
	20年以上	361	84.8	81.4	75.3	66.5	45.7	19.4	18.3	16.1	14.7
地元	生まれてからずっと飯田市	197	81.7	78.7	76.1	62.9	41.6	18.3	18.3	14.2	14.2
	他市町村に住んだこともある	134	88.1	83.6	75.4	67.2	47.8	20.1	19.4	15.7	17.9
	長野県内の他市町村出身	93	76.3	78.5	68.8	62.4	35.5	17.2	11.8	21.5	8.6
	長野県以外の都道府県出身	55	76.4	78.2	74.5	70.9	61.8	23.6	20.0	16.4	14.5
	海外出身	2	100.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
住みやすさ	住みやすい	315	83.5	81.9	75.9	65.1	46.3	21.3	20.0	17.8	16.2
	どちらともいえない	105	77.1	76.2	70.5	62.9	41.9	14.3	9.5	14.3	11.4
	住みにくい	60	78.3	73.3	70.0	66.7	36.7	16.7	20.0	11.7	8.3
居住意向	これからも住み続けたい	321	82.9	82.2	76.6	67.0	48.9	19.0	16.2	16.8	14.0
	できれば県内の他市町村に移りたい	22	81.8	81.8	77.3	63.6	40.9	27.3	18.2	13.6	9.1
	できれば県外に移りたい	36	75.0	75.0	80.6	63.9	27.8	25.0	30.6	16.7	13.9
	わからない	105	79.0	72.4	61.9	58.1	35.2	15.2	17.1	14.3	15.2
リニア関心度	関心あり	354	88.7	89.3	82.2	72.0	53.4	23.4	20.3	19.8	18.1
	関心なし	136	61.8	53.7	51.5	45.6	21.3	8.1	10.3	5.9	3.7
リニア認知度	知っている	297	92.3	88.9	85.2	76.4	57.6	28.3	24.9	23.2	18.5
	何となく知っている	125	70.4	75.2	67.2	54.4	29.6	8.0	7.2	6.4	9.6
	聞いたことがある程度（あまり知らない）	62	54.8	45.2	35.5	32.3	12.9	0.0	4.8	1.6	3.2
	知らない	5	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0

リニア中央新幹線及び関連事業に対する関心度

問24.リニア中央新幹線及び関連事業について、下記の情報に関心はありますか。（SAMT）

- ・リニア中央新幹線及び関連事業に関する関心度をそれぞれ尋ねたところ、**所要時間**が「関心がある」が48%、「どちらかといえば関心がある」が36%で合計84%と最も関心度が高い。次いで、**運賃・料金について**（77%）、**開業予定時期**（72%）、**リニア長野県駅の位置**（69%）、**交通環境**（67%）、**リニア長野県駅周辺整備計画**（67%）、**リニア走行時やリニア建設工事の環境への影響・対策**（62%）、**事業の進捗**（62%）までが6割以上となっている。
- ・**飯田市が目指すまちづくりの方向性・戦略**や**リニア長野県駅利用者数の見込みやその効果**など、自身の生活に直接的な影響が小さいと思われる要素に対する関心度が相対的には低い様子が伺える。

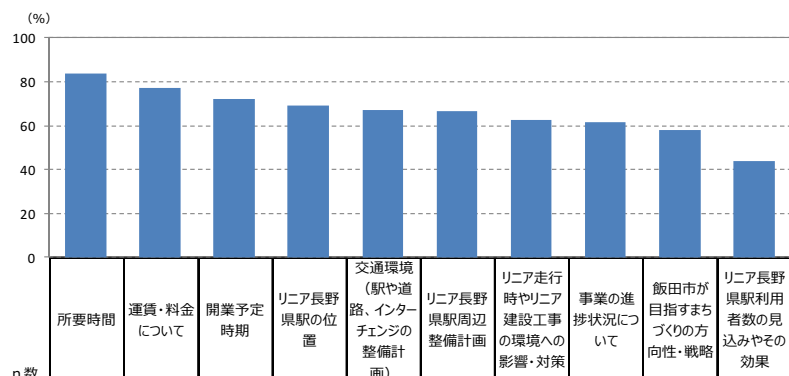


リニア中央新幹線及び関連事業に対する関心度

問24.リニア中央新幹線及び関連事業について、下記の情報に関心はありますか。（SAMT）

- ・リニア中央新幹線及び関連事業に関する関心度について、「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」の合計値についてクロス集計を実施した。
- ・地区別でみると、その他地域は、全般的に他の地区と比較して関心度が低い項目が多い。

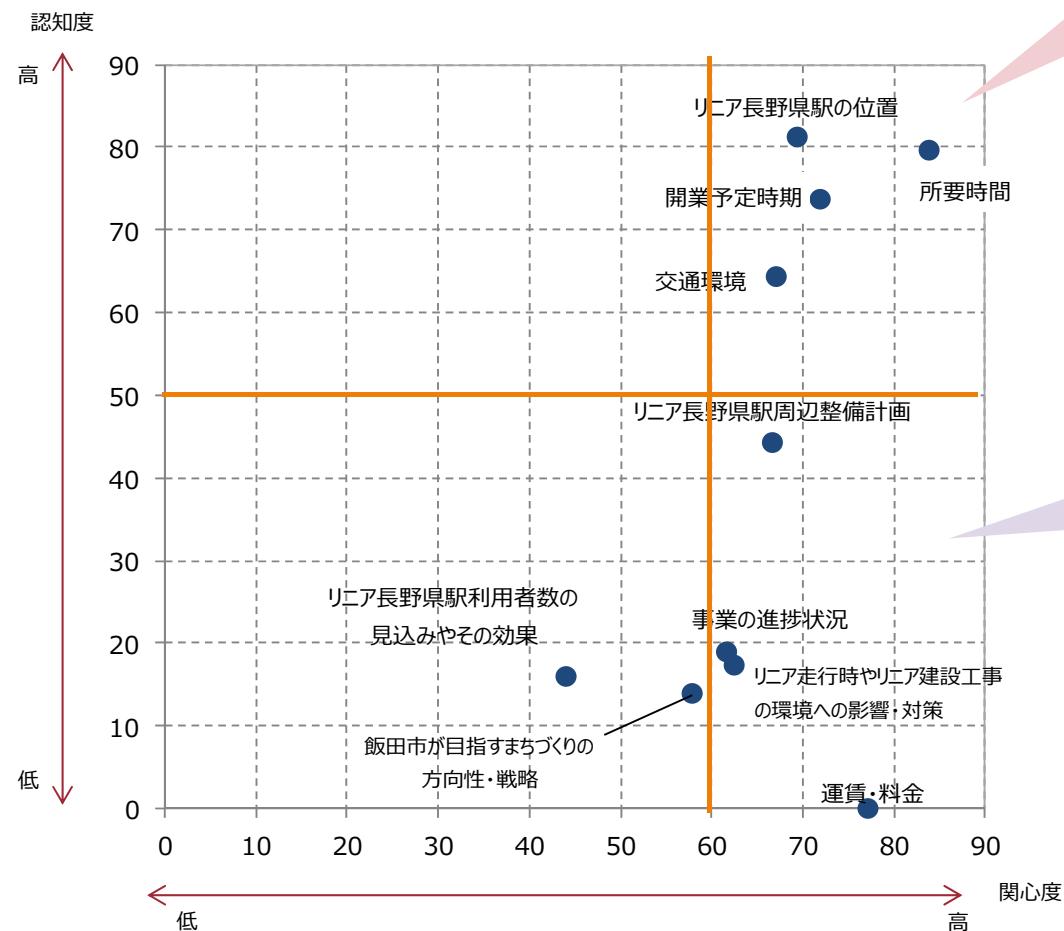
リニア関連事業の関心度（関心がある+どちらかといえば関心がある）



		n 数					画)		影響・対策			効果	
		全体	495	83.8	77.2	71.9	69.3	67.1	66.7	62.4	61.6	57.8	44.0
地区	中心市街地及びその周辺地域	84	86.9	83.3	82.1	73.8	76.2	72.6	69.0	67.9	63.1	48.8	
	リニア駅周辺地域	88	86.4	81.8	71.6	83.0	79.5	77.3	71.6	67.0	61.4	54.5	
	その他地域	323	82.4	74.3	69.3	64.4	61.3	62.2	58.2	58.5	55.4	39.9	
性別	男性	218	85.3	75.2	73.9	67.0	71.6	66.5	61.9	63.3	60.1	46.3	
	女性	277	82.7	78.7	70.4	71.1	63.5	66.8	62.8	60.3	56.0	42.2	
年齢	18歳～24歳	56	83.9	76.8	71.4	73.2	55.4	64.3	53.6	50.0	57.1	41.1	
	25歳～29歳	73	84.9	80.8	74.0	68.5	57.5	69.9	60.3	58.9	58.9	37.0	
	30歳～39歳	83	88.0	83.1	77.1	75.9	74.7	72.3	65.1	68.7	60.2	54.2	
	40歳～49歳	96	86.5	76.0	71.9	67.7	75.0	66.7	63.5	64.6	53.1	34.4	
	50歳～59歳	72	86.1	79.2	66.7	65.3	63.9	65.3	66.7	62.5	59.7	41.7	
	60歳～69歳	59	83.1	79.7	78.0	72.9	71.2	64.4	64.4	66.1	59.3	52.5	
	70歳以上	52	73.1	63.5	65.4	63.5	69.2	63.5	63.5	57.7	59.6	53.8	
職業	有職者	367	86.4	79.0	74.1	69.8	69.2	68.9	63.5	64.3	58.9	44.4	
	無職（主婦・学生等）	115	76.5	71.3	64.3	69.6	62.6	61.7	59.1	53.0	53.0	41.7	
子ども	高校生以下の子どもがいる	167	80.2	77.2	68.3	73.1	67.1	65.9	62.3	62.3	59.3	41.9	
	いない	309	85.4	77.3	74.1	67.6	67.6	67.6	62.5	61.5	57.0	44.7	
居住年数	9年以下	50	84.0	76.0	74.0	72.0	58.0	72.0	62.0	60.0	46.0	38.0	
	10-19年	70	87.1	80.0	74.3	68.6	64.3	65.7	51.4	58.6	51.4	32.9	
	20年以上	361	82.5	76.2	70.6	69.3	69.3	65.7	64.3	62.3	60.1	46.8	
地元	生まれてからずっと飯田市	197	85.3	75.6	69.0	65.0	63.5	60.9	57.4	59.4	55.8	42.1	
	他市町村に住んだこともある	134	85.1	82.1	78.4	74.6	71.6	72.4	67.9	64.9	66.4	48.5	
	長野県内の他市町村出身	93	81.7	74.2	68.8	73.1	65.6	69.9	69.9	66.7	60.2	50.5	
	長野県以外の都道府県出身	55	81.8	76.4	76.4	72.7	74.5	72.7	58.2	58.2	43.6	30.9	
	海外出身	2	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
住みやすさ	住みやすい	315	86.3	80.0	76.2	73.3	70.5	73.7	67.0	67.0	63.5	48.9	
	どちらともいえない	105	81.9	72.4	70.5	65.7	62.9	58.1	60.0	56.2	52.4	37.1	
	住みにくい	60	73.3	70.0	53.3	58.3	60.0	46.7	41.7	43.3	36.7	30.0	
居住意向	これからも住み続けたい	321	85.0	79.8	75.7	72.3	71.7	72.0	64.8	65.7	64.5	49.2	
	できれば県内の他市町村に移りたい	22	77.3	72.7	59.1	59.1	50.0	59.1	63.6	59.1	50.0	36.4	
	できれば県外に移りたい	36	83.3	75.0	61.1	63.9	58.3	44.4	44.4	47.2	38.9	30.6	
	わからない	105	80.0	69.5	65.7	64.8	60.0	59.0	61.0	54.3	44.8	34.3	
リニア関心度	関心あり	354	93.8	88.4	87.3	82.8	79.7	80.2	70.9	74.0	68.6	54.0	
	関心なし	136	57.4	47.8	32.4	35.3	34.6	31.6	39.7	29.4	29.4	19.1	
リニア認知度	知っている	297	87.5	83.8	79.8	75.4	75.8	73.1	68.7	70.4	65.0	52.5	
	何となく知っている	125	84.0	72.0	64.8	63.2	57.6	60.0	59.2	52.8	48.8	35.2	
	聞いたことがある程度（あまり知らない）	62	66.1	58.1	51.6	56.5	48.4	50.0	40.3	38.7	43.5	24.2	
	知らない	5	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	60.0	20.0	40.0	20.0	20.0	

リニア中央新幹線及び関連事業に対する認知度×関心度

- ・リニア中央新幹線及び関連事業に関する認知度と関心度の関係を整理すると下図の通り。
- ・認知度と関心度がともに6割以上（関心が高く認知度も高い）のは、「所要時間」「リニア長野県駅の位置」「開業予定時期」「交通環境」。
- ・認知度が5割以下で関心度が6割以上（関心は高いが認知度が低い）のは、「事業の進捗状況」「リニア走行時やリニア建設工事の環境への影響・対策」「リニア長野県駅周辺の整備計画」などとなっている。



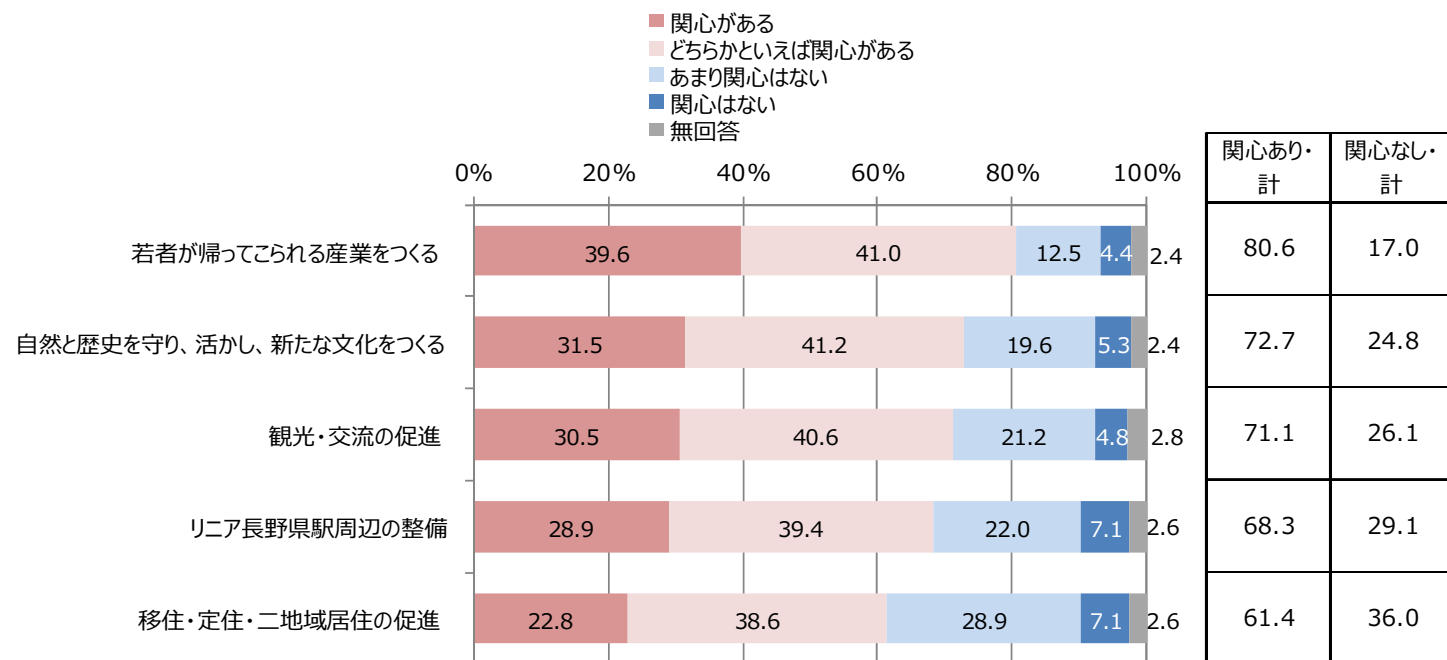
認知度が6割以上
関心度が6割以上
(認知・関心とも高い)

認知度が5割以下
関心度が6割以上
(関心は高いが認知が
高くない)

飯田市の施策・方向性についての関心度

問25.飯田市の施策・方向性について、関心はありますか。（SAMT）

- ・飯田市の施策・方向性についての関心度を尋ねたところ、「**若者が帰ってこられる産業をつくる**」に対する関心度が最も高く、「関心がある」が40%、「どちらかといえば関心がある」が41%で合計81%が関心があるとしている。
- ・次いで、「**自然と歴史を守り、活かし、新たな文化をつくる**」が73%、「**観光・交流の促進**」が71%、「**リニア長野県駅周辺の整備**」が68%、「**移住・定住・二地域居住の促進**」が62%の順となっている。



飯田市の施策・方向性についての関心度

問25.飯田市の施策・方向性について、関心はありますか。（SAMT）

・飯田市の施策・方向性についての関心度について、「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」の合計値についてクロス集計を実施した。

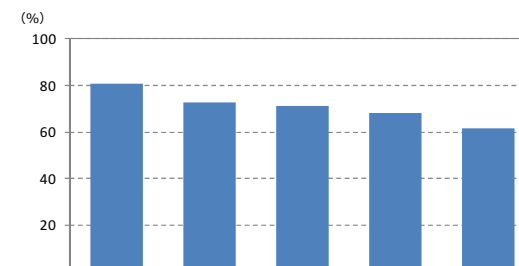
・地区別でみると、その他地域では、「リニア長野県駅の整備」「移住・定住・二地域居住の促進」についての関心度が他の地区と比べて低い。

・年代別でみると、50～60代では「自然と歴史を守り、活かし、新たな文化をつくる」の比率が8割前後と、40代以下の層と比較して高い。

・高校生以下の子どもがいる層では「若者が帰ってこられる産業をつくる」が86%となっておりやや高い。

・リニア関心度別でいると、リニアに関心がある人は、関心がない人と比べて、すべての項目で関心度に大きな差が見られる。
（リニアへの関心≠飯田市への関心といった様子が伺える）

飯田市の施策・方向性の関心度（関心がある+どちらかといえば関心がある）



		n 数	若者が帰ってこられる産業をつくる	自然と歴史を守り、活かし、新たな文化をつくる	観光・交流の促進	リニア長野県駅周辺の整備	移住・定住・二地域居住の促進
地区	全体	495	80.6	72.7	71.1	68.3	61.4
	中心市街地及びその周辺地域	84	83.3	77.4	72.6	71.4	61.9
	リニア駅周辺地域	88	80.7	72.7	68.2	75.0	67.0
	その他地域	323	79.9	71.5	71.5	65.6	59.8
性別	男性	218	77.5	70.2	69.7	68.3	64.7
	女性	277	83.0	74.7	72.2	68.2	58.8
年齢	18歳～24歳	56	75.0	66.1	75.0	69.6	55.4
	25歳～29歳	73	76.7	65.8	71.2	64.4	63.0
	30歳～39歳	83	83.1	73.5	72.3	73.5	65.1
	40歳～49歳	96	83.3	70.8	68.8	74.0	60.4
	50歳～59歳	72	83.3	79.2	68.1	66.7	63.9
	60歳～69歳	59	86.4	84.7	78.0	69.5	64.4
	70歳以上	52	75.0	71.2	67.3	57.7	55.8
職業	有職者	367	81.7	73.3	71.9	70.6	64.6
	無職（主婦・学生等）	115	77.4	69.6	69.6	60.9	53.0
子ども	高校生以下の子どもがいる	167	85.6	71.3	71.9	68.9	61.7
	いない	309	78.6	74.1	70.6	68.9	61.5
居住年数	9年以下	50	76.0	66.0	68.0	70.0	66.0
	10-19年	70	75.7	70.0	64.3	68.6	61.4
	20年以上	361	82.3	74.0	73.1	68.4	60.4
地元	生まれてからずっと飯田市	197	81.2	71.6	68.0	68.0	57.9
	他市町村に住んだこともある	134	85.8	76.9	82.1	71.6	67.2
	長野県内の他市町村出身	93	78.5	72.0	65.6	66.7	60.2
	長野県以外の都道府県出身	55	76.4	72.7	70.9	70.9	65.5
	海外出身	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
住みやすさ	住みやすい	315	85.1	77.1	76.5	72.1	64.4
	どちらともいえない	105	77.1	68.6	64.8	66.7	59.0
	住みにくい	60	66.7	58.3	56.7	53.3	51.7
居住意向	これからも住み続けたい	321	85.0	76.0	75.7	72.3	63.9
	できれば県内の他市町村に移りたい	22	77.3	68.2	63.6	63.6	54.5
	できれば県外に移りたい	36	72.2	61.1	72.2	52.8	55.6
	わからない	105	71.4	67.6	59.0	62.9	57.1
リニア関心度	関心あり	354	86.7	77.7	79.9	79.9	67.8
	関心なし	136	64.0	58.8	49.3	37.5	45.6
リニア認知度	知っている	297	85.5	78.5	75.4	75.1	66.3
	何となく知っている	125	72.0	66.4	67.2	61.6	53.6
	聞いたことがある程度（あまり知らない）	62	75.8	58.1	61.3	50.0	56.5
	知らない	5	40.0	40.0	60.0	40.0	40.0

リニア中央新幹線の計画・事業の進捗・まちづくりの計画などで知りたい情報

問26. その他、リニア中央新幹線の計画・事業の進捗、まちづくりの計画などで知りたい情報はありますか。（FA）

・本当に開業できるのか？等、リニア関連の進捗（静岡県の問題等）などや、完成図や場所など“具体的な情報”に関する意見が目立つ。

リニア駅周辺地域	男性	50歳～59歳	①市長はリニアの駅をどうしたいのか？ ②市民との対話など市長選挙時の公約はどうなったのか？ ③全体の何%まで事業は進んだのか？
その他地域	女性	40歳～49歳	飯田市だけでなく周辺町村も関係した、長野県全域の交通、観光をどのように整備していくかといったビジョン。
その他地域	男性	40歳～49歳	飯田市の戦略と大学等、今ここにないものへのアプローチ
その他地域	男性	50歳～59歳	飯田市の方向性について、市民への情報が少なく、進展が遅いのでは？。すべての情報が少ない。
その他地域	男性	50歳～59歳	一日に何本の停車があるのか
その他地域	女性	18歳～24歳	いつできるか。
その他地域	女性	50歳～59歳	今、現在の工事の進捗状況、自然環境への影響を知りたい。リニア駅周辺の予想映像を見てみたい。
その他地域	女性	30歳～39歳	駅周辺がどれほど整備されるか。交通量に影響が出るか
その他地域	女性	60歳～69歳	開通後のリニア新幹線の利便性をどの様に活用しようとしているのか？利便性を有利に何を（何に）推進するのか？
その他地域	女性	50歳～59歳	開通時期、アルプス山脈への影響、動物への影響
その他地域	女性	30歳～39歳	上郷が中心となることで県がどう変わるのか
その他地域	女性	40歳～49歳	上郷の駅がこちらを読んで知りました。だからEカンジの辺が移転するんですね。反対側のパチンコ屋さんは動かないのかな？。とその辺がよくわかってないですね。気になっています。
その他地域	女性	25歳～29歳	観光客向けの施設や産業について
その他地域	男性	25歳～29歳	完成までの具体的なスケジュールを知りたい。
その他地域	男性	40歳～49歳	企業の誘致の具体案等
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	旧市内に対しての対策を考えているのか・・・？。
その他地域	女性	60歳～69歳	近隣市町村の改造計画
その他地域	女性	50歳～59歳	具体的な完成図、全体像
リニア駅周辺地域	女性	40歳～49歳	具体的な場所と内容
その他地域	女性	40歳～49歳	現在の状況を誰でも分かる様に説明をしていただけたらと思います。 若い方が関心を持てるようなパンフレット作り等...
中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	工事の遅れ、静岡県の工事中断などさまざまな問題が山積みで、開業予定に本当に間に合うのか。・今も開業に反対、難色を示している地域住民等の理解は得られるのか。（騒音、環境、健康問題などはクリアにできるのか）
その他地域	男性	50歳～59歳	工事の残土の処理について ・工事用道路の整備について
中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	このまま静岡県の反対が続くとうなるのか？
中心市街地・周辺	男性	30歳～39歳	こまめな情報発信→LINEなどのSNSを通じて 情報格差がありすぎる
その他地域	女性	40歳～49歳	コロナ禍なので、一旦立ち止まっていたいただきたいのです。完全に収束してから始めて下さい。いまはまず、給付金の方が先です。
リニア駅周辺地域	男性	25歳～29歳	サークル活動などを行っている団体の情報。
その他地域	男性	60歳～69歳	三遠南信道はいつ開通するのか？
その他地域	男性	70歳以上	産業の無い飯田市においてストロー現象の可能性は
リニア駅周辺地域	男性	70歳以上	事業の進捗
その他地域	男性	70歳以上	静岡県の対応、残土の運搬経路
中心市街地・周辺	男性	40歳～49歳	静岡県の問題について関心がある
その他地域	男性	70歳以上	静岡工区の未着工等の進捗状況

リニア中央新幹線の計画・事業の進捗・まちづくりの計画などで知りたい情報

問26. その他、リニア中央新幹線の計画・事業の進捗、まちづくりの計画などで知りたい情報はありますか。（FA）

中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	市としてもまちづくりの方針（産業面）
その他地域	男性	30歳～39歳	周辺道路の整備期間
その他地域	女性	25歳～29歳	進捗（あまり進んでいなそう）
その他地域	男性	30歳～39歳	進捗状況 2027開通は可能なのか？
その他地域	男性	18歳～24歳	進捗状況を常に知りたい。市民全員がわかるようにしてほしい。
その他地域	女性	30歳～39歳	税金の使い道、若者には中々、目につきにいく、どんな風に、どんな所で、使われているかわかりやすく、目につきやすく知りたい。SNS発信など
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	全体像が絵、写真でわかるパンフレット等、見てわかる資料はリニア駅周辺に住んでいる人には出来る頃ではなく、今、資料を配布するのは義務だと思う
その他地域	男性	40歳～49歳	大学がないため、子供達は高校卒業後県外に行き、そのまま帰ってきません。今後、大学や若者が飯田下伊那で仕事をできる取組みについて芸術、文化、スポーツが保育園の頃より身近にできる環境がないためその計画
その他地域	男性	50歳～59歳	ダイヤ、駅名
中心市街地・周辺	女性	18歳～24歳	妙琴公園はどうなってしまうのか
その他地域	男性	60歳～69歳	東京・名古屋etcから飯田に移住してもらえる為の環境整備や積極アピール内容について知りたい
リニア駅周辺地域	男性	70歳以上	東京一極集中を是正補完する主体的な活動をどのようにするか
中心市街地・周辺	男性	40歳～49歳	どう地元の観光とむすびつけるのか、発展させるのか
その他地域	男性	50歳～59歳	道路整備
その他地域	女性	60歳～69歳	特にないが、大井川の件で出来るのか心配
その他地域	女性	25歳～29歳	どこに駅ができるか。どんな道に整備されるか。自分で調べないとわからないのもっと発信してほしい。
その他地域	男性	25歳～29歳	どのような施設が周辺にできるのか
リニア駅周辺地域	女性	30歳～39歳	どんな娯楽施設があるのか。正しいルート
その他地域	女性	60歳～69歳	ない。リニアの必要性をまったく感じていない。
中心市街地・周辺	男性	70歳以上	何一つ目玉がない。6800人/日の利用用途がない
その他地域	男性	70歳以上	早く工事を進める為、南信州市町村全体がもっと積極的に協力すべきである。トンネル残土をもっと利用して公共施設などに利用すべきと思う。もっと前向きな考え方を持つべき。県内の他地域を見習うべき。
その他地域	女性	40歳～49歳	文化会館みたいなものはできるのか。
その他地域	男性	70歳以上	別に知らなくても良い
その他地域	女性	25歳～29歳	本当に2027年度に開通できるのか
その他地域	女性	25歳～29歳	本当に2027年に開通できるのか？
中心市街地・周辺	女性	18歳～24歳	街中にどのような施設ができるか。
その他地域	男性	30歳～39歳	万が一リニアが開業しなかった場合の計画は考えてあるのか？
その他地域	男性	25歳～29歳	南アルプストンネルなどの貫通石の情報
リニア駅周辺地域	女性	60歳～69歳	南アルプストンネルの自然への影響
その他地域	女性	25歳～29歳	もし人口が増え、地域住民が多様化したら、地域コミュニティのあり方はどう変わっていくと考えられるのか。市全体としての方向性や支援の方法はどのようなものか？。
その他地域	女性	40歳～49歳	山梨での実験線見学、試走に多く誘ってほしい
リニア駅周辺地域	女性	18歳～24歳	より良いまちづくりをしてほしい。子供老人にやさしいまち作りを
その他地域	女性	40歳～49歳	リニア駅開業後の飯田市活性のための計画
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	リニア駅周辺の整備計画
リニア駅周辺地域	男性	50歳～59歳	リニア駅前開発について、地元の人々に、きちんとした情報や説明を今一度してほしい。駅前開発どの様になっているか知りたい。

リニア中央新幹線の計画・事業の進捗・まちづくりの計画などで知りたい情報

問26. その他、リニア中央新幹線の計画・事業の進捗、まちづくりの計画などで知りたい情報はありますか。（FA）

その他地域	女性	25歳～29歳	リニアから離れた地域の整備。リニアが通る場合、駅近辺の整備だけでいいのか。
その他地域	女性	25歳～29歳	リニア環境への影響、対策
その他地域	女性	40歳～49歳	リニア設備？トンネルができたとか・・・で景観が損なわれたり自然が壊されたりしないか心配。JRとかは大丈夫とか、気を付けてやる、みたいなことばかりで本当か？とおもってしまう。
中心市街地・周辺	女性	70歳以上	リニア中央新幹線の開通により、中心市街地を含めたまちづくりの計画。
その他地域	女性	25歳～29歳	リニアを作る目的を若者は全く知らないと思う。もっと詳しく発信して欲しい。
その他地域	男性	25歳～29歳	若者がふえる町にしてほしいとかしろ
リニア駅周辺地域	女性	25歳～29歳	まだわからない
その他地域	男性	70歳以上	わからない
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	わからない
その他地域	男性	25歳～29歳	特になし
リニア駅周辺地域	女性	30歳～39歳	特になし
その他地域	女性	30歳～39歳	特になし
その他地域	女性	18歳～24歳	特になし
リニア駅周辺地域	男性	30歳～39歳	特になし
リニア駅周辺地域	女性	60歳～69歳	特になし
その他地域	男性	40歳～49歳	特になし
その他地域	女性	25歳～29歳	特になし
その他地域	女性	40歳～49歳	特になし
その他地域	女性	60歳～69歳	特になし
中心市街地・周辺	男性	50歳～59歳	特になし
その他地域	男性	30歳～39歳	特になし
その他地域	女性	18歳～24歳	特になし
リニア駅周辺地域	女性	40歳～49歳	特になし
リニア駅周辺地域	女性	40歳～49歳	特になし
その他地域	男性	30歳～39歳	特になし
その他地域	女性	25歳～29歳	特になし
その他地域	男性	40歳～49歳	特になし
その他地域	男性	40歳～49歳	特になし
その他地域	男性	25歳～29歳	特になし
リニア駅周辺地域	男性	30歳～39歳	特になし
リニア駅周辺地域	男性	25歳～29歳	特になし
その他地域	女性	30歳～39歳	特になし
その他地域	女性	18歳～24歳	特になし
その他地域	女性	18歳～24歳	特になし
中心市街地・周辺	男性	30歳～39歳	特になし
その他地域	女性	30歳～39歳	特になし
その他地域	女性	30歳～39歳	特になし
中心市街地・周辺	男性	30歳～39歳	特になし
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	特になし
その他地域	男性	30歳～39歳	特になし
中心市街地・周辺	男性	18歳～24歳	特になし
その他地域	女性	18歳～24歳	特になし
その他地域	男性	18歳～24歳	特になし

飯田市で人口減少が進んでいることの認知度

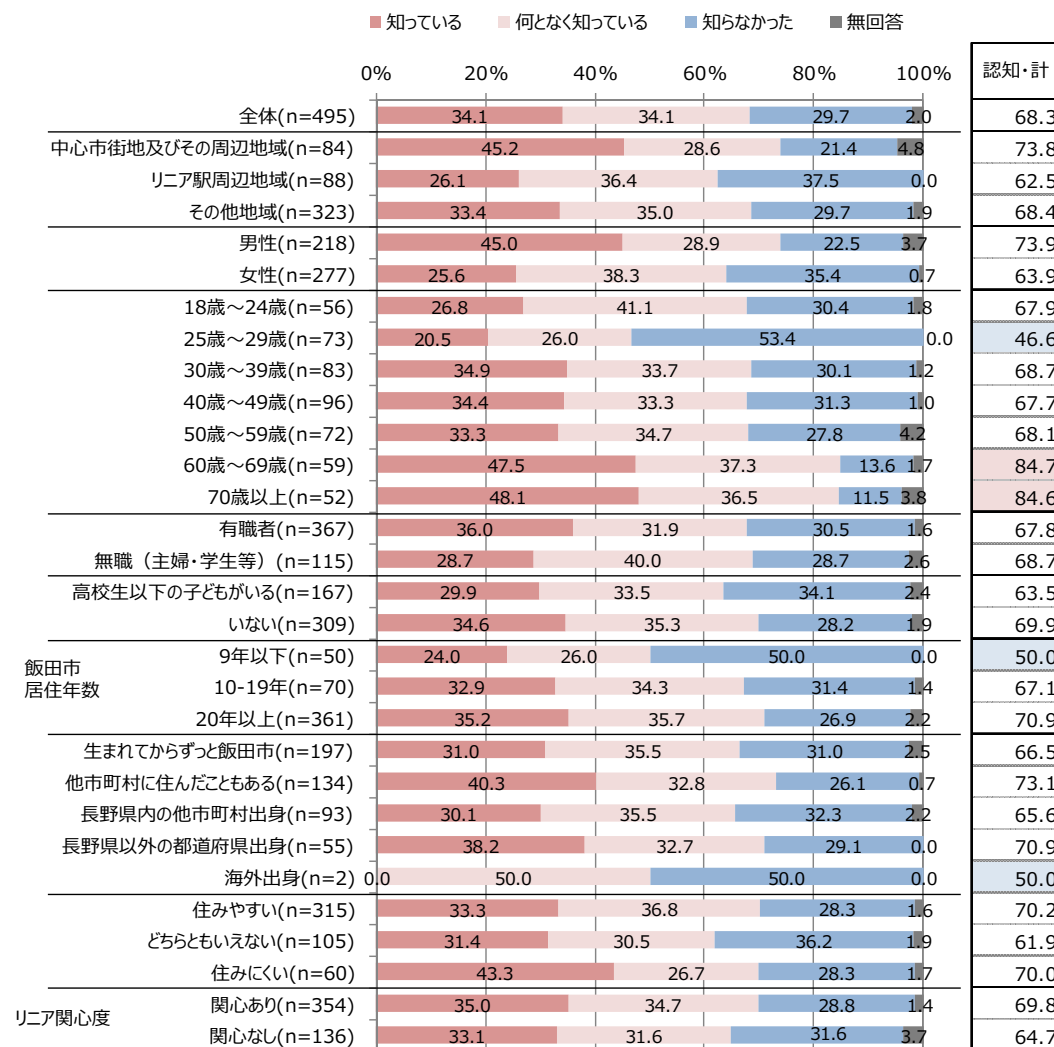
問27.飯田市の人口は2020年12月末現在で99,526人です。2020年度に入り10万人を割り込むなど、全国傾向と同様に人口減少が進んでいます。
飯田市で人口減少が進んでいることを知っていましたか。(SA)

・飯田市で人口減少が進んでいることの認知度は、「知っている」が34%、「何となく知っている」が34%で合計68%が認知している。「知らなかった」は30%を占める。

・地区別でみると、リニア駅周辺地域の認知度が63%とやや低い。

・性別でみると、男性の方が認知度が高い。

・年代別でみると20代後半の層の認知度が低く、60代以上の層の認知度が高い。



飯田市の振興・活性化を図るために重要だと思う取組み

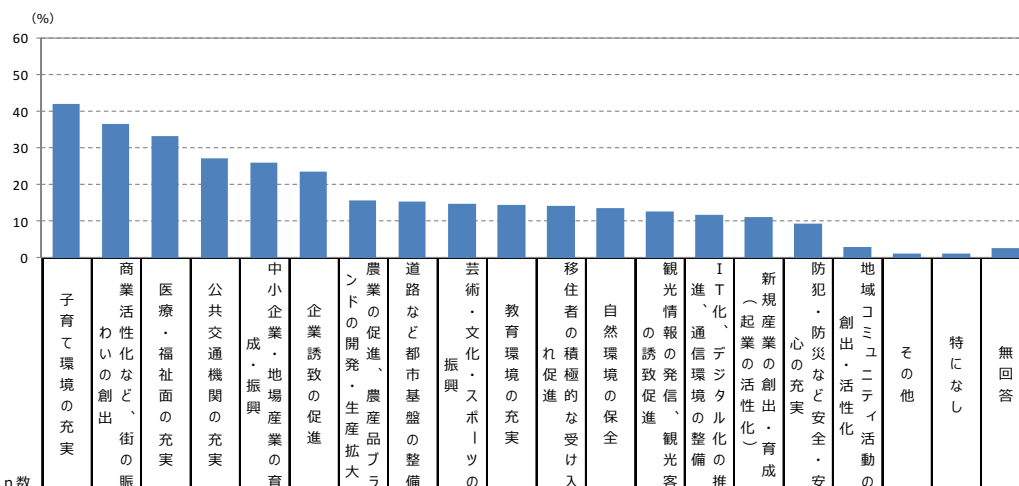
問28. 飯田市の振興・活性化を図るために、どのような取組みが重要だと思いますか。重要だと思うことを3つまでお選びください。（MA）
※「3つまで回答」としたが、3つ以上回答しているケースもそのまま集計している

- ・飯田市の振興・活性化を図るために重要だと思う取組みについて尋ねたところ、「子育て環境の充実」が42%で最も高い。以下、「商業活性化など、街の賑わいの創出」（37%）、「医療・福祉面の充実」（33%）、「公共交通機関の充実」（27%）、「中小企業・地場産業の育成・振興」（26%）、「企業誘致の促進」（24%）までが2割以上で続いている。

- ・全般的に、子育て、商業、医療など生活に密着した施策が上位となっている。

（前項の人口減が進んでいる質問項目の後に、設定した質問項目であり、多少バイアスがかかることも想定）

- ・年代別では、20代～30代で「子育て環境の充実」、20代前半で「商業活性化など街の賑わい創出」などの比率が比較的高い。
- ・人口減について認知している人ほど「企業誘致の促進」の比率が高い。

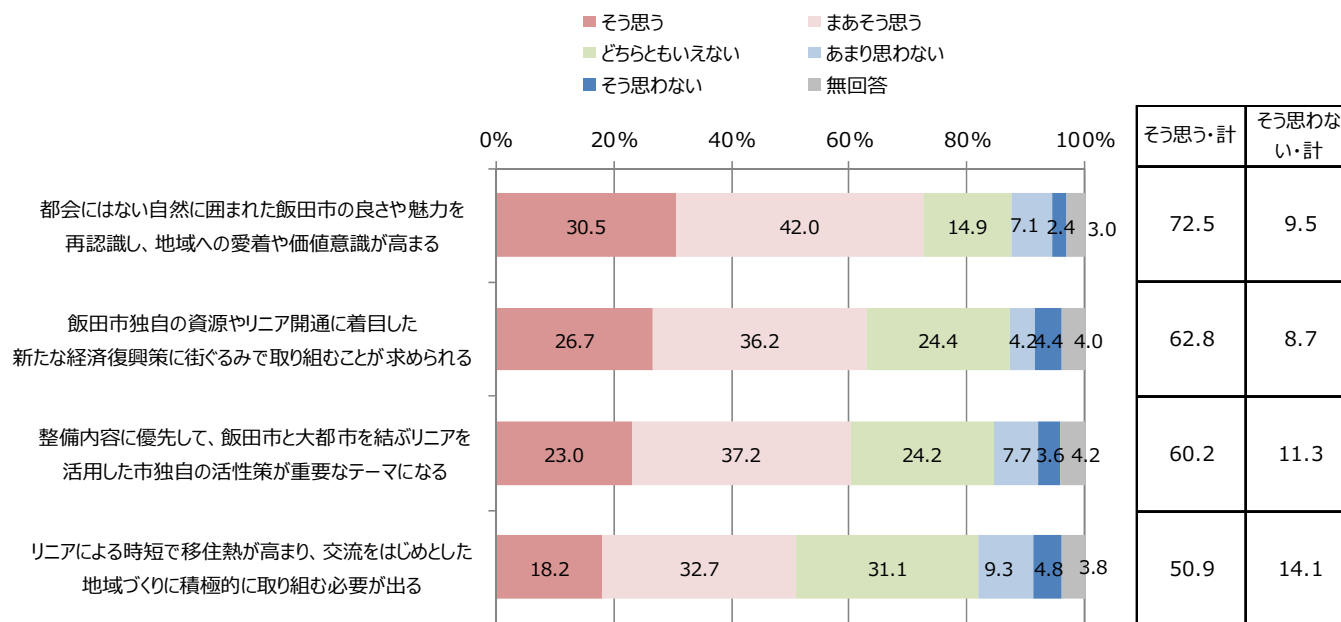


		n数	賑	育	大	備	の	入	客	推	成	安	の									
地区	全体	495	42.2	36.6	33.3	27.3	26.1	23.6	15.8	15.4	14.9	14.5	14.3	13.5	12.7	11.9	11.3	9.3	3.0	1.2	1.2	2.8
	中心市街地及びその周辺地域	84	33.3	45.2	26.2	26.2	22.6	23.8	15.5	10.7	19.0	14.3	13.1	13.1	15.5	10.7	11.9	6.0	3.6	2.4	0.0	3.6
	リニア駅周辺地域	88	44.3	29.5	31.8	22.7	20.5	21.6	18.2	18.2	26.1	17.0	18.2	14.8	10.2	8.0	9.1	9.1	1.1	1.1	2.3	2.3
	その他地域	323	44.0	36.2	35.6	28.8	28.5	24.1	15.2	15.8	10.8	13.9	13.6	13.3	12.7	13.3	11.8	10.2	3.4	0.9	1.2	2.8
性別	男性	218	37.6	34.9	25.2	23.9	29.8	26.6	17.4	20.6	15.1	12.4	16.5	12.8	11.9	11.5	15.1	8.3	4.1	1.4	1.8	3.2
	女性	277	45.8	37.9	39.7	30.0	23.1	21.3	14.4	11.2	14.8	16.2	12.6	14.1	13.4	12.3	8.3	10.1	2.2	1.1	0.7	2.5
年齢	18歳～24歳	56	37.5	48.2	25.0	32.1	21.4	23.2	12.5	8.9	21.4	12.5	10.7	7.1	16.1	14.3	14.3	5.4	1.8	0.0	0.0	3.6
	25歳～29歳	73	69.9	39.7	35.6	34.2	27.4	15.1	9.6	13.7	17.8	17.8	17.8	16.4	9.6	19.2	8.2	15.1	1.4	0.0	1.4	1.4
	30歳～39歳	83	55.4	42.2	32.5	25.3	26.5	20.5	14.5	10.8	10.8	16.9	18.1	9.6	15.7	10.8	10.8	8.4	3.6	2.4	1.2	1.2
	40歳～49歳	96	34.4	34.4	34.4	28.1	30.2	28.1	18.8	22.9	12.5	14.6	11.5	13.5	12.5	12.5	10.4	5.2	1.0	2.1	2.1	1.0
	50歳～59歳	72	34.7	31.9	34.7	25.0	26.4	27.8	15.3	12.5	19.4	11.1	11.1	16.7	12.5	12.5	6.9	11.1	4.2	1.4	0.0	4.2
	60歳～69歳	59	37.3	28.8	42.4	32.2	27.1	22.0	11.9	23.7	13.6	15.3	18.6	8.5	8.5	5.1	10.2	8.5	5.1	1.7	3.4	0.0
	70歳以上	52	17.3	28.8	23.1	13.5	21.2	30.8	30.8	11.5	11.5	7.7	13.5	21.2	13.5	5.8	23.1	11.5	5.8	0.0	0.0	9.6
職業	有職者	367	43.3	38.7	32.7	27.8	27.2	23.4	16.1	16.6	18.0	14.7	14.7	11.2	12.5	12.5	9.5	8.7	3.0	1.6	1.6	1.4
	無職（主婦・学生等）	115	38.3	31.3	33.9	27.0	21.7	24.3	16.5	12.2	7.0	14.8	13.0	22.6	13.9	11.3	16.5	9.6	2.6	0.0	0.0	7.0
子ども	高校生以下の子どもがいる	167	50.3	38.3	30.5	23.4	26.9	25.1	12.6	15.6	13.2	19.8	12.6	12.0	12.6	11.4	4.2	2.4	2.4	1.2	3.0	3.0
	いない	309	38.2	35.6	35.6	29.4	26.2	23.0	17.2	15.2	15.2	11.7	15.2	14.6	13.3	11.7	11.0	12.3	3.6	0.6	1.0	2.9
住みやすさ	住みやすい	315	41.3	35.6	33.0	25.4	28.6	23.2	19.0	15.6	14.6	13.7	14.0	14.6	13.3	11.7	11.7	9.5	3.5	1.0	1.3	1.9
	どちらともいえない	105	46.7	38.1	34.3	33.3	21.0	21.0	12.4	12.4	15.2	13.3	16.2	13.3	13.3	10.5	11.4	6.7	2.9	0.0	0.0	3.8
	住みにくい	60	40.0	41.7	36.7	31.7	23.3	31.7	6.7	23.3	18.3	21.7	11.7	6.7	8.3	18.3	8.3	13.3	1.7	5.0	3.3	1.7
居住意向	これからも住み続けたい	321	41.7	37.1	32.4	25.5	27.4	24.3	18.1	17.4	16.2	12.5	15.0	15.6	13.7	10.3	10.9	9.3	3.4	0.9	1.2	2.2
	できれば県内の他市町村に移りたい	22	50.0	31.8	36.4	40.9	9.1	18.2	4.5	13.6	13.6	22.7	4.5	9.1	4.5	22.7	13.6	13.6	0.0	4.5	0.0	0.0
	できれば県外に移りたい	36	44.4	41.7	30.6	27.8	19.4	33.3	5.6	13.9	13.9	19.4	16.7	5.6	11.1	19.4	16.7	5.6	0.0	2.8	2.8	5.6
	わからない	105	41.9	36.2	37.1	32.4	28.6	20.0	14.3	11.4	12.4	17.1	13.3	9.5	11.4	13.3	10.5	9.5	3.8	1.0	1.0	2.9
リニア関心度	関心あり	354	43.5	38.4	32.2	28.8	27.1	25.1	15.5	18.9	15.8	13.8	15.0	11.3	13.8	12.7	12.4	9.0	4.0	0.6	1.1	1.4
	関心なし	136	38.2	30.9	36.8	23.5	20.6	16.2	6.6	13.2	16.2	13.2	19.1	10.3	8.8	8.1	10.3	0.7	2.9	1.5	6.6	6.6
人口減認知度	知っている	169	32.0	34.9	26.0	28.4	31.4	34.9	18.3	19.5	17.8	18.3	21.3	13.6	14.2	13.0	15.4	10.7	4.7	2.4	0.6	0.0
知度	聞いたことがある程度（あまり知らない）	169	45.0	35.5	33.1	26.6	29.0	21.3	18.3	13.0	13.0	17.8	13.0	11.8	13.6	10.7	16.0	10.7	3.0	0.0	0.6	1.8
	知らない	147	53.1	41.5	43.5	27.9	17.7	14.3	10.9	14.3	15.0	7.5	8.2	16.3	10.9	12.9	2.0	6.8	1.4	1.4	2.0	2.0

飯田市の今後の方向性についての見解

問29.新型コロナウイルス感染拡大は、在宅勤務、出張や観光減少、外出自粛、などライフスタイル全般に大きく影響を及ぼすことが今後とも予想されます。
このような社会環境を踏まえ、飯田市に住むことや飯田市の今後の方向性について、お気持ちやお考えをお聞きます。（SAMT）

- ・新型コロナウイルス感染拡大が、飯田市に住むことや飯田市の今後の方向性についての意識にどのように影響したかを以下の観点で尋ねた。
- ・「都会にはない自然に囲まれた飯田市の良さや魅力を再認識し、地域への愛着や価値意識が高まる」が最も高い。（そう思うの合計が73%）
- ・「飯田市独自の資源やリニア開通に着目した新たな経済復興策に街ぐるみで取り組むことが求められる」（63%）
- ・「整備内容に優先して、飯田市と大都市を結ぶリニアを活用した市独自の活性化策が重要なテーマになる」（60%）
- ・「リニアによる時短で移住熱が高まり、交流をはじめとした地域づくりに積極的に取り組む必要が出る」（51%）

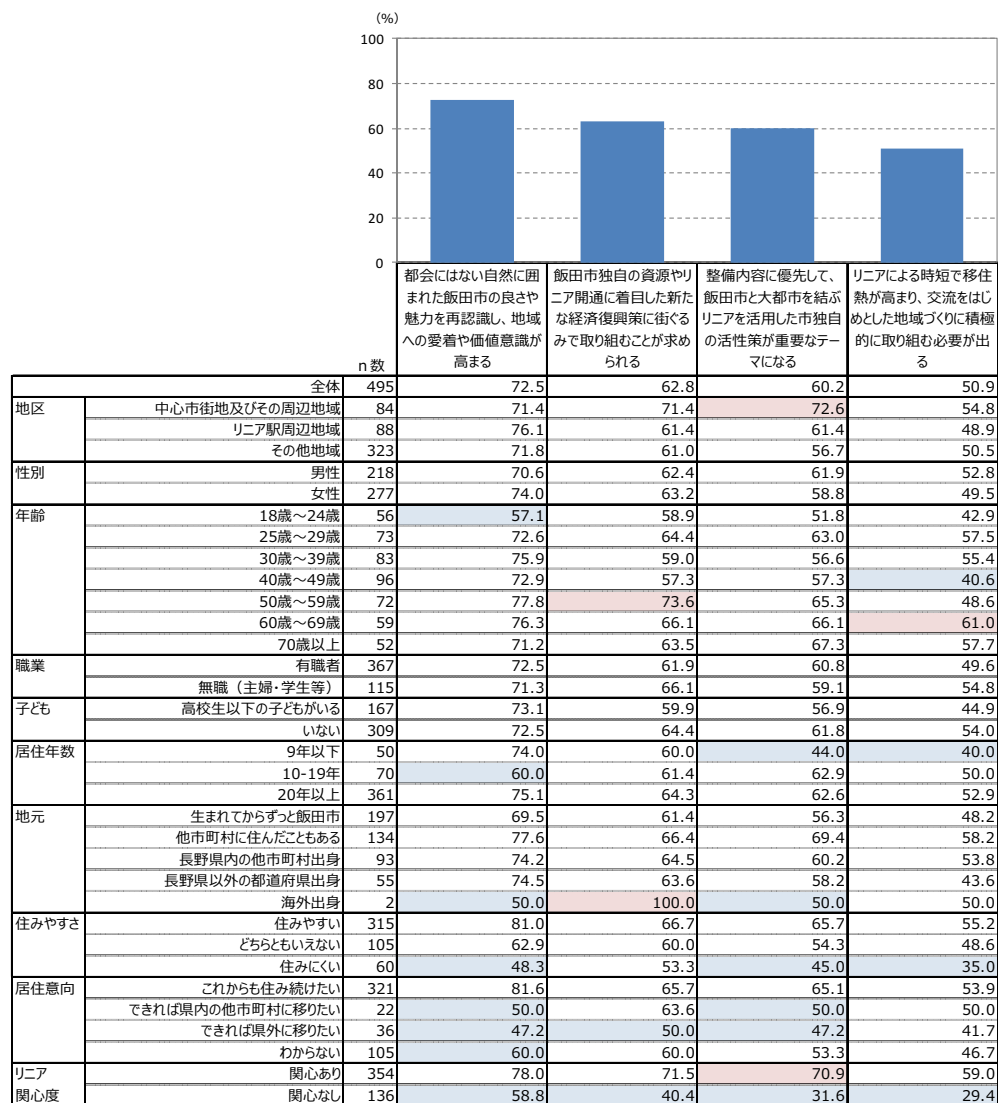


飯田市の今後の方向性についての見解

問29.新型コロナウイルス感染拡大は、在宅勤務、出張や観光減少、外出自粛、などライフスタイル全般に 大きく影響を及ぼすことが今後とも予想されます。
このような社会環境を踏まえ、飯田市に住むことや飯田市の今後の方向性について、お気持ちやお考えをお聞きます。 (SAMT)

- ・新型コロナウイルス感染拡大が、飯田市に住むことや飯田市の今後の方向性についての意識にどのように影響したかについて、「そう思う」と「まあそう思う」の合計値についてクロス集計を実施した。
- ・地区別でみると、中心市街地及びその周辺地域の比率が高い。
- ・年代別では、20代前半の層で「都会にはない自然に囲まれた飯田市の良さや魅力を再認識し、地域への愛着や価値意識が高まる」が57%に留まり、他の年代が7割を超えているのと比較して低い。

飯田市に住むこと・方向性の意識（そう思う+まあそう思う）



リニア中央新幹線に関する情報量・情報提供の頻度について

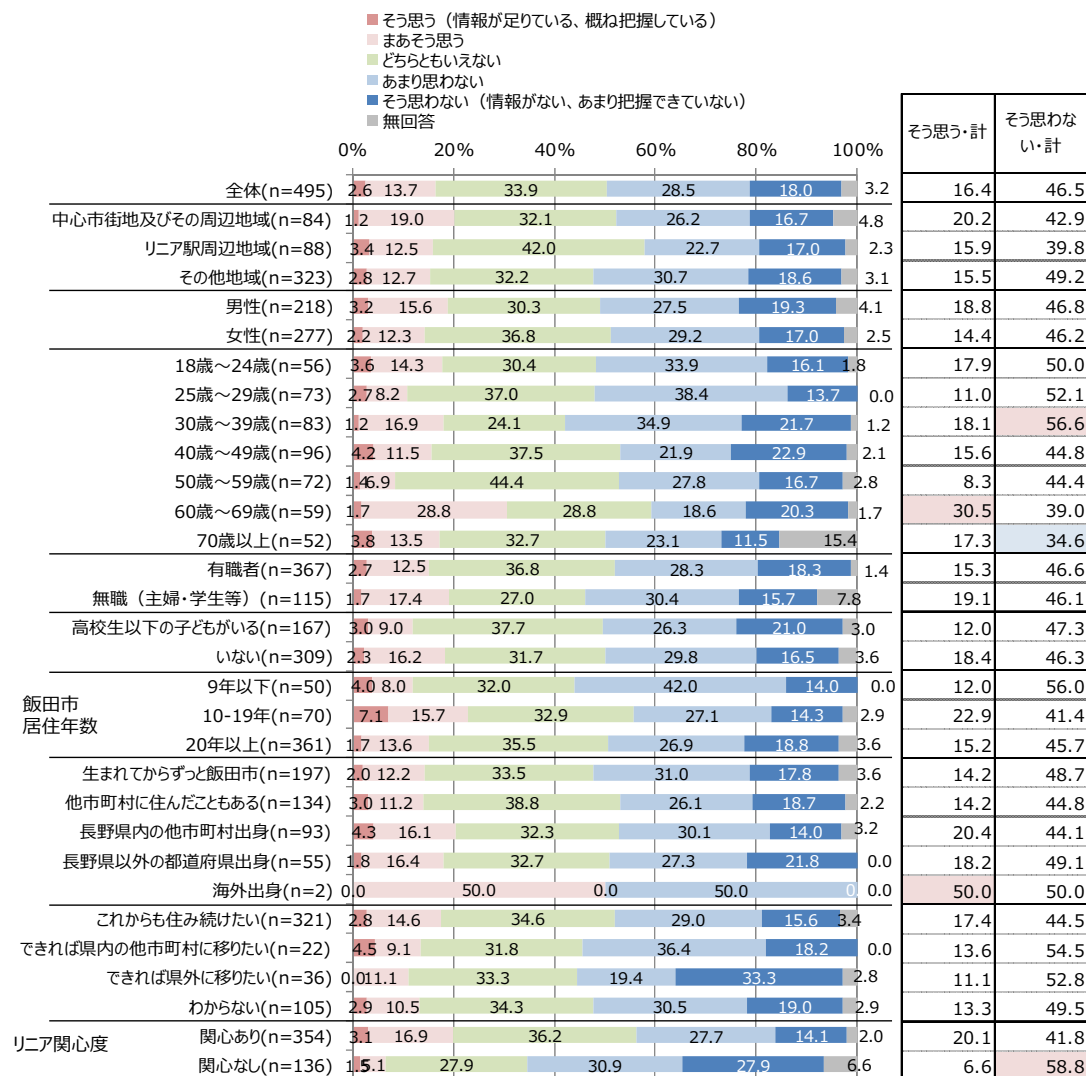
問30.リニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの「情報」について伺います。「情報量」「情報提供の頻度」は十分だと思いますか。(SA)

・リニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの情報量、情報提供の頻度についての評価を尋ねたところ、「**そう思う（情報が足りている）**」が3%、「**まあそう思う**」が14%で、**情報が足りていると評価しているのは合計16%に留まる**。一方、「**あまりそうは思わない**」が29%、「**そう思わない（情報が無い、あまり把握できていない）**」が18%と**合計47%が情報量が不十分と評価している**。

・地区別でみると、いずれの地区も情報量が不十分と評価している比率が高いが、その他地域では、「**そう思わない**」の合計が49%と他と比較して低い。

・年代別でみると、30代以下は「**そう思わない**」の合計が5割以上となっており、40代以上と比べて情報量に対する評価が低い傾向が見られる。

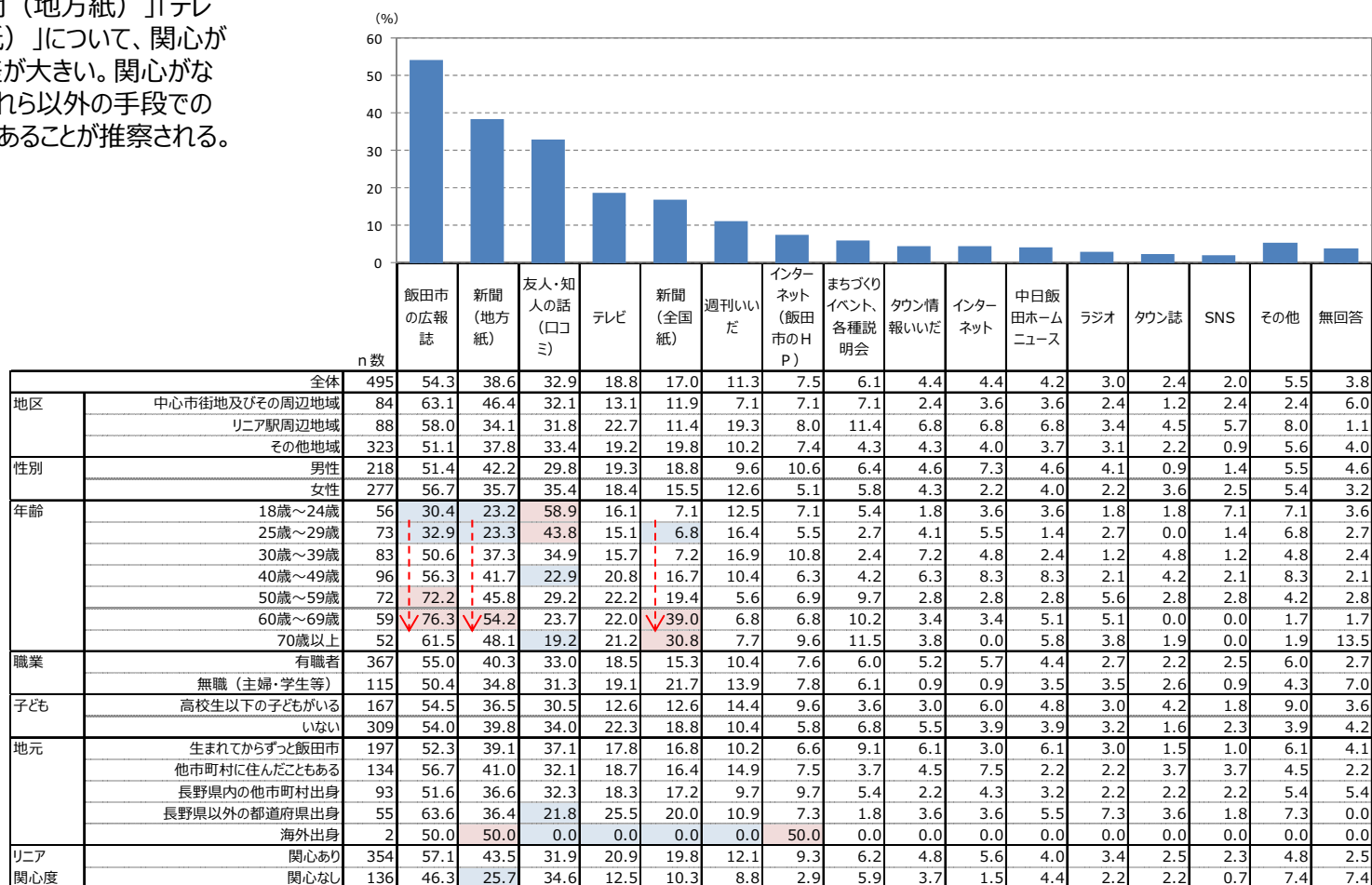
・リニアに関心がある層とない層で比較すると、関心がない人は情報が不十分とする比率が59%に達している。



リニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況等に関する情報の認知経路

問31.あなたが、現在知っているリニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの情報はどのようにして知りましたか。（MA）

- ・リニア中央新幹線の計画・事業の進捗状況や、関連したまちづくりの計画などの認知経路は「飯田市の広報誌」が54%でやや突出している。次いで、「新聞（地方紙）」（39%）、「友人・知人の話」（33%）までが3割以上、「テレビ」「新聞（全国紙）」が2割弱で続いており、認知経路が「広報誌」にやや偏っている。
- ・地区別でみると、その他地域では「飯田市の広報誌」の比率が他と比較して低い。
- ・年代別では、「飯田市の広報誌」「新聞（地方紙）」などは年代が高い層ほど比率が高く、年代による差が大きい。20代以下の層では「友人・知人の話」の比率が比較的高い。
- ・リニアに対する関心度別でみると、「飯田市の広報誌」「新聞（地方紙）」「テレビ」「新聞（全国紙）」について、関心がある人となない人で差が大きい。関心がない層に対しては、これら以外の手段でのアプローチが必要であることが推察される。



各種説明会・イベントへの参加意向

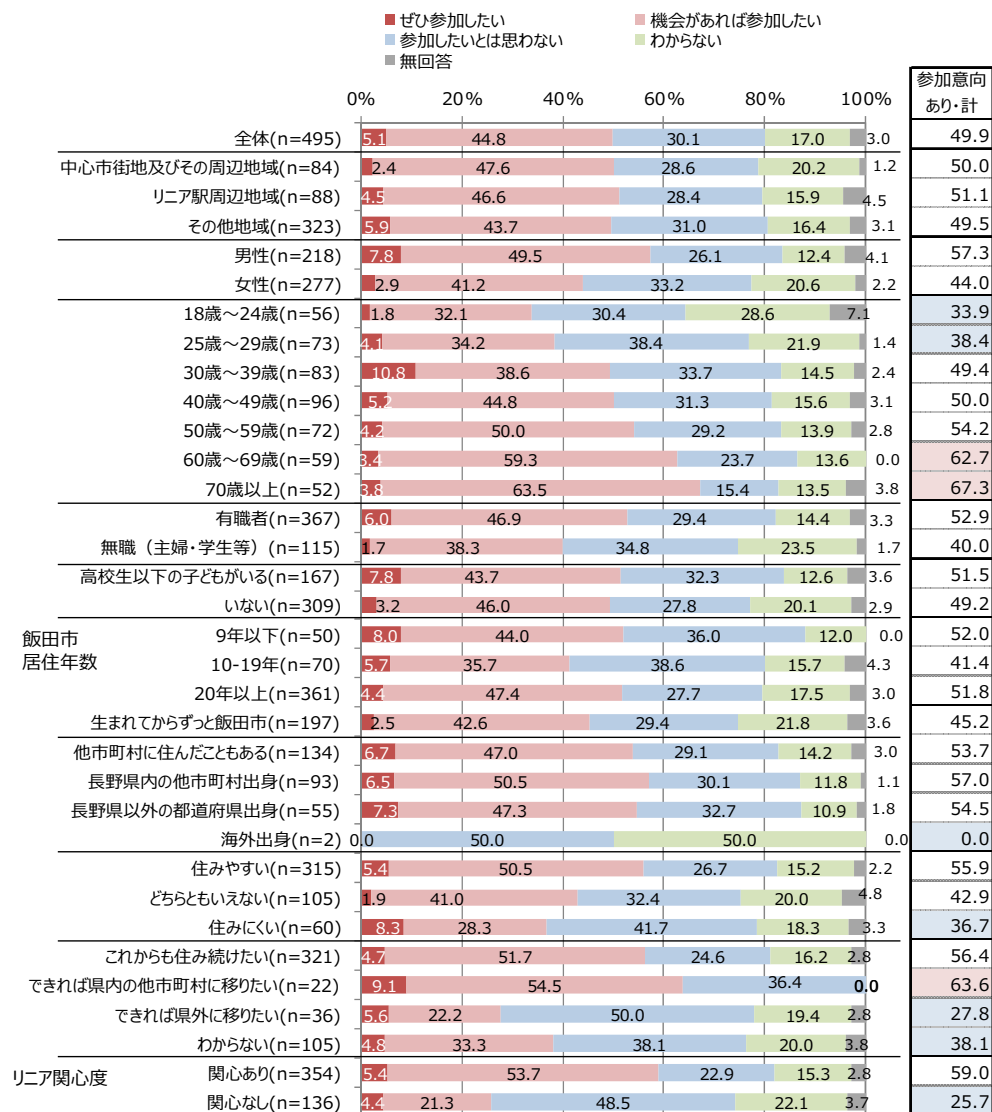
問32.今後、リニア中央新幹線に関連したまちづくり・施策について、飯田市が各種説明会や、イベントなどを開催した場合、参加してみたいと思いますか。（SA）

・リニア中央新幹線に関連したまちづくり・施策について、飯田市が開催する各種説明会や、イベントなどへの参加意向を尋ねたところ、「ぜひ参加したい」が5%、「機会があれば参加したい」が45%で合計50%が参加意向を示している（ただしTOP BOXのスコアが低く、参加促進のために何らかの動機付けが必要であると推察される）。

・地区別で大きな傾向の違いは見られない。

・年代別でみると、年代が高い層ほど参加意向度が高い。60代以上の参加意向度が6割を超えているが、20代は3割台に留まるなど年代による差が大きい。

・リニアに対する関心の有無によって、説明会への参加意向度にも差が見られるが、リニアに対する関心がない人の26%は参加意向を示している。



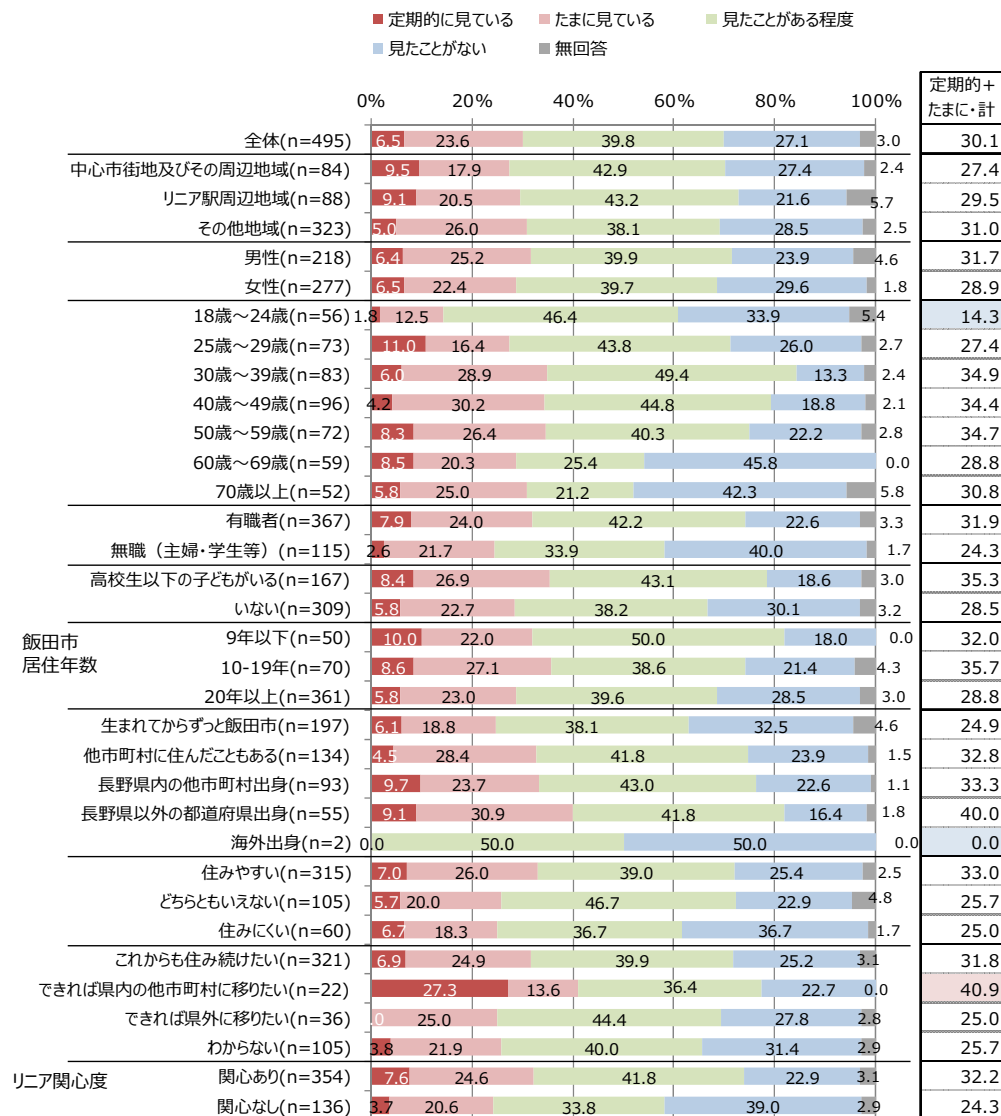
飯田市HPの閲覧経験

問33.飯田市のホームページは見たことがありますか。（SA）

・飯田市のホームページの閲覧経験を尋ねたところ、「定期的に見ている」が7%、「たまに見ている」が24%、「見たことがある程度」が40%、「見たことがない」が27%となった。「定期的に見ている」+「たまに見ている」の合計値は30%。

・地区別でみると、その他地域の閲覧率（TOP 2BOX）が比較的高い。

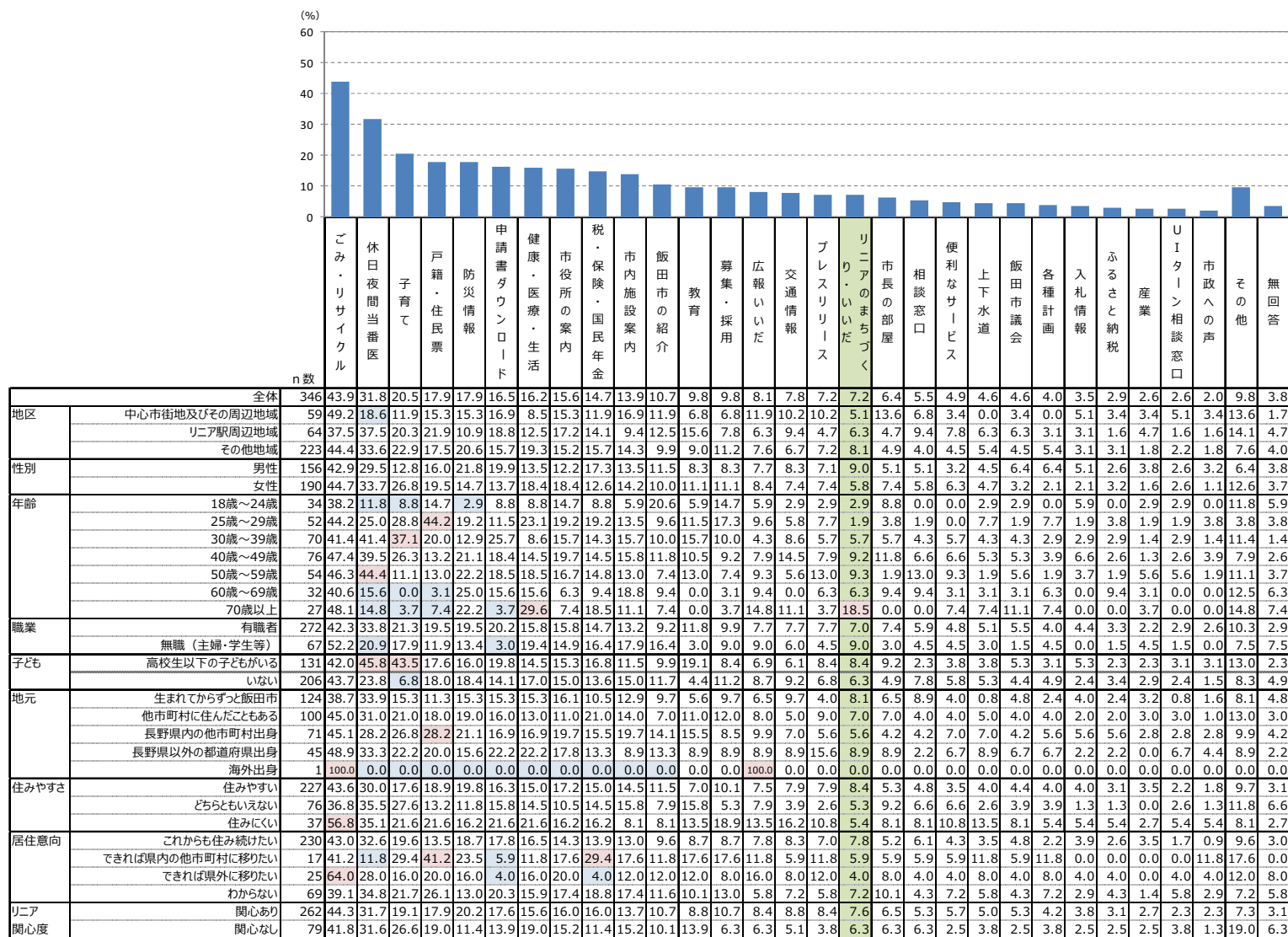
・年代別でみると、20代前半の閲覧率が低い。



飯田市HPで見たことがある情報

問34.飯田市のホームページではどのようなページ・情報を見たことがありますか。(MA) ※飯田市のホームページを見たことがある方

- ・飯田市のホームページで見たことがある情報は、「ごみ・リサイクル」が44%で最も高い。次いで「休日夜間当番医」(32%)、「子育て」(21%)など。「リニアのまちづくりいいだ」は7%。(リニアに対する関心度の違いで比率に差は見られない)。
- ・生活で必要に迫られてHPにアクセスしている人が多い様子が伺える。

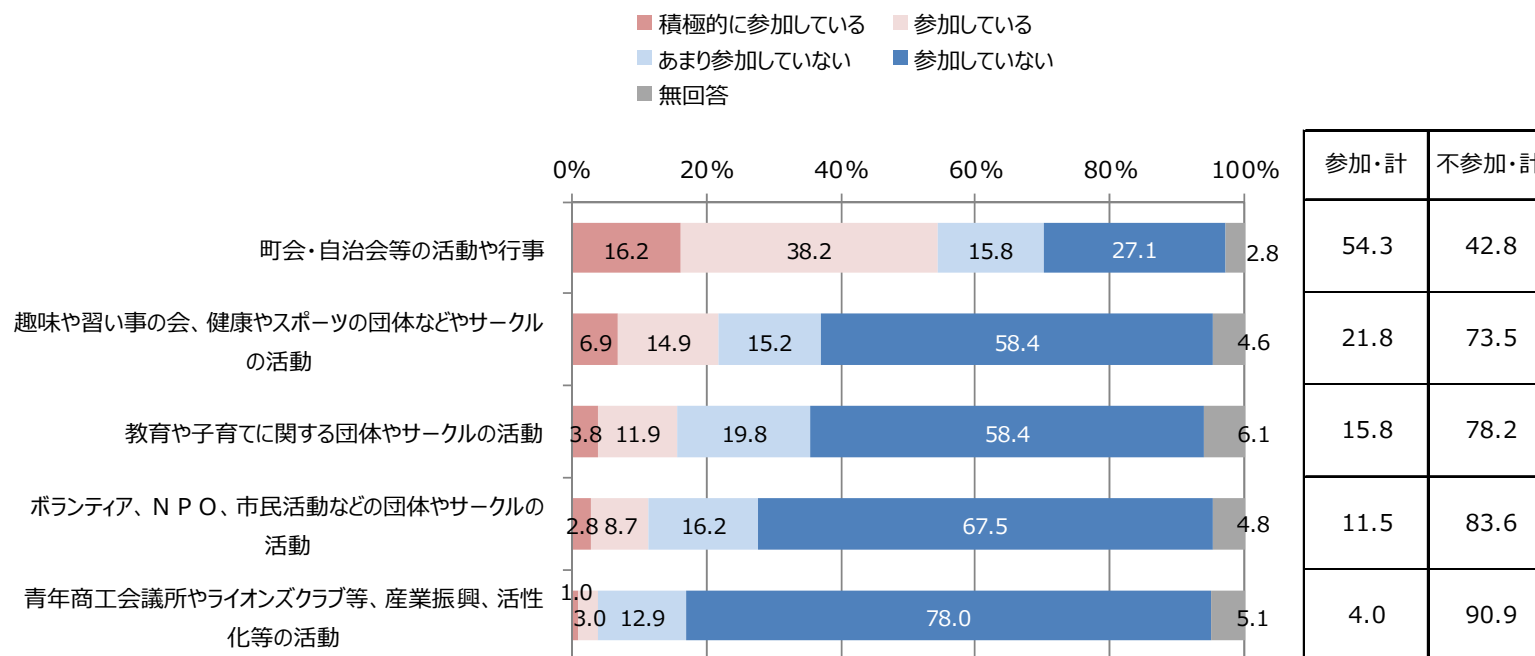


地域の活動への参加状況

問35.あなたは、次にあげるような地域の活動に参加していますか。（SAMT）

・地域活動への参加状況を尋ねたところ、**町会・自治会の活動や行事**が、「積極的に参加している」が16%、「参加している」が38%で合計54%が参加しており、下記の地域活動の中では最も参加率が高い。

・下記の5つの活動について、いずれか1つでも「積極的に参加している」もしくは「参加している」と回答した人は、全体の63%となっている。
（次ページ参照）

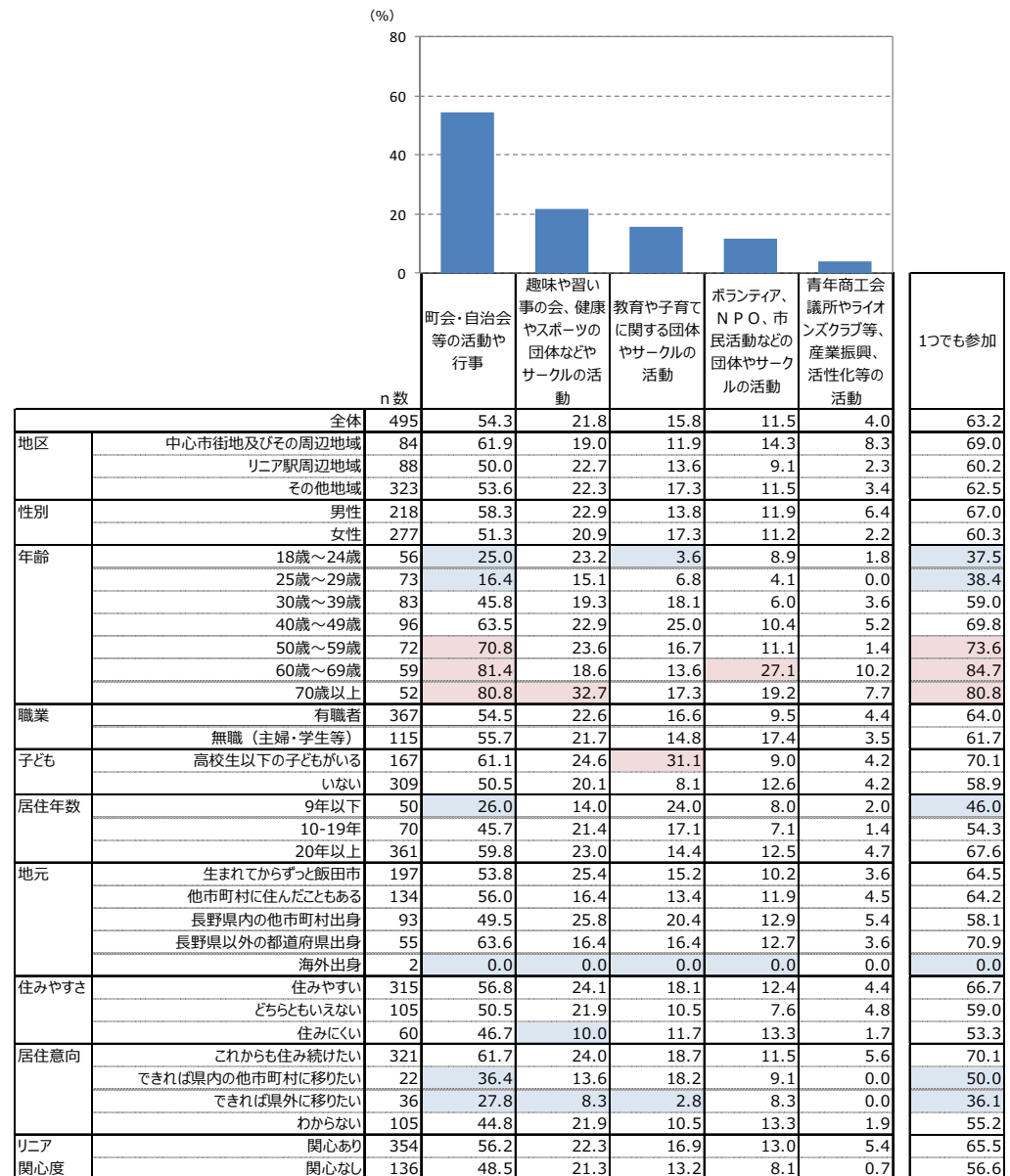


地域の活動への参加状況

問35.あなたは、次にあげるような地域の活動に参加していますか。(SAMT)

- ・地域活動への参加状況について、「積極的に参加している」+「参加している」の合計値についてクロス集計を行った。
- ・地区別でみると、「町会・自治会の活動や行事」への参加率は中心市街地及びその周辺地域が62%と高い。
- ・年代別でみると、20代の参加率が全般的に低い。一方、1つでも地域の活動に参加している人の割合は、50代以上の層で74%、60代以上では8割以上となっている。
- ・リニアに対する関心度別でみると、関心がある人の方が地域の活動（特に「町会・自治会の活動や行事」）に対する参加率が高い。

地域活動への参加状況（積極的に参加+参加）



日常でよく見たり、聞いたりするメディア・情報源

問36. 日常でよく見たり、聞いたりするメディア・情報源は何ですか。(MA)

・日常でよく見たり、聞いたりするメディア、情報源を尋ねたところ、「テレビ」が81%で突出している。次いで、「webサイト（スマートフォン、PC）」（57%）、「新聞（地方紙）」（36%）、「SNS」（34%）、「新聞（全国紙）」（32%）、「タウン誌」（28%）、「飯田市の広報誌・行政のHP」（27%）までが2割以上となっている。

・地区別でみると、その他地域では「新聞（地方紙）」の比率が他の地区と比較して低い。

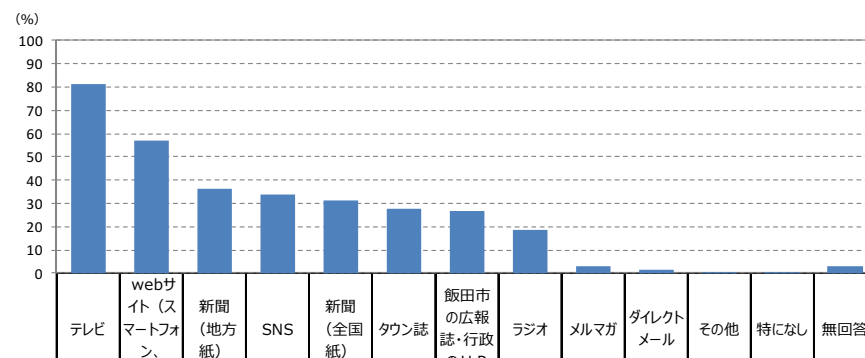
・年代別で傾向が大きく異なり、50代以上は「新聞（地方紙）」が5割以上、60代以上は「新聞（全国紙）」が6割以上、「飯田市の広報誌・行政のHP」が4割以上など他の年代と比較して高い。

・一方、20代は「SNS」が6割以上と高い。

・30代～40代は「Webサイト」の比率が7割以上と高い。

・リニアに対する関心の有無別でみると、関心がある人は、関心がない人と比べて「Webサイト」「新聞（地方紙）」「タウン誌」「飯田市の広報誌・行政のHP」などで5ポイント以上高い。

・リニアに対する認知度別でみると、認知している人ほど、「Webサイト」「新聞（地方紙）」「新聞（全国）」の比率が高く、認知していない人との差が大きい。



	n 数	テレビ	webサイト (スマートフォン、PC)	新聞 (地方紙)	SNS	新聞 (全国紙)	タウン誌	飯田市の広報誌・行政のHP	ラジオ	メルマガ	ダイレクトメール	その他	特になし	無回答
全体	495	81.0	56.8	36.2	33.9	31.5	27.7	26.7	18.6	2.8	1.6	0.4	0.4	3.0
地区	中心市街地及びその周辺地域	84	76.2	59.5	42.9	32.1	31.0	27.4	28.6	16.7	2.4	1.2	1.2	1.2
	リニア駅周辺地域	88	77.3	58.0	38.6	36.4	22.7	28.4	27.3	26.1	2.3	1.1	0.0	5.7
	その他地域	323	83.3	55.7	33.7	33.7	34.1	27.6	26.0	17.0	3.1	1.9	0.3	2.8
性別	男性	218	76.1	58.3	39.0	27.1	32.1	22.0	22.9	23.4	1.8	1.4	0.0	4.1
	女性	277	84.8	55.6	33.9	39.4	31.0	32.1	29.6	14.8	3.6	1.8	0.7	2.2
年齢	18歳～24歳	56	75.0	60.7	16.1	60.7	5.4	14.3	14.3	10.7	0.0	0.0	1.8	5.4
	25歳～29歳	73	78.1	67.1	9.6	67.1	8.2	23.3	13.7	11.0	1.4	0.0	0.0	1.4
	30歳～39歳	83	77.1	72.3	26.5	48.2	18.1	30.1	20.5	10.8	6.0	2.4	1.2	2.4
	40歳～49歳	96	77.1	72.9	39.6	24.0	30.2	38.5	25.0	18.8	2.1	0.0	1.0	2.1
	50歳～59歳	72	87.5	59.7	50.0	19.4	37.5	29.2	31.9	5.6	1.4	0.0	0.0	2.8
	60歳～69歳	59	88.1	35.6	54.2	8.5	66.1	22.0	40.7	23.7	3.4	1.7	0.0	0.0
	70歳以上	52	88.5	7.7	67.3	3.8	69.2	17.3	50.0	26.9	0.0	7.7	0.0	7.7
職業	有職者	367	79.8	62.4	35.7	35.1	29.7	28.6	24.0	19.1	3.0	1.1	0.3	2.7
	無職（主婦・学生等）	115	85.2	41.7	39.1	32.2	35.7	24.3	36.5	16.5	2.6	3.5	0.0	3.5
子ども	高校生以下の子どもがいる	167	80.2	65.3	31.1	40.7	23.4	31.7	26.3	18.6	4.2	1.8	1.2	3.0
	いない	309	81.2	53.1	38.2	31.1	36.6	26.9	25.9	18.4	2.3	1.6	0.0	3.2
地元	生まれてからずっと飯田市	197	83.8	52.8	35.5	29.4	32.0	26.9	25.4	18.8	2.5	1.5	0.5	3.0
	他市町村に住んだこともある	134	79.1	64.2	35.8	43.3	31.3	29.9	27.6	18.7	3.0	1.5	0.0	1.5
	長野県内の他市町村出身	93	79.6	51.6	36.6	35.5	26.9	24.7	29.0	24.7	3.2	2.2	1.1	1.1
	長野県以外の都道府県出身	55	83.6	65.5	38.2	27.3	36.4	32.7	25.5	9.1	3.6	1.8	0.0	1.8
	海外出身	2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
リニア関心度	関心あり	354	81.6	58.5	38.7	34.7	31.6	30.2	28.5	19.8	2.3	1.7	0.3	2.3
	関心なし	136	79.4	51.5	28.7	32.4	30.1	21.3	21.3	16.2	4.4	0.7	0.7	5.1
リニア認知度	知っている	297	82.5	60.9	42.8	31.3	37.0	29.3	28.6	22.2	3.7	2.0	0.3	2.4
	何となく知っている	125	78.4	52.8	28.8	36.8	25.6	28.8	22.4	13.6	1.6	0.0	0.0	4.8
	聞いたことがある程度	62	77.4	45.2	17.7	41.9	16.1	17.7	24.2	11.3	1.6	1.6	0.0	3.2
	知らない	5	100.0	40.0	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0

よく利用するSNS

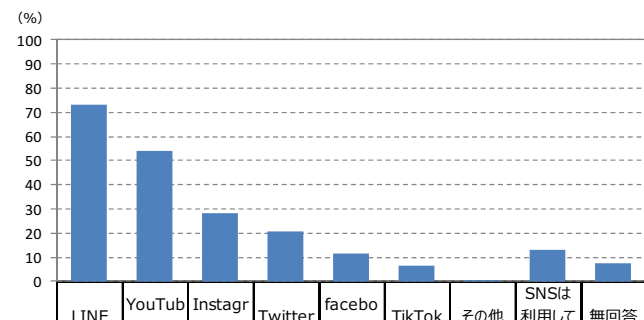
問37.ふだん、よく利用するSNSは何ですか。(MA)

・ふだん、よく利用するSNSを尋ねたところ、「LINE」(73%)、「YouTube」(54%)、「Instagram」(28%)、「Twitter」(21%)、「facebook」(12%)、「TikTok」(7%)、「SNSは利用していない」が13%となった。

・年代別でみると、全般的に年代が若い層ほど全般的な利用率が高い。

・リニア関心度別でみると、リニアに関心がある人の方が関心がない人よりも全般的にSNSの利用率が高い。

・リニアの認知度別でみると、リニアについて認知している人ほど「LINE」や「YouTube」の比率が高い。「Instagram」や、「Twitter」などの比率については大きな差が見られない。



		n 数	LINE	YouTube	Instagram	Twitter	facebook	TikTok	その他	SNSは利用していない	無回答
全体		495	72.9	54.1	28.3	20.8	11.7	6.7	0.4	13.3	7.5
地区	中心市街地及びその周辺地域	84	67.9	52.4	23.8	21.4	15.5	3.6	1.2	17.9	4.8
	リニア駅周辺地域	88	76.1	59.1	28.4	29.5	9.1	5.7	0.0	6.8	9.1
	その他地域	323	73.4	53.3	29.4	18.3	11.5	7.7	0.3	13.9	7.7
性別	男性	218	69.7	58.3	16.5	17.4	10.1	5.5	0.5	12.8	8.7
	女性	277	75.5	50.9	37.5	23.5	13.0	7.6	0.4	13.7	6.5
年齢	18歳～24歳	56	85.7	75.0	53.6	51.8	10.7	25.0	1.8	0.0	5.4
	25歳～29歳	73	87.7	78.1	58.9	52.1	15.1	17.8	0.0	1.4	2.7
	30歳～39歳	83	85.5	63.9	36.1	25.3	15.7	2.4	0.0	7.2	3.6
	40歳～49歳	96	82.3	61.5	26.0	10.4	19.8	3.1	0.0	7.3	2.1
	50歳～59歳	72	76.4	50.0	12.5	5.6	4.2	0.0	0.0	11.1	6.9
	60歳～69歳	59	55.9	25.4	3.4	1.7	8.5	1.7	1.7	27.1	11.9
	70歳以上	52	17.3	9.6	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	51.9	26.9
職業	有職者	367	79.0	58.6	28.9	21.3	12.3	7.1	0.3	9.3	5.2
	無職（主婦・学生等）	115	57.4	42.6	27.8	20.9	10.4	6.1	0.9	23.5	13.9
子ども	高校生以下の子どもがいる	167	86.2	58.7	35.9	15.6	17.4	7.2	0.6	5.4	3.0
	いない	309	67.3	52.4	24.9	23.6	9.4	6.5	0.3	16.2	10.0
地元	生まれてからずっと飯田市	197	73.6	53.3	26.9	18.8	10.2	8.6	1.0	11.7	10.2
	他市町村に住んだこともある	134	79.1	59.0	30.6	26.1	11.9	7.5	0.0	11.9	3.0
	長野県内の他市町村出身	93	71.0	51.6	31.2	20.4	11.8	4.3	0.0	17.2	5.4
	長野県以外の都道府県出身	55	67.3	54.5	25.5	16.4	20.0	3.6	0.0	14.5	5.5
	海外出身	2	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
リニア関心度	関心あり	354	76.3	55.9	29.1	23.2	13.0	7.6	0.6	12.7	5.4
	関心なし	136	64.7	50.0	26.5	15.4	8.8	3.7	0.0	14.0	13.2
リニア認知度	知っている	297	73.1	53.9	26.9	18.9	12.8	5.7	0.3	14.1	6.1
	何となく知っている	125	69.6	61.6	28.8	24.0	10.4	6.4	0.8	8.8	12.8
	聞いたことがある程度	62	82.3	43.5	33.9	24.2	9.7	9.7	0.0	12.9	4.8
	知らない	5	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0

意見・要望

問38.飯田市に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。（FA）

中心市街地・周辺	男性	18歳～24歳	飯田駅周辺に商業施設がなく非常に住みづらい。車ありきの町では、固定費削減を理由に移住を考える人からすれば、マイナス要因。観光客増加に力を入れるのはいいが、住める町にしてほしい。
中心市街地・周辺	男性	18歳～24歳	信号機を全てLEDにしてほしい。カーブミラーの曇りを改善してほしい。
中心市街地・周辺	女性	18歳～24歳	・文化会館を建てる時にコンサートができるくらい大きくしてほしいです。・若者や子ども達が遊ぶ場所が少ない（スターバックスコーヒー店や無印良品など欲しいです。）・文化施設とスポーツ施設が1カ所に集まるといい。・飯田市に大学を設立してほしいです（そうする事で若者が出ていかない）
中心市街地・周辺	男性	25歳～29歳	大企業誘致の促進を希望します。
中心市街地・周辺	男性	30歳～39歳	全ての施策にスピード感がない
中心市街地・周辺	男性	30歳～39歳	リニア早くして、2025年までに
中心市街地・周辺	男性	30歳～39歳	そもそも立地、地形的に今後の発展が見込めないことは明らかであるため、将来の人口、歳入に見合ったコンパクトな行政にしていけるべきだと思う。従って、リニアに関する投資もあまりすべきでないと考えている。
中心市街地・周辺	女性	30歳～39歳	大都市以外からの移住者に対する支援。起業に対する経済的支援、相談窓口などが県内の市町村の中では少ないと思い、なかなか移住先、開業先として選ばれにくいのではないかと思います。
中心市街地・周辺	男性	40歳～49歳	あらゆる誘致が下手
中心市街地・周辺	男性	40歳～49歳	コロナの感染を申告したらそこに住めなくなる様な風習があるのが良くない。恐くて申告できない隠れコロナ患者等もいるのでは？飯田市だけ感染者が少ないのはおかしいと思う。
中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	人間が一生かけて生み出すほとんどのそれは長い目で見ればゴミです。長期的に物事を考えて後悔のない選択をしていただけたら、と思います。（一、路傍の石の戯言です。一番大事なのはこの世界で生きている人の考えです。・・・）地域の為に日々考え、頭を巡らせている皆様に感謝いたします。どうぞ、お身体を大切に、頑張ってくださいませ。
中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	自然がこわされないように守ってください。どんな人にもやさしい飯田市であってください。
中心市街地・周辺	女性	40歳～49歳	市長はじめ市職員の皆様ご健闘、ご活躍に期待しています。よりよい市へより良いたくさん人が集まってくるような町となりますように。
中心市街地・周辺	女性	50歳～59歳	公民館の移設計画が良くわからない。何故移設するのか、不便なところに移す理由がわからない。新しく建て替えるならわかるが、わざわざ環境の悪い（駐車場や展示するスペースの広さ等）所になるのか？。市会議員の年収が高すぎる。活動が見えないのに企業の社長並みなのはおかしいと思う。
中心市街地・周辺	女性	50歳～59歳	時代に合った田舎づくりをしてほしいと思います。
中心市街地・周辺	男性	60歳～69歳	旧市内の活性化
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	飯田市の顔（市長）が新しくなって、期待しています。リニアへの取り組みをどんどん市民に広め、知らせてください。
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	すこしずついいので、一般の市民にも接する時間をつくるべき、古い考えにとらわれず、「地元」の若者達の意見を聞くようにすると明るい未来が見えてくる気がする。「若者」30代～50代前半
中心市街地・周辺	女性	60歳～69歳	東京や名古屋に行かなくても芸術、美術、音楽などのイベント、スポーツ、文化が盛んな松本のような街になって欲しいと思う。松本に行く度、松本がうらやましく思う。市街地、丘の上が人口減少で買い物難民、住みにくい。
中心市街地・周辺	男性	70歳以上	行政の効率化を重視する方向が間違いとは言えないが、今後はむしろ少子高齢化の中で丁寧・親切的な行政が望まれる。デジタルを進めることで、人員削減をするのではなく、余った人員を地域に近いところに手厚く配置するべきだ。人的サービスこそ今後の行政のポイントと思う。
中心市街地・周辺	男性	70歳以上	・中心市街地に無料の駐車場がなく、あまり出掛ける気にならない。・児童館の受入れ年齢と人数を増やしてもらいたい。・「そらさんぼ」の付近に「道の駅」のようなものをつけた方がよい。飯田市は収入減が少ないので、もっと人をよび込むような事を考えないと維持管理にばかりお金がいつてしまう。・広いグラウンドをつくって、大きな大会が出来るようにしてほしい。そうすれば人もお金も集まる。とにかく、リニア長野県駅に降りてもらえるようなもの考える必要があると思う。
中心市街地・周辺	女性	70歳以上	電子媒体が使えない環境にいるので（若者と同居ではないので）世の中においていかれる気持ち強い。ひがみ根性があるので、高齢者にもついていける世の中であって欲しい。
中心市街地・周辺	女性	70歳以上	・ごみの分別等について各町内へ出す講座を開いていただきました。とてもわかりやすく参考になり、こちらの質問（ささいな）にも丁寧に答えいただき大変良かったと思います。・防災、福祉等にもこのような出前講座（町内単位で）を開催していただきたい。（対象者が一般人であること）
リニア駅周辺地域	男性	25歳～29歳	申請が不要で、すぐにスポーツができる施設が欲しい。
リニア駅周辺地域	女性	25歳～29歳	子育て世帯にもう少し、子育てしたい、しやすくなるような政策をしてほしいです。（出産祝い金とか）
リニア駅周辺地域	女性	30歳～39歳	市がよくなることを願っています。
リニア駅周辺地域	女性	30歳～39歳	引越してきたばかりでまだまだ知らないことばかりです。これから飯田市のことを勉強して知っていきたいと思います。（道路や道がせまいのが少し残念です。）よろしく願い致します。

意見・要望

問38.飯田市に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。（FA）

リニア駅周辺地域	女性	30歳～39歳	子育ての環境を充実して欲しい。
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	とにかく、座光寺、上郷地区にすんでいる人には、分かりやすいパンフレットぐらいは配布するのは必要だと思う。2027年に稼働するならせめて3年位まえには全戸にいわたるように。またホームページを見ればいいという考えでは老人達は知らないまま、工事とかが進んでいる状況だと思うので、良くないと思う。あと、このアンケートの結果はどう公表されるかも分からないので、目に見える形できちんと公表して欲しい。
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	窓口で対応する人の態度が悪い時がある（特に男）。女性の対応は向上しています。それに比べるといかなものか、と思うときがある（常になら上から目線で話す人がいます）。
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	・リニアが本当に不案です。・本当に必要なのかも含めて（もう進んでしまっているのでは仕方ないですが…）。・子供への影響（通学環境や、外部からの人の流入等による）。・治安
リニア駅周辺地域	男性	40歳～49歳	地域開発、行政改革等、賛否両論あるのは当然。強引なのはあまり賛成できないけど、何もしないよりはずっとましだと思うので積極的に取り組んで頂きたいと思います。
リニア駅周辺地域	男性	50歳～59歳	コロナ対策をしっかりとってください。
リニア駅周辺地域	男性	50歳～59歳	北条地区に住んでいます。2回程新市長とのリニアの会議がありましたが、参加者が老人ばかりで若者がほとんどいませんでした。北条リニア対策委員はあてになりません。今一度若者をまじえてリニアの住民説明会を願いたい。10年前の北条地区の要望が全く反映されておらず工事だけが進んでいる状態です。市の見解を今一度お聞きたい。
リニア駅周辺地域	男性	50歳～59歳	コロナで全てが予定通りに行かなくなったと思う。コロナでネット利用、リモート利用が進み、リニアで人が移動する必要があることが実証され、このビジネススタイルが確立しつつある。ビジネスでリニアを利用しなければ、不確定な観光客以外に、地元住民が利用しなければ乗降者が6,800人／日なんてまず無理だと思う。再度リニアの計画を見直す必要があるのではないと思う。リニアは必要だと思うが、6,800人は絵に描いた餅になることは明白と考える。静岡県のこともあり、開通は遅れるのだから、この機会に考えるべきではないか…と素人ながら考えるのですが…。
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	このような大きなプロジェクトを進める際には並行し防災、防犯、そして防事故の対策を進めていくべき。できてから「まちづくり」を整備するというのは後手後手になる。せっかく若い市長になったのだから、様々な情報を取得して危険を予想して対策を講じて欲しい。
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	お疲れ様です。
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	ライブ、ミュージカル等は名古屋、松本に行かないといひものが見られないのが残念です。飯田にもよそから来てもらえるような文化ホールがほしいです。
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	今のままではリニアの駅ができてても飯田市や下伊那に人が留まらず通過してしまうような気がします。何とはわかりませんが飯田の駅に降りなければ飯田へ行こうという物を考えなければだと思ひます。飯田から外へ出ていった方達の意見を聞きたいです。
リニア駅周辺地域	女性	50歳～59歳	まちづくり委員や町会、組合などの負担が多いと感じます。もう少し負担が減れば住みやすい印象につながると思ひます。
リニア駅周辺地域	女性	70歳以上	座光寺スマートインターが出来、利便性が良くなったと思ひます。商バス停が出来、高速バスが止まってくればとても良いと思ひます。
その他地域	男性	18歳～24歳	質問がわかりづらい
その他地域	女性	18歳～24歳	・南信でも県大会ができる大きなスポーツ施設がほしい。・ファミレスやカフェなどのチェーン店を増やしてほしい。・県外からも足を混んでくれるぐらいの施設、モール、娯楽施設を作してほしい。
その他地域	男性	25歳～29歳	アップルロードの延長（上郷～座光寺区間）を早く進めてください。
その他地域	男性	25歳～29歳	税金を安くしてほしい。
その他地域	男性	25歳～29歳	人口減少とか言っているなら若者とかが住みやすい町にしてほしい。飯田は何も魅力感じません。市長さん、もっとがんばってほしい。1、若者からの言葉です。
その他地域	女性	25歳～29歳	町村のようにもって市民の気持ちを考えて行動してほしい。例）コロナささえあい券 一人3,000円（飯田市）商品券一人2～3万円分（町村）町村の方が人口が少ないのに一人あたりの保障が強い。飯田市は…。だから飯田から町村に出ていく人が多くなる。
その他地域	女性	25歳～29歳	福祉、医療の充実、拡充をお願いします。
その他地域	女性	25歳～29歳	水道代が高すぎる。リニア早く開通して欲しい、楽しみにしています。
その他地域	女性	25歳～29歳	私立病院の小児科の医者の入れ替わりがありすぎる。子供の医療費を無料化にしてほしい。大手のデパート、ショッピングモールを作してほしいです。リニアを作るに当たって駅周辺は色々人が寄ってくれるようなお店を沢山作らないと若者は特に寄らないと思ひます。発展させたいというには今何を進めてどんな企業を入れたいのかSNS等でもっと発信するべきだと思います。若者はほぼ関心ないと思ひます。
その他地域	女性	25歳～29歳	コロナ禍にあり大変なこと多いと思ひますが、リニア開通が良い刺激になるよう、産業や施設の整備、企業の誘致などに取り組んでほしいです。若者はあまり遊ぶところがないので…。

意見・要望

問38.飯田市に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。（FA）

その他地域	男性	30歳～39歳	人口減→地域衰退→若者流出が現状です。上伊那も含めた伊那谷に大学や大手企業を誘致しないと上のサイクルは加速すると思います。当地域の出生率は悪くないのでその子供らをいかに定住させるか。出たてで出ている人ばかりではないので、当地域の収入を上げる事が一番の解決策だと思います。全ては「人口」に限るのでは……。
その他地域	男性	30歳～39歳	何らかの広告塔を使って情報発信してもらいたい。飯田市がようやく日の目をあびる時だと思います。市、内外へのアピール、をしていただき、飯田市が下伊那の交通（鉄道）の軸となるようにしてもらいたい。
その他地域	男性	30歳～39歳	大型ショッピングモールなどを誘致してほしい。
その他地域	男性	30歳～39歳	もっと子育て環境を充実して欲しい。高森や豊丘などを参考にしてもらいたい。
その他地域	男性	30歳～39歳	応援しとるでな！
その他地域	男性	30歳～39歳	私も3年前に東京からUターンで飯田に戻りましたが県内の他の市町村に比べ飯田は地元でありながらも魅力に欠けると思います。飲食店もチェーン店ばかりがにぎわい、丘の上もシャッターが下りてばかりで休日も他の地域に出かける事が多いです。そういった中でリニアの駅が出来ても人が来るのがイメージできません。もっと若い世代が活躍できる地域になっていけば良いと思います。
その他地域	男性	30歳～39歳	飯田市を元気に！
その他地域	男性	30歳～39歳	市長が変わったら何をしたいのか分からない。コロナのPCR検査費用補助するから戻って来いという政策が昨年末にありましたが、もはや意味が分からない。他の首長がこぞって「県域をまたぐな！」と言っているにも関わらずにである。何故その判断をしたのか理解できない。大局的な見知から物事をお考え頂きたい！
その他地域	男性	30歳～39歳	・ゴミ袋が非常に高い ・リニアより前に基本的なインフラ（下水道、市道等）が誠意されていない地区がある。 ・市議会議員定数が過剰なため議員の質が低いように見える（本当に議論ができていいのか？）
その他地域	女性	30歳～39歳	子供が遊ぶ場所 晴れている時は公園などでいいが、天候の悪い時に子供を遊ばせる場所がない。
その他地域	女性	30歳～39歳	免許を返した老人のため交通手段を考えて欲しい。ひとりぐらし老人の家にフリーWi-Fiを！（便利なサービスがあってもスマホが安く使えないので利用できない）
その他地域	女性	30歳～39歳	子育てについて色々充実させてほしい。りんごんや丘の上でのイベント時など小さな子連れでのトイレ、おむつ替え、授乳、ミルクなど町中にもどこかそういう場が分かりやすくあると、町中のイベントなどへも行きやすくなると思う。屋内の広い子供が遊べる施設が欲しい。
その他地域	女性	30歳～39歳	現在妊娠中だが、飯田市の保育所（公私関係なく）は未満時の入所がしづらいと聞く。また、他町村のようにインフルエンザの予防補助など子育てについて手薄なところが多い印象。2人目を考えられる環境づくり、バックアップをしていただけるとありがたいです。
その他地域	女性	30歳～39歳	高齢者等の移動手段の確保
その他地域	女性	30歳～39歳	・分娩ができる医療機関が増えてほしい。 ・小さな子が自由に遊べる場所、公園が少ない。都内の方が小さくてもきれいに整備された公園が近くにくつもあった。車でわざわざ運転しないといけない公園だと不便。 ・小、中、公共のトイレをきれいにしてほしい。衛生面、高齢者が使いやすくしてほしい。 ・学校行事の縮小が悲しい。登山、スケート、スキー教室などは長野県人ならで、子供達が大きくなり県外に出た時"やったことがない"というのは悲しい。よく質問されたので。 ・リニア開通を楽しみにしていますが、茅野駅までの交通手段を整備してほしい。バス、電車（あずさに乗るため） ・HPのイベント情報をもう少し分かりやすくしてほしい。直前で中止が決まったものは、特に分かりやすくしてほしい。 ・比較的、住民税が高いと思います。地域産業が落ち込んでも変わらないのでしょうか。市役所職員の方のお給料も地域情勢にあわせて変化しないのですか？
その他地域	男性	40歳～49歳	キャンプ場を増やして欲しい。公園が沢山欲しい
その他地域	男性	40歳～49歳	・外部の人に飯田は道がわかりにくいと言われます。インター周辺と丘の上が分断していきにくいそうです。行政の出先機関はアップロードに移転してはどうでしょう。・テレワークはこれからも増加すると思われます。大平や千代などのキャンプ場でテレワーク出来る通信インフラ ・あと川で漁けんがないとあそべないのはおかしいです。漁業組合は若菜の放流してるかも知れないですが、漁業組合があるために水と緑に親しめる地方都市になれないのだと思います。以前、漁けんを買ってびつくりしました。
その他地域	男性	40歳～49歳	ゴミ袋が高い
その他地域	男性	40歳～49歳	都市開発の今後に期待しております。
その他地域	男性	40歳～49歳	自然や農業を生かしてないのもっと発達してほしい。休耕田や竹林、山を小学校の頃から手入れできる様に教育し、高校生では産業に発展できる様に農業の英才教育をしてほしい。芸術やスポーツをするために県外に出ないとできないので考えてほしい。
その他地域	女性	40歳～49歳	リニアの料金はいくらぐらいなのかを知りたいです。普通の人は高額だしたら乗らないと思う。乗れないと思う。現実にはきびしいですよ。
その他地域	女性	40歳～49歳	市議会議員の数を減らした方が良いと思います。多い気がします。高齢者など買い物へ行けない方が多いので、交通機関の充実を。もっと気軽に乗りやすいバスなど充実して欲しい。コミュニティーバスなど作って欲しい。他県で100円で乗れるバスを見ました。本数が少なく、行先などとてもわかりにくい。ネットを使える人はいいですが（買い物）、高齢者は使えない人が多い。生協も文字が小さくたのみづらいです。

意見・要望

問38.飯田市に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。（FA）

その他地域	女性	40歳～49歳	今、子供が大学3年生で県外の大学にいますが、私としては飯田に帰って就職してほしいと願っているのですが、そもそもコロナで募集がないのではないかと不安になります。集中資格取得コースの大原に通ってみようかな？。市役所に行けたら良いなあーと思ってます。下の子も高校3年生です。コロナで1年間何もできずに3年生となり飯田に英語の短大があれば良かったのですが、無いので飯田市からは離れてしまいます。地元に戻ってこれる世の中になると良いですね。
その他地域	女性	40歳～49歳	県内で唯一のリニア駅ができるわけですので、転居を余儀なくされた方への補償を十分にいただきたい。リニアで飯田市が活性化するための計画を着実にやってほしい。
その他地域	女性	40歳～49歳	福祉関係が他の町や郡に比べ劣る。人口減少の大きな要因ではないのか？。大きな病院もあるが人材育成が見合わず、適した医療を受けられない印象がある。コロナ禍で不安しかない。街の活気が無くリニア通過のみで終わるのではないかな。母子、父子家庭にも所得関係なくもう少し対応を考えてはどうか？。所得制限で全てひとくりにされるのはおかしい。
その他地域	女性	40歳～49歳	市内にゴミが少なくて良いが、ゴミ拾い活動などあれば参加したいと思います。街灯が少なく、暗い道路が多いと思う。せめて、子供たちの通学路、駅周辺には見直し、設置してほしいと思います。
その他地域	女性	40歳～49歳	小中学校の子供達全員にPC、良かったと思います。ぜひ、積極的に活用を上手にして頂きたいなと思います。先生方への負担も増えるかもしれませんが担任の先生によって違いが出る事があまりないようにして頂けたらと…願います。
その他地域	女性	40歳～49歳	長野市や松本市に比べると行く所や遊ぶ場所、魅力的な所が少ない。名古屋に近いわりに、東海の方の店が進出してきてもなく、リニアができてどのくらい栄えるのか楽しみです。いい所はそのままに、もっと発展してくるのを期待します。
その他地域	女性	40歳～49歳	街灯（防犯灯）が少ないのもっと増やしてほしい。
その他地域	女性	40歳～49歳	選挙の時、期日前投票場所をアップロード沿いに作ってほしい。会社勤めをしていると行きたくても期日前投票になかなか行けない。市役所は遠い。アップロード沿いの大型スーパー店内などに期日前投票場所を作れば、人流の多いところなので必ず投票率が上がると思う。色々な都合でなかなか作るのが難しいのかもしれないけれど、こういう意見はかなり多い。どうか検討いただきますようお願い申し上げます。
その他地域	女性	40歳～49歳	リニア開業に向け、飯田市民が協力して良い町にしてゆけたらと思います。
その他地域	女性	40歳～49歳	せっかくリニアが飯田に来るのだから来た人が来て良かった、また来たいと思う街づくりに期待します。地元のもの大きなショッピングモールのような施設があれば多くの人が来てくれると思います。リニアで来た人の足となるようなトローバスの運行で観光地めぐりなど楽しいと思います。
その他地域	女性	40歳～49歳	リニア新幹線開通後は、飯田市は今より他地域と繋がりが強くなる都市となると思います。市民のマインドが閉鎖的ではなくなるための情報発信を求めます。県内では岐阜県東濃地域と地理的に近いのですが、文化や情報交流が少なく感じます。リニア開通を通じ、同じ境遇である東濃（中津川等）とさらなる連携を図り、広域で効果的な魅力発信を期待します。
その他地域	男性	50歳～59歳	税金など収入面がきびしい反面、サービス、給付金等少なく、行政に対して不満を持っている市民のお声を多く聞きます。財源が少ないのであれば、企業の誘致とか、産業、観光、またスポーツ施設など充実させ、県外からの人が飯田へ来ていただくを早急に考えていかないと、リニア開通になり、現状より過疎化が進んでしまうのではと心配しています。
その他地域	男性	50歳～59歳	市長が変わってから市政の様子が市民に見えていない印象がある
その他地域	男性	50歳～59歳	人に優しいまちづくりをしてほしい。（教育、福祉、医療）
その他地域	男性	50歳～59歳	コロナに重大関心
その他地域	男性	50歳～59歳	立派な建物より実用的、便利な施設を求める。変な記念館とかはいらない。
その他地域	男性	50歳～59歳	介護、もっと家族の気持ちに寄りそって考えてほしい。相談しても人ごとにしか思っていない…機械的な態度
その他地域	男性	50歳～59歳	長野県お顔としての駅作り（京都駅の会談はすごい）や国際都市として国際会議ができる建物等、リニアを最大限に使ってほしい。長野市、松本市等つなげる在来線のリニア化（中央道に双つて）作れば良いと思います。
その他地域	女性	50歳～59歳	地域の活性化。大河ドラマの重要地になった場所等。もっと便乗商品を作ったり、その場所への観光には少しでも入場料を取ったり、積極的になるべき。ビザ屋等食べ物屋等、FC店を呼ぶべき。
その他地域	女性	50歳～59歳	リニアの整備など利用できるまでの現実性を感じることなく、静岡の問題などでどうなるのか見えない（姿が）。各方面（産業や住むこと）などからリニアに対する意識的な取り組みができれば良いと思う（もっと身近になるのでは？）。
その他地域	女性	50歳～59歳	リニアの飯田駅については、新幹線の岐阜羽島駅と同じ様にならない様になればと思います。最低限の税金投資でお願いします。

意見・要望

問38.飯田市に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。（FA）

その他地域	女性	50歳～59歳	どの情報もわかりにくい もっと情報を公開して欲しい イベントなどの情報の発信がおそいので参加できない（休日は仕事の為、事前に休みを取りたいが発信がおそい為休みの申請期限がすぎている）
その他地域	女性	50歳～59歳	自然も残り、食べ物も美味しく、住みやすい所ではあると思うけれど、年をとった時に病院への通院、買物などの交通手段が車に乘れなくなった時には困ってしまうと思うので、そういう意味では暮らしぶらい場所でもあると思うので、安心して年を取ってからも暮らせる良うな住みやすい所にしてもらいたいと思う。
その他地域	男性	60歳～69歳	1)リニア開通を機に県外から移住者が増える（増やす）政策が必要・子育てがしやすい環境作り・住宅コストが安価提供できる環境（在宅勤務者の取り込み） 2)企業誘致・都市部からの本社移転の積極的誘致・商業活性化、人口30万人の都市を目ざす 3)飯田から通学できるよう支援する
その他地域	女性	60歳～69歳	松尾地区にスーパーが増えて欲しいです。
その他地域	女性	60歳～69歳	飯田市を活性化したい 1.小布施のPAのような高速道路から降りなくても地元のものが買える仕組み、一般道からも入れて農業生活者の品物が安く供給できる事によりお互いが農協も活性化し消費者も喜ぶ施設づくり 2.自然を利用した大型のアスレチック、迷路みたいな都会の人が、子供達が楽しめる施設作り。魅力があれば遠くからでも子供に連れられて親も来る。3.遊休地を市が買い上げ、企業に誘致し、土地代を安く貸し、上がった利益から何パーセントかもらう方式。子供たちが働く魅力ある企業がないと言っているから。4.旧市内も個人の土地も大切ですが、まとまって大きな施設を作り、その中に入れればと思うが。郊外のイオンモールは魅力的で出かれます。大型の駐車場、一つの場所で色々楽しめる所。
その他地域	男性	70歳以上	リニア長野駅が開通されることにより、人流の多き市になり、廻りの市町村動きが活発化されると思います。一日も早く昔にこだわらず県庁と松本に移動願います。リニア開通によって南信州は活発になります。絶対に！。リニア I LOVE YOU GOODLUCK
その他地域	男性	70歳以上	県内他市の行政に比べて、市民の考え方が後ろ向きに思える。もっと飯田市以外の行政、市民の考え方を知る必要あり。飯田市民は行政に対して積極性が無さすぎだと思います。もっと前向きな考え方を持ちましょう。
その他地域	男性	70歳以上	魅力があるまちづくり、人口増
その他地域	男性	70歳以上	目玉となる産業、観光がない。工場誘致が必要。人形劇だけでは弱い。
その他地域	男性	70歳以上	・自然と歴史を守り、地域により使い分けをする。・日照時間の短い冬期通学生に街路灯がなく、安全信号、不用心、街路灯確認し設置を希望。下伊那農業高校、OIDE長姫高校 通学路
その他地域	男性	70歳以上	楽しい町作りしてほしい。今のままでは市内を歩いてみたいと感じません。
その他地域	男性	70歳以上	アップルロード、運動公園道路など主要道路ぞいの草取りがたりない。年3回はしたほうがよいと思う。
その他地域	男性	70歳以上	新市長が50年後は飯田は住みよい町といっていました但现在でなければ駄目です。高齢社会で今の60代70代の人達はこの世にはいません。今現在の事でなければだめです。
その他地域	女性	70歳以上	税金を安くしていただきたいです。これから高齢化の時代になりますが、仕事面でも生活が困難になることも多々あるかと？（仕事がなくて）。後継者がいなくてその後はどうすれば良いのか？。
その他地域	女性	70歳以上	年金生活者にとってもう少し安心して生活できる様にしてほしい。車に乘れなくなった時の交通手段、税がもう少し安くなる様に（毎年年金は下がっていくが税は重いまま）
その他地域	男性	18歳～24歳	商業施設の誘致 若者が魅力を感じる企業や産業を増やす。観光に発展。全国に発信できるようなイベントの実施。
その他地域	男性	18歳～24歳	飯田市の人口減少について、労働の賃金を上げる。子育て、医療費を減額する。更に上記に当たって、医療や福祉、保育、学校など労働者に対してもっと待遇を良くするべきだと思う。給料が全体的に安い所に保育料や医療費が高い。労働者もやりがいがあるようにしてやめていく。
その他地域	男性	25歳～29歳	周囲の自治体との連携による飯田線の観光活用と利用促進
その他地域	男性	25歳～29歳	介護、福祉、保育職の手厚い保障をもう少し良くしてもらえると良いかなと思いますがいかがでしょうか。
その他地域	女性	25歳～29歳	ホワイト企業を増やしてください。
その他地域	男性	40歳～49歳	若者が定住できる、若者が来る環境にない。産業ばかりではなく、大学等を積極的に誘致する戦略も考えて欲しい
その他地域	男性	40歳～49歳	おつかれさます。
その他地域	女性	40歳～49歳	川路公民館がボロくてあまり積極的に行きたい気持ちにならないので新しくするか改装するなどしてほしいと思う。
その他地域	男性	50歳～59歳	農地の転用を積極的に
その他地域	男性	50歳～59歳	若者がこの地域で育ち、都会へ出ることなく、地域で育てることができる環境がないと、資本は全て都会へ流れるだけ。リニア駅がどのよりも、大学が専修学校など、若者がこの地域に残ることが出来れば、経済は循環する。本当の意味で。駅前の整備よりもそちらが先。
その他地域	男性	60歳～69歳	地区の集まりの行事が多くプライベートの時間が割かれる。若者が帰ってこない理由の一つです。

意見・要望

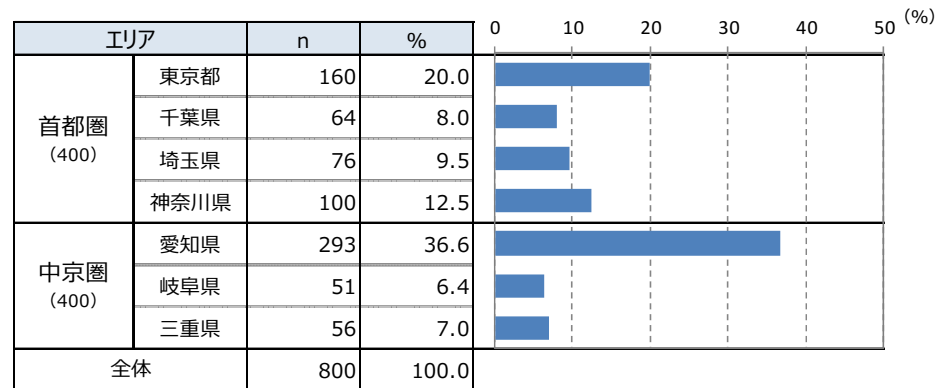
問38.飯田市に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。（FA）

その他地域	女性	60歳～69歳	私の子供はたまたま飯田に就職して、飯田に住んでくれています。しかし、大学卒業をする時、飯田に勤めたい企業が少ない事が一番悩みました。これからどんどん企業誘致を促進して、飯田に住む人を増やして欲しい。そしたら孫だって都会に出ていなくても近くに来てくれると思う。そんなささいな願いです。
その他地域	女性	60歳～69歳	リニア新幹線の利点を最大限活用し自然環境、5G（デジタル）の取り入れ、未来の農業の有り方を含め新都市（未来都市案）としての飯田を造り上げてほしい。
その他地域	男性	70歳以上	ソフトボールの整備されたグラウンドがほしい
その他地域	女性	-	子育て世代を大切にしてほしい。子は宝です。＝飯田市の宝 輝いていける様に税金の無駄はやめて下さい。
その他地域	女性	30歳～39歳	子供の医療費の窓口負担を無料にしてほしい。多子世帯へ給付金がほしい。都会にある店を飯田でも開店してほしい。
その他地域	男性	40歳～49歳	・不登校に対する学校の対応を調査し、細かい所まで親に情報を提供すべきだと思う。不登校の子が引きこもりになることを防げると思うし、そういった対応が高校の中退者を減らせる事につながっていると思う。・飯田市の財政の事もあるので一概には言えないが、中学迄の児童手当を18歳までにしてほしい。・ひとり親世帯の月の手取り、10万以上になるとひとり親手当を支給されないのはおかしいと思う。月10万円以下で生活するのは苦しいと思う。きちんと働いているシングルさん達がいるのを知るべきだと思う。逆に手当をもらうために働かないシングルさんがいるのを調べるべきだと思う（意見のみ 女 45歳）
その他地域	女性	40歳～49歳	福祉医療の点で、他の市や県の人たちからすると、500円でも出すことが「遅れている」と感じるようです。リニアは、とりあえず一度保留にしていきたいです。その分、おちつくまでは飯田市にいる人たちを優先して欲しいです。「リニアが来るより地元を良くしてくれ」という声を聞きます。私もその一人です。どうぞ宜しくお願いします。
その他地域	女性	40歳～49歳	飯田市は住みやすい所だと思います。もっと沢山の若者が定住してくれるような町作りを願っております。
その他地域	女性	40歳～49歳	いろいろと、残念で、期待がもてない。
その他地域	女性	50歳～59歳	市内中の人間が集まるような、大型の公園ができればいいと思います。レジャー、ウォーキング、ピクニック、スポーツ系等、すべてができるような広い公園（駐車場含め）。大型店舗に集まるくらいの人数が利用できる、代表的な自然公園があるのはいろんな意味でいいと思います。
その他地域	男性	60歳～69歳	リニアにより飯田市が発展することを期待している。新しい駅周辺の整備が遅れている。
その他地域	女性	25歳～29歳	・情報の伝達をより速く正確にしてほしい。・田舎ならではの分らないが、それによる差別や偏見などがなくなってほしい。（コロナにかかった、かかってない等に対するイヤがらせなど）
その他地域	女性	30歳～39歳	かぐらの湯を見捨てないで下さい。
その他地域	男性	60歳～69歳	ゴミ処理機購入補助で想定外の設置方法をして申請したら、想定外だったという事で却下された。その程度の職員しかいない。教育長は答弁でコロナ対策費を出すといったのに、申し出たら却下された。職員に尋ねたら返答すらない。民地に建物を建てたのに地代を払わない。担当者を訪ねたが返答がない。

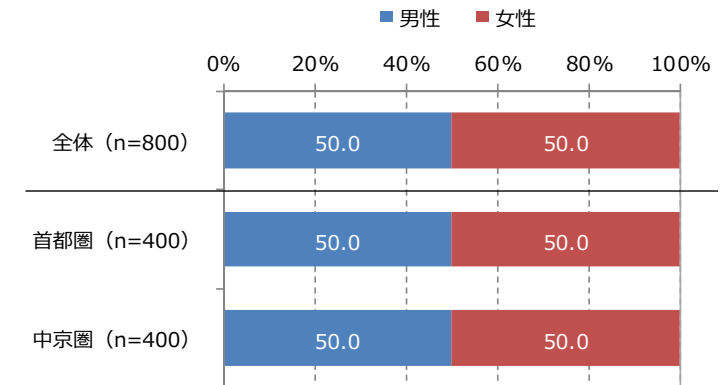
**飯田市外居住者向けアンケート調査
(首都圏・中京圏)**

回答者属性

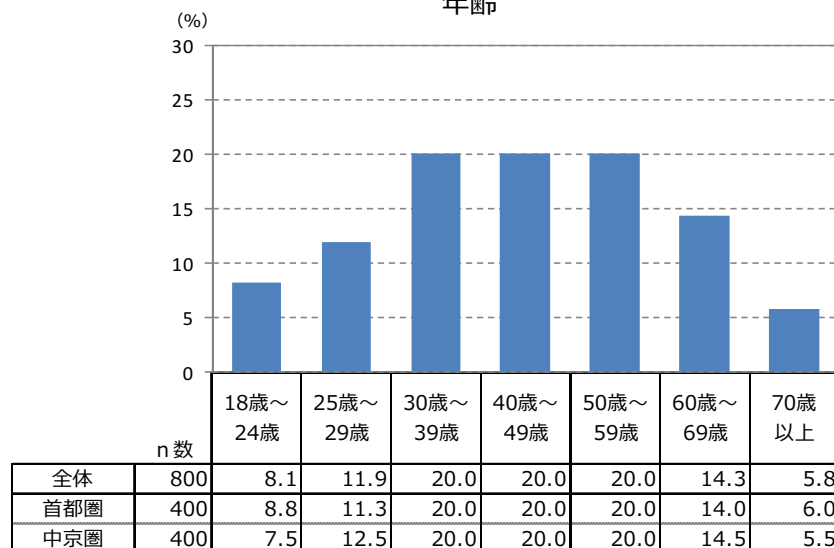
居住地



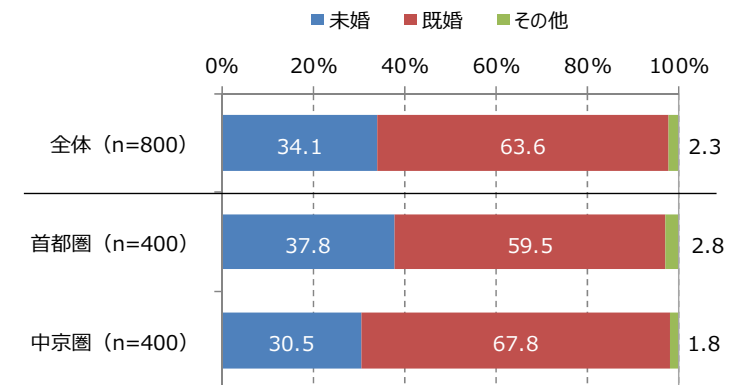
性別



年齢



未婚既婚



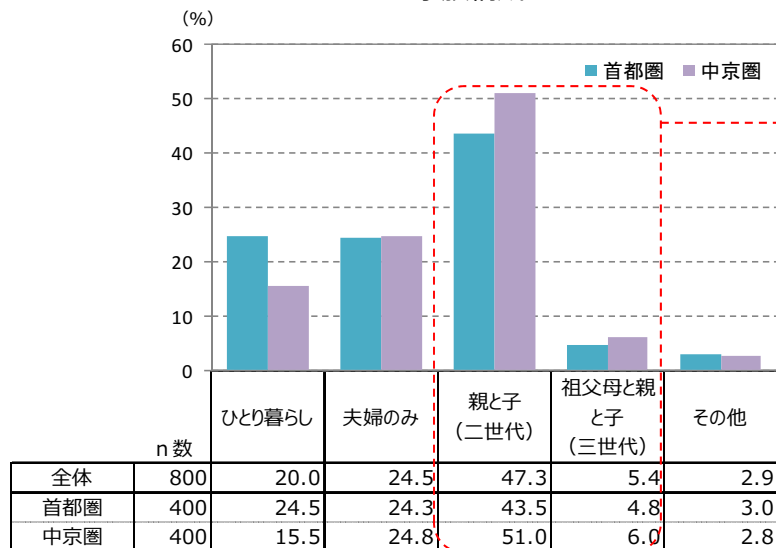
回答者属性

問2.同居している方の家族構成を教えてください。(SA)

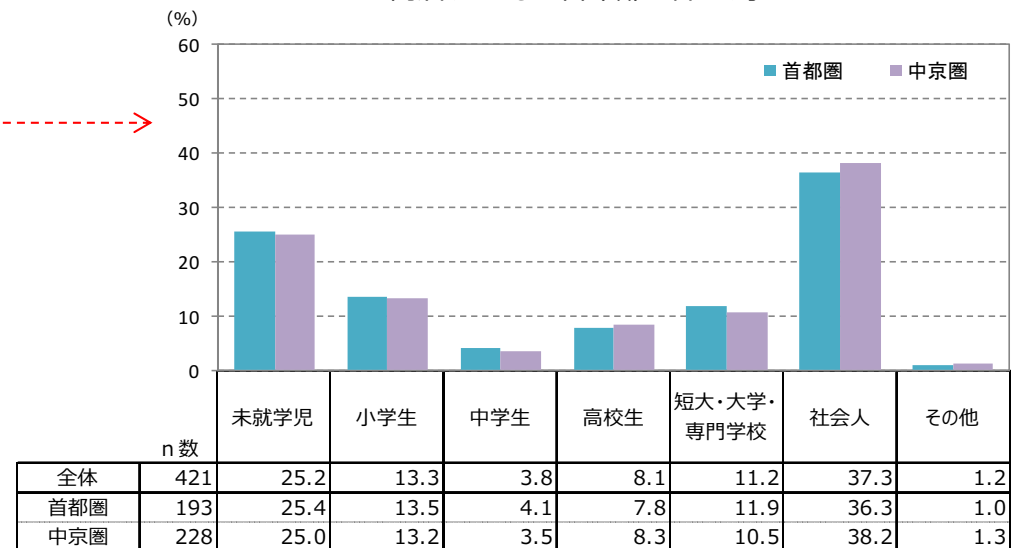
問3.同居しているお子さんのうち、「一番年齢が若いお子さん」の学齢を教えてください。ご自身が家族構成の「子」にあたる場合はご自身について教えてください。(SA)

- ・首都圏は中京圏よりも「ひとり暮らし」の比率が高い。
- ・中京圏は首都圏と比べて「親と子（二世代）」の比率が高い。

家族構成



同居している一番年齢の若いお子さん



回答者属性

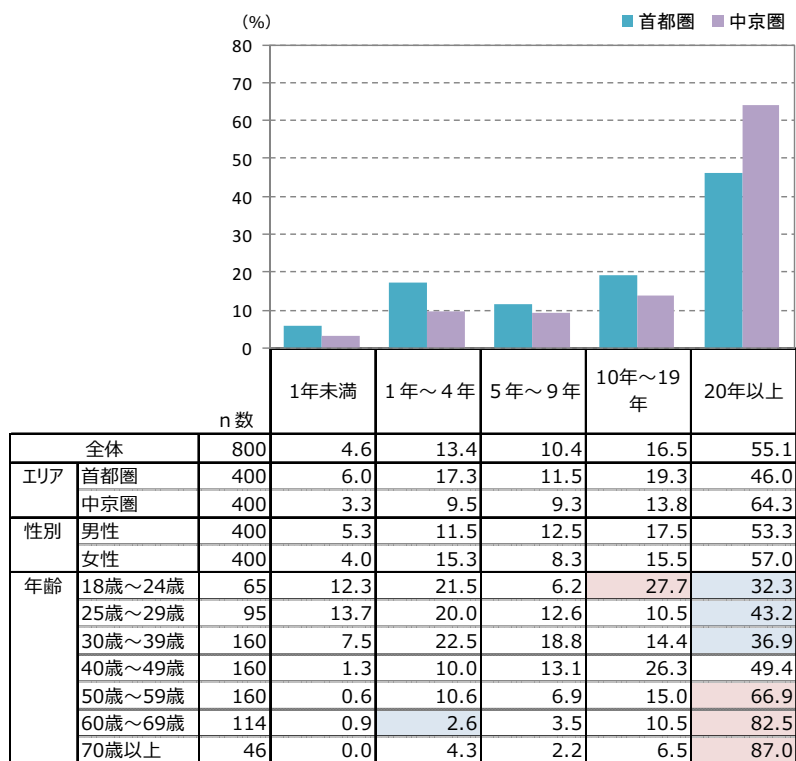
問4.現在お住まいの地域（都道府県）には、どのくらいの期間住んでいますか。（居住年数）（SA）

問7.世帯年収について教えてください。（SA）

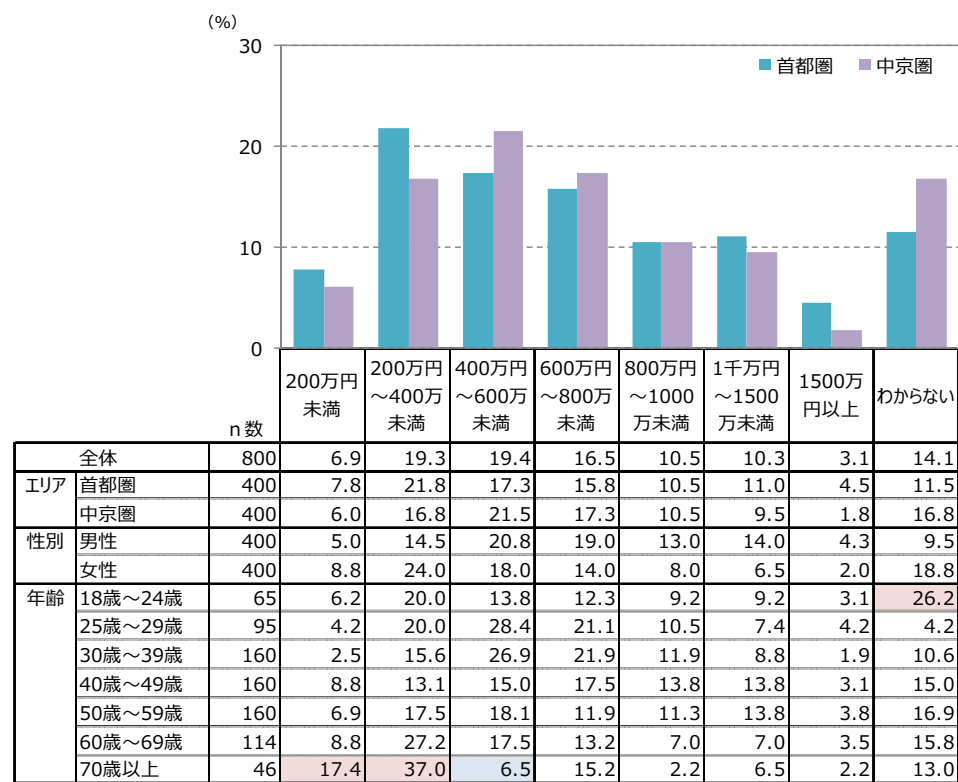
・現在の居住地の居住年数は、中京圏が「20年以上」が64%で、首都圏（46%）と比べて長期間居住している人の比率が高い。

・世帯年収は、首都圏は中京圏と比べて「400万円未満」「1,000万円以上」の比率がそれぞれ高い。

居住年数



世帯年収

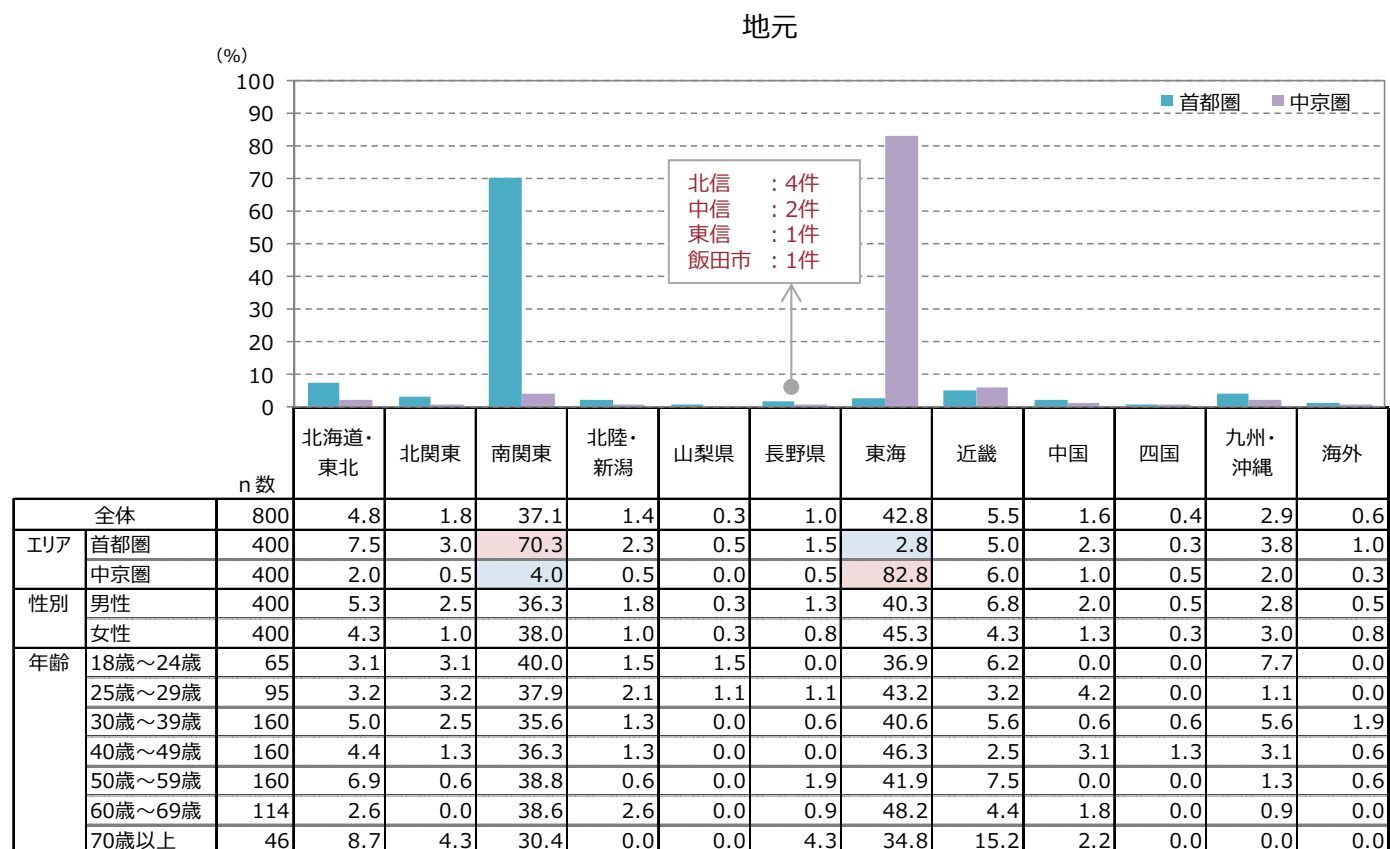


回答者属性

問5.あなたの地元（生まれ育った地域：20歳になるまでに長く住んだ地域）をお知らせください。（SA）

問6.出身地（長野県内）について、具体的な地域を教えてください。（SA） ※長野県が地元の方

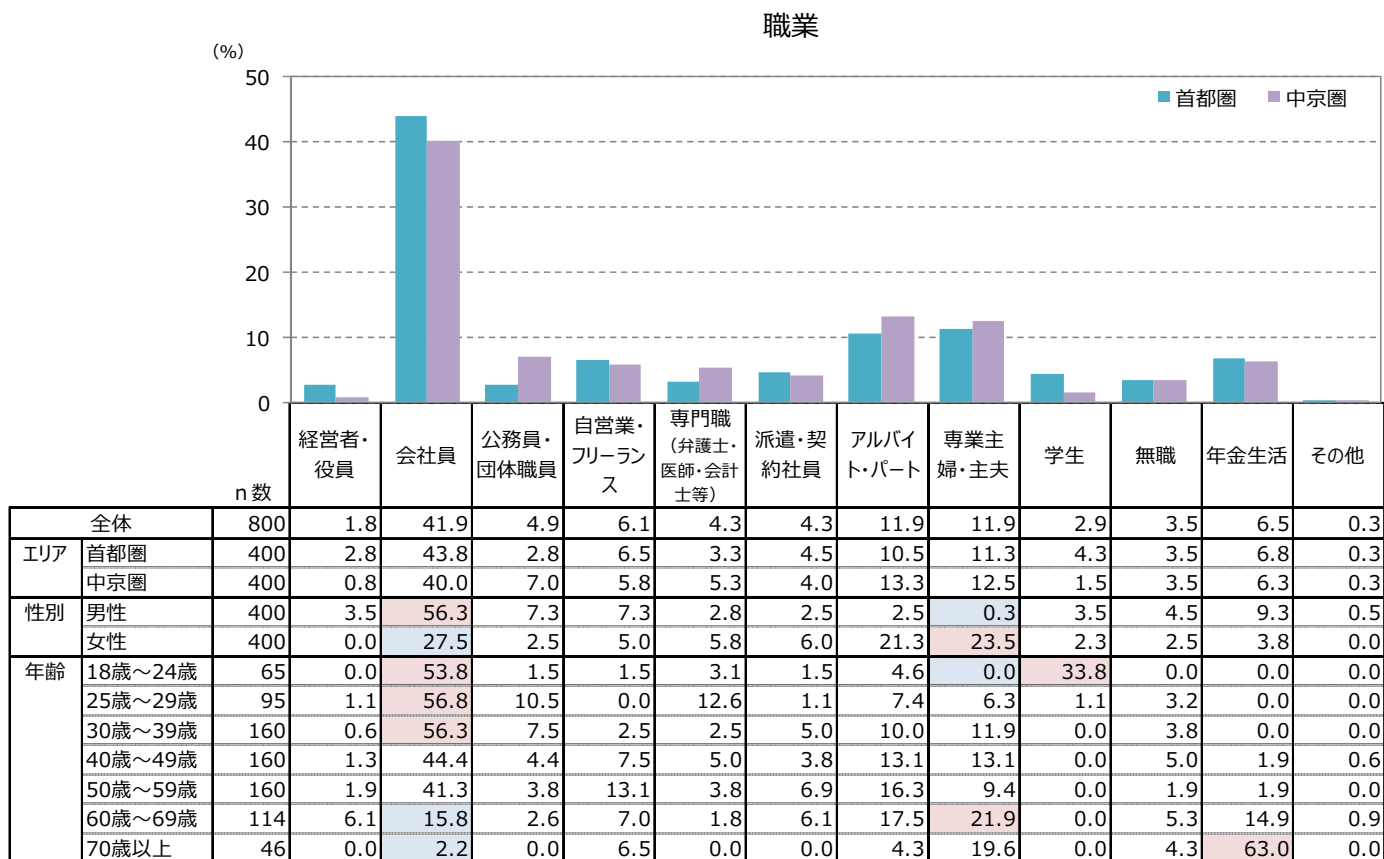
- ・首都圏の70%が「南関東」、中京圏の83%が「東海」エリアとなっており、現在居住地のエリアが地元の人が大半を占めている。
- ・地元（生まれ育った地域：20歳になるまでに長く住んだ地域）で「長野県」出身者は1%（8件）。このうち、飯田市出身者は1件となっている。



回答者属性

問8.職業を教えてください。(SA)

- ・会社員が42%を占めている。
- ・経営者・役員、会社員・公務員・団体職員、派遣・契約社員、自営業・フリーランス、専門職（弁護士・医師・会計士）などの有職者は全体の63%を占めている（アルバイトを除く）。
- ・テレワークと関係性の強い、「経営者・役員」、「会社員」「公務員・団体職員」「派遣・契約社員」は53%を占めている。
- ・上記について、首都圏、中京圏で大きな差は見られない。



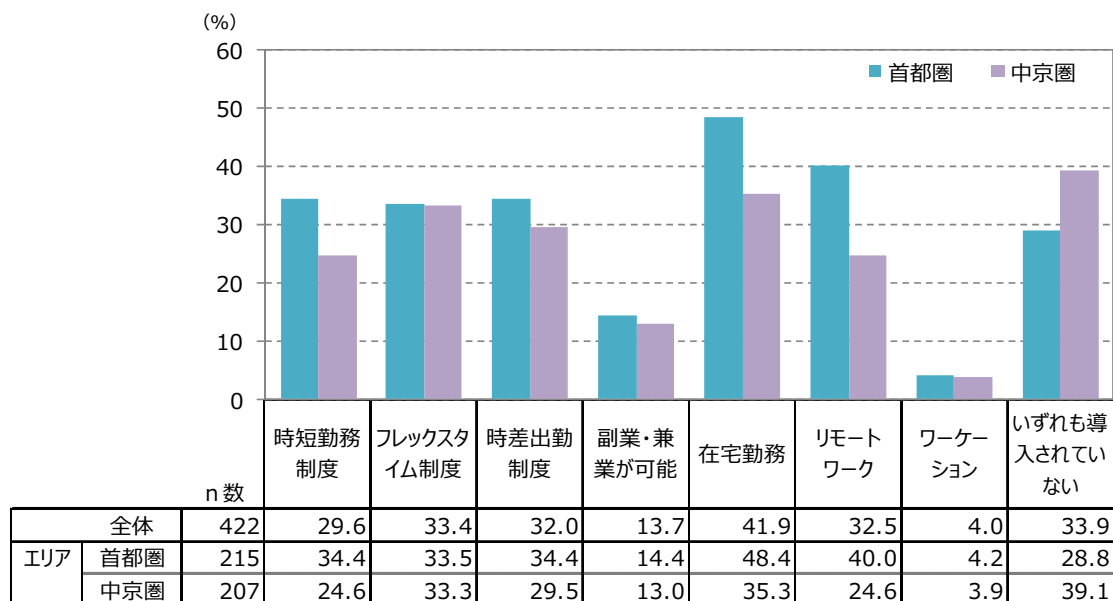
テレワークの状況

問9.所属する企業や団体で、導入されている制度、利用可能な制度をすべてお選びください。(MA) ※経営者・役員、会社員・公務員・団体職員、派遣・契約社員

- ・経営者・役員、会社員・公務員・団体職員、派遣・契約社員の方に、職場で導入されている制度を尋ねたところ、首都圏と中京圏では、「在宅勤務」、「リモートワーク」、「時短勤務制度」などで導入率に差が見られ、首都圏の方が導入率が高い。
- ・「在宅勤務」は、首都圏（48%）、中京圏（35%）
- ・「リモートワーク」は、首都圏（40%）、中京圏（25%）

在宅勤務	自宅や実家で働くこと
リモートワーク	カフェやコワーキングスペース、地方など離れた(リモート)場所で働くこと
テレワーク	在宅勤務やリモートワークの双方を含む働き方
ワーケーション	リゾート地や近場のホテルなどの <u>休暇先</u> においてテレワークで仕事をする
二地域居住	都会に暮らす人が、週末や、一年のうちの一定期間を地方で暮らすこと

所属企業・団体で利用可能な制度



テレワークの状況

問10.所属する企業や団体のテレワークに対する取り組み状況を教えてください。(SA) ※経営者・役員、会社員・公務員・団体職員、派遣・契約社員

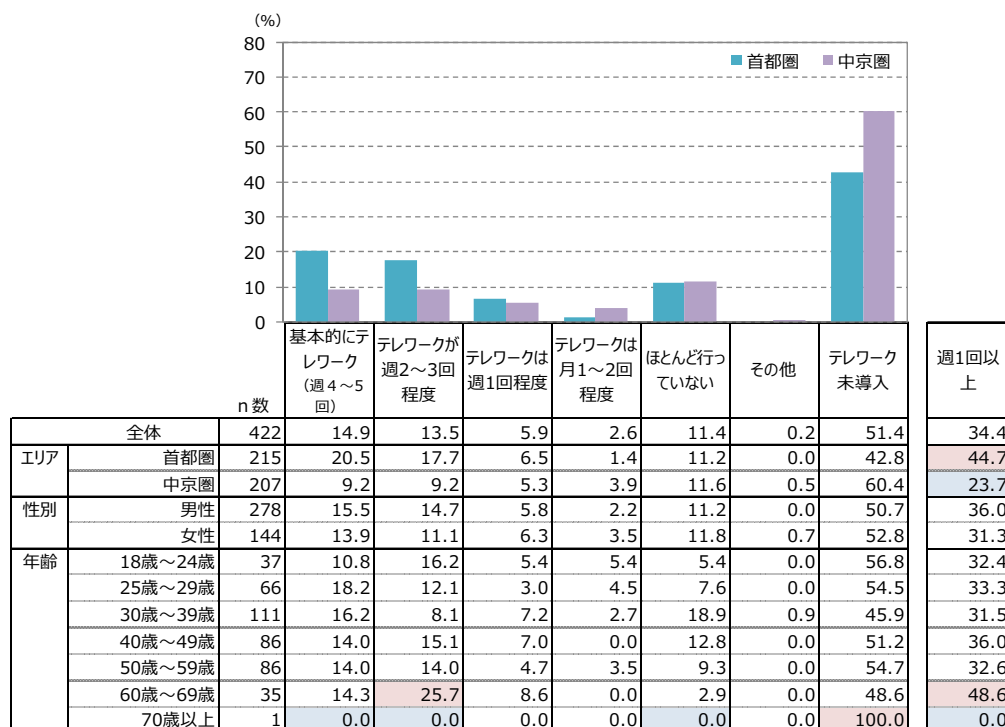
問11.所属する企業や団体で、テレワークを導入していると回答された方にお伺いいたします。

テレワークは、コロナ禍の期間限定の制度ですか。(コロナ終息後も利用可能ですか) 決定していない場合、見通しでも構いませんのでお答えください。(SA) ※職場でテレワーク導入している人

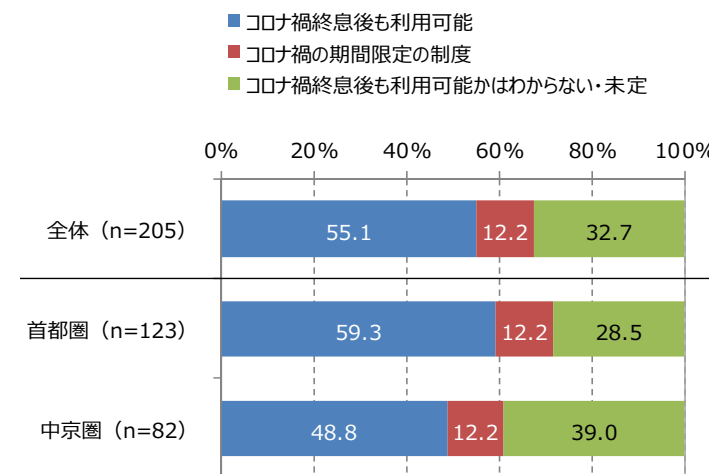
- ・経営者・役員、会社員・公務員・団体職員、派遣・契約社員の方に、所属する企業や団体のテレワークに対する取り組み状況を尋ねたところ、「週1回以上」の比率が、首都圏（45%）、中京圏（24%）とエリアによる差が大きい。
- ・年代別では、60代の「週1回以上」の比率が49%と他の年代と比較して高い。

- ・所属する企業や団体で、テレワークを導入している人に、コロナ禍後のテレワーク制度の見通しを尋ねたところ、「コロナ禍終息後も利用可能」の比率が、首都圏（59%）、中京圏（49%）となっており、いずれも、コロナ禍終息後も「テレワーク」による働き方が一定の割合を占める見込みである。

テレワークの取り組み状況



コロナ禍後のテレワーク制度の見通し



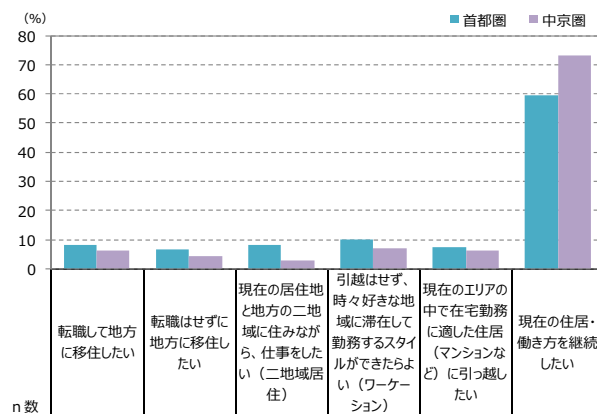
在宅勤務	自宅や実家で働くこと
リモートワーク	カフェやコワーキングスペース、地方など離れた(リモート)場所で働くこと
テレワーク	在宅勤務やリモートワークの双方を含む働き方
ワーケーション	リゾート地や近場のホテルなどの 休暇先 においてテレワークで仕事をする
二地域居住	都会に暮らす人が、週末や、一年のうちの一定期間を地方で暮らすこと

コロナ禍による今後の働き方・居住地に対する考え方（有職者）

問12.コロナ禍によって、ご自身の今後の働き方・居住地に対する考えに変化はありましたか。最も当てはまるものを1つお選びください。（SA）

※経営者・役員、会社員・公務員・団体職員、派遣・契約社員、自営業・フリーランス、専門職（弁護士・医師・会計士）

- ・経営者・役員、会社員・公務員・団体職員、派遣・契約社員、自営業・フリーランス、専門職（弁護士・医師・会計士）などの有職者の方に、コロナ禍によって、自身の今後の働き方・居住地に対する考えに変化があったかを尋ねた。
- ・「転職して地方に移住したい」が7%、「転職はせずに地方に移住したい」が6%、「二地域居住」が6%、「ワーケーション」が8%で、移住・ワーケーション意向者は合計27%を占めている。
- ・エリア別では、首都圏が33%、中京圏が20%と、首都圏の方が移住・ワーケーション意向者の比率が高い（二地域居住意向者の比率がやや差がある）。
- ・年代別でみると、年代が低い層ほど、移住・ワーケーション意向者の比率が高い傾向が見られる。
- ・未婚別では未婚者、家族構成別ではひとり暮らしの人で、移住・ワーケーション意向者の比率が高い傾向が見られる。
- ・高校生以下の子どもがいる人では「現在の住居・働き方を継続したい」が71%と高いが、子どもの有無によって移住・ワーケーション意向者の比率に差は見られない。
- ・世帯年収別でみると、世帯年収が1,000万円以上の人は「ワーケーション」の比率が15%など、移住・ワーケーション意向者の比率が41%と高い。
- ・勤務形態別でみると、テレワークが週4～5日（ほぼ毎日）の人は、「ワーケーション」が19%と高い。



	n 数	7.3	5.5	5.5	8.3	6.9	66.3	26.7
全体	505	7.3	5.5	5.5	8.3	6.9	66.3	26.7
エリア	首都圏	254	8.3	6.7	8.3	9.8	7.5	59.4
	中京圏	251	6.4	4.4	2.8	6.8	6.4	73.3
性別	男性	318	9.1	7.9	6.0	8.5	6.0	62.6
	女性	187	4.3	1.6	4.8	8.0	8.6	72.7
年齢	18歳～24歳	40	7.5	7.5	12.5	12.5	10.0	50.0
	25歳～29歳	78	10.3	6.4	7.7	11.5	7.7	56.4
	30歳～39歳	119	9.2	8.4	5.0	8.4	9.2	59.7
	40歳～49歳	106	8.5	2.8	6.6	9.4	4.7	67.9
	50歳～59歳	113	5.3	4.4	2.7	5.3	5.3	77.0
	60歳～69歳	45	0.0	4.4	2.2	4.4	6.7	82.2
	70歳以上	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
未婚	未婚	211	9.5	4.7	6.2	10.9	7.1	61.6
	既婚	285	6.0	6.3	5.3	6.7	6.7	69.1
家族構成	ひとり暮らし	124	16.9	4.8	6.5	7.3	9.7	54.8
	夫婦のみ	103	5.8	9.7	2.9	2.9	11.7	67.0
	親と子（二世帯）	238	4.2	4.6	5.9	11.8	3.8	69.7
	祖父母と親と子（三世帯）	24	0.0	0.0	8.3	4.2	0.0	87.5
子ども	高校生以下の子どもがいる	140	5.0	5.7	7.9	7.9	2.9	70.7
	いない	365	8.2	5.5	4.7	8.5	8.5	64.7
居住年数	4年未満	103	17.5	8.7	9.7	5.8	8.7	49.5
	5年～9年	61	6.6	13.1	1.6	9.8	13.1	55.7
	10年～19年	84	8.3	3.6	7.1	9.5	8.3	63.1
	20年以上	257	3.1	3.1	4.3	8.6	4.3	76.7
世帯年収	200万円未満	15	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	86.7
	200万円～400万未満	90	10.0	5.6	6.7	3.3	7.8	66.7
	400万円～600万未満	106	10.4	5.7	5.7	8.5	8.5	61.3
	600万円～800万未満	88	6.8	8.0	5.7	6.8	6.8	65.9
	800万円～1000万未満	66	1.5	4.5	1.5	9.1	4.5	78.8
	1000万円以上	88	11.4	6.8	8.0	14.8	9.1	50.0
	わからない	52	0.0	1.9	5.8	9.6	0.0	82.7
勤務形態	週4～5回	63	7.9	6.3	9.5	19.0	7.9	49.2
	テレワークが週2～3回程度	57	7.0	7.0	10.5	8.8	5.3	61.4
	テレワークは週1回程度	25	4.0	8.0	12.0	8.0	16.0	52.0
	テレワークは月1～2回程度	11	18.2	9.1	18.2	0.0	0.0	54.5
	ほとんど行っていない	48	8.3	10.4	0.0	8.3	6.3	66.7
	テレワーク未導入	217	7.4	3.2	3.2	8.3	5.5	72.4

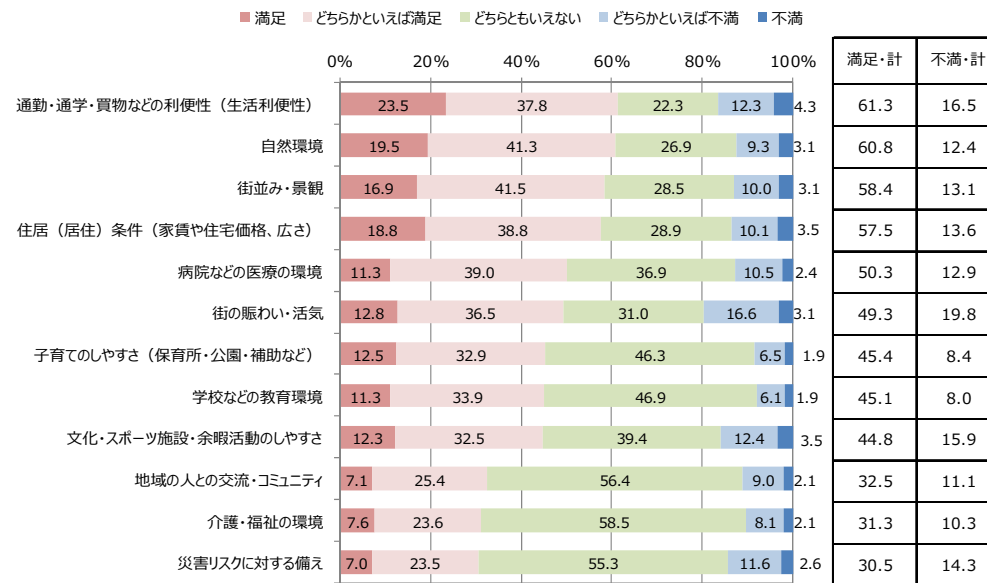
現在の居住地域に対する評価

問13.現在お住まいの地域（生活環境・仕事環境・ライフスタイル）に対してどのように感じていますか。（SAMT）

・現在お住まいの地域（生活環境・仕事環境・ライフスタイル）に対してどのように感じているか、満足度を尋ねたところ、「通勤・通学・買い物などの生活利便性」「自然環境」が6割程度で最も高い。次いで、「街並み景観」（58%）、「住居条件」（58%）、「病院などの医療の環境」（50%）などが続いている。

・飯田市民に対するアンケート結果と比較すると、飯田市の方が「自然環境」に対する満足度が26%高い。

・一方で、「街の賑わい」（-39%）、「通勤・通学・買い物などの生活利便性」（-30%）、「文化・スポーツ施設・余暇活動のしやすさ」（-24%）、「病院などの医療の環境」（-17%）などは飯田市民の満足度の方が低い。



満足度・計についての比較

	飯田市外	飯田市	飯田市-飯田市外
自然環境	60.8	86.9	26.1
街並み・景観	58.4	58.8	0.4
文化・スポーツ施設・余暇活動のしやすさ	44.8	20.6	-24.1
街の賑わい・活気	49.3	10.3	-38.9
通勤・通学・買い物などの利便性（生活利便性）	61.3	31.1	-30.1
住居（居住）条件（家賃や住宅価格、広さ）	57.5	43.2	-14.3
子育てのしやすさ（保育所・公園・補助など）	45.4	33.7	-11.6
学校などの教育環境	45.1	37.0	-8.2
介護・福祉の環境	31.3	25.5	-5.8
病院などの医療の環境	50.3	33.3	-16.9
地域の人との交流・コミュニティ	32.5	33.3	0.8
災害リスクに対する備え	30.5	18.8	-11.7

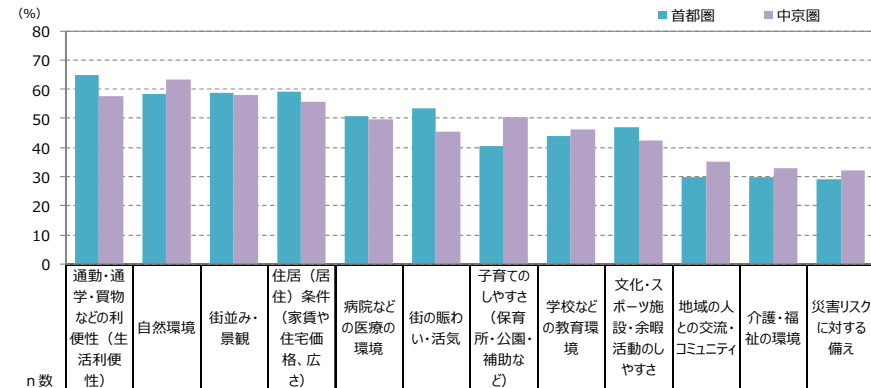
現在の居住地域に対する評価（満足・計）

問13.現在お住まいの地域（生活環境・仕事環境・ライフスタイル）に対してどのように感じていますか。（SAMT）

- ・現在お住まいの地域（生活環境・仕事環境・ライフスタイル）に対してどのように感じているかについて、満足+どちらかといえば満足の合計値でクロス集計を実施した。
- ・エリア別でみると、首都圏では「街の賑わい」「通勤・通学・買い物などの利便性」が中京圏と比較して高い。中京圏では「子育てのしやすさ」の満足度が50%で、首都圏（41%）と比較して差が大きい。

- ・年収別でみると、年収1,000万円以上の人は、「子育てのしやすさ」「学校などの教育環境」「文化・スポーツ施設・余暇活動のしやすさ」「介護福祉の環境」「災害リスクに対する備え」などに対する満足度が高い。

- ・移住や二地域居住、ワーケーションの関心の有無によって、現在の居住地域に対する満足度に差があるかをみると、全般的に大きな差は見られない

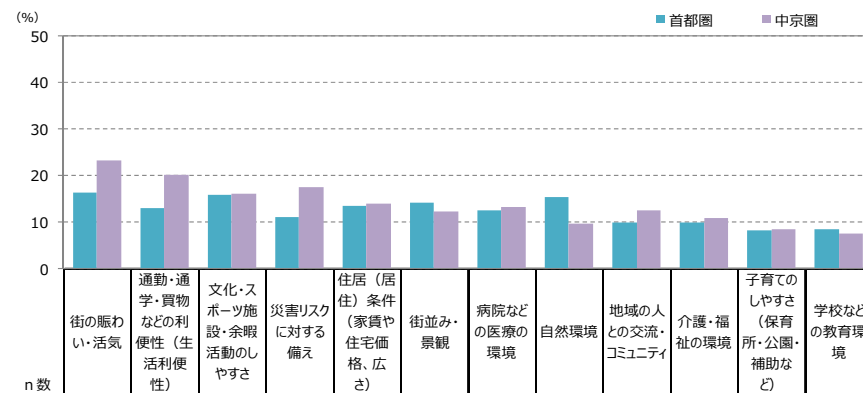


	n数	61.3	60.8	58.4	57.5	50.3	49.3	45.4	45.1	44.8	32.5	31.3	30.5
全体	800												
エリア	首都圏	400	65.0	58.3	58.8	59.3	50.8	53.3	40.5	44.0	47.0	29.8	29.0
	中京圏	400	57.5	63.3	58.0	55.8	49.8	45.3	50.3	46.3	42.5	35.3	32.0
性別	男性	400	59.5	58.3	58.3	55.3	50.8	48.3	45.0	44.3	43.5	31.0	32.3
	女性	400	63.0	63.3	58.5	59.8	49.8	50.3	45.8	46.0	46.0	34.0	28.8
年齢	18歳～24歳	65	58.5	55.4	55.4	61.5	49.2	58.5	50.8	53.8	46.2	43.1	44.6
	25歳～29歳	95	66.3	66.3	62.1	58.9	53.7	55.8	48.4	44.2	53.7	36.8	35.8
	30歳～39歳	160	62.5	60.6	59.4	55.6	46.9	50.6	45.0	38.8	45.0	28.1	22.5
	40歳～49歳	160	61.9	60.6	61.3	53.8	53.1	51.9	46.9	49.4	45.6	31.9	33.1
	50歳～59歳	160	56.3	57.5	51.3	52.5	47.5	40.6	38.8	41.9	38.8	25.6	26.9
	60歳～69歳	114	62.3	65.8	59.6	65.8	54.4	43.0	43.9	44.7	41.2	36.0	28.9
	70歳以上	46	63.0	56.5	63.0	65.2	45.7	54.3	54.3	50.0	41.3	30.4	34.8
未婚	未婚	273	63.0	58.6	56.8	54.2	45.1	49.8	34.1	37.7	42.5	29.7	27.1
	既婚	509	60.1	61.3	59.3	58.7	52.7	48.5	51.3	49.1	45.4	34.2	32.6
子ども	高校生以下の子どもがいる	212	59.9	62.7	61.8	59.9	56.6	50.9	64.2	57.1	45.3	36.8	32.5
	いない	588	61.7	60.0	57.1	56.6	48.0	48.6	38.6	40.8	44.6	31.0	29.8
世帯年収	200万円未満	55	50.9	61.8	50.9	45.5	34.5	36.4	29.1	41.8	34.5	23.6	23.6
	200万円～400万未満	154	63.6	56.5	59.1	58.4	48.7	48.7	38.3	37.0	42.2	29.9	26.6
	400万円～600万未満	155	60.0	59.4	58.7	49.7	45.8	46.5	41.9	41.3	39.4	30.3	24.5
	600万円～800万未満	132	65.9	67.4	62.9	63.6	54.5	58.3	52.3	51.5	34.8	29.5	36.4
	800万円～1000万未満	84	65.5	64.3	53.6	64.3	54.8	51.2	47.6	45.2	45.2	38.1	29.8
	1000万円以上	107	68.2	59.8	61.7	63.6	59.8	54.2	56.1	55.1	58.9	40.2	44.9
	わからない	113	49.6	58.4	55.8	54.9	48.7	43.4	40.7	45.1	38.9	29.2	27.4
職業	有職者（アルバイト含む）	600	63.7	62.2	59.8	57.8	51.3	50.8	46.5	45.3	47.3	32.3	32.5
	学生・無職等	200	54.0	56.5	54.0	56.5	47.0	44.5	42.0	44.5	37.0	33.0	24.5
関心度	移住 関心あり	166	64.5	63.3	62.7	55.4	53.0	52.4	44.0	41.0	47.6	31.9	36.7
	関心なし	339	64.0	60.8	60.8	60.2	51.0	51.9	47.5	46.6	48.7	33.9	31.6
関心度	二地域居住 関心あり	196	66.8	62.8	61.2	55.6	52.6	52.6	41.8	39.8	45.9	32.1	36.7
	関心なし	309	62.5	60.8	61.5	60.5	51.1	51.8	49.2	47.9	49.8	34.0	31.1
関心度	ワーケーション 関心あり	116	68.1	57.8	60.3	54.3	53.4	51.7	42.2	41.4	47.4	31.0	33.6
	関心なし	389	63.0	62.7	61.7	59.9	51.2	52.2	47.6	45.8	48.6	33.9	33.2

現在の居住地域に対する評価（不満・計）

問13.現在お住まいの地域（生活環境・仕事環境・ライフスタイル）に対してどのように感じていますか。（SAMT）

- ・現在お住まいの地域（生活環境・仕事環境・ライフスタイル）に対してどのように感じているかについて、不満+どちらかといえば不満の合計値でクロス集計を実施した。
- ・エリア別でみると、首都圏では「自然環境」、中京圏では「街の賑わい」「通勤・通学・買物などの利便性」「災害リスクに対する備え」などがそれぞれ比較すると高い。
- ・移住や二地域居住、ワーケーションの関心の有無によって、現在の居住地域に対する不満度に差があるかをみると、全般的に大きな差は見られないが、強いてあげると、二地域居住に関心がある人は「住居条件」に対する不満が17%と、関心がない人（10%）と比べてやや高い。

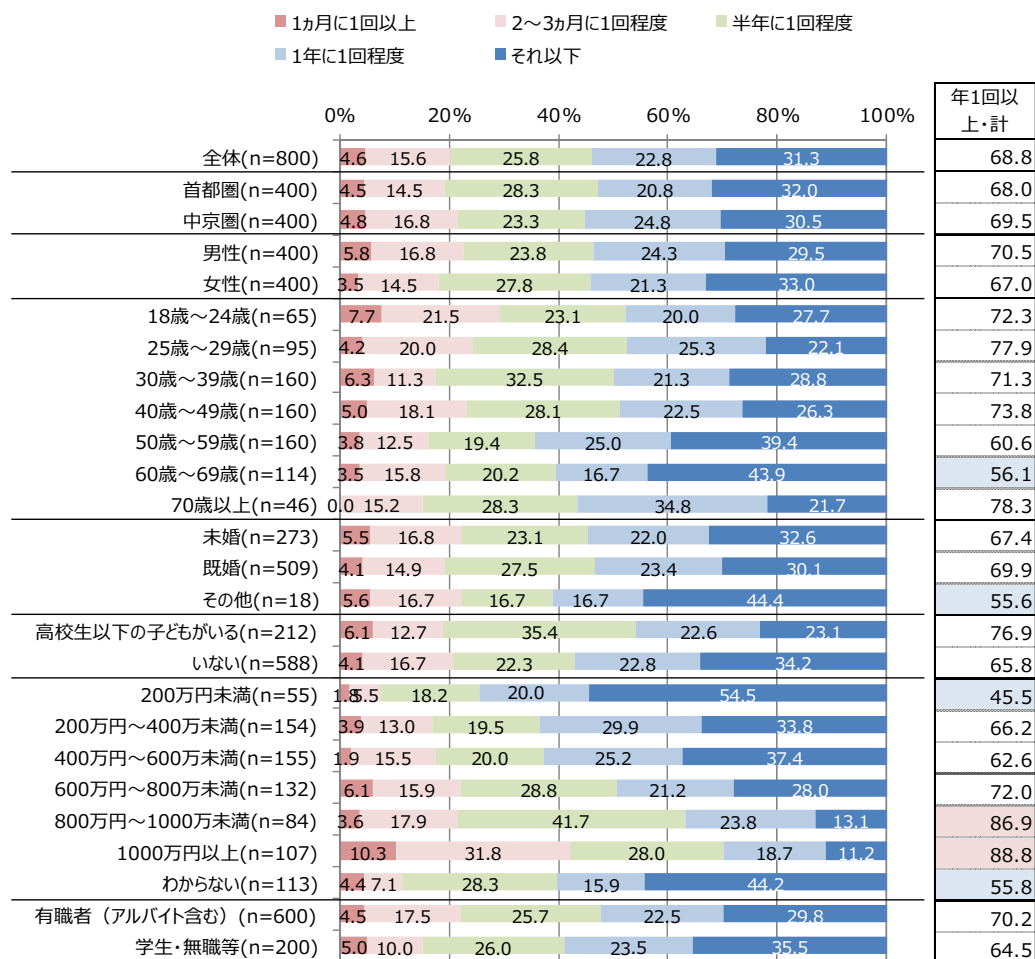


全体		800	19.8	16.5	15.9	14.3	13.6	13.1	12.9	12.4	11.1	10.3	8.4	8.0
エリア	首都圏	400	16.3	13.0	15.8	11.0	13.5	14.0	12.5	15.3	9.8	9.8	8.3	8.5
	中京圏	400	23.3	20.0	16.0	17.5	13.8	12.3	13.3	9.5	12.5	10.8	8.5	7.5
性別	男性	400	19.0	16.3	15.3	14.5	15.5	13.3	12.0	15.0	12.0	9.5	8.3	6.5
	女性	400	20.5	16.8	16.5	14.0	11.8	13.0	13.8	9.8	10.3	11.0	8.5	9.5
年齢	18歳～24歳	65	16.9	16.9	12.3	10.8	12.3	12.3	9.2	15.4	9.2	6.2	9.2	4.6
	25歳～29歳	95	14.7	13.7	15.8	11.6	13.7	12.6	8.4	12.6	10.5	9.5	10.5	8.4
	30歳～39歳	160	25.6	18.1	19.4	20.0	15.0	16.9	14.4	16.9	16.3	14.4	13.8	15.0
	40歳～49歳	160	18.8	15.6	16.9	13.1	15.6	12.5	12.5	8.8	11.9	7.5	6.9	5.6
	50歳～59歳	160	19.4	16.3	17.5	16.3	15.6	13.1	14.4	14.4	8.1	10.6	7.5	6.9
	60歳～69歳	114	21.1	21.1	10.5	12.3	9.6	9.6	14.9	7.0	11.4	9.6	4.4	5.3
	70歳以上	46	15.2	8.7	13.0	6.5	6.5	13.0	13.0	10.9	4.3	13.0	2.2	6.5
未婚	未婚	273	17.6	14.7	17.2	12.1	14.3	13.9	15.0	15.4	10.3	9.9	8.4	8.4
	既婚	509	20.8	17.3	15.1	15.3	13.2	12.4	11.4	11.0	11.8	10.2	8.4	7.7
	その他	18	22.2	22.2	16.7	16.7	16.7	22.2	22.2	5.6	5.6	16.7	5.6	11.1
子ども	高校生以下の子どもがいる	212	24.1	19.8	17.9	17.9	14.6	13.2	10.8	13.7	12.7	12.3	9.9	8.5
	いない	588	18.2	15.3	15.1	12.9	13.3	13.1	13.6	11.9	10.5	9.5	7.8	7.8
世帯年収	200万円未満	55	23.6	21.8	20.0	18.2	23.6	20.0	20.0	14.5	18.2	14.5	9.1	10.9
	200万円～400万未満	154	18.2	14.3	16.2	11.7	13.6	11.7	13.6	11.7	11.7	10.4	10.4	7.1
	400万円～600万未満	155	20.0	18.7	18.7	18.7	12.9	13.5	12.3	12.9	10.3	9.0	9.0	7.7
	600万円～800万未満	132	18.9	18.9	12.9	11.4	11.4	10.6	12.9	9.8	12.1	12.1	6.8	7.6
	800万円～1000万未満	84	21.4	17.9	19.0	11.9	10.7	13.1	8.3	16.7	8.3	6.0	10.7	6.0
	1000万円以上	107	21.5	9.3	14.0	13.1	12.1	14.0	10.3	17.8	11.2	8.4	7.5	11.2
	わからない	113	17.7	16.8	12.4	15.9	15.9	13.3	15.0	6.2	8.8	12.4	5.3	7.1
職業	有職者（アルバイト含む）	600	18.7	15.0	15.7	13.8	12.5	12.3	11.2	13.0	10.8	9.3	8.8	7.3
	学生・無職等	200	23.0	21.0	16.5	15.5	17.0	15.5	18.0	10.5	12.0	13.0	7.0	10.0
関心度	移住_関心あり	166	16.9	15.1	14.5	14.5	15.1	10.2	7.8	11.4	11.4	9.6	10.8	7.8
	関心なし	339	17.4	13.9	15.6	13.9	11.2	12.4	12.4	14.5	9.7	9.1	7.7	6.8
関心度	二地域居住_関心あり	196	17.3	14.8	17.3	14.3	16.8	13.3	9.2	12.8	9.7	10.7	11.2	7.7
	関心なし	309	17.2	13.9	13.9	13.9	9.7	10.7	12.0	13.9	10.7	8.4	7.1	6.8
関心度	ワーケーション_関心あり	116	19.0	13.8	17.2	13.8	15.5	10.3	6.9	11.2	6.9	10.3	10.3	6.9
	関心なし	389	16.7	14.4	14.7	14.1	11.6	12.1	12.1	14.1	11.3	9.0	8.2	7.2

国内旅行（コロナ禍前）／ 宿泊

問14.コロナ禍前の国内旅行の頻度を教えてください。（SAMT）

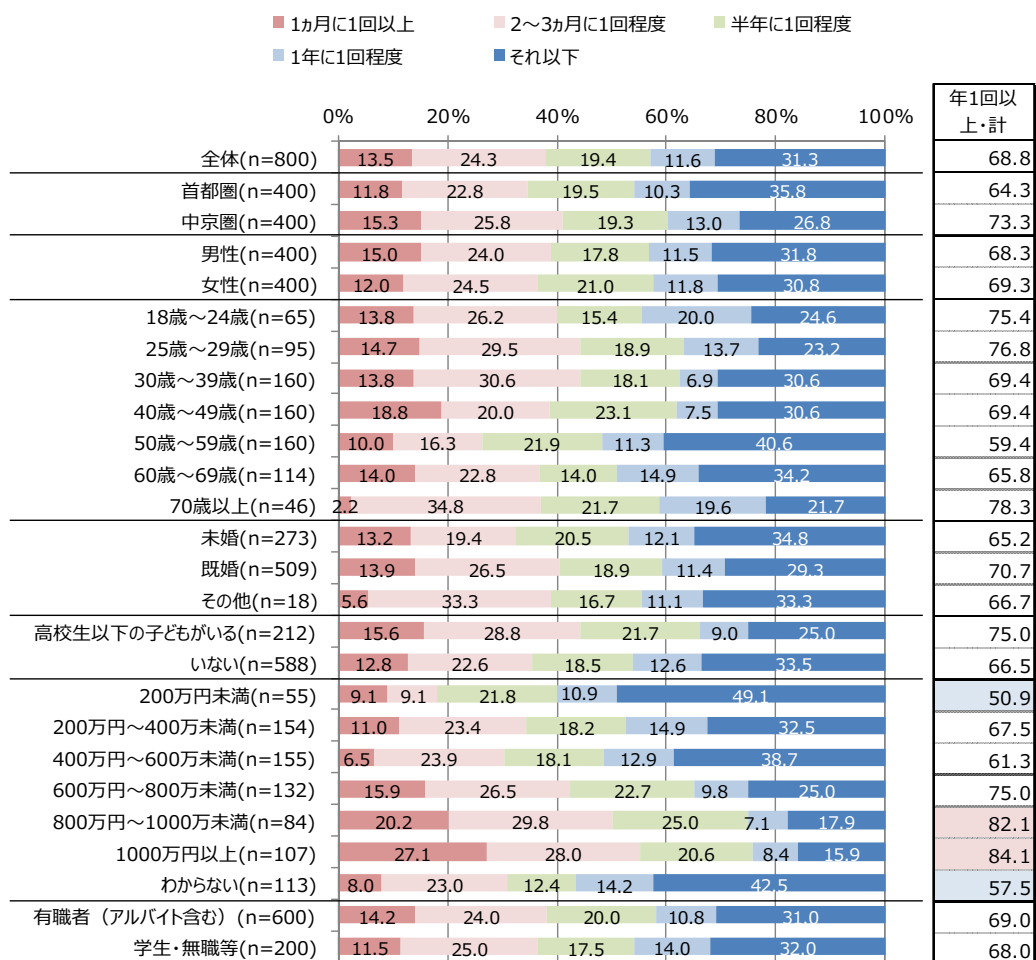
- ・コロナ禍前の国内旅行（宿泊）の旅行頻度をみると、「1か月に1回以上」（5%）、「2～3か月に1回程度」（16%）、「半年に1回程度」（26%）、「1年に1回程度」（23%）で年1回以上の割合が69%となっている。
- ・首都圏、中京圏別で旅行頻度の傾向に違いは見られない。
- ・年代別でみると、60代の旅行頻度が低い。一般的な旅行関連の調査結果と異なる傾向を示している（一般的には年代が高い層ほど旅行頻度が高い）
- ・年収別でみると、年収が高い人ほど旅行頻度が高い。



国内旅行（コロナ禍前）／ 日帰り

問14.コロナ禍前の国内旅行の頻度を教えてください。（SAMT）

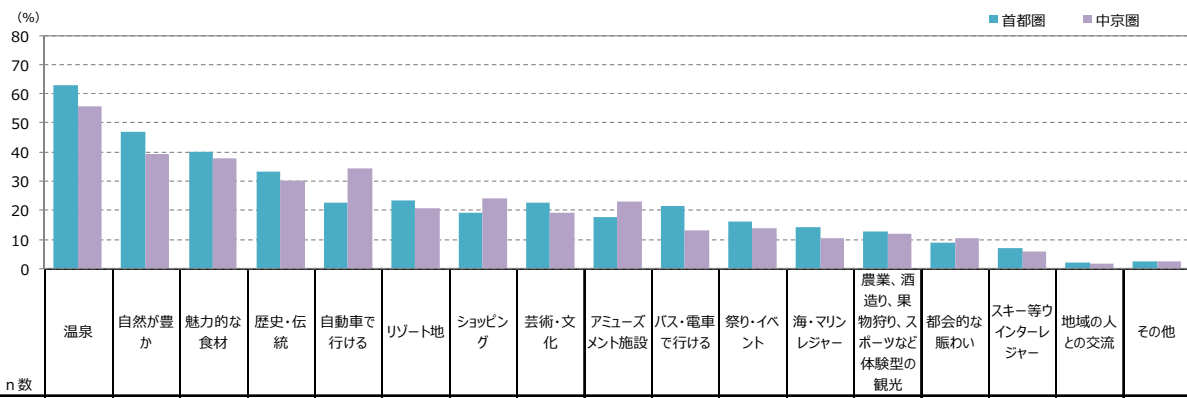
- ・コロナ禍前の国内旅行（日帰り）の旅行頻度をみると、「1か月に1回以上」（14%）、「2～3か月に1回程度」（24%）、「半年に1回程度」（19%）、「1年に1回程度」（12%）で年1回以上の割合が69%となっている。
- ・首都圏、中京圏別でみると、中京圏の方が旅行（日帰り）頻度がやや多い。
- ・年代別でみると、20代の旅行頻度が高い。一般的な旅行関連の調査結果と異なる傾向を示している（一般的には年代が高い層ほど旅行頻度が高い）
- ・年収別でみると、年収が高い人ほど旅行頻度が高い。



国内旅行（コロナ禍前）／行き先決定時の重視点

問15.コロナ禍前の国内旅行についてお伺いいたします。国内旅行の行き先を決める際に重視することは何ですか。（MA）

- ・国内旅行の行き先を決める際に重視する点は「温泉」（59%）、「自然が豊か」（43%）、「魅力的な食材」（39%）、「歴史・伝統」（32%）、「自動車で行ける」（29%）などが上位。
- ・中京圏では「自動車で行ける」が34%と首都圏と比較して高い。
- ・年代別でみると、「歴史・伝統」は年代が高い層ほど比率が高い。20代は「リゾート」「ショッピング」「アミューズメント施設」「祭り・イベント」などアクティブ系の要素に対する比率が高い。



		人数	温泉	自然が豊か	魅力的な食材	歴史・伝統	自動車で行ける	リゾート地	ショッピング	芸術・文化	アミューズメント施設	バス・電車で行ける	祭り・イベント	海・マリナレジャー	農業、酒造り、果物狩り、スポーツなど体験型の観光	都会的な賑わい	スキー等ウインターレジャー	地域の人との交流	その他
全体		800	59.3	43.0	39.0	31.6	28.5	22.1	21.5	20.9	20.3	17.1	14.9	12.3	12.3	9.6	6.4	1.9	2.4
エリア	首都圏	400	63.0	46.8	40.3	33.3	22.8	23.5	19.0	22.8	17.5	21.3	16.0	14.3	12.8	8.8	7.0	2.0	2.3
	中京圏	400	55.5	39.3	37.8	30.0	34.3	20.8	24.0	19.0	23.0	13.0	13.8	10.3	11.8	10.5	5.8	1.8	2.5
性別	男性	400	54.5	44.0	33.0	33.0	31.3	19.5	15.5	19.3	15.3	13.0	14.8	13.3	11.3	9.0	8.3	2.5	1.8
	女性	400	64.0	42.0	45.0	30.3	25.8	24.8	27.5	22.5	25.3	21.3	15.0	11.3	13.3	10.3	4.5	1.3	3.0
年齢	18歳～24歳	65	53.8	43.1	43.1	29.2	15.4	26.2	30.8	16.9	29.2	15.4	13.8	23.1	12.3	24.6	15.4	3.1	0.0
	25歳～29歳	95	63.2	40.0	47.4	15.8	21.1	35.8	31.6	20.0	30.5	13.7	26.3	18.9	15.8	14.7	9.5	1.1	0.0
	30歳～39歳	160	58.1	41.3	43.1	25.0	23.1	21.9	25.6	24.4	27.5	13.8	20.0	13.8	15.0	8.8	5.6	5.0	1.9
	40歳～49歳	160	56.3	40.0	37.5	31.9	30.6	21.3	18.8	19.4	21.3	19.4	14.4	14.4	16.9	10.0	7.5	1.3	1.9
	50歳～59歳	160	58.8	39.4	35.6	36.9	33.1	14.4	15.0	18.8	15.0	15.6	9.4	7.5	10.0	5.0	6.3	0.6	3.8
	60歳～69歳	114	64.0	49.1	33.3	42.1	40.4	22.8	18.4	22.8	8.8	21.1	11.4	6.1	4.4	6.1	0.9	0.0	5.3
	70歳以上	46	63.0	63.0	32.6	45.7	28.3	17.4	13.0	23.9	4.3	26.1	4.3	2.2	6.5	4.3	0.0	2.2	2.2
未婚	未婚	273	54.6	37.4	36.6	30.8	19.8	20.5	19.0	22.3	21.2	17.9	17.2	14.7	12.1	12.8	9.9	2.2	1.8
	既婚	509	61.3	46.8	39.7	32.2	34.0	23.2	23.6	19.8	19.8	15.9	13.6	11.4	12.6	8.1	4.7	1.8	2.6
子ども	高校生以下の子どもがいる	212	55.7	42.9	36.3	22.6	30.7	20.8	19.8	17.0	30.7	11.8	17.0	16.5	17.0	8.5	8.5	2.8	1.9
	いない	588	60.5	43.0	40.0	34.9	27.7	22.6	22.1	22.3	16.5	19.0	14.1	10.7	10.5	10.0	5.6	1.5	2.6
世帯年収	200万円未満	55	49.1	41.8	38.2	25.5	20.0	9.1	18.2	20.0	10.9	23.6	7.3	7.3	5.5	7.3	1.8	1.8	1.8
	200万円～400万未満	154	63.6	48.1	37.0	42.2	29.9	18.8	19.5	23.4	20.1	19.5	16.2	11.7	13.6	10.4	4.5	0.6	3.2
	400万円～600万未満	155	58.7	38.7	41.9	28.4	21.9	21.9	23.2	18.1	19.4	19.4	15.5	10.3	12.9	10.3	7.1	3.9	2.6
	600万円～800万未満	132	65.9	43.9	38.6	23.5	36.4	20.5	22.0	20.5	18.2	15.2	12.1	12.1	9.1	7.6	8.3	1.5	1.5
	800万円～1000万未満	84	58.3	40.5	45.2	32.1	35.7	20.2	22.6	19.0	28.6	10.7	20.2	13.1	17.9	11.9	2.4	0.0	1.2
	1000万円以上	107	59.8	55.1	41.1	40.2	27.1	30.8	20.6	29.0	19.6	14.0	18.7	16.8	15.0	10.3	11.2	2.8	1.9
宿泊国内旅行頻度	1か月に1回以上	37	54.1	40.5	24.3	27.0	18.9	29.7	27.0	27.0	16.2	27.0	21.6	21.6	21.6	21.6	13.5	2.7	5.4
	2～3か月に1回程度	125	64.8	56.0	44.0	40.0	30.4	31.2	24.8	28.8	21.6	17.6	20.0	19.2	16.8	15.2	14.4	0.8	0.0
	半年に1回程度	206	69.4	48.1	47.6	35.0	29.6	31.1	21.8	20.4	24.8	17.5	21.4	16.0	17.0	11.2	4.9	2.4	4.4
	1年に1回程度	182	61.0	42.3	39.0	29.7	33.0	15.4	17.6	18.1	23.1	13.2	10.4	7.1	8.8	6.6	4.9	0.0	2.2
	それ以下	250	47.6	33.2	31.6	26.8	24.8	14.0	21.6	18.4	14.4	18.0	9.2	8.0	7.2	6.0	3.6	3.2	1.6
日帰り国内旅行頻度	1か月に1回以上	108	63.0	57.4	48.1	42.6	31.5	30.6	33.3	31.5	25.0	21.3	26.9	28.7	21.3	16.7	17.6	1.9	2.8
	2～3か月に1回程度	194	66.0	57.2	45.4	36.6	39.2	35.1	24.2	23.2	27.8	15.5	21.6	13.9	20.1	11.9	6.2	2.6	1.5
	半年に1回程度	155	63.2	41.3	42.6	32.3	24.5	17.4	19.4	21.9	21.3	19.4	11.6	9.0	9.0	7.7	3.9	0.0	2.6
	1年に1回程度	93	51.6	30.1	26.9	22.6	29.0	16.1	20.4	10.8	18.3	9.7	8.6	5.4	4.3	9.7	4.3	0.0	3.2
	それ以下	250	52.8	31.6	32.4	26.0	21.2	13.6	16.0	17.6	12.4	18.0	8.8	8.4	7.2	6.0	4.0	3.2	2.4

移住・二地域移住・ワーケーションに対する関心度

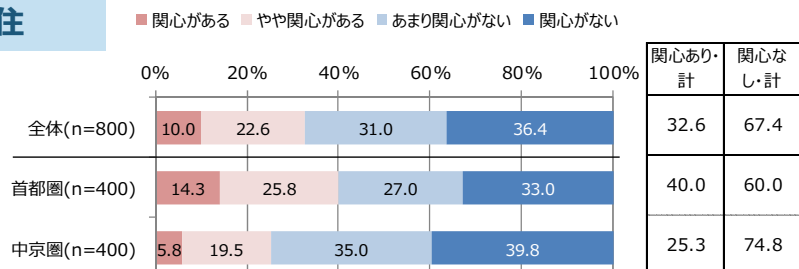
問16.あなたは地方で暮らすことに関心がありますか。（地方移住や、二地域居住、ワーケーションなど）将来的な可能性を含めてお答えください。（SAMT）

問17.地方移住や二地域居住、ワーケーションを具体的に検討するタイミングはいつくらいだと思いますか。（SAMT） ※問16で関心があると回答した人

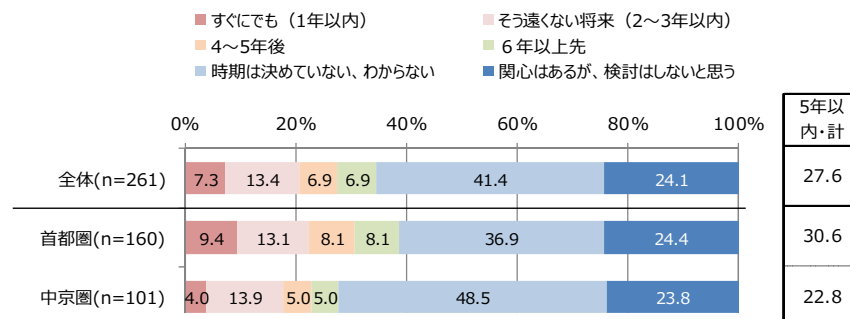
- ・移住関心度 : 首都圏40%、中京圏25%。 関心者のうち5年以内の見通しの人は、首都圏31%、中京圏23%。
 - ・二地域居住関心度 : 首都圏36%、中京圏26%。 関心者のうち5年以内の見通しの人は、首都圏41%、中京圏25%。
 - ・ワーケーション関心度 : 首都圏30%、中京圏22%。 関心者のうち5年以内の見通しの人は、首都圏41%、中京圏28%。
- ※いずれも、関心がある人のうち、25%前後は「検討はしない」、30-40%は「時期は決めていない・わからない」

関心度

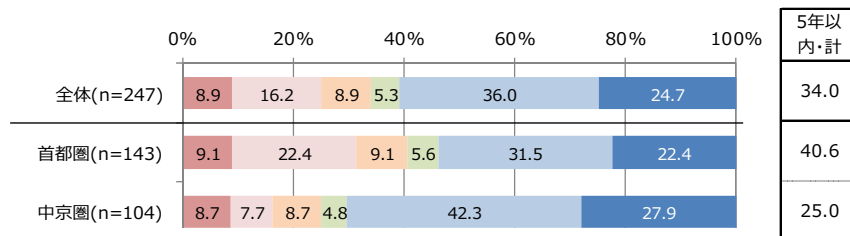
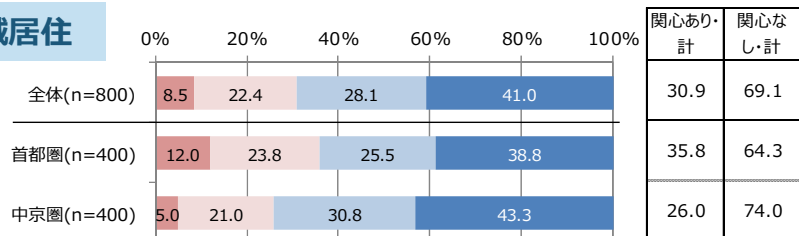
移住



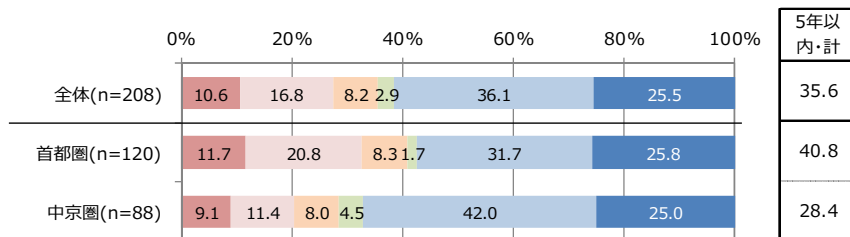
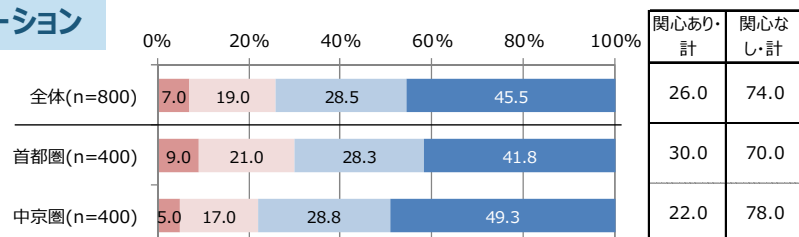
タイミング（関心ありの人）



二地域居住



ワーケーション

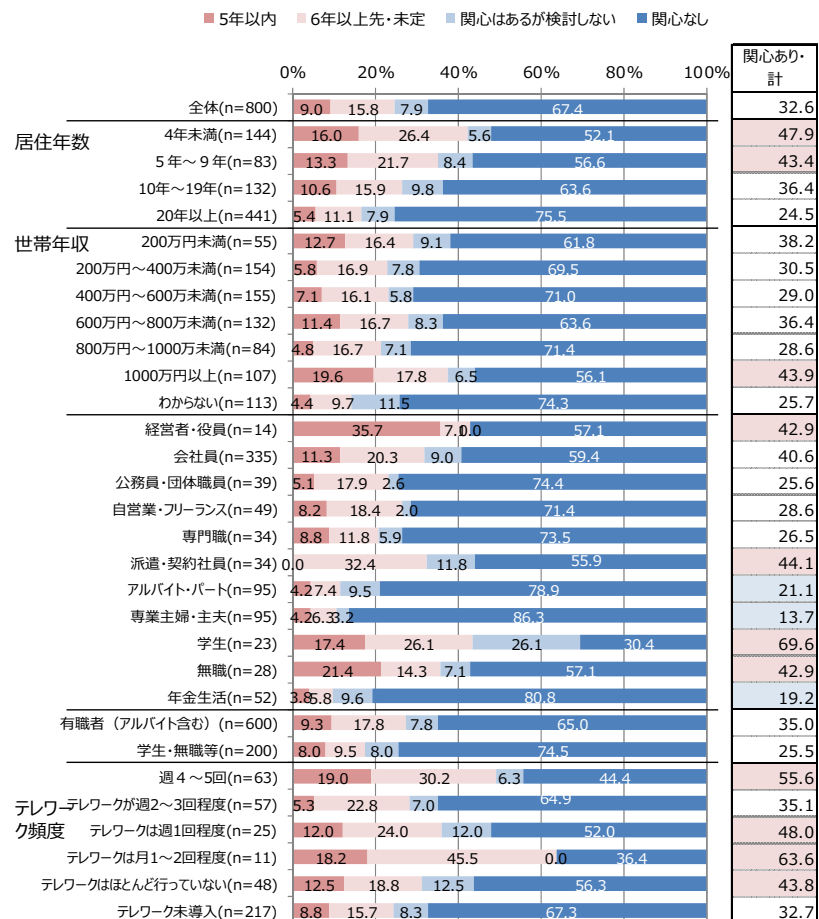
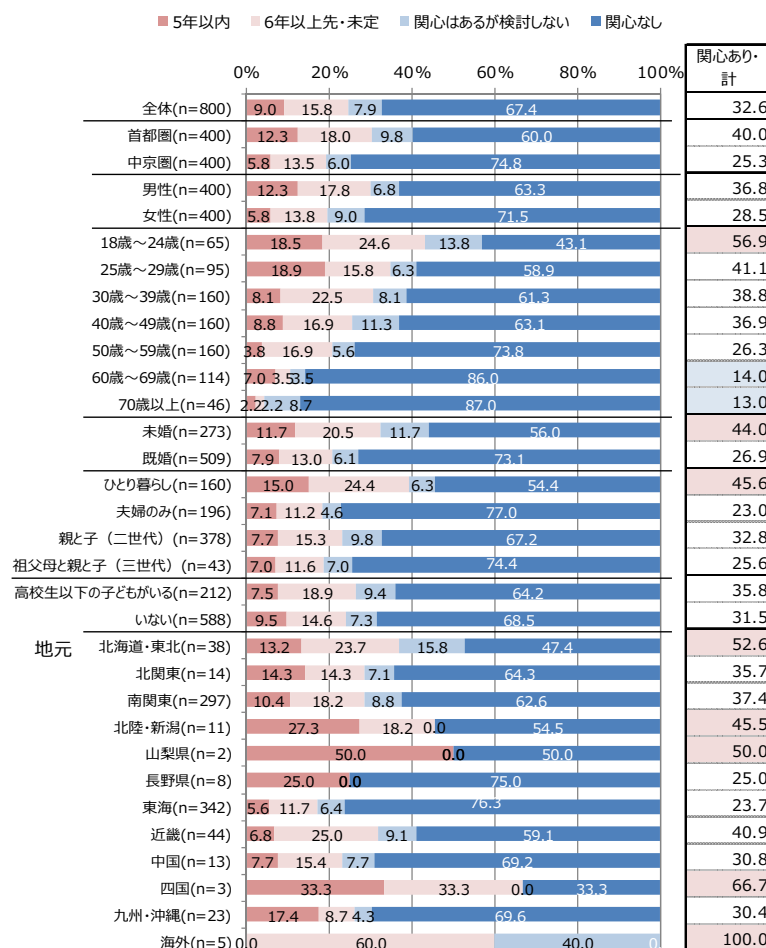


「移住」に対する関心度

問16.あなたは地方で暮らすことに関心がありますか。（地方移住や、二地域居住、ワーケーションなど）将来的な可能性を含めてお答えください。（SAMT）

問17.地方移住や二地域居住、ワーケーションを具体的に検討するタイミングはいつくらいだと思いますか。（SAMT） ※問16で関心があると回答した人

- ・**移住**に対する関心度及び、関心がある人の移住のタイミングを統合して集計した。
- ・関心があり、5年以内のタイミングと回答した人が、首都圏で12%、中京圏で6%。
- ・年代別でみると、20代で「5年以内」が2割弱、30代～40代で1割弱を占めている（年代が低い層ほど関心度が高い）。
- ・未婚、ひとり暮らしの人の関心度が高い。
- ・世帯年収では、「5年以内」が、1,000万円以上で20%と高いが、200万円未満（13%）、600万～800万円未満（11%）も高いなど分散。
- ・テレワークをほぼ毎日（週4-5日）実施している人の「5年以内」が19%と比較的高い。

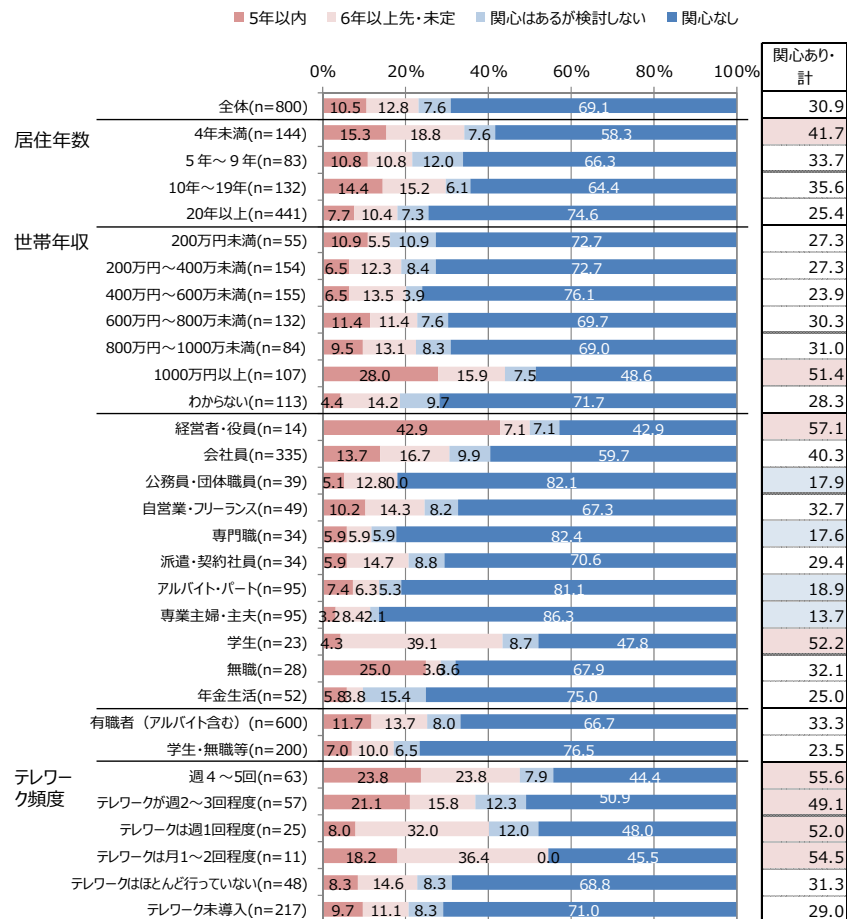
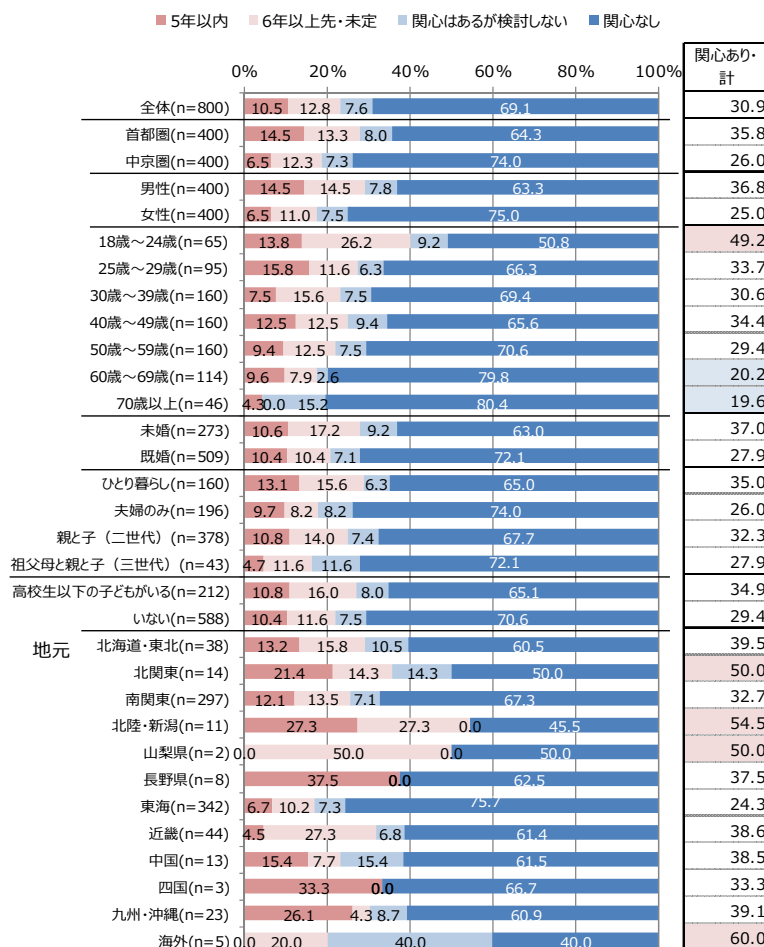


「二地域居住」に対する関心度

問16.あなたは地方で暮らすことに関心がありますか。（地方移住や、二地域居住、ワーケーションなど）将来的な可能性を含めてお答えください。（SAMT）

問17.地方移住や二地域居住、ワーケーションを具体的に検討するタイミングはいつくらいだと思いますか。（SAMT） ※問16で関心があると回答した人

- ・二地域居住に対する関心度及び、関心がある人の実施のタイミングを統合して集計した。
- ・関心があり、5年以内のタイミングと回答した人が、首都圏で15%、中京圏で7%。（移住とほぼ同率）
- ・年代別でみると、20代で「5年以内」が15%前後とやや高い。60代では関心層の割合が他の年代と比較すると低い。
- ・世帯年収では、「5年以内」が、1,000万円以上で28%と高い。
- ・テレワークをほぼ毎日（週4-5日）、週2～3回程度実施している人の「5年以内」が2割強と比較的高い。

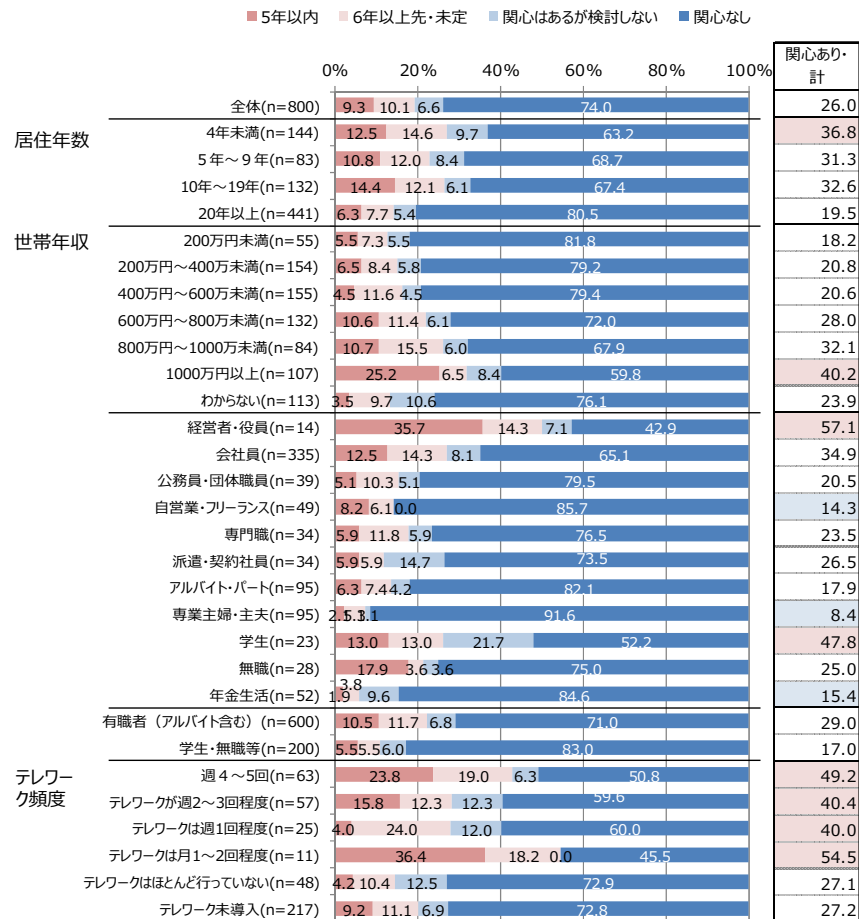
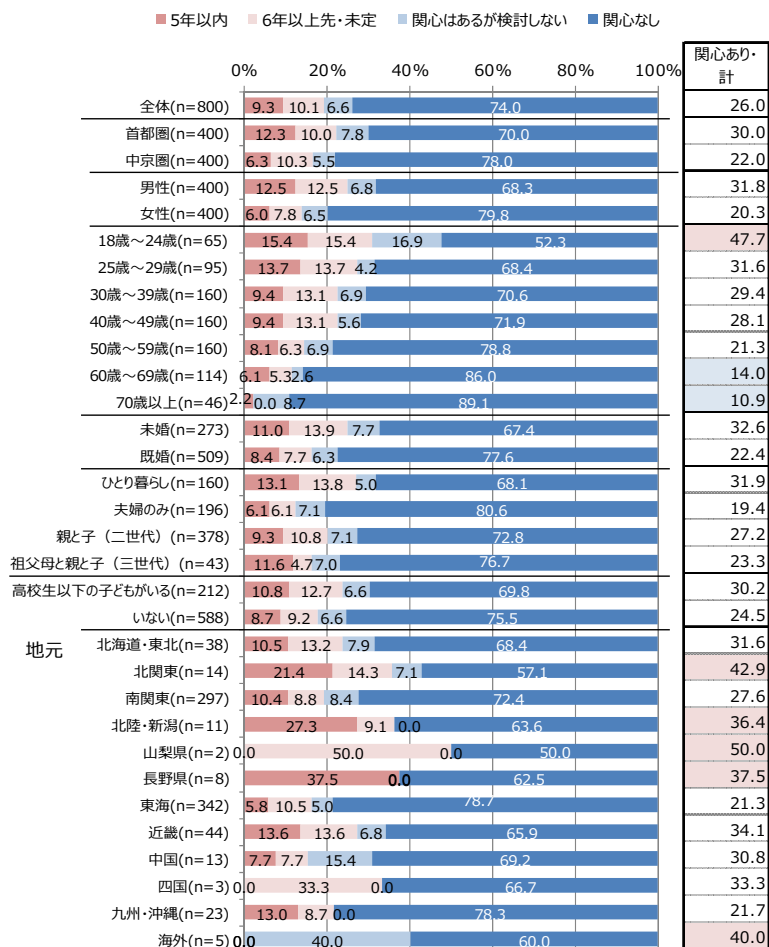


「ワーケーション」に対する関心度

問16.あなたは地方で暮らすことに関心がありますか。（地方移住や、二地域居住、ワーケーションなど）将来的な可能性を含めてお答えください。（SAMT）

問17.地方移住や二地域居住、ワーケーションを具体的に検討するタイミングはいつくらいだと思いますか。（SAMT） ※問16で関心があると回答した人

- ・ワーケーションに対する関心度及び、関心がある人の実施のタイミングを統合して集計した。
- ・関心があり、5年以内のタイミングと回答した人が、首都圏で12%、中京圏で6%。（移住とほぼ同率）
- ・年代別でみると、20代で「5年以内」が15%前後とやや高い。60代では関心層の割合が他の年代と比較すると低い。
- ・世帯年収では、「5年以内」が、1,000万円以上で25%と高い。
- ・テレワークをほぼ毎日（週4-5日）、週2～3回程度実施している人の「5年以内」が比較的高い。

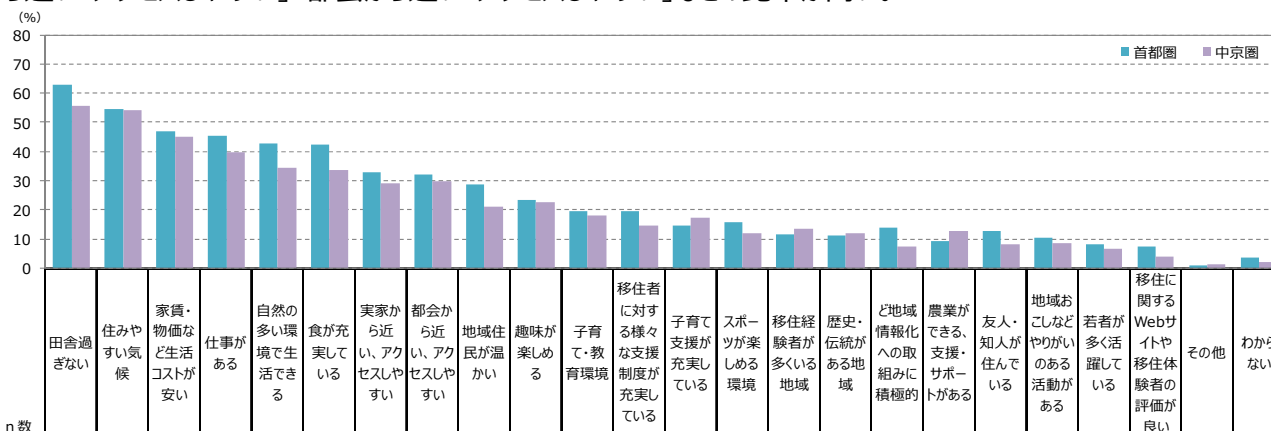


移住先を選定する際の重視点

問18. 移住したい場所・地域（候補地）はどのような点を重視して選定しますか。（MA）

※移住、二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があると回答した方

- ・移住・二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があると回答した人に対して、移住先を選定する際の重視点を尋ねたところ、「**田舎過ぎない**」（60%）、「**住みやすい気候**」（55%）、「**家賃・物価など生活コストが安い**」（46%）、「**仕事がある**」（43%）までが4割以上。
- ・首都圏は中京圏と比較して、「田舎過ぎない」「自然の多い環境で生活できる」「食が充実している」を重視する人の割合が高い。
- ・30代以下の層は、「実家から近い・アクセスしやすい」「都会から近い・アクセスしやすい」などの比率が高い。



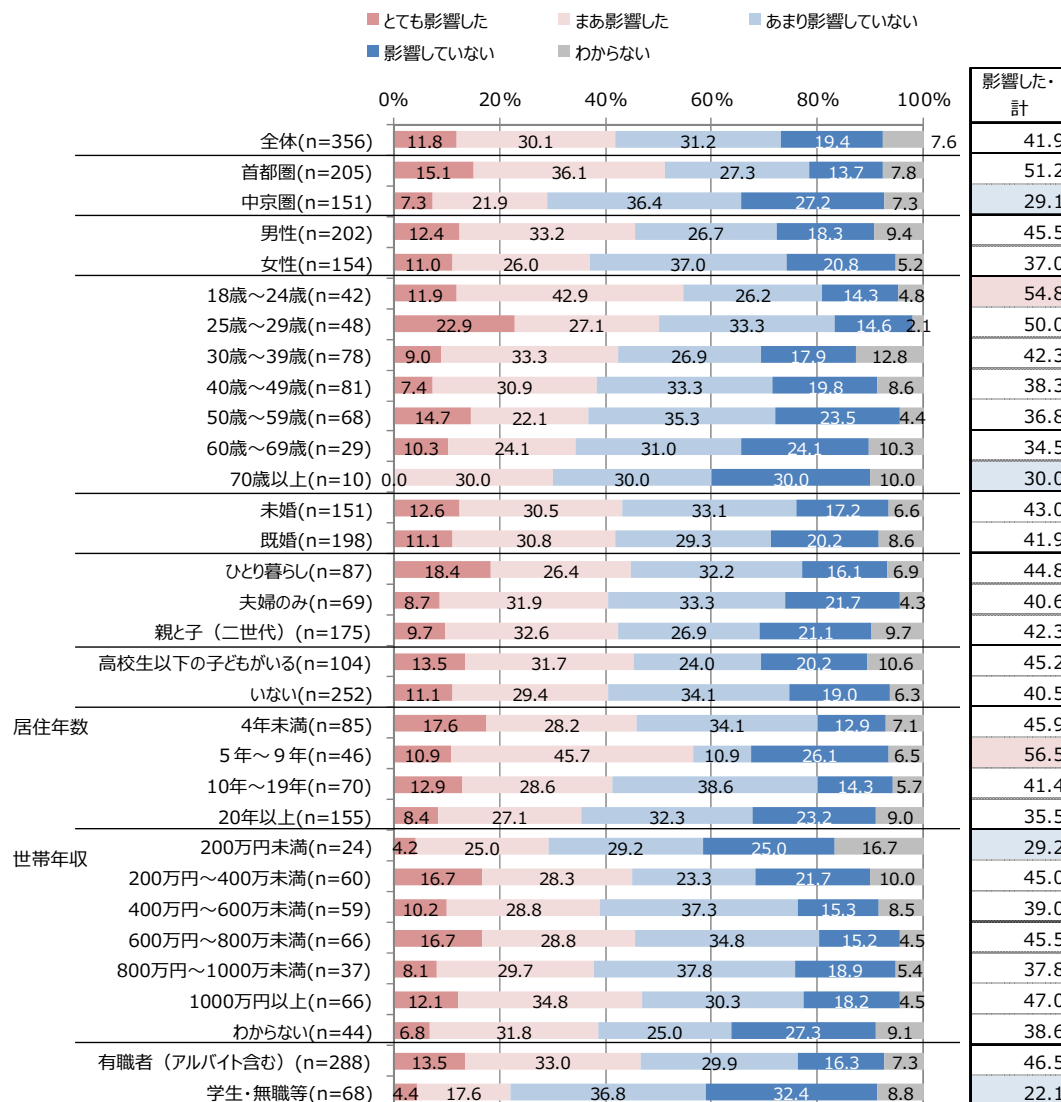
	全体	356	59.8	54.5	46.1	43.0	39.3	38.8	31.2	31.2	25.6	23.0	18.8	17.4	15.7	14.0	12.4	11.5	11.0	10.7	10.7	9.6	7.6	5.9	1.1	2.8
エリア	首都圏	205	62.9	54.6	46.8	45.4	42.9	42.4	32.7	32.2	28.8	23.4	19.5	19.5	14.6	15.6	11.7	11.2	13.7	9.3	12.7	10.2	8.3	7.3	1.0	3.4
	中京圏	151	55.6	54.3	45.0	39.7	34.4	33.8	29.1	29.8	21.2	22.5	17.9	14.6	17.2	11.9	13.2	11.9	7.3	12.6	7.9	8.6	6.6	4.0	1.3	2.0
性別	男性	202	56.4	50.0	42.6	38.6	40.1	35.1	26.2	26.7	21.3	27.2	15.3	16.3	12.9	16.8	10.4	13.4	13.4	10.9	8.4	9.4	7.4	5.4	1.0	3.5
	女性	154	64.3	60.4	50.6	48.7	38.3	43.5	37.7	37.0	31.2	17.5	23.4	18.8	19.5	10.4	14.9	9.1	7.8	10.4	13.6	9.7	7.8	6.5	1.3	1.9
年齢	18歳～24歳	42	69.0	52.4	50.0	38.1	38.1	38.1	45.2	42.9	28.6	28.6	26.2	4.8	19.0	14.3	7.1	16.7	9.5	9.5	14.3	11.9	14.3	2.4	0.0	0.0
	25歳～29歳	48	58.3	50.0	45.8	45.8	41.7	35.4	33.3	31.3	14.6	18.8	31.3	12.5	22.9	20.8	10.4	6.3	12.5	10.4	14.6	8.3	14.6	2.1	0.0	4.2
	30歳～39歳	78	60.3	50.0	44.9	50.0	38.5	46.2	42.3	39.7	19.2	19.2	23.1	19.2	23.1	14.1	10.3	11.5	9.0	10.3	10.3	16.7	9.0	3.8	0.0	2.6
	40歳～49歳	81	59.3	65.4	46.9	50.6	38.3	38.3	23.5	27.2	35.8	33.3	22.2	21.0	13.6	14.8	17.3	9.9	14.8	7.4	9.9	6.2	4.9	11.1	2.5	1.2
	50歳～59歳	68	60.3	55.9	51.5	35.3	41.2	38.2	22.1	20.6	22.1	20.6	5.9	22.1	8.8	10.3	10.3	13.2	7.4	11.8	7.4	4.4	2.9	5.9	2.9	4.4
	60歳～69歳	29	51.7	55.2	31.0	34.5	34.5	34.5	24.1	31.0	31.0	13.8	3.4	20.7	6.9	13.8	20.7	10.3	10.3	20.7	6.9	13.8	3.4	10.3	0.0	6.9
	70歳以上	10	50.0	20.0	40.0	10.0	50.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	20.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未婚	未婚	151	64.2	54.3	47.7	39.1	39.1	39.1	33.1	36.4	23.8	23.2	14.6	13.9	11.9	12.6	8.6	11.9	10.6	7.9	9.9	6.6	9.3	2.0	1.3	2.6
	既婚	198	56.6	55.1	43.4	45.5	39.4	38.4	29.3	26.8	26.8	22.7	22.2	19.7	18.7	15.2	15.2	11.1	11.1	13.1	11.1	11.6	6.6	9.1	1.0	3.0
子ども	高校生以下の子がいる	104	56.7	58.7	41.3	45.2	40.4	39.4	35.6	30.8	19.2	22.1	35.6	14.4	28.8	13.5	12.5	9.6	9.6	11.5	13.5	10.6	6.7	6.7	1.0	1.9
	いない	252	61.1	52.8	48.0	42.1	38.9	38.5	29.4	31.3	28.2	23.4	11.9	18.7	10.3	14.3	12.3	12.3	11.5	10.3	9.5	9.1	7.9	5.6	1.2	3.2
世帯年収	200万円未満	24	45.8	45.8	41.7	33.3	37.5	37.5	4.2	25.0	33.3	16.7	12.5	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	12.5	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	4.2
	200万円～400万未満	60	58.3	51.7	45.0	38.3	36.7	41.7	45.0	35.0	28.3	20.0	20.0	20.0	15.0	16.7	6.7	10.0	11.7	11.7	20.0	8.3	10.0	5.0	0.0	5.0
	400万円～600万未満	59	59.3	49.2	52.5	50.8	40.7	30.5	33.9	28.8	28.8	15.3	16.9	20.3	15.3	13.6	8.5	13.6	11.9	5.1	8.5	10.2	5.1	0.0	3.4	
	600万円～800万未満	66	63.6	57.6	47.0	48.5	45.5	42.4	31.8	33.3	21.2	22.7	27.3	16.7	16.7	13.6	18.2	16.7	10.6	12.1	7.6	15.2	3.0	4.5	1.5	0.0
	800万円～1000万未満	37	62.2	67.6	48.6	43.2	48.6	48.6	21.6	37.8	24.3	32.4	27.0	18.9	24.3	2.7	13.5	8.1	10.8	8.1	5.4	8.1	5.4	0.0	2.7	
	1000万円以上	66	62.1	53.0	40.9	42.4	33.3	36.4	33.3	31.8	22.7	33.3	16.7	15.2	18.2	19.7	10.6	15.2	9.1	13.6	18.2	9.1	10.6	12.1	0.0	1.5
	わからない	44	59.1	56.8	45.5	36.4	34.1	36.4	27.3	22.7	25.0	18.2	6.8	18.2	4.5	13.6	13.6	9.1	9.1	9.1	4.5	6.8	9.1	4.5	2.3	4.5
職業	有職者（アルバイト含む）	288	60.8	54.5	45.8	44.4	39.9	38.2	33.3	33.0	24.3	23.3	17.7	17.4	14.9	13.9	10.4	10.4	10.4	11.1	10.8	9.4	7.6	5.2	0.3	2.8
	学生・無職等	68	55.9	54.4	47.1	36.8	36.8	41.2	22.1	23.5	30.9	22.1	23.5	17.6	19.1	14.7	20.6	16.2	13.2	8.8	10.3	10.3	7.4	8.8	4.4	2.9
関心度	移住_関心あり	261	60.5	55.9	46.4	44.4	42.5	41.0	31.0	30.7	26.4	25.3	19.9	17.6	15.7	16.1	13.4	12.3	10.0	11.5	10.7	10.7	8.4	6.9	1.1	1.1
	関心なし	95	57.9	50.5	45.3	38.9	30.5	32.6	31.6	32.6	23.2	16.8	15.8	16.8	15.8	8.4	9.5	9.5	13.7	8.4	10.5	6.3	5.3	3.2	1.1	3.0
関心度	二地域居住_関心あり	247	59.1	54.3	44.5	42.9	39.7	38.1	30.0	29.6	27.1	25.5	17.4	16.2	15.4	14.6	12.6	12.6	11.7	12.6	12.1	10.1	8.5	6.5	0.4	1.0
	関心なし	109	61.5	55.0	49.5	43.1	38.5	40.4	33.9	34.9	22.0	17.4	22.0	20.2	16.5	12.8	11.9	9.2	9.2	6.4	7.3	8.3	5.5	4.6	2.8	3.2
関心度	ワーケーション_関心あり	208	59.6	55.3	48.6	40.9	37.5	38.9	33.7	35.6	26.9	25.0	20.7	18.8	16.3	16.8	13.9	13.0	14.9	13.9	11.1	11.5	11.5	8.2	0.0	1.7
	関心なし	148	60.1	53.4	42.6	45.9	41.9	38.5	27.7	25.0	23.6	20.3	16.2	15.5	14.9	10.1	10.1	9.5	5.4	6.1	10.1	6.8	2.0	2.7	2.7	2.5

新型コロナウイルスが、地方で暮らすことに関心を持つきっかけになったか

問19.新型コロナウイルスは、地方で暮らすことに関心を持つきっかけの1つになりましたか。(SA)

※移住、二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があると回答した方

- ・移住・二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があると回答した人に対して、新型コロナウイルスが地方で暮らすことに関心を持つきっかけとなったかを尋ねたところ、「とても影響した」(12%)、「まあ影響した」(30%)で合計**42%が影響した**と回答している。
- ・エリア別でみると、影響した比率が、首都圏で51%、中京圏で29%と20ポイント以上の差がある。
- ・年代別でみると、年代が低い層ほど「影響した」とする比率が高く、20代では5割程度が「影響した」で占めている。
- ・有職者か否かでみると、有職者の方が「影響した」比率が高い。



移住したい地域は決まっているか

問20. 移住したい場所・地域（候補地）は決まっていますか。（SA）

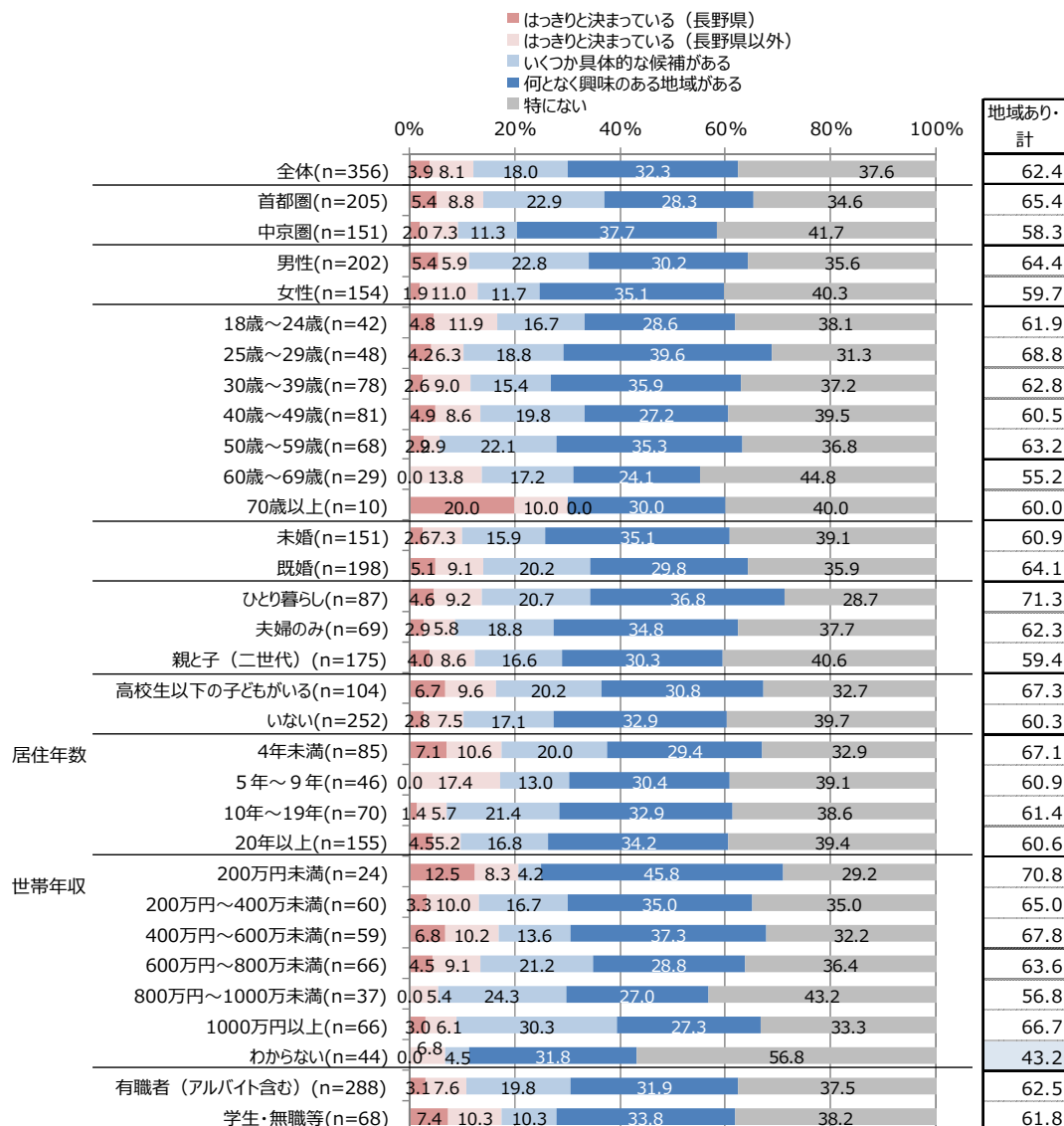
※移住、二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があると回答した方

・移住・二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があると回答した人に対して、移住したい場所・地域（候補内）は決まっているかを尋ねたところ、「**はっきりと決まっている（長野県）**」は4%（14件）、「**はっきりと決まっている（長野県以外）**」が8%、「**いくつか具体的な候補がある**」が18%、「**何となく興味がある地域がある**」が32%などとなり、「**関心者層のうち6割強の人は何らかの関心がある地域がある**」としている。

・エリア別でみると、首都圏よりも中京圏の方が「特にない」の比率が高い（強い関心ではない人が多いと推察される）。

・「はっきりと決まっている（長野県）」比率では、首都圏が5%（11件）、中京圏が2%（3件）。

・「はっきりと決まっている（長野県）」について、年収別でみると、200万円未満（3件）、「200万円～400万円未満」（2件）、「400万円～600万円未満」（4件）、「600万円～800万円未満」（3件）、「1,000万円未満」（2件）と分散している。

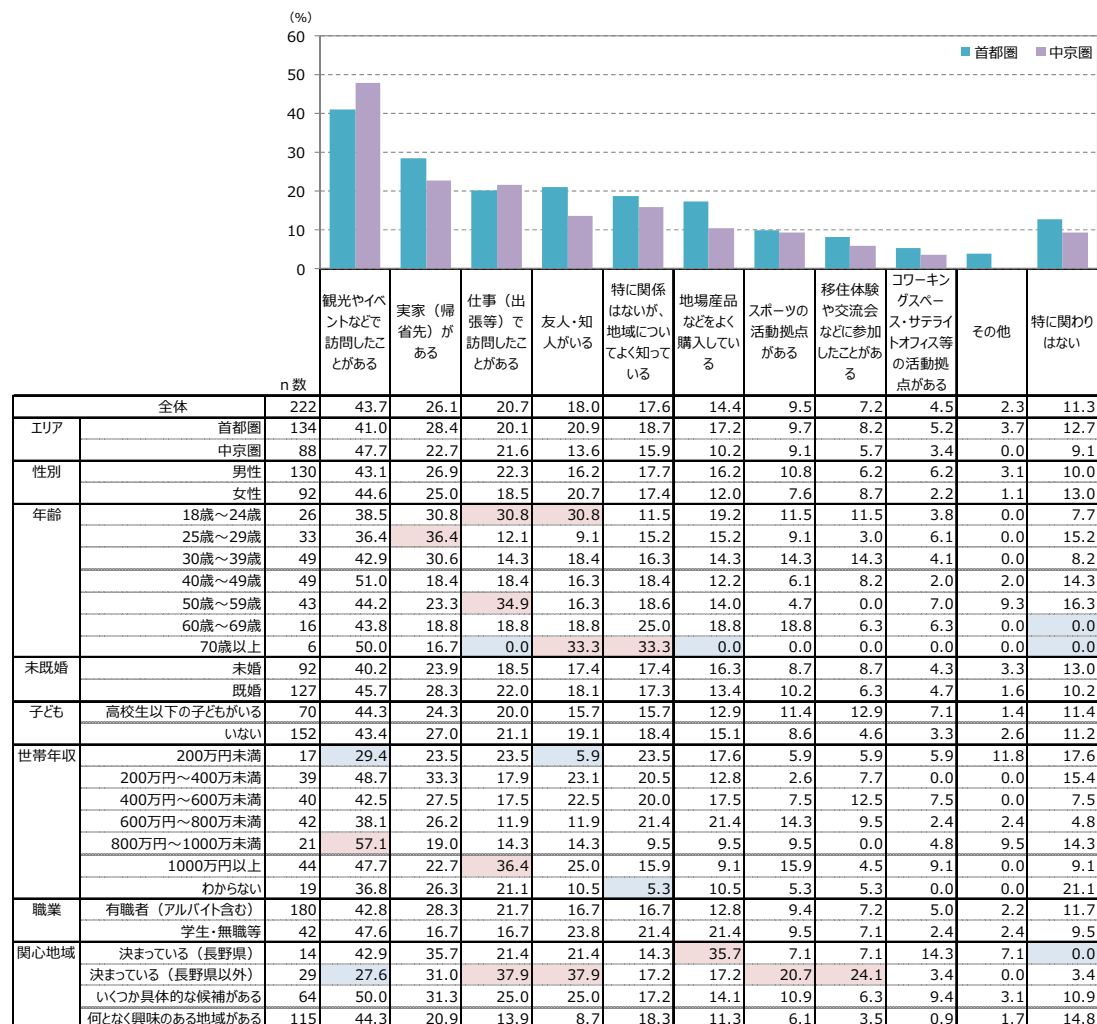


興味・関心のある地域との関係

問21.興味・関心のある地域とどのように関わりますか。(MA)

※移住、二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があり、関心のある地域があると回答した方

- ・移住・二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があり、関心のある地域があると回答した方に対して、興味・関心のある地域との関係を尋ねたところ、「**観光やイベントなどで訪問したことがある**」が**44%**で最も高い。移住促進には、移住に関わらずまずは来訪してもらい興味を持ってもらうことが重要であることが伺える。次いで、「**実家（帰省先）がある**」(**26%**)、「**仕事で訪問したことがある**」(**21%**)などが続いている。
- ・関心がある地域が長野県の人には「観光やイベントで訪問したことがある」(6件)、「実家がある」「地場産品などをよく購入」(5件)、「仕事で訪問したことがある」「友人・知人がいる」(3件)などとなっている。



移住・二地域移住・ワーケーションの不安・懸念事項

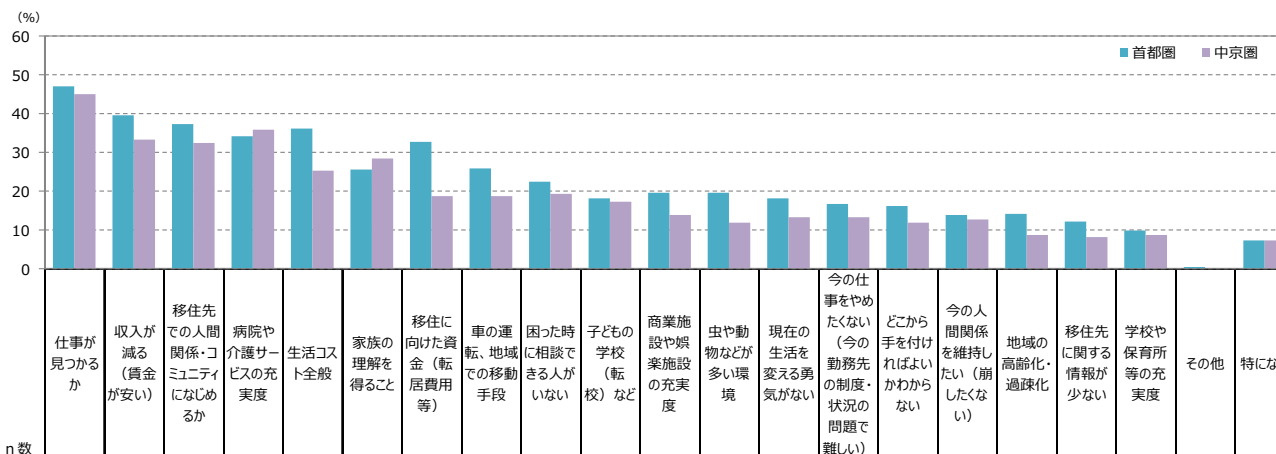
問22.地方移住や二地域居住、ワーケーションを検討するにあたって、不安や懸念事項があれば教えてください。（MA）

※移住、二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があると回答した方

・移住・二地域居住、ワーケーションのいずれか1つでも関心があると回答した人に対して、不安や懸念事項を尋ねたところ、「**仕事が見つかるか**」が**46%で最も高い**。以下、「収入が減る（賃金が安い）」（37%）、「移住先での人間関係・コミュニティになじめるか」（35%）、「病院や介護サービスの充実度」（35%）、「生活コスト全般」（32%）までが3割以上で続いている。

・首都圏は「収入が減る」「生活コスト全般」「移住に向けた資金」など“金銭面”に関する比率が中京圏と比較して高い傾向が見られる。

・「仕事が見つかるか」についてはテレワークの実施頻度に関わらず高い。

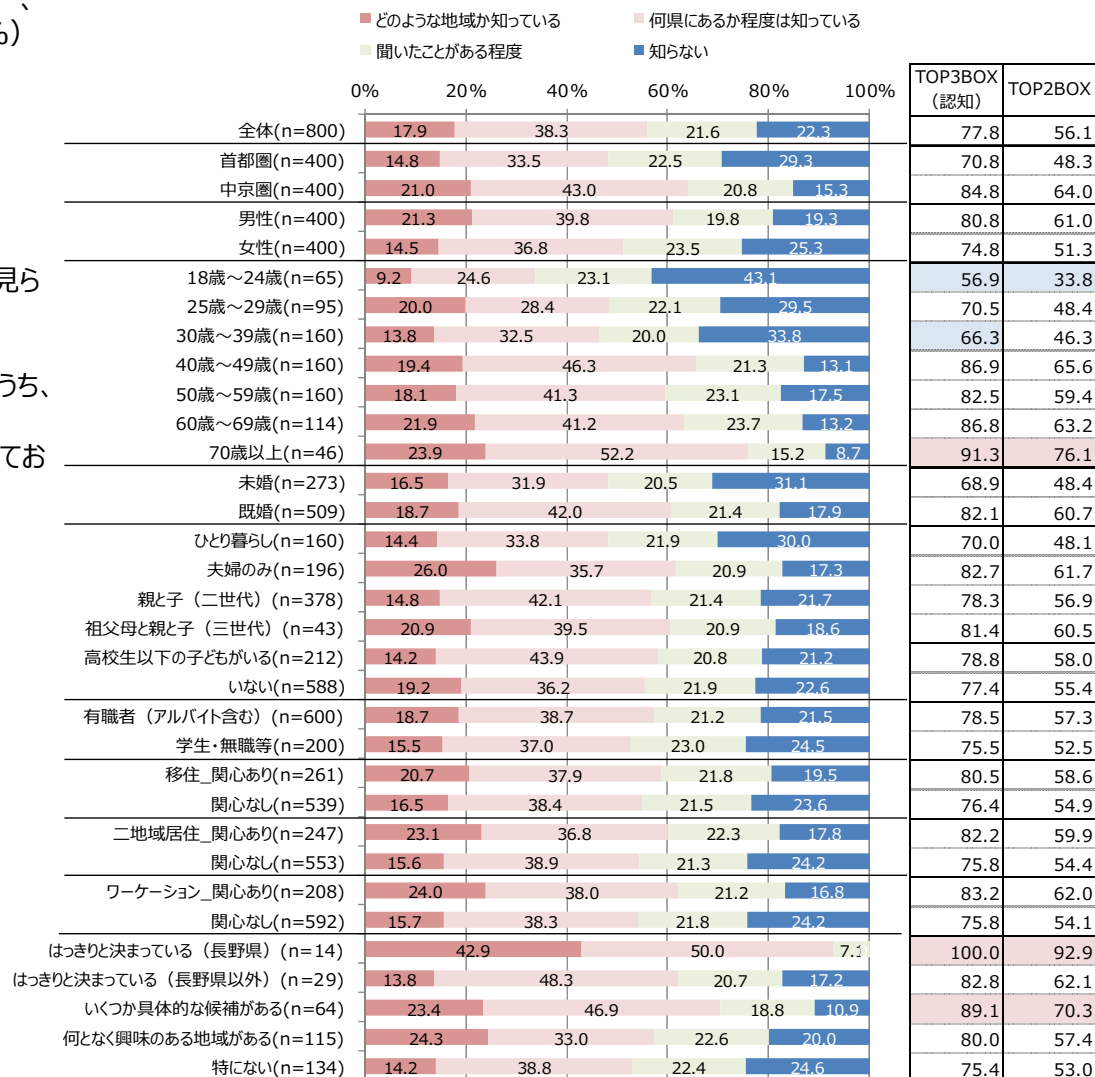


		n 数	仕事が見つかるか	収入が減る（賃金が安い）	移住先での人間関係・コミュニティになじめるか	病院や介護サービスの充実度	生活コスト全般	家族の理解を得ること	移住に向けた資金（転居費用等）	車の運転、地域での移動手段	困った時に相談できる人がいない	子どもの学校（転校）など	商業施設や娯楽施設の充実度	虫や動物が多い環境	現在の生活を変える勇気がない	今の仕事をやめたくない（今の勤務先の制度・状況の問題で難しい）	どこから手を付ければよいかわからない	今の人間関係を維持したい（崩したくない）	地域の高齢化・過疎化	移住先に関する情報が少ない	学校や保育所等の充実度	その他	特になし
全体		356	46.1	36.8	35.1	34.8	31.5	26.7	26.7	22.8	21.1	17.7	17.1	16.3	16.0	15.2	14.3	13.2	11.8	10.4	9.3	0.3	7.3
エリア	首都圏	205	46.8	39.5	37.1	34.1	36.1	25.4	32.7	25.9	22.4	18.0	19.5	19.5	18.0	16.6	16.1	13.7	14.1	12.2	9.8	0.5	7.3
	中京圏	151	45.0	33.1	32.5	35.8	25.2	28.5	18.5	18.5	19.2	17.2	13.9	11.9	13.2	13.2	11.9	12.6	8.6	7.9	8.6	0.0	7.3
性別	男性	202	46.5	37.6	33.2	32.2	28.7	34.7	19.3	18.8	17.3	18.8	18.3	14.4	12.9	12.9	13.9	10.9	11.9	10.9	7.9	0.5	6.9
	女性	154	45.5	35.7	37.7	38.3	35.1	16.2	36.4	27.9	26.0	16.2	15.6	18.8	20.1	18.2	14.9	16.2	11.7	9.7	11.0	0.0	7.8
年齢	18歳～24歳	42	45.2	31.0	42.9	28.6	21.4	26.2	31.0	33.3	23.8	9.5	11.9	23.8	21.4	31.0	16.7	19.0	7.1	11.9	7.1	0.0	7.1
	25歳～29歳	48	50.0	45.8	27.1	18.8	25.0	16.7	22.9	14.6	8.3	20.8	18.8	18.8	12.5	12.5	14.6	18.8	8.3	8.3	16.7	0.0	8.3
	30歳～39歳	78	62.8	47.4	26.9	26.9	28.2	30.8	23.1	14.1	15.4	26.9	15.4	17.9	15.4	19.2	7.7	11.5	12.8	10.3	14.1	0.0	5.1
	40歳～49歳	81	42.0	37.0	42.0	33.3	39.5	27.2	27.2	29.6	29.6	25.9	18.8	17.3	18.5	12.3	21.0	13.6	14.8	9.9	8.6	0.0	6.2
	50歳～59歳	68	41.2	32.4	32.4	50.0	36.8	23.5	32.4	20.6	23.5	8.8	11.8	8.8	17.6	11.8	16.2	7.4	16.2	10.3	4.4	1.5	5.9
	60歳～69歳	29	31.0	24.1	44.8	55.2	31.0	41.4	24.1	27.6	27.6	3.4	27.6	17.2	6.9	6.9	10.3	13.8	6.9	17.2	3.4	0.0	10.3
	70歳以上	10	10.0	0.0	40.0	50.0	30.0	20.0	20.0	30.0	10.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0
	未既婚	151	43.0	33.8	35.8	30.5	29.1	15.9	27.8	24.5	21.2	7.3	14.6	15.9	19.2	17.2	12.6	13.2	9.9	11.3	5.3	0.7	9.3
子ども	既婚	198	48.5	38.4	33.8	36.4	33.3	34.8	24.7	21.2	20.2	25.8	18.2	15.7	12.1	12.6	15.7	13.1	13.1	10.1	12.6	0.0	6.1
	高校生以下の子がいる	104	47.1	46.2	32.7	23.1	29.8	29.8	24.0	13.5	19.2	43.3	9.6	17.3	20.2	16.3	15.4	18.3	11.5	5.8	17.3	0.0	3.8
	いない	252	45.6	32.9	36.1	39.7	32.1	25.4	27.8	26.6	21.8	7.1	20.2	15.9	14.3	14.7	13.9	11.1	11.9	12.3	6.0	0.4	8.7
世帯年収	200万円未満	24	33.3	37.5	50.0	45.8	29.2	12.5	20.8	25.0	20.8	8.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	8.3	16.7	8.3	0.0	0.0	12.5
	200万円～400万未満	60	43.3	31.7	38.3	38.3	38.3	30.0	33.3	15.0	26.7	16.7	16.7	15.0	11.7	18.3	11.7	18.3	10.0	10.0	6.7	0.0	13.3
	400万円～600万未満	59	49.2	42.4	30.5	33.9	39.0	18.6	15.3	32.2	18.6	8.5	22.0	13.6	11.9	16.9	16.9	16.9	16.9	15.3	11.9	0.0	5.1
	600万円～800万未満	66	57.6	45.5	30.3	31.8	30.3	34.8	24.2	16.7	16.7	27.3	12.1	15.2	19.7	9.1	16.7	6.1	7.6	3.0	15.2	0.0	4.5
	800万円～1000万未満	37	45.9	35.1	37.8	32.4	18.9	32.4	32.4	35.1	29.7	27.0	18.9	21.6	13.5	16.2	8.1	10.8	8.1	10.8	10.8	2.7	2.7
	1000万円以上	66	43.9	36.4	36.4	28.8	24.2	33.3	25.8	21.2	21.2	21.2	19.7	19.7	18.2	21.2	12.1	18.2	13.6	13.6	10.6	0.0	7.6
	わからない	44	38.6	25.0	31.8	40.9	36.4	13.6	36.4	20.5	15.9	9.1	13.6	13.6	20.5	15.9	18.2	9.1	11.4	11.4	2.3	0.0	6.8
職業	有職者（アルバイト含む）	288	48.6	39.6	33.0	32.3	30.6	28.5	25.7	21.9	20.1	17.7	17.0	16.3	16.3	17.4	13.2	13.2	11.1	10.1	9.0	0.3	5.9
	学生・無職等	68	35.3	25.0	44.1	45.6	35.3	19.1	30.9	26.5	25.0	17.6	17.6	16.2	14.7	5.9	19.1	13.2	14.7	11.8	10.3	0.0	13.2
勤務形態	週4～5回	44	52.3	45.5	38.6	22.7	31.8	47.7	20.5	20.5	18.2	29.5	15.9	20.5	18.2	22.7	15.9	25.0	9.1	15.9	15.9	0.0	2.3
	テレワークが週2～3回程度	35	62.9	48.6	37.1	22.9	25.7	34.3	20.0	17.1	20.0	22.9	8.6	5.7	22.9	17.1	8.6	14.3	11.4	5.7	2.9	0.0	8.6
	テレワークは週1回程度	16	56.3	31.3	18.8	25.0	12.5	43.8	31.3	31.3	6.3	43.8	12.5	18.8	18.8	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	テレワークは月1～2回程度	7	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
	はほとんど行っていない	25	80.0	60.0	12.0	48.0	28.0	36.0	20.0	16.0	24.0	12.0	24.0	20.0	16.0	16.0	12.0	8.0	20.0	8.0	12.0	0.0	8.0
	テレワーク未導入	97	41.2	37.1	32.0	32.0	30.9	23.7	22.7	17.5	17.5	13.4	17.5	17.5	15.5	18.6	18.6	12.4	9.3	10.3	5.2	0.0	6.2

飯田市の認知度

問23.飯田市（長野県）を知っていますか。（SA）

- ・飯田市の認知度は「どのような地域か知っている」（18%）、「何県にあるか程度は知っている」（38%）、「聞いたことがある程度」（22%）、「知らない」（22%）となった。
- ・首都圏と中京圏では中京圏の方が認知度が高い。
- ・性別では男性の方が認知度が高い。
- ・年代別でみると、年代が高いほど認知度が高い傾向が見られる。
- ・移住、二地域居住、ワーケーション等に関心がある人のうち、「どのような地域か知っている」は2割強。移住等の関心層のうち飯田市の認知度が2割に留まっており、理解促進を図る余地が大きいといえる。



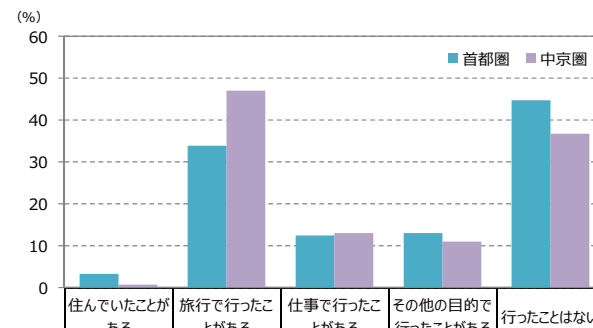
飯田市への来訪経験（認知者ベース）

問24.飯田市に行ったことはありますか。（SA） ※問23「どのような地域か知っている」「何県にあるか程度は知っている」

・飯田市について、「どのような地域か知っている」「何県にあるか程度は知っている」と回答した人に対して、飯田市に行ったことがあるかを尋ねたところ、「旅行で行ったことがある」が41%で、仕事等を含めた「行ったことがある」人の合計は60%を占めている。

・エリア別でみると、行ったことがある人は首都圏が55%、中京圏が63%で中京圏の方が高い。特に「旅行で行ったことがある」の比率で差が見られる。

・年代別でみると60代以上の行ったことがある人の比率が7割を超えており高い。



		n数	住んでいたことがある	旅行で行ったことがある	仕事で行ったことがある	その他の目的で行ったことがある	行ったことはない	行ったことがある・計
全体		449	1.8	41.2	12.7	11.8	40.1	59.9
エリア	首都圏	193	3.1	33.7	12.4	13.0	44.6	55.4
	中京圏	256	0.8	46.9	12.9	10.9	36.7	63.3
性別	男性	244	2.5	39.3	17.6	14.8	35.7	64.3
	女性	205	1.0	43.4	6.8	8.3	45.4	54.6
年齢	18歳～24歳	22	9.1	45.5	18.2	31.8	27.3	72.7
	25歳～29歳	46	6.5	32.6	4.3	15.2	52.2	47.8
	30歳～39歳	74	1.4	37.8	10.8	8.1	50.0	50.0
	40歳～49歳	105	0.0	39.0	9.5	9.5	43.8	56.2
	50歳～59歳	95	0.0	37.9	15.8	15.8	38.9	61.1
	60歳～69歳	72	1.4	51.4	19.4	5.6	27.8	72.2
	70歳以上	35	2.9	51.4	11.4	11.4	28.6	71.4
未婚	未婚	132	3.0	31.1	12.1	13.6	48.5	51.5
	既婚	309	1.3	45.0	12.9	11.0	37.2	62.8
子ども	高校生以下の子どもがいる	123	0.8	36.6	13.8	5.7	48.0	52.0
	いない	326	2.1	42.9	12.3	14.1	37.1	62.9
世帯年収	200万円未満	30	0.0	33.3	13.3	13.3	46.7	53.3
	200万円～400万未満	78	1.3	32.1	12.8	14.1	46.2	53.8
	400万円～600万未満	83	2.4	37.3	10.8	10.8	43.4	56.6
	600万円～800万未満	74	2.7	43.2	13.5	4.1	40.5	59.5
	800万円～1000万未満	59	1.7	52.5	5.1	10.2	40.7	59.3
	1000万円以上	68	1.5	47.1	14.7	19.1	29.4	70.6
	わからない	57	1.8	42.1	19.3	12.3	35.1	64.9
職業	有職者（アルバイト含む）	344	1.5	38.7	12.5	12.5	42.4	57.6
	学生・無職等	105	2.9	49.5	13.3	9.5	32.4	67.6
関心度	移住 関心あり	153	2.6	47.1	15.7	15.0	32.0	68.0
	関心なし	296	1.4	38.2	11.1	10.1	44.3	55.7
関心度	二地域居住 関心あり	148	2.7	43.2	15.5	15.5	33.8	66.2
	関心なし	301	1.3	40.2	11.3	10.0	43.2	56.8
関心度	ワーケーション 関心あり	129	3.9	47.3	17.1	14.0	31.8	68.2
	関心なし	320	0.9	38.8	10.9	10.9	43.4	56.6
関心度タイミング	5年以内	83	6.0	43.4	19.3	21.7	26.5	73.5
	6年以上先・未定	93	0.0	40.9	11.8	6.5	46.2	53.8
	関心はあるが検討しない	37	0.0	43.2	13.5	16.2	29.7	70.3
	関心なし	236	1.3	40.3	10.6	9.7	44.1	55.9
関心地域	決まっている（長野県）	13	23.1	23.1	23.1	15.4	30.8	69.2
	決まっている（長野県以外）	18	11.1	50.0	27.8	11.1	27.8	72.2
	いくつか具体的な候補がある	45	0.0	46.7	15.6	13.3	35.6	64.4
	何となく興味のある地域がある	66	0.0	42.4	12.1	12.1	40.9	59.1
	特にない	71	0.0	40.8	12.7	16.9	33.8	66.2

飯田市への来訪経験（全数ベース）

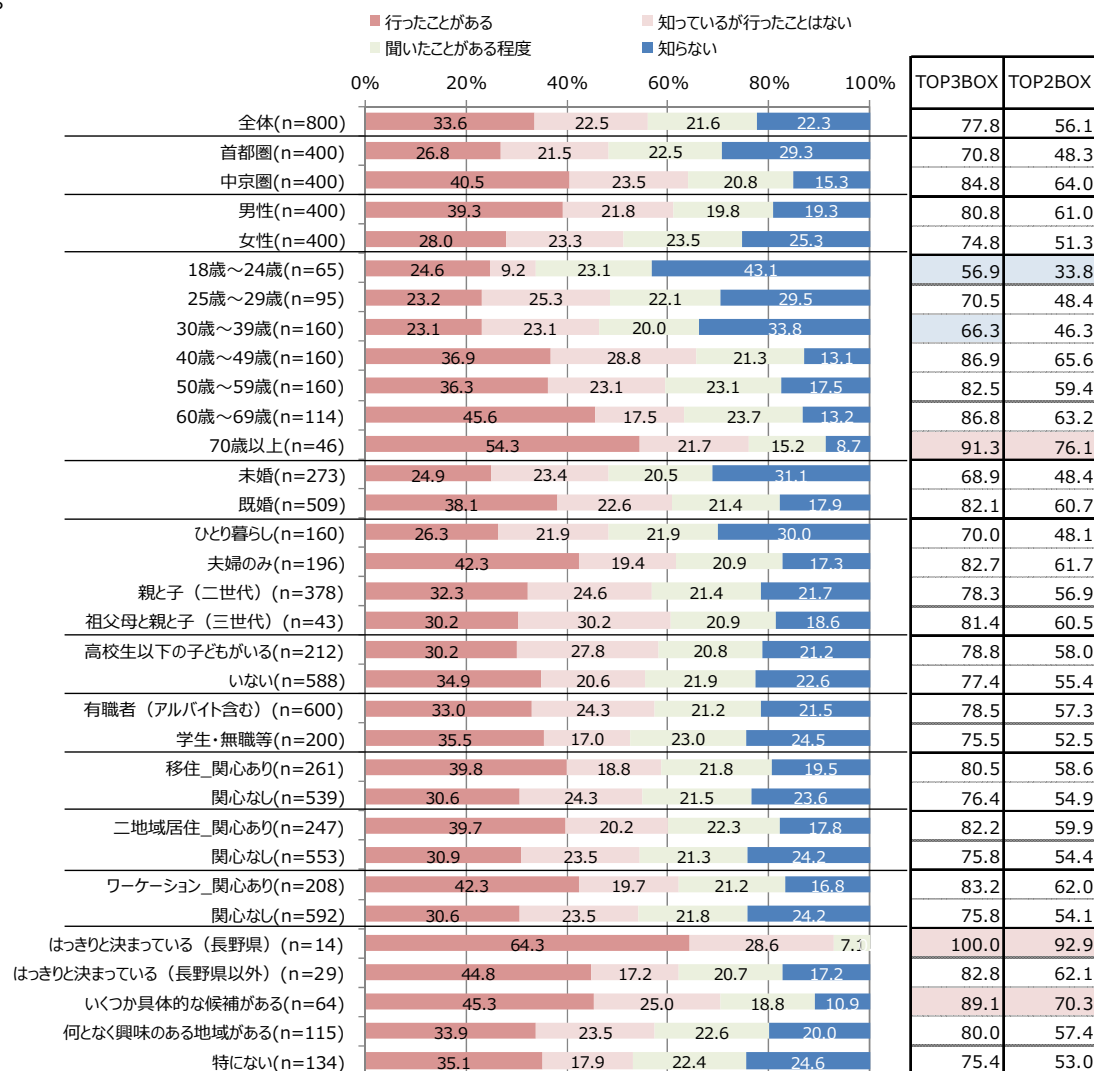
問23.飯田市（長野県）を知っていますか。（SA）

問24.飯田市に行ったことはありますか。（SA）

- ・飯田市への来訪経験について、飯田市を知らない人も母数に含めて集計したところ、全体での飯田市への来訪経験率は34%となった。
- ・エリア別では、首都圏が27%、中京圏で41%と中京圏が高い。
- ・年代別でみると、年代が高い層ほど来訪経験率が高い。

- ・家族形態別では、夫婦のみで「行ったことがある」人の比率が42%と高い。

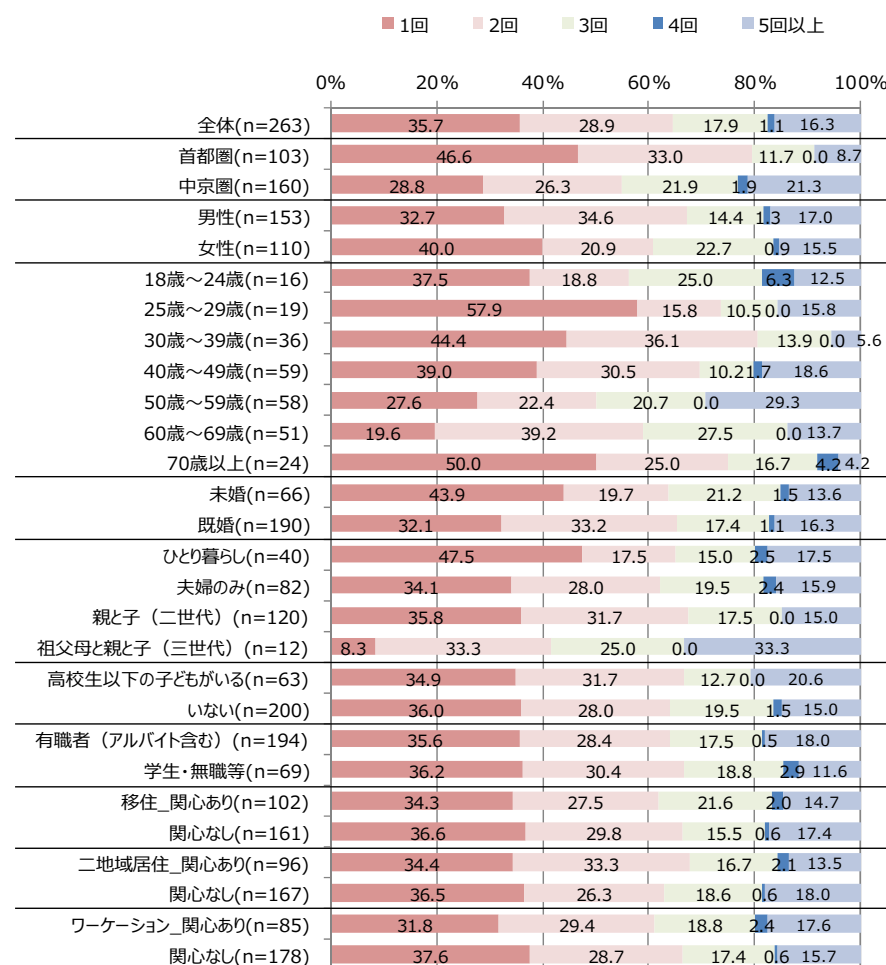
- ・移住、二地域居住、ワーケーションに関心がある人は「行ったことがある」人の比率が4割前後と、関心がない人と比べて10ポイント程度来訪経験率が高い。



飯田市への来訪回数

問25.今までに何回くらい飯田市に行ったことがありますか。 ※問24.飯田市に行ったことがある人（住んでいたことがあるのみの人を除く）

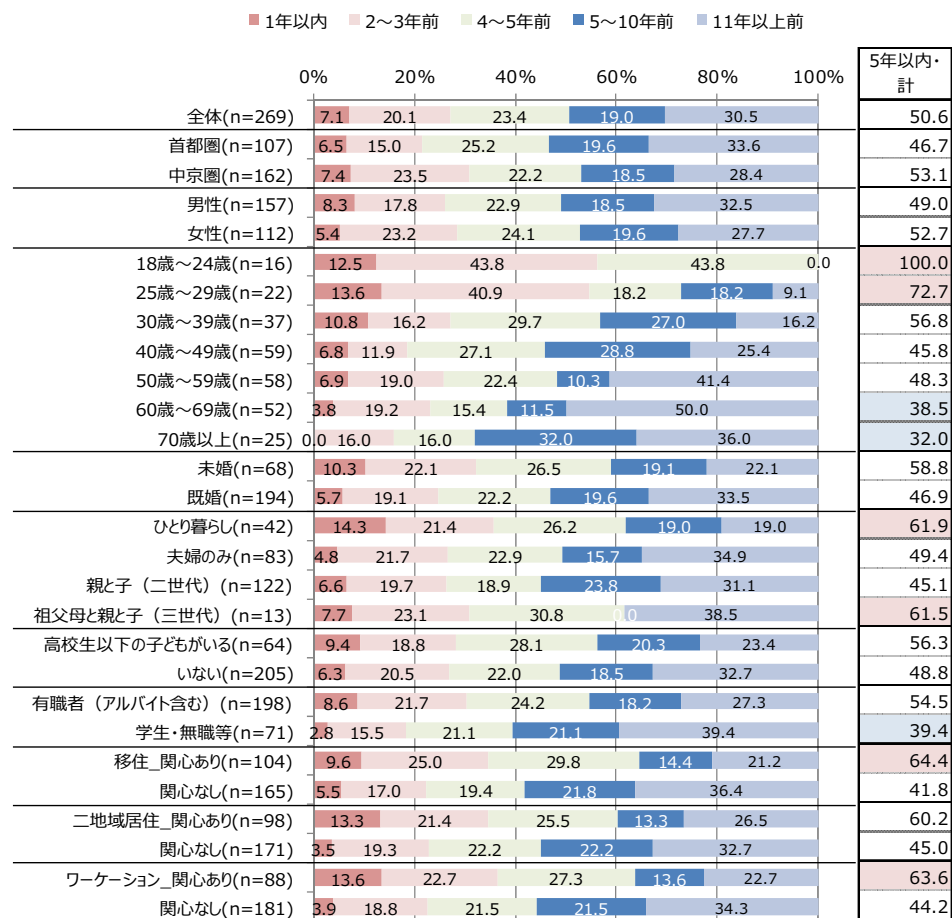
- ・飯田市行ったことがある人（住んでいたことがある人を除く）に対して、何回くらい飯田市に行ったことがあるかを尋ねたところ、「1回」が36%、「2回」が29%で「2回以下」が全体の65%を占めている。
- ・エリア別でみると、首都圏の方が中京圏よりも訪問回数が少ない傾向がある。
- ・年代が高い層ほど、訪問回数が多い傾向が見られる。



直近で飯田市に行った時期

問26.直近で飯田市に行ったのは、どのくらい前ですか。(SA) ※問24.飯田市に行ったことがある人

- ・飯田市に行ったことがある人（全体の34%）に対して、訪問した時期を尋ねたところ、「1年以内」（7.1%）、「2～3年以内」（20%）、「4～5年前」（23%）で合計51%が5年以内に訪問している。「11年以上前」が31%を占めている。
- ・首都圏、中京圏で比較すると、中京圏の方が首都圏と比べて「5年以内」の比率がやや高い。
- ・移住、二地域居住、ワーケーションに関心がある人は、関心がない人と比べて、5年以内に訪問したことがある人の比率が高い。



飯田市の魅力

問27.飯田市の概要・魅力について関心を持った点がありますか。（MA）

・飯田市の概要・魅力について、下記の説明文を提示した上で、各要素について関心を持った点はあるかを尋ねたところ、「**自然環境**」が**61%**で最も高い。次いで、「**食**」（**45%**）、「**観光名所**」（**29%**）などとなっている。

アンケート設問で提示した概要文

	%
自然環境 東に南アルプス、西に中央アルプスがそびえ、南北に天竜川が貫く豊かな自然環境 四季がはっきりしており、長野県内では温暖な気候	61.1
環境政策 「環境モデル都市」に認定されており、地産地消のグリーン電力を利用した先進的な取り組みを実施	—
立地 長野県の最南端（首都圏と中京圏の中間に位置）	18.1
観光名所 天龍峡、遠山郷、下栗の里などの観光名所 天竜川の川下り しらびそ高原 りんご並木 元善光寺 JR飯田線秘境駅	28.9
歴史・文化 人形劇のまちと知られるなど歴史・伝統 飯田市独自の観光提案（農家民泊、体験教育旅行、リンゴのお酒・シードルにちなんだ旅行）	19.0
食 そば、漬物、みそ・しょうゆ、果物（りんご、なし、もも、ぶどう、市田柿など） 人口1万人あたりの焼肉店舗数日本一	44.8
産業 精密機械、電子、光学のハイテク産業をはじめ、半生菓子、漬け物、味噌、酒などの食品産業、 市田柿、りんご、なしなどの果物を中心とする農業が盛ん	8.5
総人口 約99,000人	5.5

飯田市の魅力

問27.飯田市の概要・魅力について関心を持った点はありませんか。(MA)

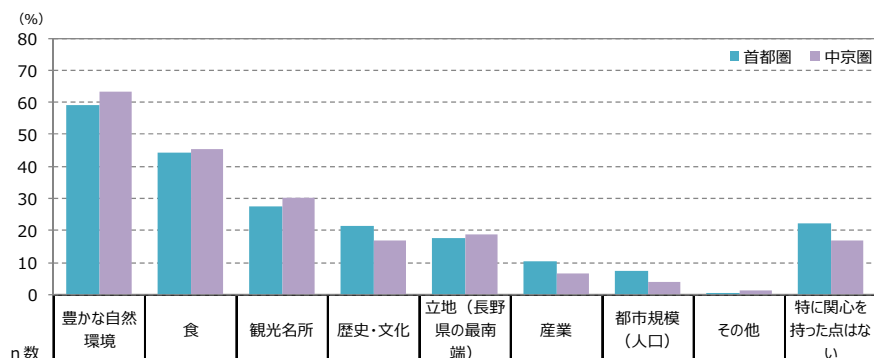
・飯田市の概要・魅力について、エリア別で見ると、首都圏の「特に関心を持った点はない」が22%で、中京圏（17%）と比較して5ポイント高い。

・性別でみると、女性は「食」が54%で、男性（36%）と比較して高い。

・高校生以下の子どもがいる人では「豊かな自然環境」が65%で、高校生以下の子どもがいない人（60%）と比較してやや高い。

・移住、二地域居住、ワーケーションに関心がある人は、関心がない人と比べて、全般的に比率が高い。中でも「立地」については、関心がある人の方がいない人よりも10ポイント以上高い。

・飯田市に行ったことがある人か否かでみると、上位5項目はすべて10ポイント以上の差が見られ、飯田市に行ったことがある人の方が比率が高い。



		n 数	豊かな自然環境	食	観光名所	歴史・文化	立地 (長野県の最南端)	産業	都市規模 (人口)	その他	特に関心を持った点はない
全体		800	61.1	44.8	28.9	19.0	18.1	8.5	5.5	0.9	19.6
エリア	首都圏	400	59.0	44.3	27.5	21.3	17.5	10.5	7.3	0.5	22.3
	中京圏	400	63.3	45.3	30.3	16.8	18.8	6.5	3.8	1.3	17.0
性別	男性	400	61.0	36.0	27.0	21.8	21.8	8.3	8.0	0.8	22.0
	女性	400	61.3	53.5	30.8	16.3	14.5	8.8	3.0	1.0	17.3
年齢	18歳～24歳	65	58.5	50.8	27.7	21.5	21.5	12.3	7.7	1.5	18.5
	25歳～29歳	95	56.8	46.3	18.9	9.5	16.8	7.4	5.3	0.0	18.9
	30歳～39歳	160	58.1	48.1	26.9	16.3	16.9	8.8	5.0	0.6	18.1
	40歳～49歳	160	66.3	49.4	26.9	21.3	18.8	10.0	6.9	1.3	16.9
	50歳～59歳	160	61.9	41.9	31.9	19.4	18.8	8.8	5.0	1.3	22.5
	60歳～69歳	114	63.2	39.5	24.6	17.5	6.1	4.4	0.9	0.9	21.1
	70歳以上	46	58.7	26.1	28.3	21.7	17.4	4.3	4.3	0.0	23.9
未婚	未婚	273	56.4	43.6	23.1	16.1	17.9	10.6	4.8	0.7	23.1
	既婚	509	64.6	45.4	31.8	20.6	18.5	7.3	6.1	1.0	17.3
子ども	高校生以下の子どもがいる	212	65.1	45.8	29.7	18.4	19.3	8.0	7.1	0.9	15.1
	いない	588	59.7	44.4	28.6	19.2	17.7	8.7	4.9	0.9	21.3
世帯年収	200万円未満	55	47.3	34.5	27.3	21.8	14.5	12.7	3.6	1.8	30.9
	200万円～400万未満	154	55.8	46.8	28.6	23.4	14.9	6.5	3.2	0.6	20.8
	400万円～600万未満	155	64.5	49.7	31.6	12.9	18.1	11.0	5.8	0.0	16.8
	600万円～800万未満	132	65.9	49.2	28.8	10.6	22.0	6.1	4.5	0.0	17.4
	800万円～1000万未満	84	61.9	48.8	34.5	21.4	21.4	11.9	4.8	2.4	11.9
	1000万円以上	107	67.3	38.3	28.0	31.8	23.4	10.3	14.0	0.9	14.0
	わからない	113	58.4	38.1	23.0	15.9	12.4	4.4	2.7	1.8	30.1
職業	有職者 (アルバイト含む)	600	62.2	46.2	28.2	18.7	18.8	9.2	6.3	0.7	17.7
	学生・無職等	200	58.0	40.5	31.0	20.0	16.0	6.5	3.0	1.5	25.5
関心度	移住 関心あり	261	70.5	52.9	31.8	23.4	28.4	15.3	10.0	1.1	12.3
	関心なし	539	56.6	40.8	27.5	16.9	13.2	5.2	3.3	0.7	23.2
関心度	二地域居住 関心あり	247	67.6	51.4	31.2	26.3	27.5	15.4	10.9	2.0	11.7
	関心なし	553	58.2	41.8	27.8	15.7	13.9	5.4	3.1	0.4	23.1
関心度	ワーケーション 関心あり	208	66.8	53.8	35.6	29.3	32.7	16.3	13.0	1.0	11.5
	関心なし	592	59.1	41.6	26.5	15.4	13.0	5.7	2.9	0.8	22.5
飯田市認知	どのような地域か知っている	143	73.4	55.9	37.8	25.9	24.5	9.8	9.1	4.2	8.4
	何県にあるか程度は知っている	306	69.3	50.0	34.6	23.9	21.6	9.5	5.9	0.0	10.1
	聞いたことがある程度	173	53.8	37.6	25.4	13.9	13.9	7.5	4.0	0.6	24.3
	知らない	178	44.4	33.7	15.2	10.1	11.2	6.7	3.4	0.0	40.4
飯田市来訪経験	行ったことがある	263	71.9	51.3	40.7	27.4	26.2	9.5	7.6	2.3	7.6
	行ったことがない	537	55.9	41.5	23.1	14.9	14.2	8.0	4.5	0.2	25.5

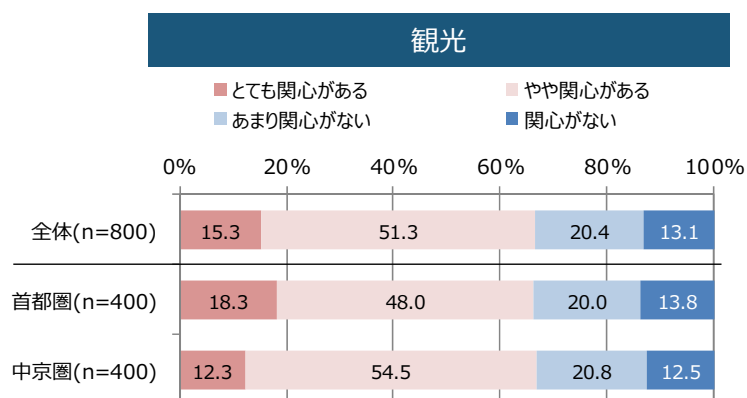
観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場としての飯田市への関心度

問28.飯田市の概要・魅力をご覧になった上でお答えください。飯田市について、観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場所としてどのように思いますか。（SAMT）

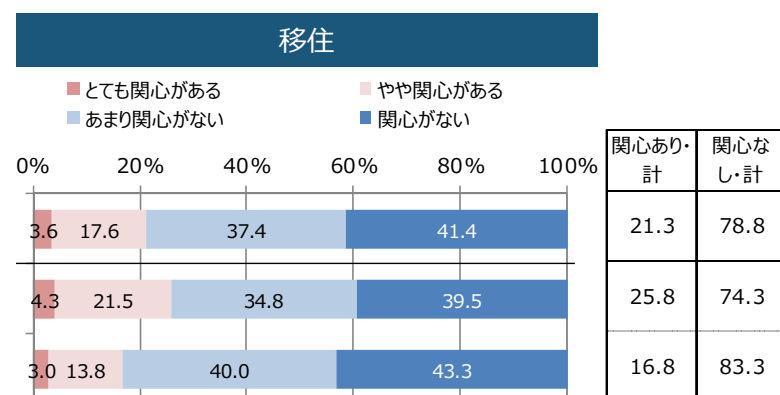
・飯田市の概要・魅力について、説明文を提示した上で、各要素について関心度を4段階で尋ねた。

観光 「とても関心がある」(15%) + 「やや関心がある」(51%) = 67%
 移住 「とても関心がある」(4%) + 「やや関心がある」(18%) = 21%
 二地域居住 「とても関心がある」(3%) + 「やや関心がある」(18%) = 21%
 ワーケーション 「とても関心がある」(4%) + 「やや関心がある」(16%) = 20%

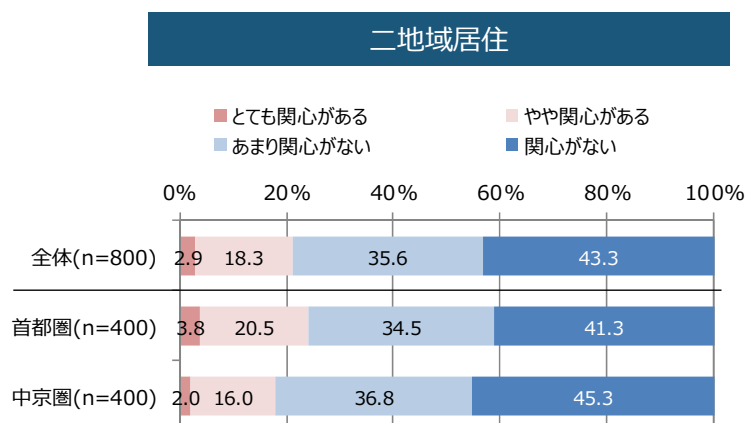
※移住、二地域移住、ワーケーションは首都圏の方が中京圏よりも関心度が高い。



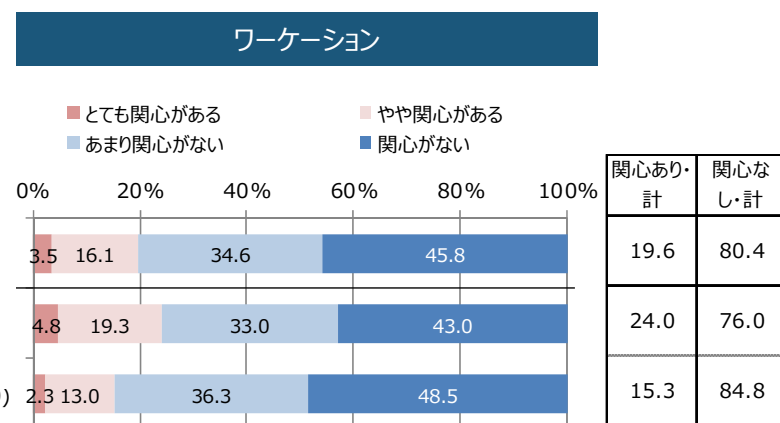
関心あり・計	関心なし・計
66.5	33.5
66.3	33.8
66.8	33.3



関心あり・計	関心なし・計
21.3	78.8
25.8	74.3
16.8	83.3



関心あり・計	関心なし・計
21.1	78.9
24.3	75.8
18.0	82.0



関心あり・計	関心なし・計
19.6	80.4
24.0	76.0
15.3	84.8

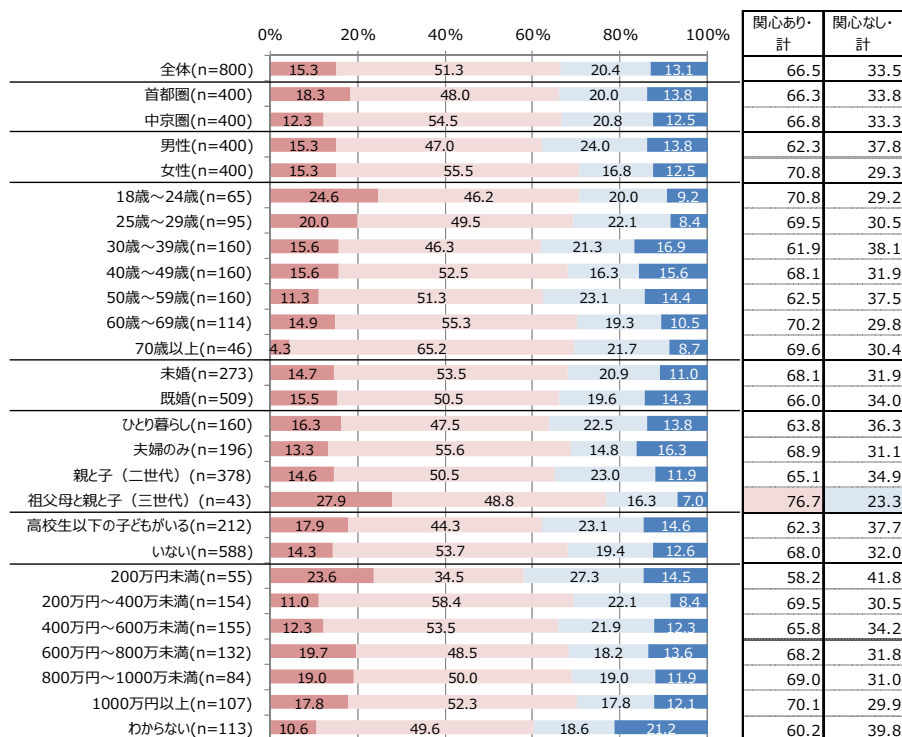
観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場としての飯田市への関心度

問28.飯田市の概要・魅力をご覧になった上でお答えください。飯田市について、観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場所としてどのように思いますか。（SAMT）

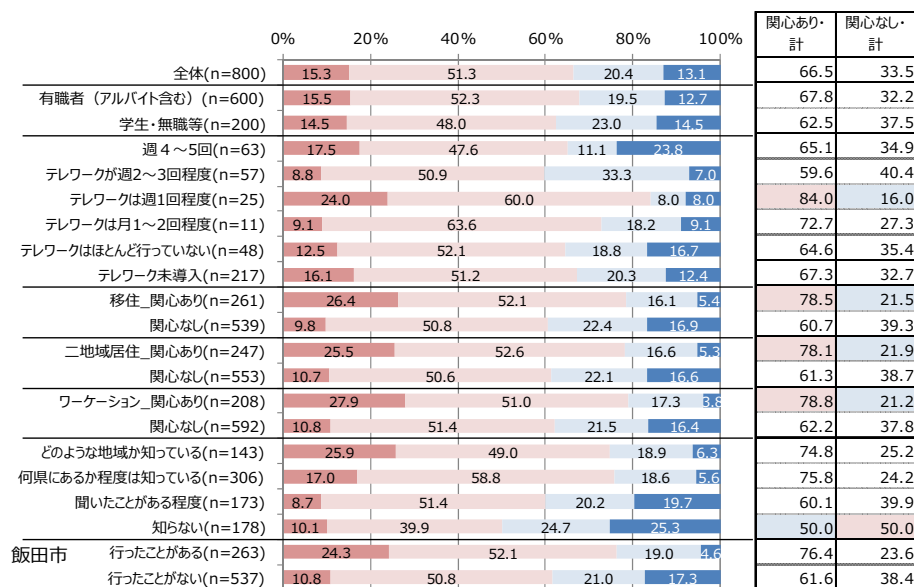
- ・飯田市の概要・魅力を確認した上での「**観光**」についての関心度は、「とても関心がある」（15%）、「やや関心がある」（51%）で**合計67%が関心がある**。
- ・年代別で「とても関心がある」（TOP BOX）の比率を見ると、**年代が低い層ほど比率が高い**。
- ・移住、二地域居住、ワーケーションに関心がある人は、関心がない人と比べて、飯田市への観光の関心度も高い。
- ・飯田市の認知度別でみると、飯田市についてよく認知している人ほど、「とても関心がある」（TOP BOX）の比率が高い。

観光

■とても関心がある ■やや関心がある ■あまり関心がない ■関心がない



■とても関心がある ■やや関心がある ■あまり関心がない ■関心がない

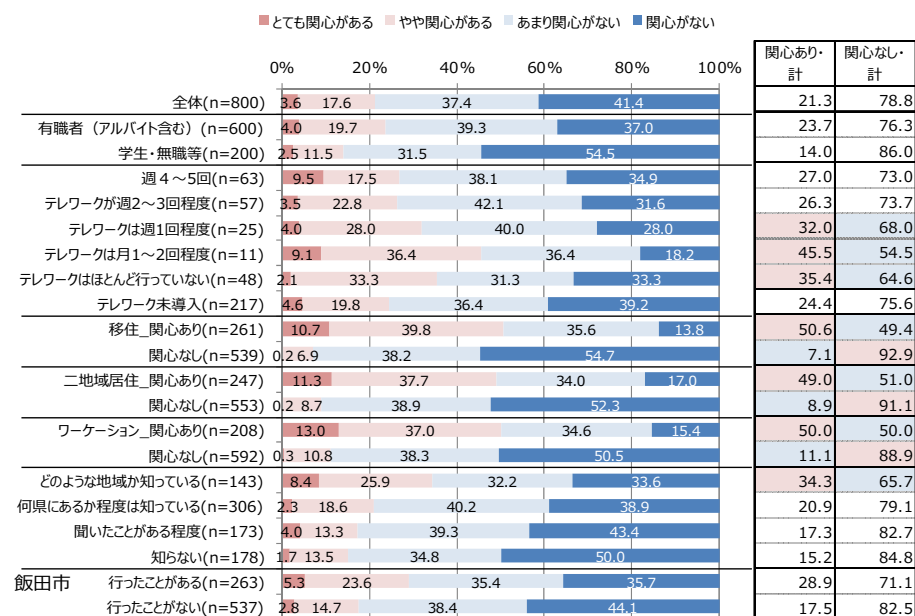
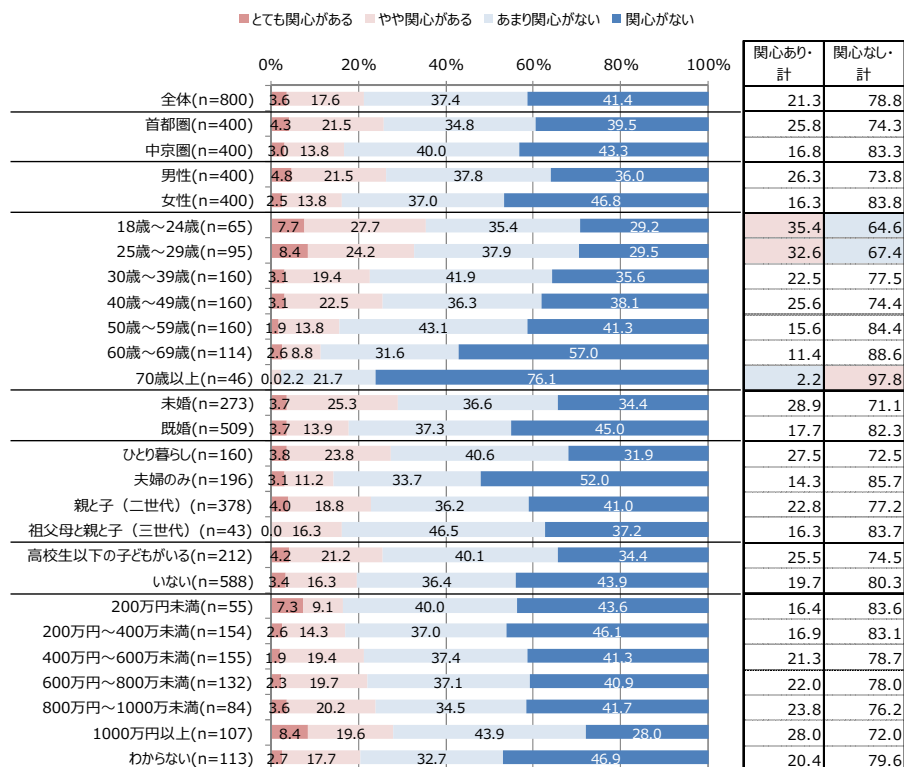


観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場としての飯田市への関心度

問28.飯田市の概要・魅力をご覧になった上でお答えください。飯田市について、観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場所としてどのように思いますか。（SAMT）

- ・飯田市の概要・魅力を確認した上での「**移住**」についての関心度は、「とても関心がある」（4%）、「やや関心がある」（18%）で**合計21%が関心がある**。
- ・年代別でみると、年代が低い層ほど、関心度が高い。
- ・移住、二地域居住、ワーケーションに関心がある人は、関心がない人と比べて、飯田市への移住の関心度も高い。
- ・飯田市の認知度別では、よく認知している人ほど、飯田市に行ったことがある人ほど関心度が高く、飯田市がどのような地域か知っている人の34%、飯田市に行ったことがある人の29%が移住先として飯田市に関心を示している。移住に関わらず飯田市の特徴を訴求することが、移住促進につながる様子が伺える。

移住

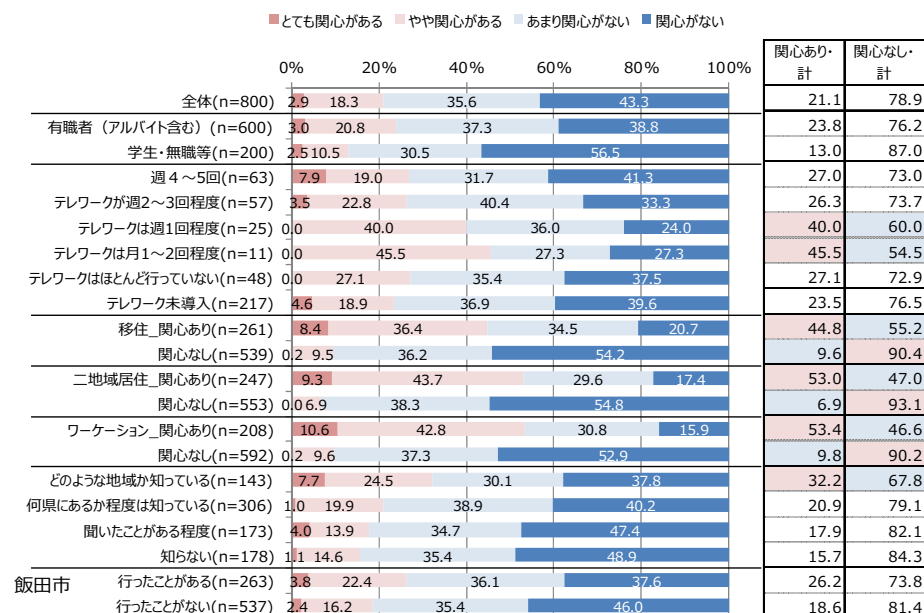
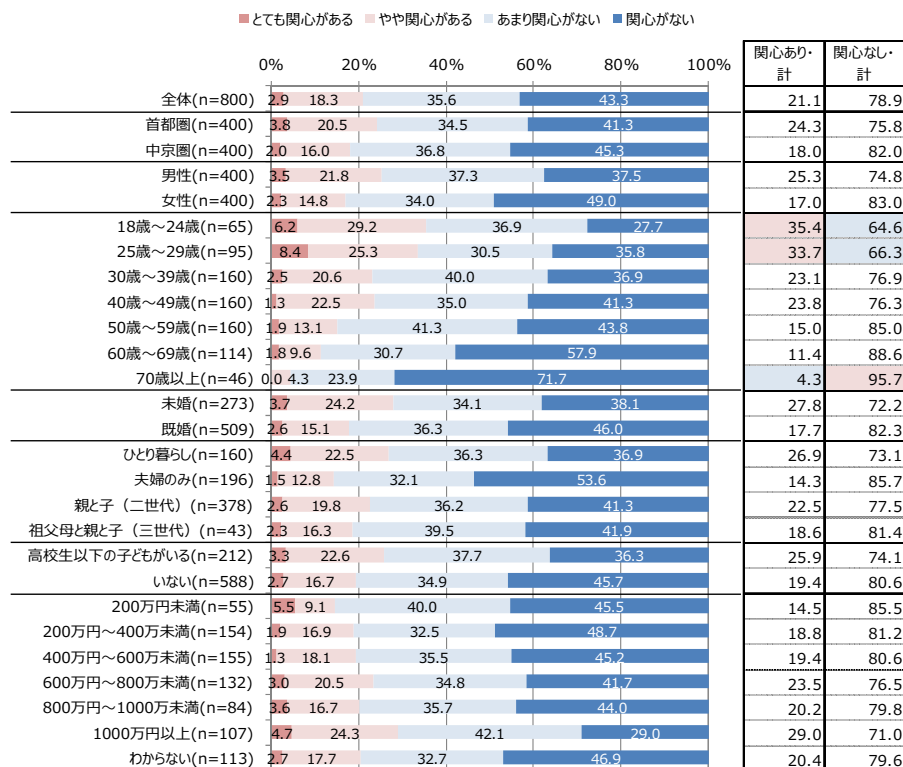


観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場としての飯田市への関心度

問28.飯田市の概要・魅力をご覧になった上でお答えください。飯田市について、観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場所としてどのように思いますか。（SAMT）

- ・飯田市の概要・魅力を確認した上での「**二地域居住**」についての関心度は、「とても関心がある」（3%）、「やや関心がある」（18%） で**合計21%が関心がある**。（移住とほぼ同率）
- ・年代別でみると、年代が低い層ほど。関心度が高い。
- ・年収1,000万円以上の方は関心度の合計が29%と比較的高い。
- ・移住、二地域居住、ワーケーションに関心がある人は、関心がない人と比べて、飯田市への二地域居住の関心度も高い。
- ・飯田市の認知度別では、よく認知している人ほど、飯田市に行ったことがある人ほど関心度が高く、飯田市がどのような地域か知っている人の32%、飯田市に行ったことがある人の26%が移住先として飯田市に関心を示している。

二地域居住

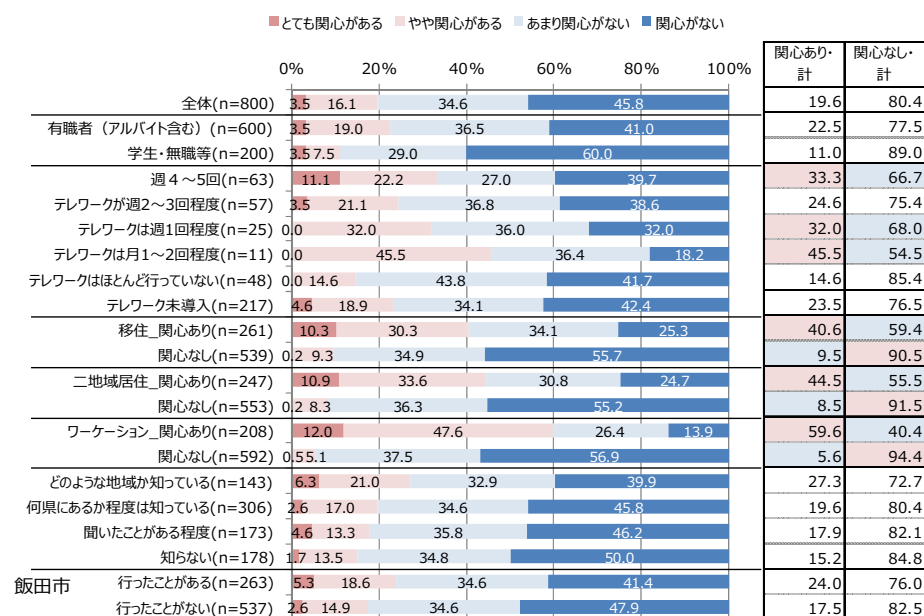
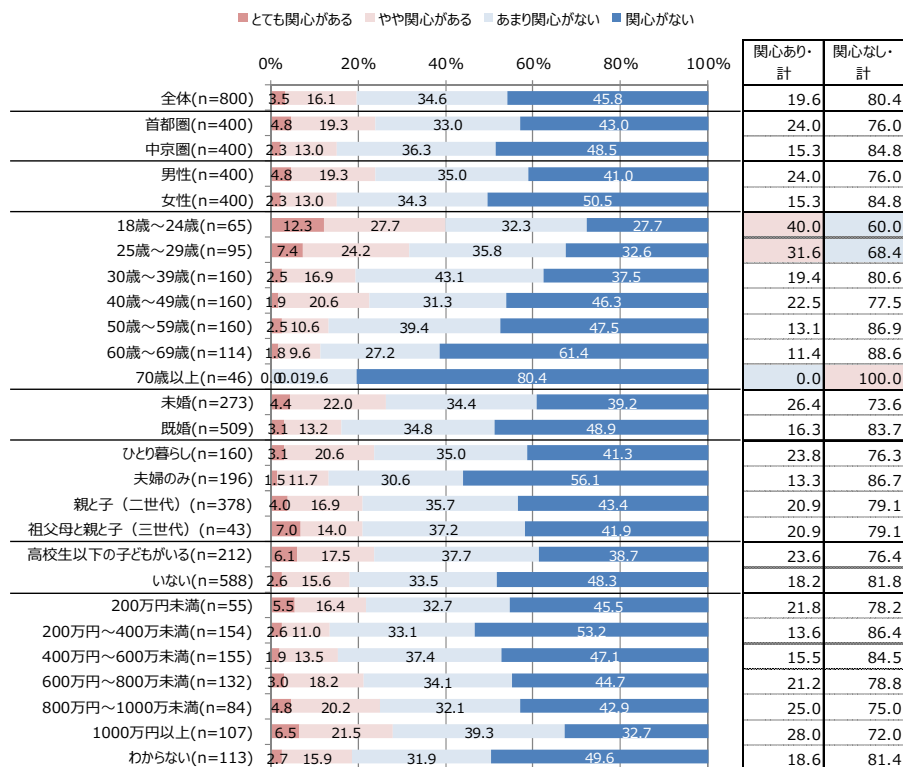


観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場としての飯田市への関心度

問28.飯田市の概要・魅力をご覧になった上でお答えください。飯田市について、観光・移住・二地域居住・ワーケーションの場所としてどのように思いますか。（SAMT）

- ・飯田市の概要・魅力を確認した上での「ワーケーション」についての関心度は、「とても関心がある」（4%）、「やや関心がある」（16%）で**合計20%が関心がある**。（移住とほぼ同率）
- ・年代別でみると、年代が低い層ほど。関心度が高い。
- ・年収1,000万円以上の人は関心度の合計が28%と比較的高い。
- ・移住、二地域居住、ワーケーションに関心がある人は、関心がない人と比べて、飯田市へのワーケーションの関心度も高い。
- ・飯田市の認知度別では、よく認知している人ほど、飯田市に行ったことがある人ほど関心度が高く、飯田市がどのような地域か知っている人の27%、飯田市に行ったことがある人の24%が移住先として飯田市に関心を示している。

ワーケーション



リニア中央新幹線が2027年に開業することの関心度

問29. 2027年にリニア中央新幹線が開業すること（予定）に関心はありますか。

・リニア中央新幹線の開業に対する関心度は、「関心がある」が19%、「まあ関心がある」が34%で**合計53%が「関心がある」としている。**

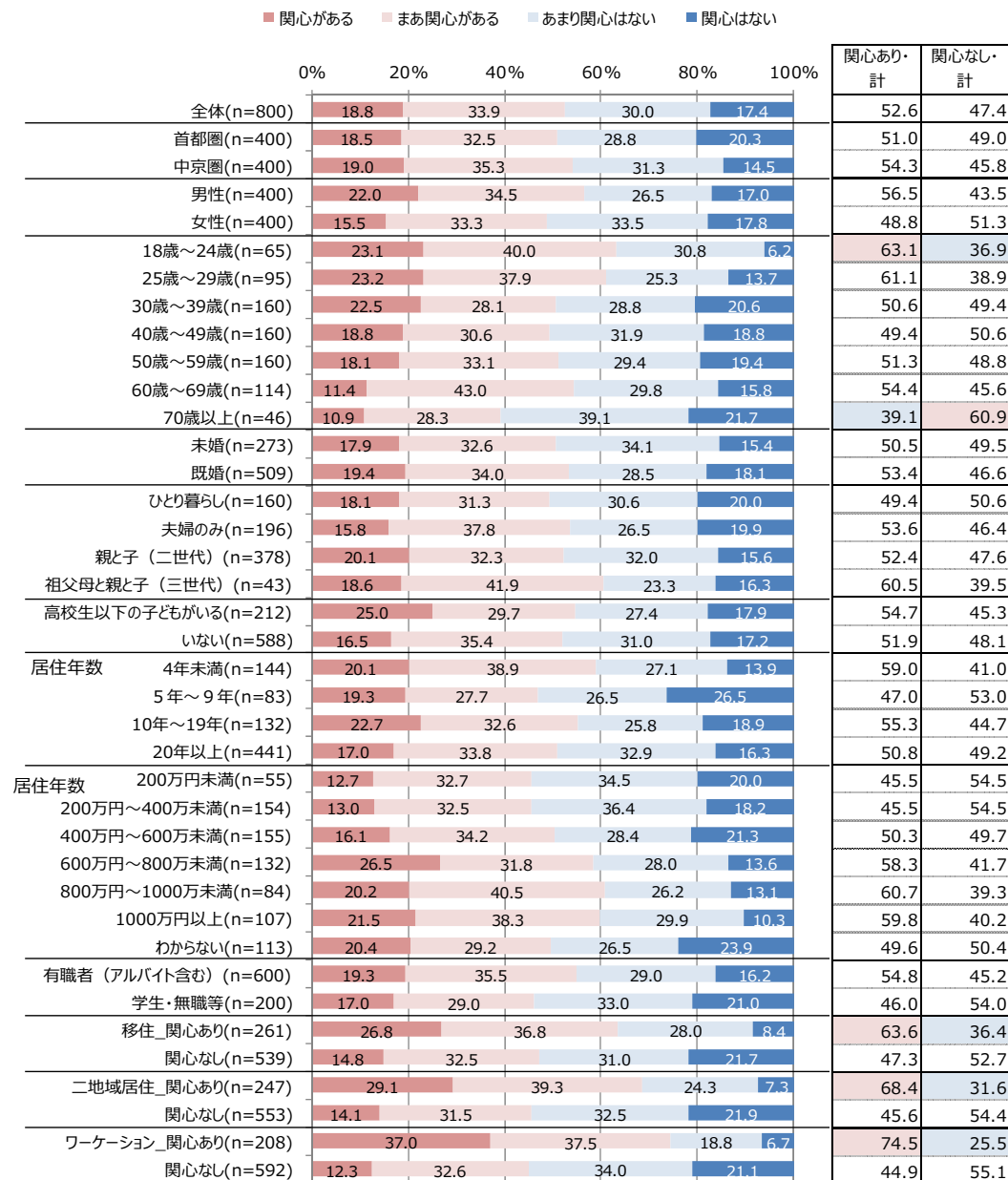
※飯田市民向けアンケートでは、「とても関心がある・期待している」（28%）、「どちらかといえば関心・期待」（44%）で合計72%の関心度となっており、飯田市民との差は約20ポイントとなっている。

・エリア別の関心度は首都圏、中京圏でほぼ同率となっている。

・性別では男性、年代別では20代の関心度が高い。

・年収別でみると600万円未満か以上かで傾向に差が見られ、600万円以上の人の方が関心度がやや高い。

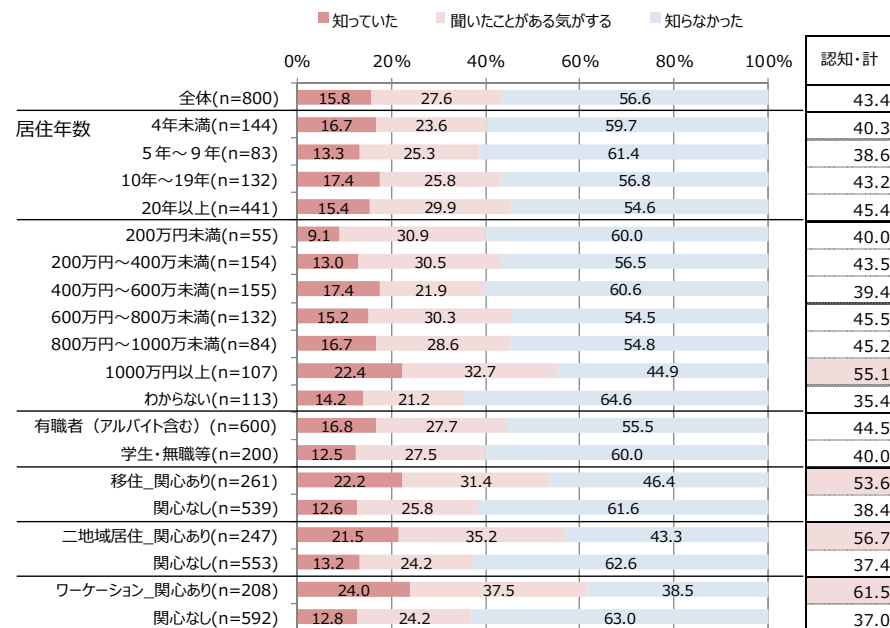
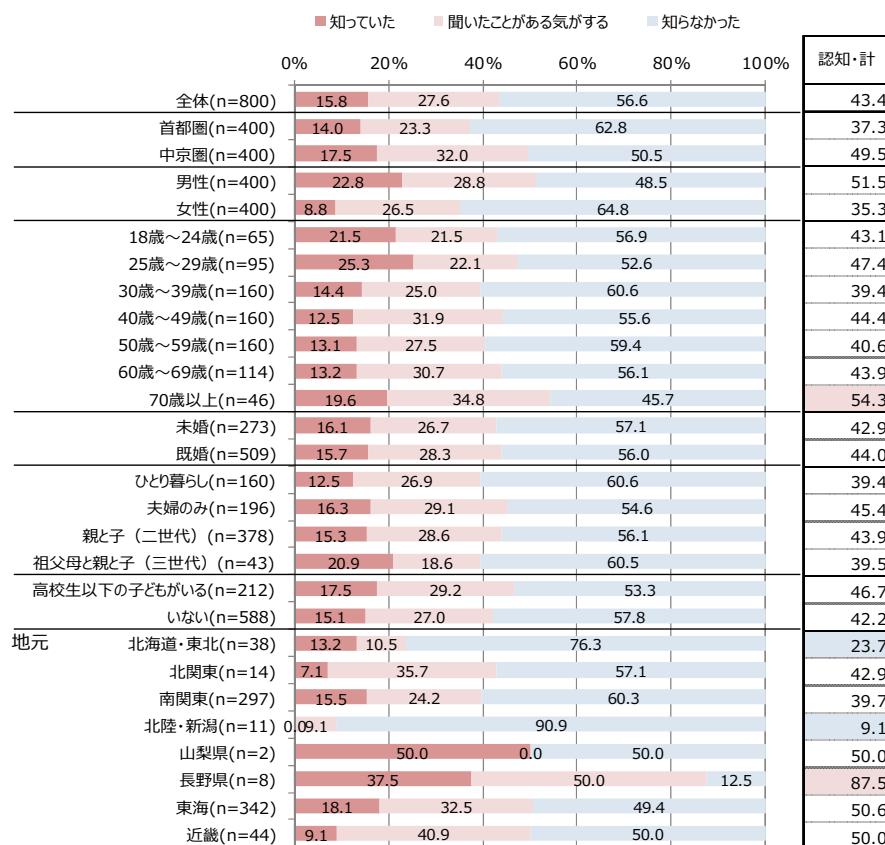
・移住、二地域居住、ワーケーションに関心がある人は、関心がない人と比べて、リニア中央新幹線に対する関心度が高い。



リニア中央新幹線長野県駅が飯田市に開設予定であることの認知度

問30.飯田市には、リニア中央新幹線長野県駅が開設される予定があります。（東京-飯田4時間⇒40分／名古屋-飯田 約2時間⇒20分）ご存じでしたか。（SA）

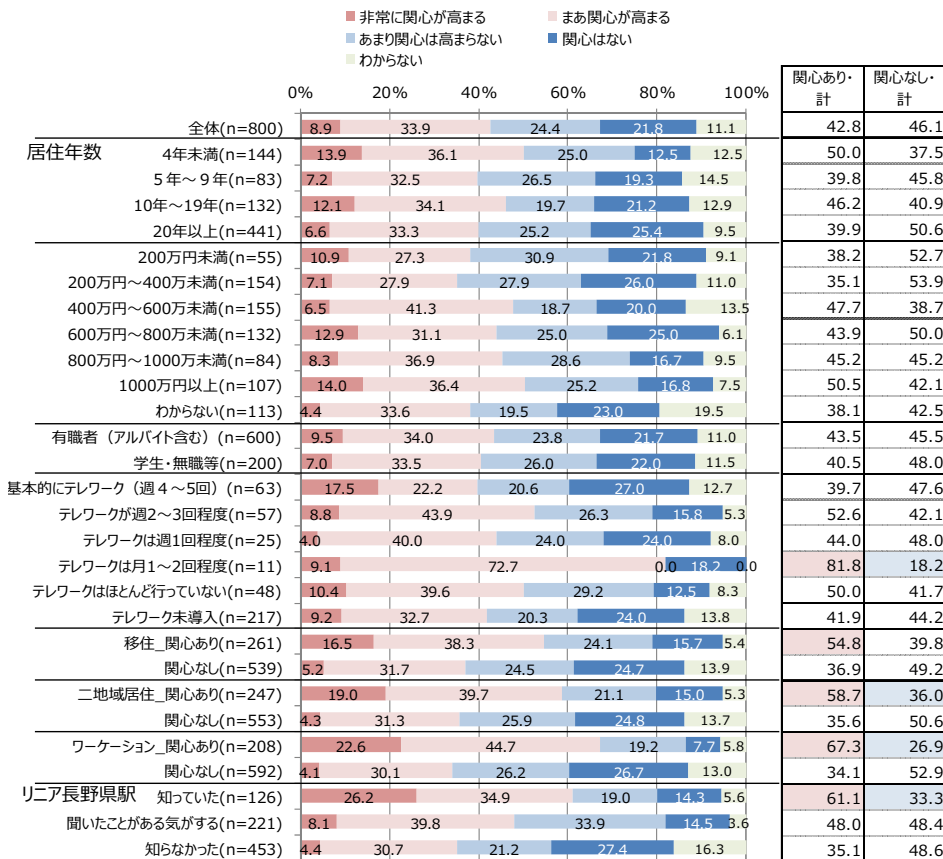
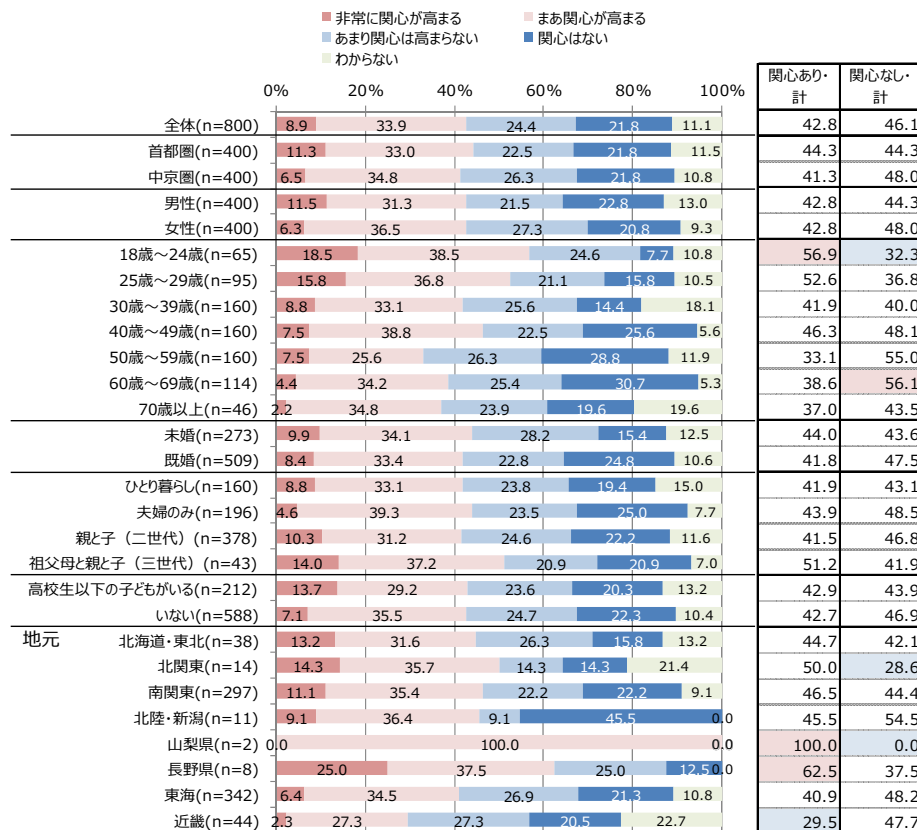
- ・飯田市にリニア中央新幹線長野県駅が開設される予定であることの認知度は、「**知っていた**」が**16%**、「**聞いたことがある気がする**」が**28%**で**合計43%が認知している**。（飯田市民の認知度は85%）
- ・エリア別でみると、首都圏の認知度が37%、中京圏の認知度が50%で中京圏の方が13ポイント高い。
- ・性別で認知度の差が大きく、男性（52%）の方が女性（35%）よりも16ポイント高い。
- ・年代別でみると、「知っていた」（TOP BOX）は、20代、70代が2割前後で他と比較して高い。
- ・世帯年収別でみると、年収1,000万円以上の人では認知度が55%と高い。
- ・移住、二地域居住、ワーケーションに関心がある人は、関心がない人と比べて認知度が高い。



飯田市に対する興味・関心が高まるきっかけになるか

問31.リニア中央新幹線長野県駅の開業（予定）は、飯田市に対する興味・関心が高まるきっかけとなりますか。（あなたご自身の関心が高まるかといった視点でお答えください）（SA）

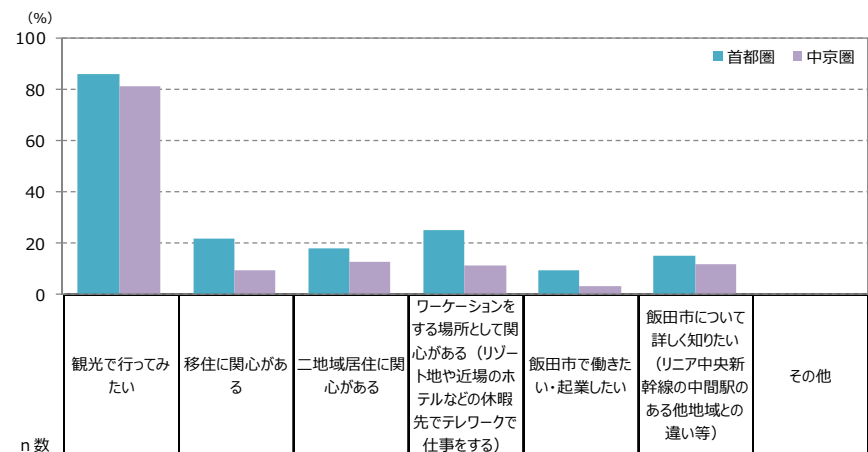
- ・リニア中央新幹線長野県駅の開業が、飯田市に対する興味・関心が高まるきっかけになるかを尋ねたところ、「**非常に関心が高まる**」が9%、「**まあ関心が高まる**」が34%で合計43%が**関心が高まる**と回答している。
- ・年代別でみると、年代が低い層ほど「関心が高まる」とする比率が高く、特に20代では5割を超えている。
- ・現在の居住地の居住年数が4年未満の人では「関心が高まる」比率が高い。
- ・移住、二地域居住、ワーケーションに関心がある人は、関心がない人と比べて「関心が高まるきっかけになる」とする比率が高い。
- ・リニア長野県駅が開業することを認知している人ほど、「関心が高まるきっかけになる」とする比率が高い。



リニア中央新幹線駅の開業で飯田市に興味・関心が高まる点

問32.リニア中央新幹線の開業により、飯田市に対する興味・関心が高まるのは、どのような点ですか。(MA) ※問31「とても関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した方

- ・リニア中央新幹線長野県駅の開業が、飯田市に対する興味・関心が「非常に関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した人に対して、どのような点が関心が高まるかを尋ねたところ、「**観光で行ってみたい**」が**84%**と突出している。
- 次いで、「ワーケーション」が18%、「移住」が16%、「二地域居住」が15%となっている。
- ・性別でみると、男性は女性と比較して「移住」「二地域居住」「ワーケーション」などの比率が女性と比較して高い。
- ・高校生以下の子どもがいる人は、いない人と比べて「移住」「二地域居住」「ワーケーション」の比率が高い。
- ・世帯年収別でみると、1,000万円以上の人は「ワーケーション」が28%と比較的高い。



		n 数	観光で行ってみたい	移住に関心がある	二地域居住に関心がある	ワーケーションをする場所として関心がある (リゾート地や近場のホテルなどの休暇先でテレワークで仕事をする)	飯田市で働きたい・起業したい	飯田市について詳しく知りたい (リニア中央新幹線の中間駅のある他地域との違い等)	その他
エリア	全体	342	83.6	15.5	15.2	18.1	6.1	13.2	0.0
	首都圏	177	85.9	21.5	17.5	24.9	9.0	14.7	0.0
性別	中京圏	165	81.2	9.1	12.7	10.9	3.0	11.5	0.0
	男性	171	81.3	19.3	22.8	24.0	8.2	15.2	0.0
	女性	171	86.0	11.7	7.6	12.3	4.1	11.1	0.0
年齢	18歳～24歳	37	81.1	24.3	21.6	21.6	10.8	21.6	0.0
	25歳～29歳	50	84.0	18.0	20.0	18.0	4.0	12.0	0.0
	30歳～39歳	67	77.6	17.9	9.0	17.9	6.0	13.4	0.0
	40歳～49歳	74	79.7	21.6	16.2	12.2	8.1	16.2	0.0
	50歳～59歳	53	92.5	5.7	13.2	24.5	5.7	3.8	0.0
	60歳～69歳	44	93.2	9.1	15.9	18.2	2.3	15.9	0.0
	70歳以上	17	76.5	0.0	11.8	17.6	5.9	5.9	0.0
未既婚	未婚	120	83.3	15.0	12.5	17.5	6.7	15.0	0.0
	既婚	213	83.1	16.4	17.4	17.8	6.1	12.2	0.0
家族構成	ひとり暮らし	67	88.1	14.9	11.9	14.9	4.5	13.4	0.0
	夫婦のみ	86	87.2	10.5	12.8	10.5	4.7	15.1	0.0
	親と子 (二世帯)	157	79.6	19.7	19.1	23.6	8.3	11.5	0.0
	祖父母と親と子 (三世帯)	22	86.4	13.6	9.1	18.2	0.0	18.2	0.0
子ども	高校生以下の子どもがいる	91	80.2	23.1	20.9	26.4	9.9	13.2	0.0
	いない	251	84.9	12.7	13.1	15.1	4.8	13.1	0.0
居住年数	4年未満	72	84.7	22.2	11.1	22.2	12.5	12.5	0.0
	5年～9年	33	84.8	18.2	15.2	12.1	0.0	15.2	0.0
	10年～19年	61	78.7	19.7	21.3	26.2	6.6	14.8	0.0
	20年以上	176	84.7	10.8	14.8	14.8	4.5	12.5	0.0
世帯年収	200万円未満	21	85.7	14.3	9.5	19.0	0.0	9.5	0.0
	200万円～400万未満	54	87.0	20.4	11.1	14.8	9.3	14.8	0.0
	400万円～600万未満	74	77.0	12.2	12.2	13.5	4.1	12.2	0.0
	600万円～800万未満	58	81.0	19.0	20.7	20.7	6.9	15.5	0.0
	800万円～1000万未満	38	89.5	13.2	23.7	23.7	7.9	18.4	0.0
	1000万円以上	54	83.3	16.7	16.7	27.8	5.6	11.1	0.0
	わからない	43	88.4	11.6	11.6	9.3	7.0	9.3	0.0
職業	有職者 (アルバイト含む)	261	82.4	15.7	14.9	20.3	6.1	12.3	0.0
	学生・無職等	81	87.7	14.8	16.0	11.1	6.2	16.0	0.0

リニア中央新幹線駅の開業で飯田市に興味・関心が高まる点

問32.リニア中央新幹線の開業により、飯田市に対する興味・関心が高まるのは、どのような点ですか。(MA) ※問31「とても関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した方

- ・リニア中央新幹線長野県駅の開業が、飯田市に対する興味・関心が高まるきっかけになるかについて、
 - 移住に関心がある人のうち、飯田市への移住に関心が高まると回答したのは34%。
 - 二地域居住に関心がある人のうち、飯田市への二地域居住に関心が高まると回答したのは30%。
 - ワークেশョンに関心がある人のうち、飯田市へのワークেশョンに関心が高まると回答したのは35%。

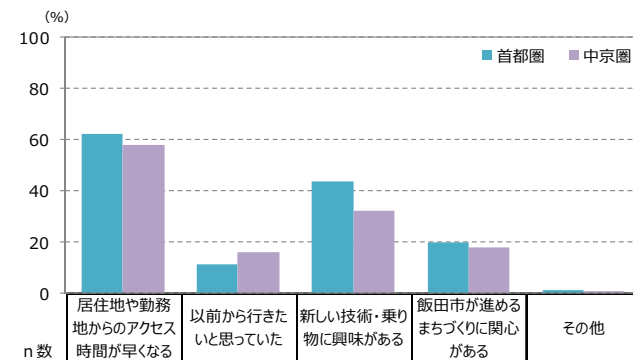
- ・飯田市について、どのような地域か知っている、行ったことがあるなど認知している人ほど、移住、二地域居住、ワークেশョンに関心が高まるとする比率が高い傾向が見られる。

		n 数	観光で行ってみたい	移住に関心がある	二地域居住に関心がある	ワークেশョンをする場所として関心がある(リゾート地や近場のホテルなどの休暇先でテレワークで仕事をする)	飯田市で働きたい・起業したい	飯田市について詳しく知りたい(リニア中央新幹線の中継駅のある他地域との違い等)	その他
全体		342	83.6	15.5	15.2	18.1	6.1	13.2	0.0
勤務形態	週4～5回	25	84.0	32.0	20.0	36.0	16.0	8.0	0.0
	テレワークが週2～3回程度	30	86.7	13.3	30.0	30.0	3.3	10.0	0.0
	テレワークは週1回程度	11	100.0	27.3	9.1	27.3	9.1	9.1	0.0
	テレワークは月1～2回程度	9	44.4	44.4	44.4	44.4	0.0	33.3	0.0
	はほとんど行っていない	24	75.0	8.3	8.3	8.3	4.2	16.7	0.0
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	テレワーク未導入	91	83.5	12.1	11.0	18.7	6.6	9.9	0.0
関心度	移住_関心あり	143	76.2	34.3	23.8	25.9	11.2	19.6	0.0
	関心なし	199	88.9	2.0	9.0	12.6	2.5	8.5	0.0
関心度	二地域居住_関心あり	145	73.8	31.7	29.7	32.4	11.7	21.4	0.0
	関心なし	197	90.9	3.6	4.6	7.6	2.0	7.1	0.0
関心度	ワークেশョン_関心あり	140	74.3	31.4	27.9	35.0	12.1	18.6	0.0
	関心なし	202	90.1	4.5	6.4	6.4	2.0	9.4	0.0
飯田市認知	どのような地域か知っている	75	78.7	20.0	21.3	24.0	13.3	16.0	0.0
	何県にあるか程度は知っている	145	81.4	13.1	13.1	17.2	4.8	15.9	0.0
	聞いたことがある程度	60	90.0	18.3	18.3	18.3	5.0	10.0	0.0
	知らない	62	88.7	12.9	9.7	12.9	1.6	6.5	0.0
飯田市来訪経験	行ったことがある	131	79.4	19.1	18.3	23.7	8.4	15.3	0.0
	行ったことがない	211	86.3	13.3	13.3	14.7	4.7	11.8	0.0

リニア中央新幹線駅の開業で飯田市に興味・関心が高まる理由

問33.リニア中央新幹線の開業により、飯田市に関心が高まる理由は何ですか。(MA) ※問31「とても関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した方

- ・飯田市にリニア中央新幹線長野県駅の開業が、飯田市に対する興味・関心が「非常に関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した人に対して、興味・関心が高まる理由を尋ねたところ、「居住地や勤務地からのアクセス時間が早くなる」が60%、「新しい技術・乗り物に興味がある」が38%。
- ・高校生以下の子どもがいる人では「新しい技術・乗り物に興味がある」の比率が47%で、いない人（35%）と比べて高い。



全体		n数	59.9	13.5	38.0	18.7	0.9
エリア	首都圏	177	62.1	11.3	43.5	19.8	1.1
	中京圏	165	57.6	15.8	32.1	17.6	0.6
性別	男性	171	60.8	12.9	38.0	21.6	1.2
	女性	171	59.1	14.0	38.0	15.8	0.6
年齢	18歳～24歳	37	75.7	16.2	32.4	18.9	0.0
	25歳～29歳	50	64.0	12.0	42.0	14.0	0.0
	30歳～39歳	67	49.3	13.4	46.3	17.9	1.5
	40歳～49歳	74	55.4	13.5	41.9	20.3	0.0
	50歳～59歳	53	64.2	13.2	32.1	17.0	1.9
	60歳～69歳	44	59.1	13.6	36.4	20.5	2.3
	70歳以上	17	64.7	11.8	11.8	29.4	0.0
未婚	未婚	120	68.3	10.0	33.3	15.0	0.0
	既婚	213	54.5	15.5	39.9	21.1	0.9
家族構成	ひとり暮らし	67	73.1	9.0	31.3	14.9	1.5
	夫婦のみ	86	59.3	8.1	33.7	22.1	1.2
	親と子（二世帯）	157	54.8	17.2	43.3	17.8	0.6
	祖父母と親と子（三世帯）	22	63.6	22.7	31.8	22.7	0.0
	その他	10	50.0	10.0	50.0	20.0	0.0
子ども	高校生以下の子どもがいる	91	48.4	20.9	47.3	19.8	0.0
	いない	251	64.1	10.8	34.7	18.3	1.2
居住年数	4年未満	72	61.1	11.1	45.8	25.0	2.8
	5年～9年	33	60.6	15.2	42.4	18.2	0.0
	10年～19年	61	54.1	18.0	47.5	16.4	0.0
	20年以上	176	61.4	12.5	30.7	17.0	0.6
世帯年収	200万円未満	21	61.9	19.0	19.0	14.3	4.8
	200万円～400万未満	54	63.0	14.8	31.5	16.7	0.0
	400万円～600万未満	74	56.8	13.5	37.8	18.9	0.0
	600万円～800万未満	58	58.6	8.6	50.0	22.4	1.7
	800万円～1000万未満	38	60.5	10.5	36.8	26.3	2.6
	1000万円以上	54	64.8	14.8	40.7	11.1	0.0
	わからない	43	55.8	16.3	37.2	20.9	0.0
職業	有職者（アルバイト含む）	261	60.5	12.3	39.5	18.4	0.8
	学生・無職等	81	58.0	17.3	33.3	19.8	1.2

リニア中央新幹線駅の開業で飯田市に興味・関心が高まる理由

問33.リニア中央新幹線の開業により、飯田市に関心が高まる理由は何ですか。(MA) ※問31「とても関心が高まる」「まあ関心が高まる」と回答した方

・飯田市にリニア中央新幹線長野県駅の開業が、飯田市に対する興味・関心が高まる理由について、移住、二地域居住、ワーケーションに関心の有無別でみると、全般的に関心がある人の方が比率が高い。

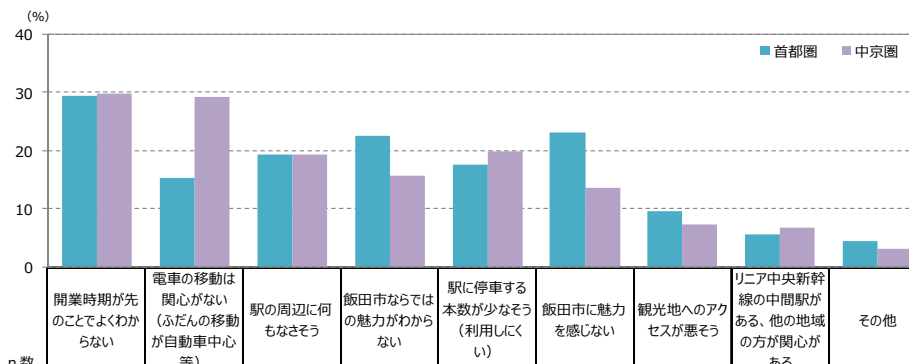
		n 数	居住地や勤務地からのアクセス時間が早くなる	以前から行きたいと思っていた	新しい技術・乗り物に興味がある	飯田市が進めるまちづくりに関心がある	その他
全体		342	59.9	13.5	38.0	18.7	0.9
勤務形態	週4～5回	25	56.0	8.0	64.0	32.0	0.0
	テレワークが週2～3回程度	30	73.3	10.0	23.3	16.7	0.0
	テレワークは週1回程度	11	54.5	18.2	45.5	36.4	0.0
	テレワークは月1～2回程度	9	55.6	33.3	33.3	11.1	0.0
	はほとんど行っていない	24	50.0	12.5	41.7	12.5	4.2
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	テレワーク未導入	91	64.8	11.0	35.2	14.3	0.0
関心度	移住_関心あり	143	64.3	15.4	42.0	20.3	0.0
	関心なし	199	56.8	12.1	35.2	17.6	1.5
関心度	二地域居住_関心あり	145	66.2	16.6	39.3	24.1	0.7
	関心なし	197	55.3	11.2	37.1	14.7	1.0
関心度	ワーケーション_関心あり	140	63.6	17.1	44.3	25.0	0.7
	関心なし	202	57.4	10.9	33.7	14.4	1.0
飯田市認知	どのような地域か知っている	75	60.0	22.7	33.3	21.3	1.3
	何県にあるか程度は知っている	145	62.1	13.1	42.1	17.2	0.7
	聞いたことがある程度	60	56.7	11.7	36.7	20.0	1.7
	知らない	62	58.1	4.8	35.5	17.7	0.0
飯田市来訪経験	行ったことがある	131	61.1	16.8	42.0	19.1	1.5
	行ったことがない	211	59.2	11.4	35.5	18.5	0.5

リニア中央新幹線駅の開業で飯田市に興味・関心が高まらない理由

問34.リニア中央新幹線の開業により、飯田市への関心が高まらない理由は何でしょうか。(MA) ※問31「あまり関心は高まらない」「関心は高まらない」と回答した方

・リニア中央新幹線長野県駅の開業が、飯田市に対する興味・関心が「あまり関心が高まらない」「関心は高まらない」と回答した人に対して、関心が高まらない理由を尋ねたところ、「開業時期が先のことでよくわからない」が30%で最も高い。次いで「電車での移動は関心がない」(23%)、「駅の周辺に何もなさそう」(19%)、「飯田市ならではの魅力がわからない」(19%)、「駅に停車する本数が少なそう」(19%)、「飯田市に魅力を感じない」(18%)などが続く。

・エリア別でみると、首都圏では「飯田市に魅力を感じない」、中京圏では、「電車での移動は関心がない」などの比率が比較的高い。



		n 数	開業時期が先のことでよくわからない	電車の移動は関心がない(ふだんの移動が自動車中心等)	駅の周辺に何もなさそう	飯田市ならではの魅力がわからない	駅に停車する本数が少なそう(利用しにくい)	飯田市に魅力を感じない	観光地へのアクセスが悪そう	リニア中央新幹線の中間駅がある、他の地域の方が関心がある	その他
全体		369	29.5	22.5	19.2	19.0	18.7	18.2	8.4	6.2	3.8
エリア	首都圏	177	29.4	15.3	19.2	22.6	17.5	23.2	9.6	5.6	4.5
	中京圏	192	29.7	29.2	19.3	15.6	19.8	13.5	7.3	6.8	3.1
性別	男性	177	23.2	18.6	20.9	22.0	20.9	19.8	7.9	4.5	4.0
	女性	192	35.4	26.0	17.7	16.1	16.7	16.7	8.9	7.8	3.6
年齢	18歳～24歳	21	42.9	9.5	19.0	9.5	19.0	19.0	9.5	14.3	0.0
	25歳～29歳	35	17.1	28.6	31.4	31.4	17.1	20.0	22.9	2.9	5.7
	30歳～39歳	64	37.5	17.2	14.1	23.4	26.6	18.8	6.3	3.1	1.6
	40歳～49歳	77	28.6	28.6	18.2	16.9	15.6	22.1	6.5	7.8	1.3
	50歳～59歳	88	25.0	27.3	19.3	17.0	17.0	12.5	5.7	5.7	11.4
	60歳～69歳	64	29.7	20.3	17.2	12.5	15.6	17.2	3.1	9.4	0.0
	70歳以上	20	35.0	5.0	25.0	30.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
未婚	未婚	119	32.8	19.3	19.3	16.8	16.8	16.0	9.2	6.7	6.7
	既婚	242	27.7	24.4	18.6	19.8	19.4	19.0	7.4	6.2	2.5
家族構成	ひとり暮らし	69	31.9	15.9	24.6	17.4	17.4	20.3	10.1	5.8	8.7
	夫婦のみ	95	28.4	21.1	21.1	16.8	16.8	17.9	10.5	3.2	2.1
	親と子(二世帯)	177	29.4	23.7	16.9	19.8	21.5	19.2	7.3	6.8	2.3
	祖父母と親と子(三世帯)	18	27.8	38.9	11.1	22.2	16.7	11.1	0.0	11.1	11.1
子ども	高校生以下の子がいる	93	28.0	29.0	14.0	23.7	22.6	20.4	3.2	7.5	3.2
	いない	276	30.1	20.3	21.0	17.4	17.4	17.4	10.1	5.8	4.0
居住年数	4年未満	54	33.3	18.5	13.0	16.7	22.2	20.4	7.4	9.3	5.6
	5年～9年	38	36.8	18.4	21.1	21.1	21.1	18.4	10.5	7.9	10.5
	10年～19年	54	22.2	18.5	24.1	18.5	20.4	18.5	3.7	3.7	3.7
	20年以上	223	29.1	25.1	19.3	19.3	17.0	17.5	9.4	5.8	2.2
	世帯年収	29	44.8	17.2	27.6	20.7	24.1	31.0	10.3	6.9	3.4
世帯年収	200万円未満	83	34.9	20.5	19.3	13.3	19.3	13.3	12.0	4.8	2.4
	400万円～600万未満	60	26.7	23.3	18.3	16.7	10.0	20.0	6.7	8.3	6.7
	600万円～800万未満	66	27.3	34.8	15.2	28.8	19.7	16.7	10.6	7.6	0.0
	800万円～1000万未満	38	23.7	23.7	15.8	23.7	26.3	15.8	7.9	2.6	5.3
	1000万円以上	45	22.2	20.0	15.6	22.2	24.4	17.8	2.2	2.2	6.7
	わからない	48	29.2	12.5	27.1	10.4	12.5	20.8	6.3	10.4	4.2
職業	有職者(アルバイト含む)	273	27.1	24.2	19.8	17.6	18.7	16.5	7.0	6.6	4.0
	学生・無職等	96	36.5	17.7	17.7	22.9	18.8	22.9	12.5	5.2	3.1

リニア中央新幹線駅の開業で飯田市に興味・関心が高まらない理由

問34.リニア中央新幹線の開業により、飯田市への関心が高まらない理由は何でしょうか。(MA) ※問31「あまり関心は高まらない」「関心は高まらない」と回答した方

・移住、二地域居住、ワーケーションなどに関心を持っている層が、リニア中央新幹線長野県駅の開業が、飯田市に対する興味・関心が高まらない理由としては、全体傾向とほぼ同様の傾向であるが、「開業時期が先のことでわからない」「電車での移動は関心がない」「駅の周辺に何もなさそう」「飯田市ならではの魅力がわからない」「駅に停車する本数が少なそう」「飯田市に魅力を感じない」などが高くなっている。

	n 数	開業時期が先のことでよくわからない	電車の移動は関心がない (ふだんの移動が自動車中心等)	駅の周辺に何もなさそう	飯田市ならではの魅力がわからない	駅に停車する本数が少なそう (利用しにくい)	飯田市に魅力を感じない	観光地へのアクセスが悪そう	リニア中央新幹線の間駅がある、他の地域の方が関心がある	その他
全体	369	29.5	22.5	19.2	19.0	18.7	18.2	8.4	6.2	3.8
関心度										
移住_関心あり	104	32.7	26.9	15.4	20.2	25.0	15.4	11.5	8.7	6.7
関心なし	265	28.3	20.8	20.8	18.5	16.2	19.2	7.2	5.3	2.6
関心度										
二地域居住_関心あり	89	33.7	22.5	18.0	21.3	21.3	13.5	10.1	9.0	6.7
関心なし	280	28.2	22.5	19.6	18.2	17.9	19.6	7.9	5.4	2.9
関心度										
ワーケーション_関心あり	56	33.9	21.4	25.0	23.2	28.6	19.6	14.3	10.7	5.4
関心なし	313	28.8	22.7	18.2	18.2	16.9	17.9	7.3	5.4	3.5
飯田市認知										
どのような地域か知っている	63	25.4	33.3	12.7	17.5	19.0	20.6	4.8	4.8	4.8
何県にあるか程度は知っている	138	33.3	23.2	17.4	16.7	28.3	13.0	13.0	9.4	4.3
聞いたことがある程度	94	28.7	23.4	22.3	25.5	11.7	18.1	7.4	5.3	2.1
知らない	74	27.0	10.8	24.3	16.2	9.5	25.7	4.1	2.7	4.1
飯田市来訪経験										
行ったことがある	117	27.4	29.9	12.8	16.2	26.5	15.4	7.7	9.4	4.3
行ったことがない	252	30.6	19.0	22.2	20.2	15.1	19.4	8.7	4.8	3.6

地方の情報入手経験

問35.現在居住の地域以外の地方について、観光や移住、仕事などに関するどんな情報をこれまでに見た、または入手したことがありますか。（SAMT）

・地方の情報入手経験は以下の通り。

■ 仕事

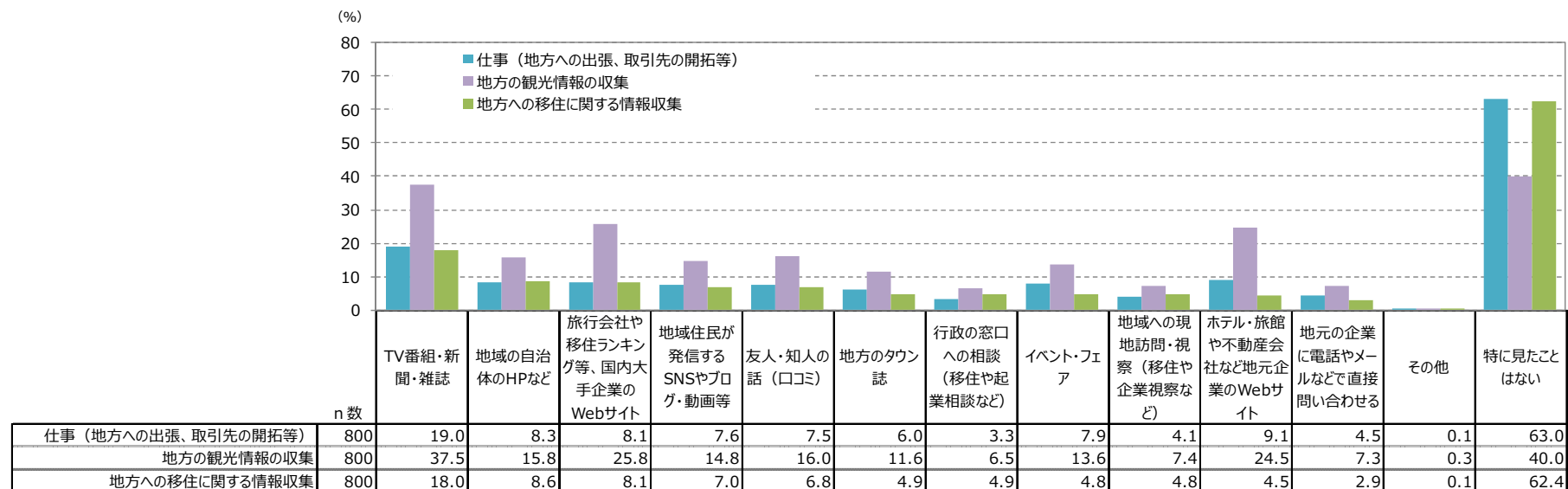
・「見たことがない」が63%。「TV番組・新聞・雑誌」が19%で唯一1割を超えている。次いで「ホテル・旅館や不動産会社など地元企業のWebサイト」が9%で続いている。

■ 観光情報

・「見たことがない」が40%。「TV番組・新聞・雑誌」（38%）、「旅行会社や移住ランキング等、国内大手企業のWebサイト」（26%）、「ホテル・旅館や不動産会社など地元企業のWebサイト」（25%）、「友人・知人の話」（16%）、「地域の自治体のHP」（16%）、「地域住民が発信するSNSやブログ・動画等」（15%）、「イベント・フェア」（14%）、「地方のタウン誌」（12%）が1割を超えている。

■ 移住

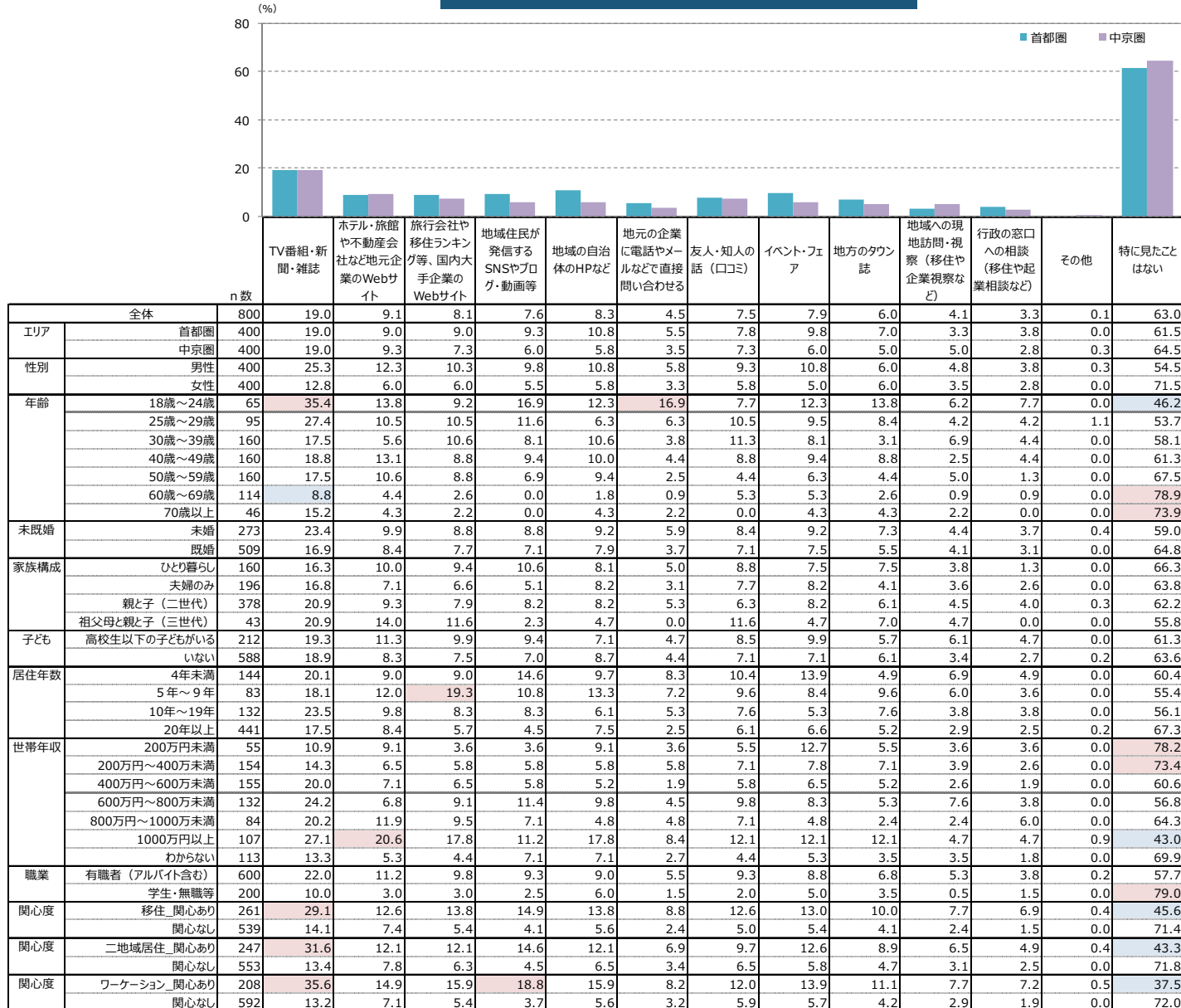
・「見たことがない」が62%。「TV番組・新聞・雑誌」が18%で唯一1割を超えている。次いで「地域の自治体のHP」が9%で続いている。
・移住等に関心がある人は、「自治体HP」「地域住民が発信するSNSやブログ」などの比率が比較的高い。



地方の情報入手経験

問35.現在居住の地域以外の地方について、観光や移住、仕事などに関するどんな情報をこれまでに見た、または入手したことがありますか。(SAMT)

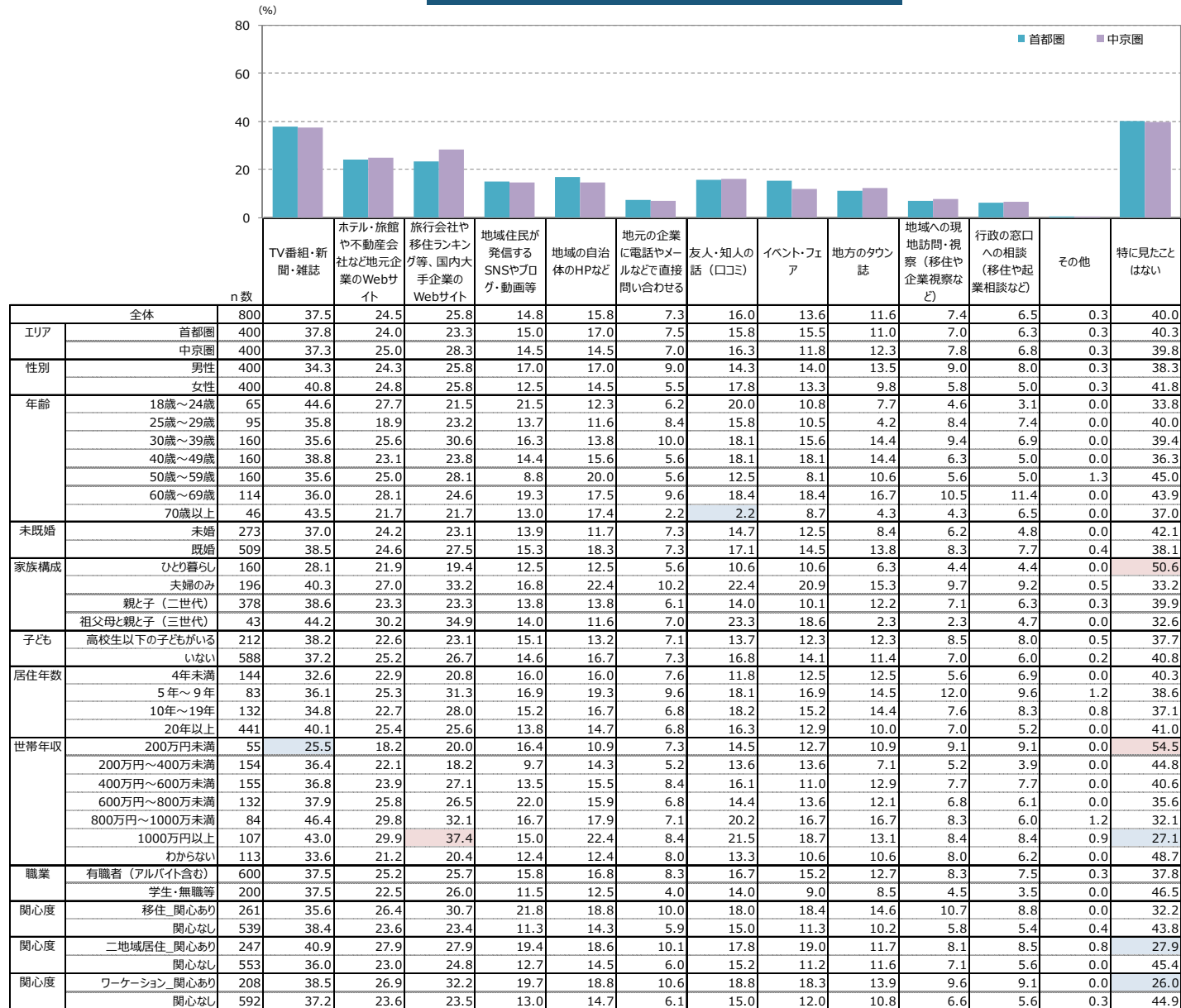
仕事（地方へ出張、取引先の開拓等）



地方の情報入手経験

問35.現在居住の地域以外の地方について、観光や移住、仕事などに関するどんな情報をこれまでに見た、または入手したことがありますか。(SAMT)

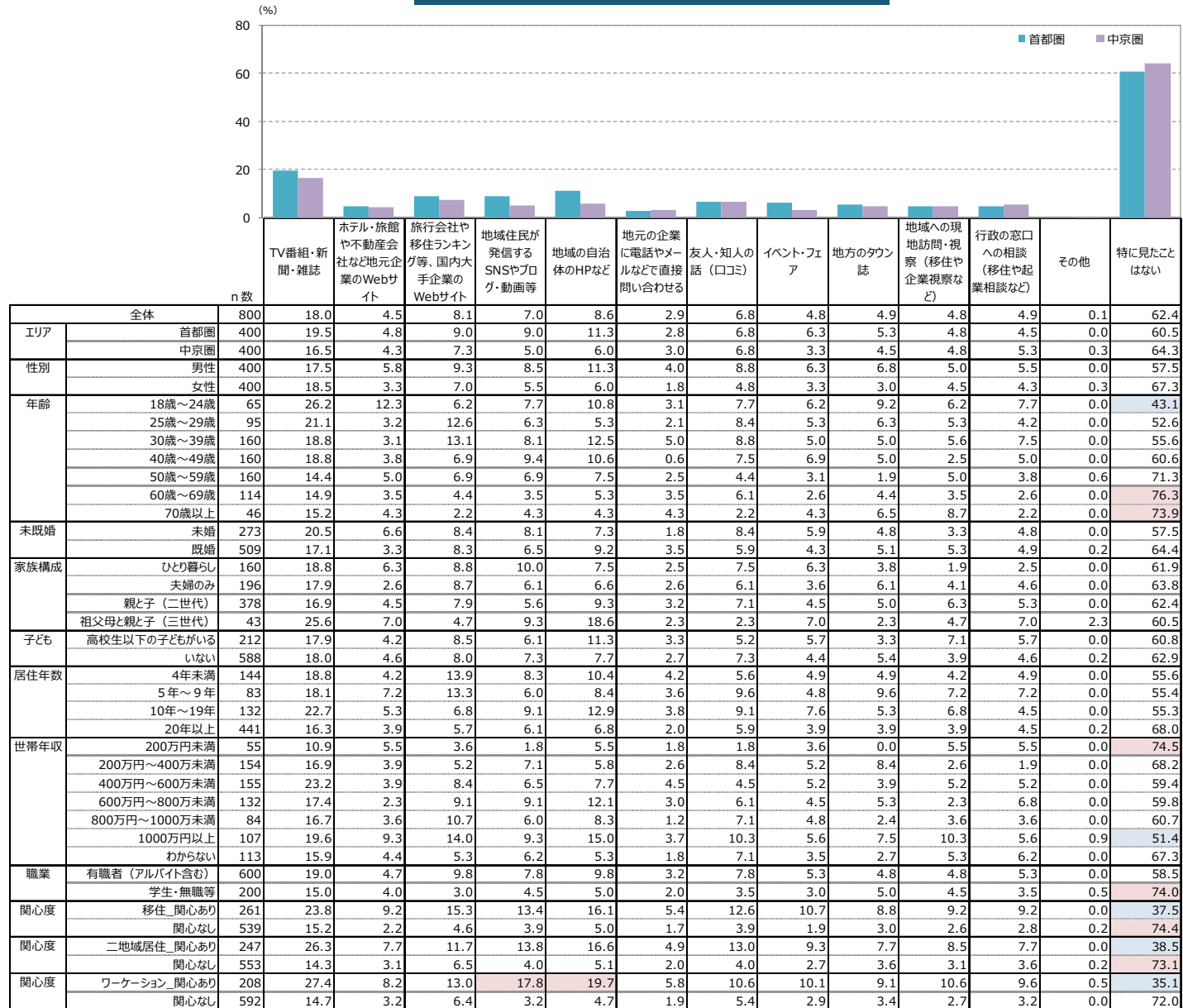
地方の観光情報の収集



地方の情報入手経験

問35.現在居住の地域以外の地方について、観光や移住、仕事などに関するどんな情報をこれまでに見た、または入手したことがありますか。(SAMT)

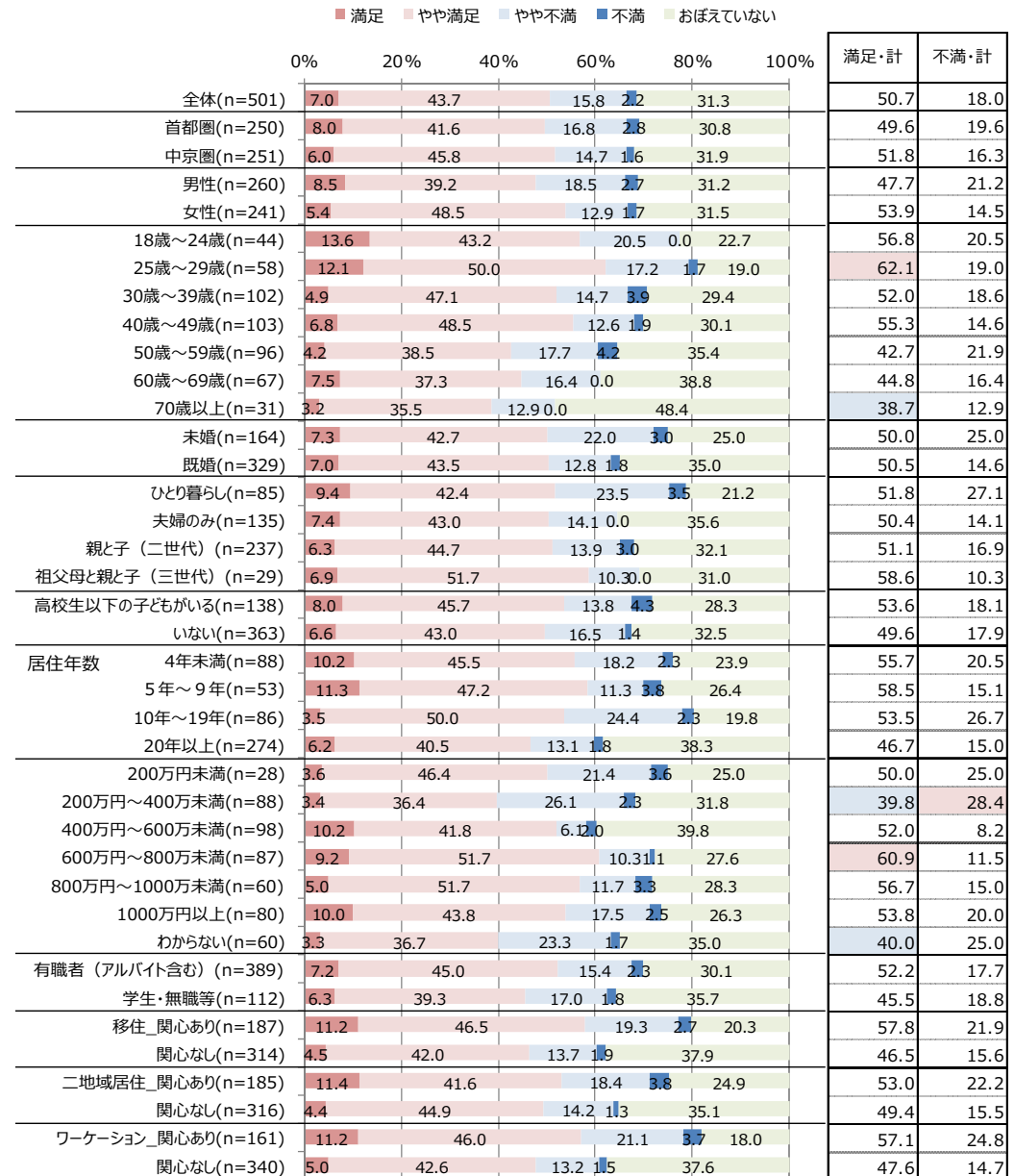
地方への移住に関する情報収集



地方が発信する情報に対する満足度

問36.地方が発信する情報に満足しましたか。(SA) ※問35地方が発信する情報を見たことがある方

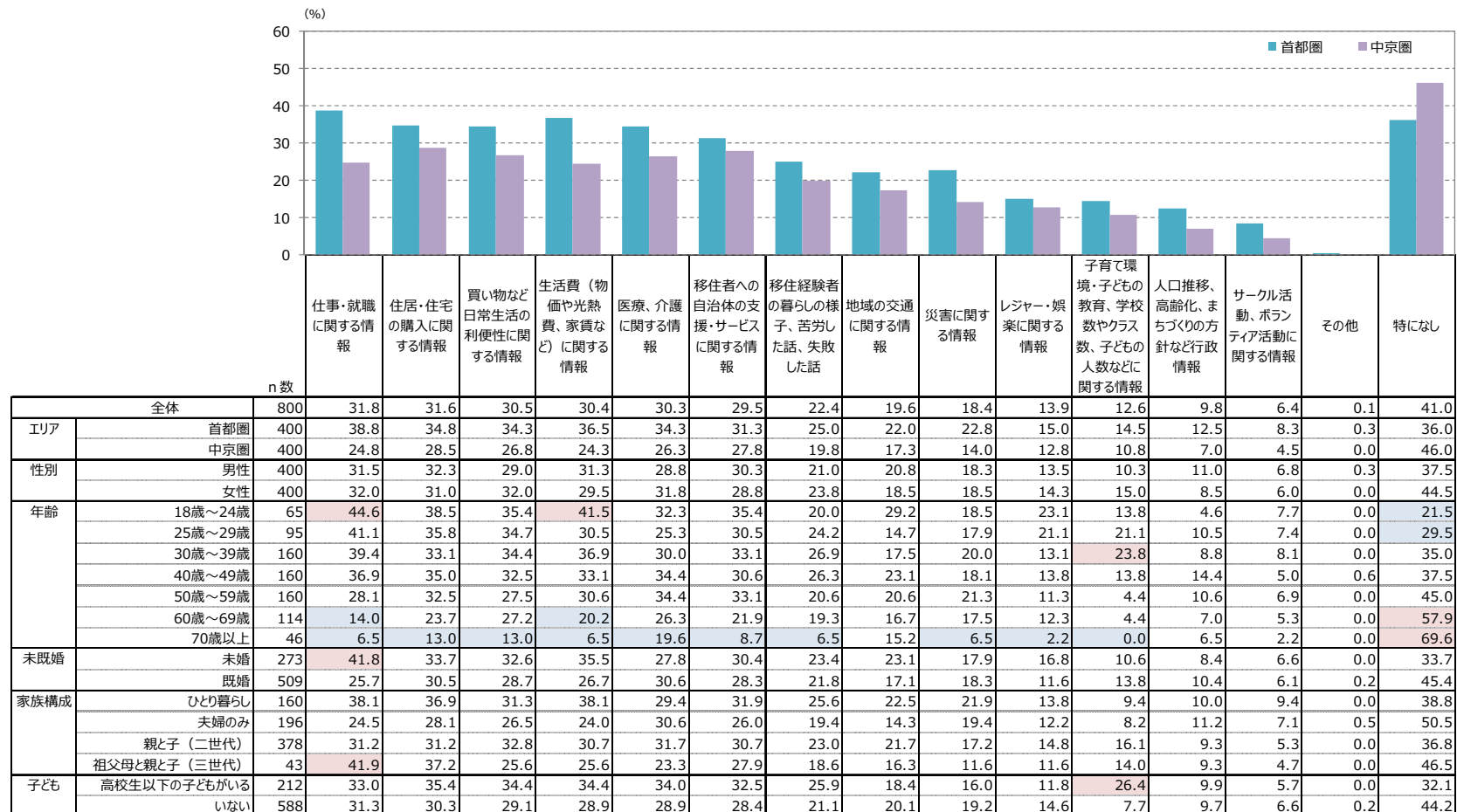
- ・地方が発信する情報を見たことがある人（仕事、観光、移住のいずれか1つでも）に対して、発信する情報に満足したかを尋ねたところ、「満足」が7%、「やや満足」が44%で**合計51%が満足**している。
- ・抽象的な設問項目ではあるが、「満足」（TOP BOX）のスコアが1割を下回っており、また、「おぼえていない」が31%を占めているなど、地方が発信する情報に対して、あまり印象に残っていない人が大半を占めている様子が伺える。



地方移住や二地域居住について、発信して欲しい情報

問37.地方移住や二地域居住について、発信して欲しい情報がありますか。（MA）

- ・地方移住や二地域居住について、発信して欲しい情報があるかを尋ねたところ、「仕事・就職」（32%）、「住居・住宅」（32%）、「買い物などの日常生活の利便性」（31%）、「生活費」（30%）、「医療・介護」（30%）、「移住者への自治体の支援・サービス」（30%）などが3割程度で分散している。
- ・首都圏の方が中京圏よりも全般的に比率が高い（中京圏は「特になし」が高い）。
- ・性別では年代が低い層ほど「仕事・就職」「生活費」などの比率が高い。



地方移住や二地域居住について、発信して欲しい情報

問37.地方移住や二地域居住について、発信して欲しい情報はありますか。（MA）

- ・年収別でみると、1,000万円以上の人では「医療・介護」「移住者への自治体の支援」などの比率が比較的高い。
- ・移住、二地域居住、ワーケーションなどに対する関心の有無別でみると、いずれも関心がある人は「仕事・就職に関する情報」が5割強を占めている。その他、「住居・住宅」「生活費」「移住者への自治体の支援」なども5割弱を占めている。

n 数		仕事・就職 に関する情 報	住居・住宅 の購入に関 する情報	買い物など 日常生活の 利便性に関 する情報	生活費（物 価や光熱 費、家賃な ど）に関する 情報	医療、介護 に関する情 報	移住者への 自治体の支 援・サービス に関する情 報	移住経験者 の暮らしの様 子、苦労し た話、失敗 した話	地域の交通 に関する情 報	災害に関す る情報	レジャー・娯 楽に関する 情報	子育て環 境・子どもの 教育、学校 数やクラス 数、子どもの 人数などに に関する情報	人口推移、 高齢化、ま ちづくりの方 針など行政 情報	サークル活 動、ボラン ティア活動に 関する情報	その他	特になし	
全体		800	31.8	31.6	30.5	30.4	30.3	29.5	22.4	19.6	18.4	13.9	12.6	9.8	6.4	0.1	41.0
居住年数	4年未満	144	46.5	43.1	36.8	45.1	39.6	39.6	31.3	25.0	25.0	18.8	25.7	13.2	12.5	0.7	27.8
	5年～9年	83	26.5	28.9	27.7	28.9	20.5	27.7	26.5	16.9	16.9	10.8	13.3	10.8	6.0	0.0	38.6
	10年～19年	132	38.6	34.8	31.8	34.8	33.3	31.1	25.8	25.0	22.0	16.7	12.9	12.1	6.1	0.0	34.1
	20年以上	441	25.9	27.4	28.6	24.5	28.1	26.1	17.7	16.8	15.4	12.0	8.2	7.7	4.5	0.0	47.8
世帯年収	200万円未満	55	27.3	21.8	30.9	32.7	25.5	29.1	20.0	23.6	18.2	9.1	5.5	9.1	1.8	0.0	49.1
	200万円～400万未満	154	29.9	28.6	30.5	29.9	27.3	26.6	19.5	16.2	17.5	16.2	11.0	11.0	4.5	0.0	47.4
	400万円～600万未満	155	31.0	31.0	25.8	25.8	23.9	23.2	18.1	17.4	20.0	12.3	12.3	7.7	7.1	0.0	46.5
	600万円～800万未満	132	39.4	38.6	37.1	36.4	34.8	33.3	28.8	19.7	18.2	12.9	22.7	9.8	6.1	0.0	28.8
	800万円～1000万未満	84	29.8	32.1	22.6	22.6	29.8	27.4	23.8	17.9	14.3	13.1	9.5	8.3	9.5	0.0	44.0
	1000万円以上	107	39.3	39.3	35.5	38.3	43.9	42.1	26.2	29.0	25.2	18.7	16.8	13.1	8.4	0.0	23.4
	わからない	113	23.0	25.7	30.1	27.4	27.4	27.4	21.2	17.7	14.2	12.4	5.3	8.8	6.2	0.9	49.6
職業	有職者（アルバイト含む）	600	35.8	33.2	30.8	33.2	31.2	31.2	24.3	20.2	19.3	14.8	13.7	10.7	6.8	0.2	36.8
	学生・無職等	200	19.5	27.0	29.5	22.0	27.5	24.5	16.5	18.0	15.5	11.0	9.5	7.0	5.0	0.0	53.5
関心度	移住_関心あり	261	52.5	49.0	41.8	48.7	43.3	46.4	36.4	28.7	28.4	21.8	16.9	16.9	11.5	0.4	14.9
	関心なし	539	21.7	23.2	25.0	21.5	23.9	21.3	15.6	15.2	13.5	10.0	10.6	6.3	3.9	0.0	53.6
関心度	二地域居住_関心あり	247	50.6	47.8	42.1	44.5	48.6	46.2	32.0	27.9	28.7	21.9	16.2	17.4	11.3	0.4	13.0
	関心なし	553	23.3	24.4	25.3	24.1	22.1	22.1	18.1	15.9	13.7	10.3	11.0	6.3	4.2	0.0	53.5
関心度	ワーケーション_関心あり	208	54.8	50.0	45.7	47.1	49.0	48.6	37.5	31.7	28.4	23.6	21.2	18.8	13.5	0.5	9.1
	関心なし	592	23.6	25.2	25.2	24.5	23.6	22.8	17.1	15.4	14.9	10.5	9.6	6.6	3.9	0.0	52.2

日常でよく接触するメディア・情報源

問38.日常でよく見たり、聞いたりするメディア・情報源は何ですか。(MA)

- ・日常よく接触するメディア・情報源は年代による傾向の違いが大きい。

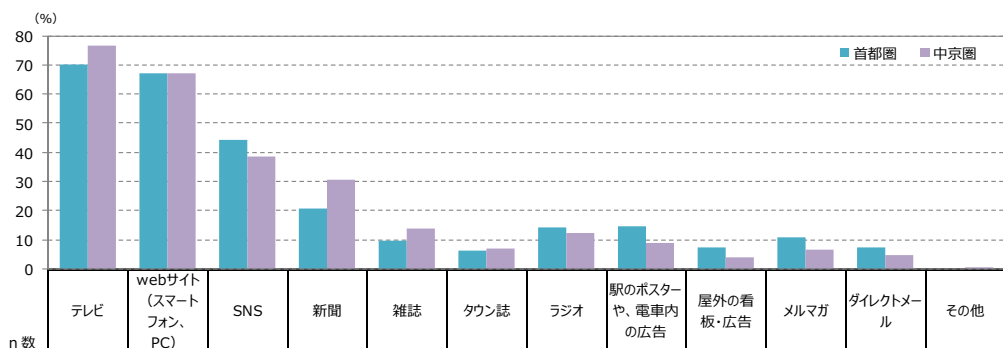
20代・・・SNS、テレビ、Webサイト

30代・・・Webサイト、SNS、テレビ

40代・・・Webサイト、テレビ

60代以上・・・テレビ、Webサイト、新聞

- ・20～30代を中心にSNSが主要な情報源となっている。



		n 数	テレビ	webサイト (スマートフォン、PC)	SNS	新聞	雑誌	タウン誌	ラジオ	駅のポスター や、電車内 の広告	屋外の看板・ 広告	メルマガ	ダイレクトメール	その他
全体		800	73.5	67.1	41.4	25.5	11.9	6.6	13.3	11.9	5.6	8.8	6.0	0.1
エリア	首都圏	400	70.3	67.3	44.3	20.5	9.8	6.3	14.3	14.8	7.5	10.8	7.5	0.0
	中京圏	400	76.8	67.0	38.5	30.5	14.0	7.0	12.3	9.0	3.8	6.8	4.5	0.3
性別	男性	400	69.0	66.3	37.0	30.5	14.0	7.0	14.8	12.3	6.0	8.0	6.3	0.3
	女性	400	78.0	68.0	45.8	20.5	9.8	6.3	11.8	11.5	5.3	9.5	5.8	0.0
年齢	18歳～24歳	65	64.6	53.8	76.9	12.3	13.8	4.6	10.8	21.5	10.8	6.2	3.1	0.0
	25歳～29歳	95	57.9	57.9	68.4	11.6	7.4	5.3	7.4	6.3	3.2	4.2	1.1	0.0
	30歳～39歳	160	66.9	67.5	58.1	16.9	14.4	6.9	13.1	13.8	6.3	5.6	3.1	0.0
	40歳～49歳	160	71.9	76.9	35.6	25.6	11.9	9.4	13.8	13.8	8.1	11.3	8.8	0.0
	50歳～59歳	160	77.5	70.0	25.6	25.0	9.4	6.3	14.4	10.0	4.4	8.1	6.3	0.0
	60歳～69歳	114	90.4	69.3	18.4	42.1	14.0	7.0	16.7	10.5	3.5	13.2	9.6	0.9
	70歳以上	46	91.3	54.3	8.7	63.0	13.0	2.2	15.2	6.5	2.2	15.2	10.9	0.0
未婚	未婚	273	65.2	65.6	54.6	18.7	10.6	5.5	12.5	14.3	7.7	7.7	4.8	0.0
	既婚	509	77.8	67.8	35.0	30.1	12.8	7.1	13.9	10.6	4.3	9.2	6.7	0.2
家族構成	ひとり暮らし	160	65.6	71.3	51.3	13.1	10.0	5.6	15.0	14.4	8.8	10.0	4.4	0.0
	夫婦のみ	196	79.6	68.4	29.1	34.2	14.3	7.1	12.8	11.2	2.0	8.2	6.1	0.0
	親と子（二世帯）	378	74.1	64.0	42.6	26.7	12.2	6.3	13.0	11.4	5.8	8.7	6.9	0.0
	祖父母と親と子（三世帯）	43	72.1	72.1	51.2	23.3	4.7	7.0	14.0	7.0	7.0	9.3	0.0	2.3
子ども	高校生以下の子どもがいる	212	70.3	67.9	47.2	23.1	10.4	7.1	11.8	10.8	6.6	7.5	7.1	0.0
	いない	588	74.7	66.8	39.3	26.4	12.4	6.5	13.8	12.2	5.3	9.2	5.6	0.2
居住年数	4年未満	144	60.4	68.1	52.8	10.4	10.4	6.9	13.2	9.0	6.9	7.6	2.8	0.0
	5年～9年	83	72.3	63.9	55.4	22.9	13.3	9.6	13.3	12.0	4.8	7.2	4.8	0.0
	10年～19年	132	71.2	64.4	48.5	18.9	12.9	6.1	9.8	19.7	7.6	7.6	7.6	0.0
	20年以上	441	78.7	68.3	32.9	32.9	11.8	6.1	14.3	10.4	4.8	9.8	6.8	0.2
世帯年収	200万円未満	55	70.9	69.1	36.4	21.8	7.3	9.1	21.8	10.9	5.5	12.7	7.3	0.0
	200万円～400万未満	154	79.2	66.2	39.6	24.7	9.1	5.8	13.6	13.0	5.8	11.0	9.1	0.0
	400万円～600万未満	155	71.6	71.0	45.2	24.5	13.5	5.8	11.0	11.6	7.7	7.1	3.9	0.0
	600万円～800万未満	132	75.8	63.6	51.5	27.3	11.4	6.8	12.1	10.6	5.3	7.6	5.3	0.8
	800万円～1000万未満	84	75.0	72.6	40.5	21.4	7.1	6.0	16.7	15.5	4.8	6.0	0.0	0.0
	1000万円以上	107	64.5	67.3	35.5	29.0	21.5	10.3	14.0	13.1	4.7	8.4	7.5	0.0
	わからない	113	74.3	61.9	35.4	27.4	10.6	4.4	9.7	8.8	4.4	9.7	8.0	0.0
職業	有職者（アルバイト含む）	600	70.7	66.8	44.3	23.8	12.3	7.7	13.5	13.2	5.7	7.5	5.0	0.2
	学生・無職等	200	82.0	68.0	32.5	30.5	10.5	3.5	12.5	8.0	5.5	12.5	9.0	0.0
関心度	移住 関心あり	261	62.8	69.0	49.0	21.8	15.7	10.7	12.6	16.9	6.9	11.5	7.3	0.0
	関心なし	539	78.7	66.2	37.7	27.3	10.0	4.6	13.5	9.5	5.0	7.4	5.4	0.2
関心度	二地域居住 関心あり	247	67.6	67.2	49.4	25.9	15.4	7.7	11.7	16.6	6.1	9.7	7.7	0.0
	関心なし	553	76.1	67.1	37.8	25.3	10.3	6.1	13.9	9.8	5.4	8.3	5.2	0.2
関心度	ワーケーション 関心あり	208	63.5	69.7	50.5	25.0	19.7	9.1	12.5	21.2	9.1	9.1	8.2	0.0
	関心なし	592	77.0	66.2	38.2	25.7	9.1	5.7	13.5	8.6	4.4	8.6	5.2	0.2

よく利用するSNS

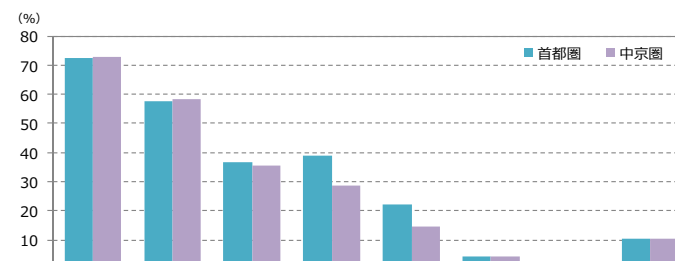
問39.よく利用するSNSは何ですか。(MA)

・よく利用するSNSは、LINE」(73%)、
「YouTube」(58%)、「Instagram」
(36%)、「Twitter」(34%)、
「facebook」(19%)、「TikTok」(4%)、
「SNSは利用していない」が10%となった。

・飯田市民の利用状況と同様の傾向であるが、
「Instagram」、「Twitter」、「facebook」の利
用率が飯田市民と比較してやや高い。

・年代が低い層ほどいずれのSNSの比率も高い。

・移住、二地域居住、ワーケーションなどに関心があ
る人の方が関心がない人と比較して、いずれの
SNSの利用率も高い。



	n 数	LINE	YouTube	Instagram	Twitter	facebook	TikTok	その他	SNSは利用 していない
全体	800	72.8	58.0	36.0	33.6	18.5	4.3	0.3	10.4
エリア									
首都圏	400	72.5	57.8	36.5	38.8	22.3	4.3	0.5	10.3
中京圏	400	73.0	58.3	35.5	28.5	14.8	4.3	0.0	10.5
性別									
男性	400	66.3	61.0	29.8	34.8	22.3	4.3	0.0	10.8
女性	400	79.3	55.0	42.3	32.5	14.8	4.3	0.5	10.0
年齢									
18歳～24歳	65	83.1	83.1	72.3	73.8	9.2	18.5	0.0	1.5
25歳～29歳	95	81.1	71.6	63.2	61.1	16.8	6.3	0.0	3.2
30歳～39歳	160	76.9	63.1	46.9	39.4	23.1	5.0	0.0	4.4
40歳～49歳	160	71.3	57.5	31.9	29.4	19.4	1.9	0.0	10.6
50歳～59歳	160	66.9	51.9	22.5	20.6	20.0	2.5	0.0	13.8
60歳～69歳	114	70.2	43.0	15.8	14.9	15.8	0.9	1.8	18.4
70歳以上	46	58.7	37.0	2.2	6.5	17.4	0.0	0.0	26.1
未婚	273	68.5	67.4	48.0	49.1	14.3	5.5	0.4	8.4
既婚	509	74.7	53.2	29.9	25.7	20.6	3.7	0.2	11.4
家族構成									
ひとり暮らし	160	67.5	60.6	43.1	48.1	15.0	5.0	0.6	11.9
夫婦のみ	196	75.0	52.0	26.0	26.5	23.5	3.6	0.0	13.3
親と子（二世帯）	378	72.8	57.9	36.2	30.7	17.7	4.2	0.3	9.0
祖父母と親と子（三世帯）	43	83.7	65.1	48.8	39.5	11.6	2.3	0.0	7.0
子ども									
高校生以下の子がいる	212	78.3	57.5	41.5	31.6	20.8	4.7	0.0	7.1
いない	588	70.7	58.2	34.0	34.4	17.7	4.1	0.3	11.6
居住年数									
4年未満	144	77.8	66.7	50.7	47.2	23.6	6.3	0.0	5.6
5年～9年	83	74.7	66.3	48.2	37.3	24.1	7.2	0.0	6.0
10年～19年	132	75.8	61.4	39.4	37.9	16.7	6.1	0.0	9.1
20年以上	441	69.8	52.6	27.9	27.2	16.3	2.5	0.5	13.2
世帯年収									
200万円未満	55	65.5	47.3	29.1	29.1	9.1	3.6	0.0	16.4
200万円～400万円未満	154	72.1	55.2	32.5	33.8	18.2	1.9	0.6	11.0
400万円～600万円未満	155	72.9	60.6	34.8	36.1	17.4	7.1	0.0	7.7
600万円～800万円未満	132	77.3	65.9	42.4	37.1	22.7	3.8	0.8	6.1
800万円～1000万円未満	84	76.2	69.0	39.3	35.7	23.8	3.6	0.0	6.0
1000万円以上	107	69.2	59.8	39.3	33.6	23.4	6.5	0.0	13.1
わからない	113	72.6	44.2	32.7	26.5	11.5	2.7	0.0	15.9
職業									
有職者（アルバイト含む）	600	73.3	60.5	39.7	36.2	20.0	4.7	0.0	7.7
学生・無職等	200	71.0	50.5	25.0	26.0	14.0	3.0	1.0	18.5
関心度									
移住_関心あり	261	76.6	71.6	44.8	43.7	22.2	6.5	0.4	4.6
関心なし	539	70.9	51.4	31.7	28.8	16.7	3.2	0.2	13.2
関心度									
二地域居住_関心あり	247	76.5	68.4	42.5	44.9	24.7	7.3	0.0	6.1
関心なし	553	71.1	53.3	33.1	28.6	15.7	2.9	0.4	12.3
関心度									
ワーケーション_関心あり	208	78.4	71.6	44.7	48.1	24.5	7.7	0.0	3.8
関心なし	592	70.8	53.2	32.9	28.5	16.4	3.0	0.3	12.7

＜参考＞ 飯田市居住者
LINE (73%)
YouTube (54%)
Instagram (28%)
Twitter (21%)
Facebook (12%)
TikTok (7%)
SNSは利用していない (13%)

調査結果 概略

飯田市民向けアンケート結果

リニア中央新幹線・関心度

72%

とも（28%）
+
どちらかといえば（44%）

- ・20～60代の幅広い年齢層で関心。
- ・ただし、女性/70代/生まれてからずっと飯田市に住んでいる方の関心度がやや低い。
- ・飯田市の住みやすさ、今後の居住意向など飯田市に対して愛着を持っている人ほどリニアに対する関心度も高い。（20代など若者は今後飯田市から移りたいとする層が2割強と高い）

リニア中央新幹線・利用意向

61%

積極的（17%）
+
たまに（44%）

- ・20代の利用意向度が高い（7割超）
- ・年代が高くなるほど利用意向度は低い

情報量・情報提供頻度

足りている（十分）

16%

十分ではない

47%

- ・広報誌が突出。地方紙、口コミが続く

リニア中央新幹線に対する期待

東京・名古屋へ行きやすくなる 84%

市内の整備が進む 42%

企業進出が進む 35%

飯田市の知名度向上 34%

U・Iターン 28%

自分利用への期待が突出。企業進出、知名度、Uターンなど飯田市活性化の視点は年配者層ほど高い（若者は自分利用中心）

関心・期待していない理由

効果がない（通過）

開業までまだ先・実感なし

リニア中央新幹線・関心

所要時間 84%

運賃・料金 77%

開業予定時期 72%

駅の位置 69%

駅・道路の整備計画 67%

駅周辺の整備計画 67%

環境への影響・対策 62%

事業の進捗 62%

まちづくりの方向性 58%

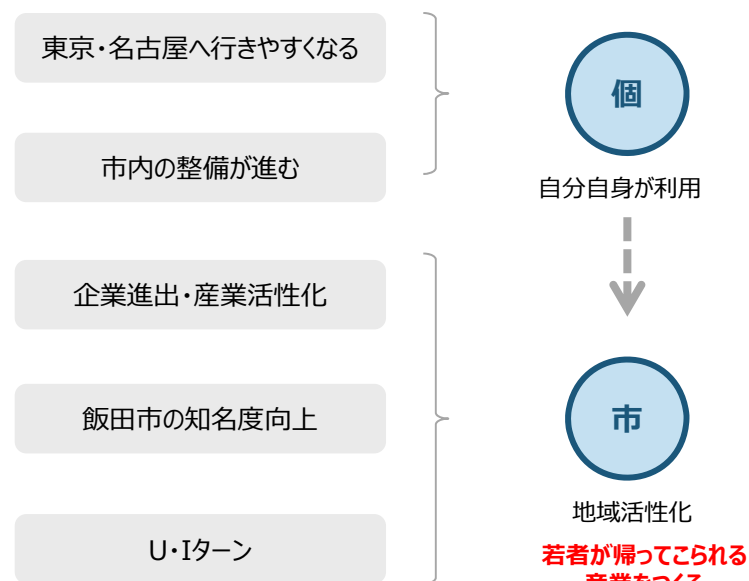
利用者数・効果 44%

自分が利用するために必要な情報に対する関心が高い。

Findings

- ★飯田市民のリニアへの関心度は7割超と高い。関心者層は下記のような方が多い。
リニア中央新幹線を利用して東京・名古屋に行きたい。そのために必要な情報として「所要時間」「運賃・料金」「開業予定時期」などの情報に関心
(全世代で高いが、特に20代など年代が若い層ほどこの傾向が強い)
- ★企業進出（雇用創出）、産業活性化、U・Iターンなど、リニア中央新幹線の開業を飯田市全体の活性化と結び付けて期待している層が多いのは男性50代。それ以外の層は、自分が利用するため、自分の生活に直接関係する視点以外では関心はあまり高くない。
- ★リニア中央新幹線に関心を持ってもらう活動と、飯田市の住みやすさを向上させる取り組みは表裏一体（飯田市に愛着がある人ほどリニアに対する関心も高くなる）。
- ★リニア関連の情報は、主に「広報誌」から得ている。「地方紙」、「口コミ」が続く。ターゲットを意識した広報誌の新たな役割、あり方は課題である

飯田市民向けアンケート結果



サイレントマジョリティ像

リニア中央新幹線への関心は、自分が利用すること、街が整備されることに限定される。

どの地区・世代ともこのような層が多いが、特に以下のような人に多い。

- ・女性20代など若者層
- ・無職の方
- ・飯田市への居住年数が短い方（9年以下）

関心テーマを“個”から“全体”へ拡大
地域全体の視点で関心を持ってもらうことが重要

・飯田市の自然環境・街並み・景観は魅力であり、多くの人が飯田市に愛着がある。

～住みやすい（64%）、住み続けたい（65%）～

・飯田市の活性化には、子育て環境、商業、医療・福祉、公共交通機関、地場産業、企業誘致などが重要との見解。

“自分ごと”として捉えてもらうためには……（考察）

リニア中央新幹線に対しては自分自身が利用するといった視点で関心はある。

現状はこの視点が“自分ごと”であり、関心のある情報も、所要時間、運賃・料金、開業予定など利用を前提としたものとなっている。

ただし、開業まで先の話でもあり、関心度は強くない。飯田市全体でリニア中央新幹線開業の機運を高めていくためには、市民の方が飯田市の活性化など、地域全体の視点で、“自分ごと”として捉えてもらうかが重要であると考えられる。

例)

・市民の属性に応じた関心テーマ（子育てなど）とリニア関連事業の関連付け（リニア開業によってどのような効果があるのか？自分の生活にどう影響するのか？）

・地域振興・活性化の取り組みの重要性の訴求

（市に愛着はある。今後もよりよい地元でありつづけるためには、人口減、若者流出、高齢化、税収確保などに対する対策・協力が重要ではないか）

（“どうせ通過するだけ”など、振興策の効果に対する疑念をいかに払拭するかも検討課題の1つではないか。コロナ禍前の乗降者数予測の見直しなど）

・街づくりや活性化のための取り組みに対して、参加しやすい、意見を言いやすい環境の整備（Web・SNS等）。

（地域が発展して欲しい、課題解決に協力したいけど、どうすればよいかわからない、気軽に意見をいえない ⇒ 検討）

・市への愛着心を高めるためのシンボリックな取り組み（何か面白いことをやっている、有名人が市を絶賛、etc）

特に、“若者がいきいき活躍する姿”が重要な視点になるのではないかな？

⇒広報誌や市の担当者の方からの説明のあり方の工夫と共に情報発信においてはこれらを補完する立体的な取り組み策が必要とされよう

首都圏・中京圏居住者向けアンケート結果

テレワーク週1回以上

首都圏	45%
中京圏	24%

関心度：移住

首都圏	40%
中京圏	25%

関心度：二地域居住

首都圏	36%
中京圏	26%

関心度：ワーケーション

首都圏	30%
中京圏	22%

・20代前半など年代が若い層ほど関心度が高い。（男性、未婚、ひとり暮らし）

旅行先重視点

- ①温泉（59%）
- ②自然（43%）
- ③食材（39%）
- ④歴史・伝統（32%）
- ⑤自動車で行ける（29%）
- ⑥リゾート（22%）
- ⑦ショッピング（22%）
- ⑧芸術・文化（21%）

タイミング：5年以内（関心者ベース）

首都圏	31%
中京圏	23%

首都圏	41%
中京圏	25%

首都圏	41%
中京圏	28%

移住したい場所（候補地）（関心者ベース）

- ・はっきりと決まっている（12%）
- ・いくつか候補地がある（18%）
- ・何となく興味のある地域がある（32%）

合計62%が何等か関心のある地域あり
実家、観光、仕事で訪問したことがある地域

移住先選定時の重視点／移住に対する不安・懸念

- 重視点
 - ①田舎過ぎない（60%）、②気候（55%）、③家賃・物価（46%）、④仕事（43%）、⑤自然が多い（39%）
- 不安・懸念
 - ①仕事が見つかるか（46%）、②収入（37%）、③人間関係（35%）、④病院・介護（35%）、⑤生活コスト（32%）

Findings

★移住への関心度

関心度は3～4割を占めるが、「5年以内」など「関心が強い」人に限定すると1割前後

エリア：首都圏＞中京圏 / 性別：男性＞女性 / 年代：若年層＞年配者層 もしくは年収1,000万円以上の高所得者

★移住先の選定

・観光・仕事などでの「訪問経験がある」ことが影響（まずは飯田市に来て見て良さを感じてもらうことが、候補先になるための取り組みの1つ）

・コロナ禍によりテレワークでの働き方が増えているが、それでも移住先で「仕事がある」ことは重要視されている

⇒ 若者が関心を示すといった視点では、「仕事の創出」が移住促進と相関する可能性が大きい（企業誘致・起業促進策）

首都圏・中京圏居住者向けアンケート結果

飯田市の認知度

首都圏	48%	どのような地域か知っている（15%）、何県にあるか知っている（34%）
中京圏	64%	どのような地域か知っている（21%）、何県にあるか知っている（43%）

・認知度、来訪経験とも年代が高い層ほど高い。

飯田市への来訪経験

27%

41%

飯田市関心度：観光

首都圏	66%
中京圏	67%

・いずれも年代が低い層ほど関心度が高い。

飯田市関心度：移住

首都圏	26%
中京圏	17%

飯田市関心度：二地域居住

首都圏	24%
中京圏	18%

飯田市関心度：ワーケーション

首都圏	24%
中京圏	15%

飯田市の魅力

- ①豊かな自然（61%）
- ②食（45%）
- ③観光名所（29%）
- ④歴史・文化（19%）

リニア中央新幹線・関心度

首都圏	51%
中京圏	54%

・いずれも年代が低い層ほど関心度が高い。

リニア長野県駅・認知度

首都圏	37%
中京圏	50%

リニアが飯田市に関心が高まるきっかけ

首都圏	44%
中京圏	41%

Findings

- ★飯田市の認知度について、「どのような地域か知っている」は、首都圏15%、中京圏21%。
⇒「何県にあるか知っている」程度の認知レベルでは、飯田市の良さを理解しておらず、観光・移住につながりにくい。
飯田市がどのような地域なのか？どのような魅力があるのか？具体的に理解してもらうことが今後にわたる大きな課題となろう
- ★飯田市の魅力は、「自然」「食」。「観光地」としての関心度が特に高い。
⇒ただし、助成想起による設問。どのような魅力なのか？を具体的にイメージした上での評価ではない可能性が高い。
⇒観光・移住とも、他の地域と相対的に比較・検討されやすい側面がある。「自然」や「食」といっても他との違いは明確なのか？など、情報発信の際にはさらに掘り下げる必要がある
- ★リニア中央新幹線開業の情報発信は、飯田市に関心を持つ大きなきっかけとなる

首都圏・中京圏居住者向けアンケート結果

飯田市への観光・移住促進について（考察）

★首都圏と中京圏別でみると、観光目的としては両地域とも同様の関心度。

中京圏居住者の方が飯田市への認知・理解度・訪問経験率が高く、観光地としては身近なエリアとして認識されているのではないかと推察。

⇒実際の行動(観光)に心理的・物理的に近い中京圏居住者や、相対的には遠いが同じように関心の高い首都圏居住者のそれぞれの特性を掴んだ情報発信策が必要と考えられる。

★移住、二地域居住、ワーケーション

⇒首都圏居住者、男性、20代、未婚、ひとり暮らしの関心度が高い（ターゲットイメージ）

⇒この層は、現地で「仕事があるか」「生活していける収入を確保できるか」といった点が重要な要素。

★訴求ポイント

⇒飯田市は、「自然」「食」が魅力ポイント。

まずはこの点について、他地域との相対的な評価といった観点も踏まえた“強い魅力”“強い印象”を持ってもらうことが重要（飯田市の自然、食は、他地域と比べても魅力的＝キラーコンテンツ。特に20代など若者視点での検討が必要）

⇒移住などの重視点は、田舎過ぎない、気候、家賃・物価、仕事などが上位である。

飯田市に魅力を感じてもらった人には、自然や食だけではなく、飯田市の「住みやすさ」に関する情報提供が必要。

⇒移住先を検討する前提として、観光、仕事などで“行ったことがある”ことが大きな動機となっている。

×・・・「移住先を検討」⇒「飯田市に行ってみる」⇒「決定」

○・・・「飯田市に行ったことがある」⇒「移住先として良いかも（候補）」⇒「具体的に検討」⇒「決定」

飯田市への「観光」への関心度が高いことから、「観光促進」のプロモーションが「移住促進」につながっていくことに期待される

⇒リニア新幹線長野県駅は、飯田市へ関心が高まる大きなきっかけになる。

リニア開業に向けたタイミングを考慮した情報発信策が、飯田市の知名度向上、イメージアップ、さらにはさまざまな誘致、誘客等施策事業にとって有効と考えられ、それに叶った計画の全体像が望まれる。